SONY

4-080-676-**32**(1)

SONY

VPL-PX15/FX50/FE110J/FE110U/FE110M

LCD Data Projector

取扱説明書（ネットワーク編） JP

Operating Instructions for Networking GB

Instructions en cas de mise en réseau FR

Manual de instrucciones de red ES

Bedienungsanleitung für das Arbeiten im Netzwerk DE

Manuale di rete IT

网络用使用手册 CS

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 ソフトウェア製品は、安全のための注意事項を守らないと、健康を害することがあります。

この取扱説明書には、健康を守るための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-PX15
VPL-FX50
VPL-FE110J/110U/110M

© 2001 Sony Corporation

安全のために

ソフトウェア製品は、まちがった使いかたをすると、健康を害するおそれがあります。
健康を守るために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

警告表示の意味

マニュアルおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

行為を禁止する記号

禁止

⚠警告 下記の注意を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピューターの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診断を受けてください。

キーボードを使いすぎない

禁止

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピューターの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診断を受けてください。

- Microsoft、WindowsおよびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape Navigatorは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。
- その他記載された商品名、会社名などは、各社の商標または登録商標です。

目次

⚠ 警告 ..... 2 (JP)

お使いになる前に

本機の特長 ..... 4 (JP)
使用上のご注意 ..... 5 (JP)
このマニュアルについて ..... 5 (JP)

準備

ネットワーク機能を使うための準備 ..... 6 (JP)
- システム構成 ..... 6 (JP)
- PCカードを使う ..... 7 (JP)
- ネットワーク機能を使うための設定 ..... 7 (JP)
- リモートコマンダー、またはマウス、キーボードを使う ... 7 (JP)

プロジェクターのセットアップ ..... 8 (JP)
- プロジェクターからセットアップする ..... 8 (JP)
- コンピューターからセットアップする ..... 12 (JP)

基本操作の流れ ..... 14 (JP)
- コンピューターで操作する ..... 14 (JP)
- プロジェクターで操作する ..... 16 (JP)

操作

コンピューターで操作する ..... 19 (JP)
- はじめに ..... 19 (JP)
- Slide Viewer（スライドビューワー）で プレゼンテーションを行う ..... 20 (JP)
- Worksheet Viewer（ワークシートビューワー）で Excelのファイルを投影する ..... 23 (JP)
- Image Viewer（イメージビューワー）で画像を プロジェクターに投影する ..... 23 (JP)
- File Manager（ファイルマネージャー）を使う ..... 26 (JP)
- プロジェクターをコントロールする ..... 27 (JP)
- プロジェクターのインジケーターを確認する ..... 28 (JP)

プロジェクターで操作する ..... 29 (JP)
- はじめに ..... 29 (JP)
- Slide Viewerでプレゼンテーションを行う ..... 30 (JP)
- Worksheet ViewerでExcelのファイルを投影する ..... 31 (JP)
- Image Viewerでスライドショーを行う ..... 33 (JP)
- インターネットに接続する ..... 35 (JP)

その他

トラブル時の対処 ..... 36 (JP)

本機の特長

本機は、Windows CEを搭載したネットワーク対応のプロジェクターです。LAN（Local Area Network）に接続することにより、同一会議室のコンピューターからはもとより、LAN上の離れた所にあるコンピューターからのファイルの入手、ファイルの投影、プレゼンテーションの実行が可能です。さらに、インターネットへの接続もできます。
また、コンピューターのWebブラウザから、プレゼンテーションを行ったり、プロジェクターをコントロールすることができます。

LANへの接続

ETHER（イーサー）端子（VPL-PX15、VPL-FX50のみ）、PCカードスロットを装備、LANケーブルまたはLAN PCカードでLANに接続できます。また、ワイヤレスLAN PCカードを装着することによりワイヤレスでLANに接続することもできます。

PCカードスロット搭載

PCカードスロットにPCメモリーカードの挿入が可能です。データの入ったメモリーカードを挿入すると、コンピューターを使わずに本機のみで簡単にプレゼンテーションを行えます。

Presentation Viewer（プレゼンテーションビューワー）機能

Microsoft PowerPointとMicrosoft Excelの簡易ビューワー、Slide Viewer（スライドビューワー）とWorksheet Viewer（ワークシートビューワー）を搭載。ファイルの変換操作なしでPowerPointのスライドショーを実行したり、Excelファイルの投影ができます。

Image Viewer（イメージビューワー）機能

画像のビューワー機能を搭載。JPEG、BMP、GIF、PNG形式の画像ファイルを見るほか、スライドショーの設定および実行が可能です。

File Manager（ファイルマネージャー）機能

プロジェクターのストレージへのファイルの追加、ストレージからのファイルの削除がコンピューターのWebブラウザからも可能です。

Webブラウザ機能

Internet Explorer 4.0相当を搭載、プロジェクター単体でインターネットに接続できます。

メモリー機能

コンピューター上にあるファイルまたはメモリーカードのファイルをプロジェクターのストレージに保存することができます。また、保存の際にパスワードを設定するセキュリティー機能も付いています。

使用上のご注意

ご注意

電源を切る、またはリモートコマンダーでリセットするときは、必ずすべてのアプリケーションを終了させてから行ってください。アプリケーションを立ち上げたまま行うとシステムが壊れて再起動できなくなる可能性があります。

- 本機を使用するための推奨動作環境は以下のとおりです。
  - ー Microsoft Windows 98、Microsoft Windows 98 SE、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows Me
- 本機に装着するLAN PCカード、ワイヤレスLAN PCカード、メモリーカードおよびワイヤレスLANアクセスポイント、コンピューターに装着するワイヤレスLAN PCカードは指定／推奨のものをお使いください。指定／推奨以外の機器をご使用の場合、正しく動作しないことがあります。

◆ 指定／推奨する機器については、付属の「指定／推奨PCカード、ワイヤレスLANアクセスポイント一覧」をご覧ください。

- データの損失を防ぐため、データは頻繁にバックアップを取るようにして下さい。万一、データが損失した場合、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- アプリケーションソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部異なる場合があります。

このマニュアルについて

このマニュアルは、LCDデータプロジェクターVPL-PX15、VPL-FX50またはVPL-FE110Jをネットワークを介してご使用になる場合の操作について説明しています。

操作方法は、画面上のヘルプでもご覧になれます。コンピューターでプロジェクターのWebサーバーにアクセスしたときのヘルプは、各操作画面で操作項目にポインタを合わせると画面の下に表示されます。

プロジェクターのWindows CEの画面上では、[スタート]メニューから[ヘルプ]を選択すると、Windows CEのヘルプをご覧になれます。ただし、一部サポートしていない機能もあります。また、「Slide Viewer」（スライドビューワー）、「Image Viewer」（イメージビューワー）および「Worksheet Viewer」（ワークシートビューワー）の画面では、ツールバーの ? ボタンをクリックすると、それぞれのヘルプが表示されます。

◆ プロジェクターの通常の操作については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

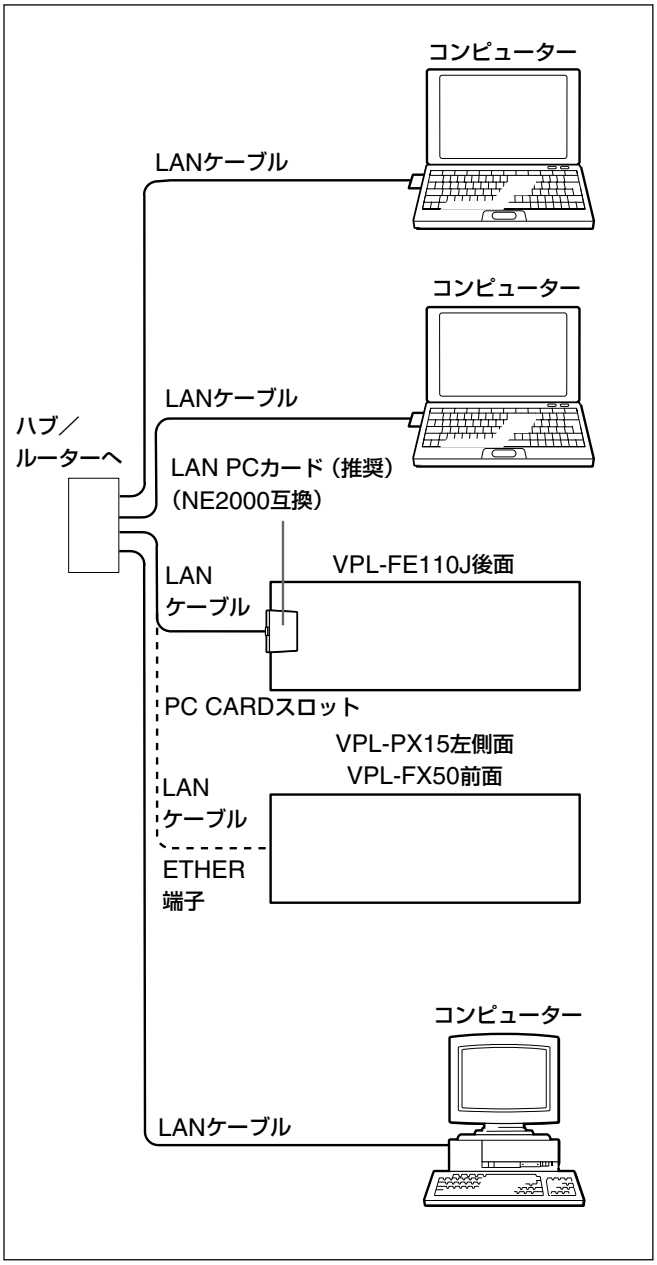
ネットワーク機能を使うための準備

ここでは、LANに接続して本機のネットワーク機能を使うために必要な準備について説明します。

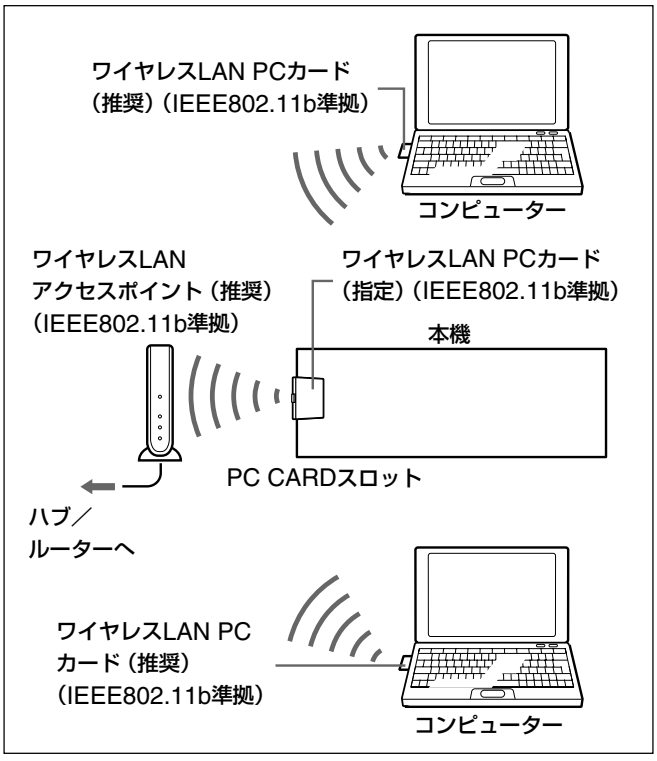
システム構成

◆ 接続について詳しくは、本機の取扱説明書をご覧ください。

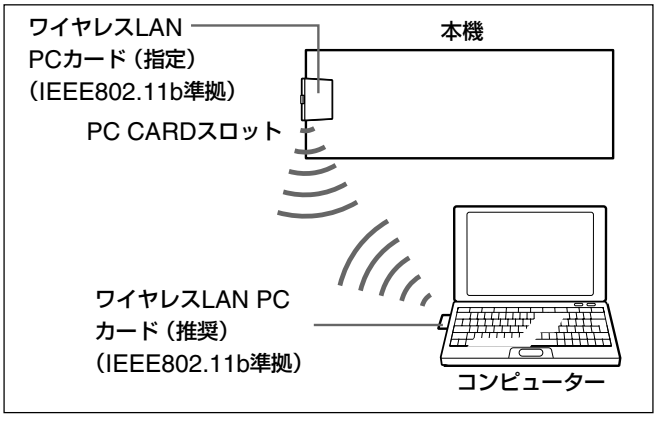
LANケーブルまたはLAN PCカードでLANに接続する場合



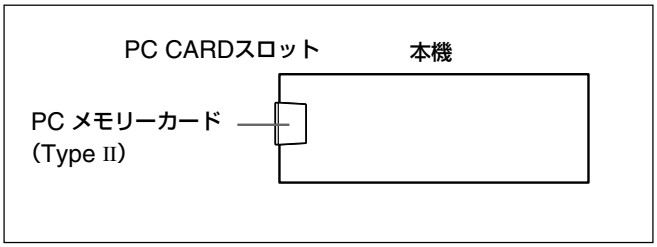
アクセスポイントを使用してワイヤレスLANに接続する場合



アクセスポイントを使用せずにワイヤレスLANに接続する場合（Peer to Peerモード）



メモリーカードを使う場合



PCカードを使う

本機のINPUT B（VPL-PX15）またはINPUT C（VPL-FX50、VPL-FE110J）PC CARDスロットは、PCMCIA Type IIに準拠したPCカードを1枚挿入できるスロットです。LANに接続するためには、指定／推奨のワイヤレスLAN PCカードまたはLAN PCカード（VPL-FE110Jのみ）を装着します。
また、このスロットに推奨のPCメモリーカードを挿入することもできます。メモリーカードに、Microsoft PowerPointやExcelで作成したプレゼンテーションファイルや画像ファイルを保存してこのスロットに装着すると、コンピューターを使わず本機から、ファイルの表示やプレゼンテーションを実行することができます。

ご注意

- PCカードのデータ書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- LAN PCカード、ワイヤレスLAN PCカード、PCメモリーカードはすべて指定／推奨のものをお使いください。指定／推奨するPCカードについては、付属の「指定／推奨PCカード、ワイヤレスLANアクセスポイント一覧」をご覧ください。
- 指定／推奨するPCカードのドライバーソフトは、工場出荷時に本機にインストールされています。ドライバーソフトを別途インストールする必要はありません。また、あらたにドライバーソフトをインストールすることはできません。

◆ PCカードの取り付けかたについては、本機の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク機能を使うための設定

本機のネットワーク機能を使うには、次の設定が必要です。

■ VPL-PX15の場合

設置設定メニューの「入力B機能」を「オン」に設定します。

◆ 設定のしかたは、本機の取扱説明書をご覧ください。

■ VPL-FX50の場合

設置設定メニューの「入力C機能」を「オン」に設定します。

◆ 設定のしかたは、本機の取扱説明書をご覧ください。

■ VPL-FE110Jの場合

本機後面のINPUT C／RS-232C／RS-422A切り換えスイッチを「INPUT C」の位置に設定します。

リモートコマンダー、またはマウス、キーボードを使う

■ VPL-PX15、VPL-FX50の場合

プロジェクターのセットアップやスライドショーを行うときは、付属のリモートコマンダーで操作します。操作するときは、リモートコマンダーのPJ／NETWORK切り換えスイッチをNETWORK側に切り換えてください。
マウスやキーボードはご使用になれません。

■ VPL-FE110Jの場合

本機を操作してプロジェクターのセットアップをしたり、プレゼンテーションを行うには、別売りのリモートコマンダーRM-PJM610または市販のPS/2用のマウスとキーボードが必要です。

ご注意

マウスおよびキーボードをご使用の場合は、あらかじめマウス、キーボードを接続してから本機の電源コードを接続してください。

◆ マウスとキーボードの接続については、本機の取扱説明書をご覧ください。

◆ 別売りのリモートコマンダーRM-PJM610の操作については、リモートコマンダーの取扱説明書をご覧ください。

プロジェクターのセットアップ

本機のネットワーク機能を使うためには、IPアドレス、ワイヤレスLANの設定など、各種の設定をしておく必要があります。
これらの設定は、本機から、またはLAN上のコンピューターからも行なえます。

設定の前に

■ VPL-PX15、VPL-FX50の場合

- 付属のリモートコマンダーまたはコントロールパネルの I/⏻ キーを押して本機の電源を入れます。
- 設置設定メニューの「入力B機能」(VPL-PX15) または、「入力C機能」(VPL-FX50) が「オン」に設定されていることを確認してください。
- リモートコマンダーまたはコントロールパネルのINPUTキーを押して入力を「入力B」(VPL-PX15) または、「入力C」(VPL-FX50) に設定してください。「Network Projector」画面が表示されます。
- リモートコマンダーの PJ／NETWORK切り換えスイッチをNETWORK側に切り換えてください。
- プロジェクターからセットアップする場合は、プロジェクターのスクリーンにスクリーンキーボードを表示させ、付属のリモートコマンダーで操作します。

◆ スクリーンキーボードについて詳しくは、29 (JP)ページをご覧ください。

- コンピューターからセットアップする場合は、コンピューターの電源を入れてください。

■ VPL-FE110Jの場合

- 本機後面のINPUT C／RS-232C／RS-422A切り換えスイッチが「INPUT C」に設定されていることを確認してください。
- リモートコマンダーRM-PJM610、本機のリモートコマンダーまたはコントロールパネルの ON キーを押して本機の電源を入れます。
- RM-PJM610 のINPUTキー、本機のリモートコマンダーまたはコントロールパネルの INPUT SELECTキーを押して入力を「INPUT C」に設定してください。「Network Projector」画面が表示されます。
- プロジェクターからセットアップする場合は、プロジェクターのスクリーンにスクリーンキーボードを表示させ、RM-PJM610または接続したマウスとキーボードで操作してください。

◆ スクリーンキーボードについて詳しくは、29 (JP)ページをご覧ください。

- コンピューターからセットアップする場合は、コンピューターの電源を入れてください。

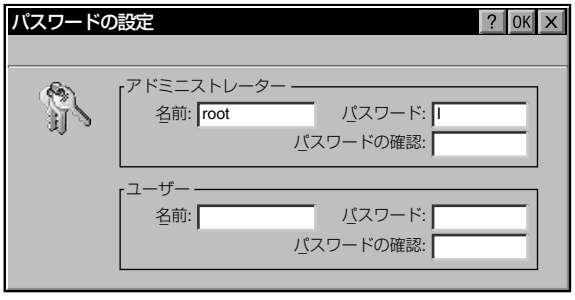
プロジェクターからセットアップする

パスワードを設定する

コンピューターからのアクセスを制限したい場合、パスワードの設定ができます。

1 「Network Projector」画面で、[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックする。

2 [パスワード] アイコンをダブルクリックする。
「パスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。



3 [アドミニストレーター] の [パスワード] を入力し、[パスワードの確認] にポインタを合わせ、もう一度同じパスワードを入力する。
アドミニストレーターの [名前] は、工場出荷時「root」に設定されており、変更できません。

4 [ユーザー] の [名前] と [パスワード] を入力し、[パスワードの確認] にポインタを合わせ、もう一度同じパスワードを入力する。

LAN上のコンピューターから本機を操作する際、アドミニストレーターまたはユーザーの「パスワード入力」のダイアログボックスが表示されたときは、ここで設定した名前とパスワードを入力します。

ネットワークの設定をする

本機をLANに接続する場合はIPアドレスなど、ネットワーク環境の設定が必要です。本機のIPアドレスは、「Network Projector」画面のタスクバーに表示されます。
ネットワークの設定は、システムの使用環境が変わった場合再度設定し直してください。

下記の具体的な設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 「Network Projector」画面で［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックする。

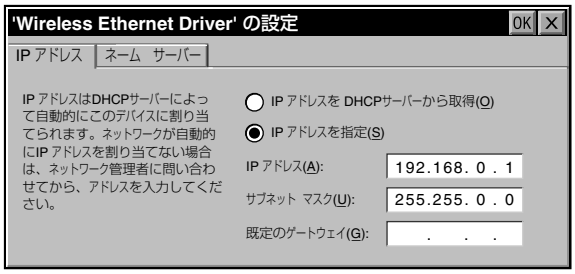
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする。
「ネットワーク構成」ダイアログボックスが表示されます。

* ［オンボード LAN］タブはVPL-PX15、VPL-FX50の場合に表示されます。

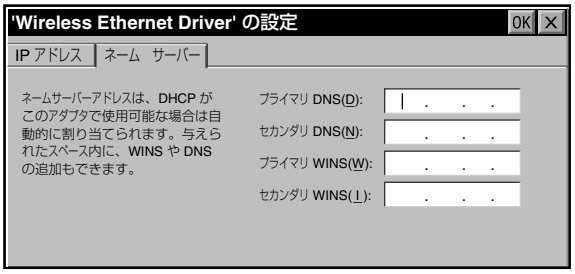
3 ネットワークのタイプに応じてドライバー名を選び、［プロパティ］をクリックする。
次のドライバー名のいずれかを選びます。
［NE2000 Compatible Ethernet Driver］：推奨のNE2000互換LAN PCカードをご使用の場合
［Wireless Ethernet Driver］：指定のワイヤレスLAN PCカードをご使用の場合
［On-board LAN］：ETHER端子をご使用の場合（VPL-PX15、VPL-FX50の場合に表示されます。）

選択したドライバーの「設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 ［IPアドレスを指定］ボタンが選択されていることを確認して、必要な項目を設定する。
工場出荷時［IPアドレス］は「192.168.0.1」に、［サブネットマスク］は「255.255.0.0.」に設定されています。

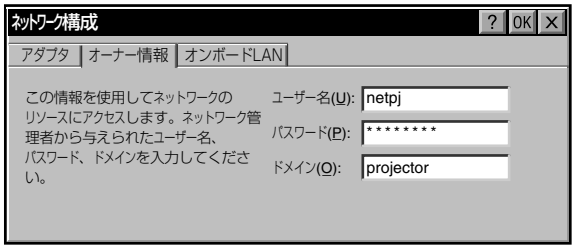


5 ［ネームサーバー］タブをクリックして、ネームサーバーのダイアログボックスを表示し、必要な項目を設定する。



6 ［OK］ボタンをクリックする。
手順**2**の画面に戻ります。

7 必要に応じて、［オーナー情報］タブをクリックし、必要な項目を設定する。



8 ［OK］ボタンをクリックする。

VPL-PX15、VPL-FX50でワイヤレスLAN PCカードをご使用になるときは

手順 **3** で［Wireless Ethernet Dirver］を選択した場合は、手順**6**のあとに次の操作を行ってください。

1 ［オンボード LAN］タブをクリックする。
2 ［オンボード LANを有効にする］のチェックをはずす。
3 ［OK］ボタンをクリックする。
手順 **2** の画面に戻ります。

ご注意

いったんオンボード LANを無効にすると、アダプターのドライバー一覧より［On-board LAN］表示は消えます。オンボード LANを使用する場合は、［オンボード LANを有効にする］をチェックし、［On-board LAN］を表示させてから設定してください。

ワイヤレスLANの設定をする

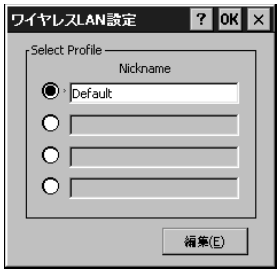
ワイヤレスLAN PCカードをご使用の場合は、さらに以下の設定が必要です。

アクセスポイントを使用する場合

接続するアクセスポイントの設定をします。

1 「Network Projector」画面で、［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［ワイヤレスLAN］アイコンをダブルクリックする。
「ワイヤレスLAN設定」ダイアログボックスが表示されます。



3 ［編集］ボタンをクリックする。
「アクセスポイント設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 ［Nickname］（ニックネーム）を設定する。
ニックネームはアクセスポイントを区別するための名称です。半角英数字と記号（ASCII文字）で、最大32文字を入力できます。アクセスポイントが複数ある場合は、他のアクセスポイントとは異なる名称にしてください。

5 ［Access Point ID］（アクセスポイントID）を入力する。
接続するアクセスポイントIDを入力します。

6 ［Encryption Key］（無線暗号キー）を入力する。
アクセスポイントでEncryption Key（無線暗号キー）を設定し、アクティブにしてある場合、入力します。

7 [OK]ボタンをクリックする。
「ワイヤレスLAN設定」ダイアログボックスに戻ります。

8 接続するアクセスポイントのNicknameを選び、[OK]ボタンをクリックする。
選択したアクセスポイントに接続されます。

設定してあるアクセスポイントに接続するときは

本機では、アクセスポイントが複数ある場合、異なるニックネームを4個まで設定しておくことができます。すでに設定してあるアクセスポイントに接続する場合は、「ワイヤレスLAN設定」ダイアログボックスで該当のニックネームのラジオボタンを選び、[OK]ボタンをクリックします。選択したアクセスポイントに接続されます。

ご注意

プロジェクターに使用するワイヤレスLANカードとアクセスポイントが同じメーカーではない場合、[Encryption Key]の入力のしかたが異なることがあります。無線暗号キーが16進数表示となる場合は、16進数のほうを入力してください。

LANに接続できないときは

アクセスポイントのチャンネルが12～14に設定されている場合は1～11のいずれかのチャンネルに設定し直してください。

ご注意

- 指定／推奨のソニーのワイヤレスLAN PCカードを使用して不具合が生じた場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- ワイヤレスLAN PCカードとアクセスポイントのメーカーが異なる場合、暗号化をすると正しく動作しないことがあります。

Peer to Peer（アドホック）モードの場合

アクセスポイントを使用せずに、本機とコンピューターのみでワイヤレスLANに接続するときは、本機にのみ下記の設定を行います。

1 「アクセスポイントを使用する場合」の手順**1**～**4**を行い、「アクセスポイント設定」ダイアログボックスでこのモードのNickname（ニックネーム）を設定する。

2 [Peer to Peer]（ピアトゥピア）をチェックして選ぶ。

3 [Access Point ID]（アクセスポイントID）を入力する。
任意のIDを入力します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。

4 必要に応じて、[Encryption Key]（無線暗号キー）を入力する。

5 [OK]ボタンをクリックする。
「ワイヤレスLAN設定」ダイアログボックスに戻ります。

6 手順**1**で設定したNicknameを選び、[OK]ボタンをクリックする。
Peer to Peerモードになります。

接続するコンピューターにも同じAccess Point IDとEncryption Key、任意のNicknameを設定する必要があります。詳しくは、コンピューターに挿入しているワイヤレスLAN PCカードの取扱説明書をご覧ください。

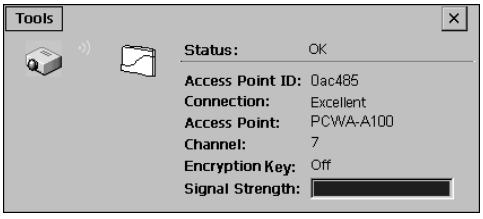
ご注意

・本機とコンピューターに挿入するワイヤレスLAN PCカードは、同じメーカーのものをご使用ください。
・接続するコンピューター側ですでにPeer to Peer（アドホック）の設定がされている場合は、上記手順**1**、**3**～**6**を行ってコンピューターと同じAccess Point IDとEncryption Key、任意のNicknameを設定してください。
・Peer to Peer（アドホック）は、本機とコンピューターのうち1台にのみ設定を行ってください。
・Peer to Peer（アドホック）モードの場合は、本機とコンピューターそれぞれに別途IPアドレス、サブネットマスクの設定が必要です。

アクセスポイントとの接続状態を確認する

本機とアクセスポイントが正しく接続されているか確認することができます。

1 「Network Projector」画面のタスクバー上の(受信レベル表示）アイコンをダブルクリックする。
アクセスポイントとの接続状態を表示する画面が出ます。



2 次の項目を確認する。
・Status：本機がワイヤレスLAN PCカードを正しく認識している場合は[OK]と表示されます。
・Access Point ID：アクセスポイントID名
・Connection：アクセスポイントとの接続の状態
・Access Point：接続しているアクセスポイントの情報
・Channel：使用しているチャンネル
・Encryption Key：アクセスポイントで設定した無線暗号キーの有無
・Signal Strength：本機とアクセスポイントとの通信レベル

Access Point IDが「searching」（検索中）と表示されたときは

Nickname、Access Point IDまたはEncryption Keyが正しいか確認してください。
[Tools]（ツール）メニューから[設定]を選ぶと「ワイヤレスLAN設定」ダイアログボックスが表示されます。正しくない場合は、「ワイヤレスLANの設定をする」（10 (JP)ページ）の手順**3**～**8**に従って正しく設定してください。

日付、時刻の設定をする

プロジェクターの「Network Projector」画面のタスクバーに表示される時計の設定をします。

1 「Network Projector」画面で［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［日付／時刻］アイコンをダブルクリックする。

3 日付と時刻の設定をする。

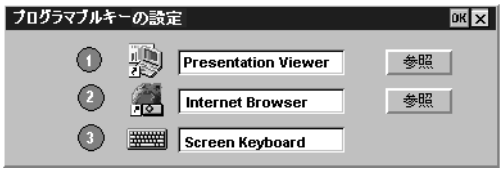
リモートコマンダーのFUNCTIONキーにアプリケーションを登録する（VPL-PX15、VPL-FX50）

付属のリモートコマンダーのFUNCTION（ファンクション）1、2キーにあらかじめお好きなアプリケーションを登録しておくと、これらのキーを押すだけで、アプリケーションを起動させることができます。FUNCTION3キーには、工場出荷時スクリーンキーボードが登録されています。登録を変更したり、取り消すことはできません。

◆ スクリーンキーボードについて詳しくは、29 (JP)ページをご覧ください。

1 「Network Projector」画面で［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［プログラマブルキー］アイコンをダブルクリックする。
「プログラマブルキーの設定」ダイアログボックスが表示されます。



3 登録したいキー（1または2）の［参照］ボタンをクリックし、アプリケーション一覧から好きなアプリケーションをクリックする。

4 もう一方のキーにも登録したい場合は、手順 **3** を繰り返す。

5 OKボタンをクリックする。

コンピューターからセットアップする

ご注意

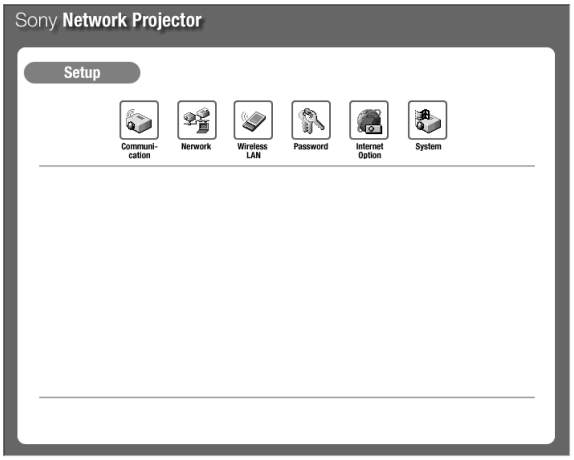
- IPアドレスが工場出荷時のままの場合、コンピューターでプロジェクターのセットアップを行うときは、設定を行うコンピューターだけが本機と接続されている環境で行ってください。
- コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、プロジェクターのIPアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
- ブラウザのバージョンによっては、パスワードを受け付けないことがあります。その場合は、ブラウザを起動し直してください。

セットアップの画面を表示する

1 コンピューターのブラウザ（Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7x）を起動する。

2 ブラウザのアドレスを「http ://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターのIPアドレス）/setup」と入力する。
IPアドレスを工場出荷時のまま変更していない場合は、「http ://192.168.0.1/setup」（LAN PCカードご使用の場合）または「http ://192.168.0.2/setup」（ETHER端子ご使用の場合）を入力してください。
IPアドレスが0で始まる場合は、0をとって入力してください。
例 : 192.168.000.001 → 192.168.0.1
［パスワード入力］のダイアログボックスが表示されます。

3 Administrator（アドミニストレーター）の［Name］（名前）と［Password］（パスワード）を入力する。
パスワードの設定を工場出荷時のまま変更していない場合は、［Name］に［root］と入力してください。
「Setup」（セットアップ）画面が表示されます。



パスワードを設定する

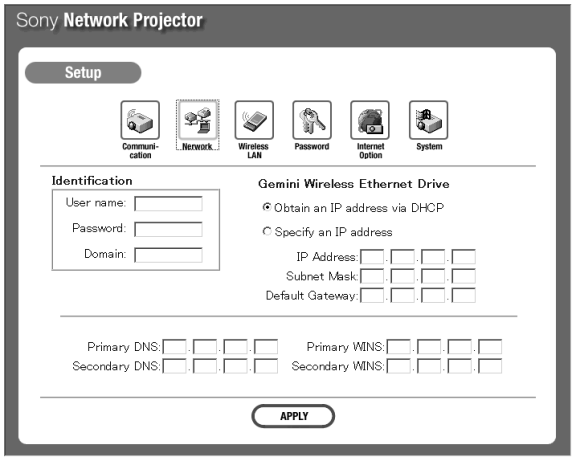
1 「Setup」（セットアップ）画面で［Password］（パスワード）アイコンをクリックする。
パスワード設定のダイアログボックスが表示されます。
設定のしかたは、プロジェクターから設定する場合と同じです。

◆「パスワードを設定する」(8 (JP)ページ）をご覧ください。

2 ［APPLY］（適用）ボタンをクリックする。

ネットワークの設定をする

1 「Setup」（セットアップ）画面で［Network］（ネットワーク）アイコンをクリックする。
ネットワーク設定のダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスで、9 (JP) ページの「ネットワークの設定をする」の手順**4**～**7**の項目を設定できます。

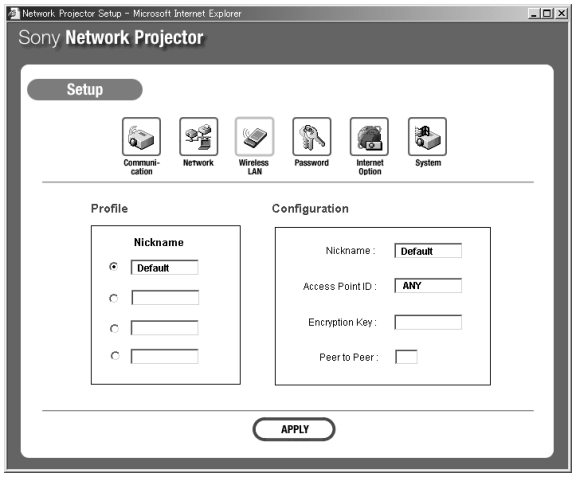
◆ 詳しくは、「ネットワークの設定をする」(9 (JP) ページ）をご覧ください。

2 ［APPLY］（適用）ボタンをクリックする。
リスタート（再起動）の画面が出ます。

3 ［RESTART］（再起動）ボタンをクリックする。
プロジェクターの電源が入っていて、「Network Projector」画面が出ていた場合は約10秒間画面が消え、その後再起動します。
再起動を行わないとネットワークの設定が本機の動作に反映されません。

ワイヤレスLANの設定

1 「Setup」（セットアップ）画面で［Wireless LAN］（ワイヤレスLAN）アイコンをクリックする。
Nickname（ニックネーム）、Access Point ID（アクセスポイントID）、Encryption Key（無線暗号キー）およびPeer to Peer（ピアトゥピア）を設定するダイアログボックスが表示されます。
設定のしかたは、プロジェクターから設定する場合と同じです。



◆「ワイヤレスLANの設定をするーアクセスポイントを使用する場合／Peer to Peer（アドホック）モードの場合」(10 (JP)、11(JP)ページ）をご覧ください。

2 ［APPLY］（適用）ボタンをクリックする。

基本操作の流れ

ここでは、ネットワークを介して行う操作や本機に搭載されているネットワークの機能を使った操作の流れを簡単に説明します。これらの操作には、大きく分けて、コンピューターで行う操作と、本機で行う操作の2つの流れがあります。詳しくは、(　) 内のページをご覧ください。

操作の条件

- LANに接続されている。
- プロジェクターとコンピューターの電源が入っている。
- 設置設定メニューの「入力B機能」(VPL-PX15) または「入力C機能」(VPL-FX50) が「オン」に設定されている。
- INPUT C／RS-232C／RS-422A切り換えスイッチが「INPUT C」に設定されている。(VPL-FE110J)
- 本機の入力が「INPUT B」(入力B) (VPL-PX15) または「INPUT C」(入力C) (VPL-FX50、VPL-FE110J) になっている。

コンピューターで操作する

PowerPointのファイルでプレゼンテーションを実行する

PowerPoint のファイルを使ったプレゼンテーションをコンピューターの操作で行います。

コンピューターのブラウザを起動し、プロジェクターにアクセスする　(19ページ)

Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7xを起動し、プロジェクターのIPアドレスを入力します。

↓

PRESENTATION VIEWERを選ぶ　(20ページ)

「アプリケーション選択」画面で［PRESENTATION VIEWER］のアイコンを選択します。

↓

プレゼンテーションを行うファイルを選ぶ　(20ページ)

目的のファイルのある場所（コンピューターかプロジェクターか）を選んでから、目的のPowerPointファイルを選びます。Slide Viewerが起動します。

↓

スライドショーの設定をする　(21ページ)

表示するスライドの範囲や切り替えかたを指定します。

↓

スライドショーの実行

Excelのファイルをプロジェクターに投影する

コンピューターを操作してExcelのファイルをプロジェクターに投影できます。

コンピューターのブラウザを起動し、プロジェクターにアクセスする　(19ページ)

Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7xを起動し、プロジェクターのIPアドレスを入力します。

↓

PRESENTATION VIEWERを選ぶ　(23ページ)

「アプリケーション選択」画面で［PRESENTATION VIEWER］のアイコンを選択します。

↓

投影するファイルを選ぶ　(23ページ)

目的のファイルのある場所（コンピューターかプロジェクターか）を選んでから、目的のExcelファイルを選びます。Worksheet Viewerが起動します。

↓

ファイルの投影

コンピューターに保存されている画像ファイルをプロジェクターに投影する

コンピューターを操作して画像ファイルをプロジェクターに投影できます。

コンピューターのブラウザを起動し、プロジェクターにアクセスする （19ページ）

Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7xを起動し、プロジェクターのIPアドレスを入力します。

プロジェクターのImage Viewerを選ぶ （23ページ）

「アプリケーション選択」画面で［IMAGE VIEWER］のアイコンを選択します。

投影するファイルのある場所を選ぶ （23ページ）

「ファイルの場所」画面で「COMPUTER」（コンピューター）を選択します。Image Viewerが起動します。

投影するファイルを選ぶ （24ページ）

［参照...］から目的の画像ファイルを選びます。

画像の投影

プロジェクターに保存されている画像ファイルでスライドショーを実行する

コンピューターの操作で、プロジェクターに保存されている画像ファイルの投影や、本機であらかじめ設定してあるファイル（.SHOファイル）のスライドショーを実行します。

コンピューターのブラウザを起動し、プロジェクターにアクセスする （19ページ）

Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7xを起動し、プロジェクターのIPアドレスを入力します。

プロジェクターのImage Viewerを選ぶ （25ページ）

「アプリケーション選択」画面で［IMAGE VIEWER］のアイコンを選択します。

投影するファイルのある場所を選ぶ （25ページ）

「ファイルの場所」画面で「PROJECTOR」（プロジェクター）を選択します。Image Viewerが起動します。

投影するフォルダーを選ぶ （25ページ）

「フォルダー/.SHOファイル選択」画面でフォルダーを選びます。

画像の投影

スライドショーを行うファイルを選ぶ （25ページ）

「フォルダー/.SHOファイル選択」画面でSHOファイルを選びます。

スライドショーの設定をする （25ページ）

表示するスライドの切り替えかたを指定します。

スライドショーの実行

File Manager（ファイルマネージャー）でファイルを管理する

プロジェクターのストレージへのファイルの追加または削除を行います。

コンピューターのブラウザを起動し、プロジェクターにアクセスする （19ページ）

Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7xを起動し、プロジェクターのIPアドレスを入力します。

↓

File Managerを起動する （26ページ）

「アプリケーション選択」画面で［FILE MANAGER］のアイコンを選択します。

↓

ファイルを追加する （26ページ）

追加したいファイルをコンピューターから選びます。

↓

追加を実行

ファイルを削除する （26ページ）

プロジェクターのストレージから削除したいファイルを選びます。

↓

削除を実行

プロジェクターをコントロールする

プロジェクターの各種調整や設定を行います。

コンピューターのブラウザを起動し、プロジェクターにアクセスする （19ページ）

Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7xを起動し、プロジェクターのIPアドレスを入力します。

↓

コントロール画面を表示する （27ページ）

［MORE...］ボタンをクリックします。

↓

プロジェクターの各種調整、設定を行う

プロジェクターで操作する

コンピューターに保存されているPowerPointのファイルでプレゼンテーションを実行する

LAN上のコンピューターに保存されているファイルを、プロジェクターを操作して呼び出し、プレゼンテーションを実行します。

マイプロジェクターを起動する （31ページ）

［マイプロジェクター］のアイコンをダブルクリックします。

↓

プレゼンテーションを行うファイルを選ぶ （31ページ）

目的のファイルのあるLAN上のコンピューター名を入力し、PowerPointのファイルを選びます。Slide Viewerが起動し、選んだファイルがスライド表示されます。

↓

スライドショーの設定をする （31ページ）

表示するスライドの範囲や切り替えかたを指定します。

↓

スライドショーの実行

プロジェクターまたはメモリーカードに保存されているPowerPointのファイルでプレゼンテーションを実行する

プロジェクターのストレージまたはメモリーカードに保存されたPowerPointのファイルを、プロジェクターを操作して呼び出し、プレゼンテーションを実行します。

Presentation Viewerを起動する （31ページ）

［Presentation Viewer］のアイコンをダブルクリックします。

プレゼンテーションを行うファイルを選ぶ （31ページ）

「ファイルを開く」ダイアログボックスから目的のPowerPointのファイルを選びます。Slide Viewerが起動し、選んだファイルがスライド表示されます。

スライドショーの設定をする （31ページ）

表示するスライドの範囲や切り替えかたを指定します。

スライドショーの実行

コンピューターに保存されているExcelのファイルを投影する

LAN上のコンピューターに保存されているExcelのファイルを、プロジェクターを操作して呼び出し、プロジェクターに投影できます。

マイプロジェクターを起動する （32ページ）

［マイプロジェクター］のアイコンをダブルクリックします。

投影したいファイルを選ぶ （32ページ）

目的のファイルのあるLAN上のコンピューター名を入力し、Excelのファイルを選びます。Worksheet Viewerが起動し、選んだファイルがプロジェクターに表示されます。

プロジェクターまたはメモリーカードに保存されているExcelのファイルを投影する

プロジェクターのストレージまたはメモリーカードに保存されているExcelのファイルを投影できます。

Presentation Viewerを起動する （32ページ）

［Presentation Viewer］のアイコンをダブルクリックします。

投影したいファイルを選ぶ （32ページ）

「ファイルを開く」ダイアログボックスから目的のExcelのファイルを選びます。Worksheet Viewerが起動し、選んだファイルがプロジェクターに表示されます。

プロジェクターまたはメモリーカードに保存されている画像ファイルでスライドショーを実行する

プロジェクターのストレージまたはメモリーカードに保存されている画像ファイルを、プロジェクターの操作で呼び出し、スライドショーを実行します。

Image Viewerを起動する （33ページ）

［Image Viewer］のアイコンをダブルクリックします。

↓

スライドショーを行うファイルを選ぶ （33ページ）

スクリーンの左側のフォルダー一覧から、目的のファイルのあるフォルダーをクリックします。フォルダー内にあるスライドが一覧表示されます。

↓

表示したいスライドを選ぶ （34ページ）

表示したいスライドをすべて選びます。一覧表示されているスライドすべてを選択するときは、［スライドショー］メニューの［すべて選択］をクリックします。

↓

スライドの設定をする （34ページ）

表示する1枚1枚のスライドについてズームや回転などの設定をします。

↓

スライドショーの実行

自動または手動で切り換えるかを選び、スライドショーを実行します。

インターネットに接続する

Internet Browserを起動する （35ページ）

［Internet Browser］のアイコンをダブルクリックします。

コンピューターで操作する

はじめに

操作の前に

■ VPL-PX15の場合

設置設定メニューの「入力B機能」が「オン」に設定されていることを確認してください。

■ VPL-FX50の場合

設置設定メニューの「入力C機能」が「オン」に設定されていることを確認してください。

■ VPL-FE110Jの場合

本機後面の INPUT C/RS-232C/RS-422A切り換えスイッチが「INPUT C」の位置に設定されているか確認してください。

ブラウザを起動して本機にアクセスする

コンピューターから本機を操作するには、まずコンピューターのブラウザ（Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7x）を起動して本機にアクセスします。

1 本機の電源を入れる。

2 入力を「INPUT B」（VPL-PX15）または「INPUT C」（VPL-FX50、VPL-FE110J）にする。

3 コンピューターの電源を入れる。

4 コンピューターのブラウザを起動する。

5 本機のIPアドレスを入力する。
「http ://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターのIPアドレス）」と入力します。
IPアドレスは、本機の「Network Projector」（ネットワークプロジェクター）画面のタスクバーに表示されています。
「アプリケーション選択」画面が表示されます。

本機にパスワードを設定してある場合、パスワード入力画面が表示されます。ユーザーの[名前]と[パスワード]を入力します。

◆「アプリケーション選択」画面については、「画面各部の名前と機能」をご覧ください。

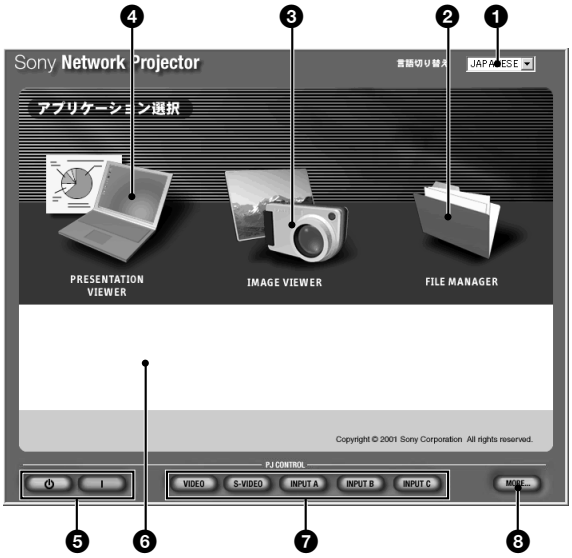
このあとの操作は、20 (JP) ～28 (JP) ページをご覧ください。

ご注意

- 複数台のコンピューターから本機に同時にアクセスしないでください。
- コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、プロジェクターのIPアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
- ブラウザのバージョンによっては、パスワードを受け付けないことがあります。その場合は、ブラウザを起動し直してください。
- アプリケーションを終了する前にコンピューターのブラウザを閉じた場合、30秒後にプロジェクターは自動的に「Network Projector」画面に戻ります。再度ブラウザを起動し直してください。

画面各部の名前と機能

プロジェクターにアクセスすると「アプリケーション選択」画面が開きます。画面の各部の名前と機能は以下のとおりです。



❶ 言語選択ボタン

▼をクリックすると言語一覧のドロップダウンリストが表示されます。各画面下に表示されるヘルプの言語を、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語から選べます。

❷ FILE MANAGER（ファイルマネージャー）アイコン

プロジェクター内のファイル管理を行うFile Managerを起動します。

❸ IMAGE VIEWER（イメージビューワー）アイコン

Image Viewerを起動し画像ファイルを投影するための画面を表示します。

（続く）

❹ PRESENTATION VIEWER（プレゼンテーションビューワー）アイコン

PowerPointファイルのビューワー（Slide Viewer）またはExcelファイルのビューワー（Worksheet Viewer）を起動するための選択画面を表示します。

❺ I/⏻（電源オン／スタンバイ）ボタン

プロジェクターの電源を入れたり、スタンバイ状態にします。

❻ ヘルプ

各選択項目にポインタを合わせるとその機能説明が表示されます。このあとの画面でも、この場所に表示されるヘルプをご覧になると簡単に操作できます。

❼ 入力選択ボタン

プロジェクターの入力を切り換えます。
INPUT Cボタンは VPL-PX15にはありません。

❽ MORE...（詳細）ボタン

プロジェクターの各種設定ができます。

Slide Viewer（スライドビューワー）でプレゼンテーションを行う

会議室などのプロジェクターでPowerPointのファイルを表示してプレゼンテーションを行うとき、会議室内でスライドショーを見ながら、または出席者からは見えない場所でコンピューターを操作して、プレゼンテーションをコントロールすることができます。

Slide Viewerでできること

- PowerPointのファイルのスライドショーを実行できます。
- 目的別スライドショーの表示ができます。
- 発表者用のノートの表示／非表示を選択できます。
- スライドの表示／非表示を選択できます。
- スライドの切り替えのタイミングを選べます。自動的に何秒間隔で切り替えるか、またはマウスをクリックして切り替えるかを選びます。

ご注意

- ネットワークの環境によってファイルの転送などに時間がかかることがあります。
- 本機のSlide Viewerは簡易ビューワー機能のため、PowerPointの機能のうち一部サポートされないものもあります。プレゼンテーションを始める前に、実際にプロジェクターに投影して確認することをおすすめします。
- 日本語のフォントはすべてゴシック体になります。
- アルファベットは、以下のフォントがサポートされています。
  Arial、Bookman Old Style、Comic Sans MS、Impact、Symbol、Tahoma、Times New Roman、Wingdings

プレゼンテーションを実行する

1 「アプリケーション選択」画面で［PRESENTATION VIEWER］のアイコンをクリックする。
「ファイルの場所」画面が表示されます。

2 プレゼンテーションを行いたいファイルのある場所をクリックして選ぶ。
［COMPUTER］（コンピューター）：コンピューターに保存されているファイル
［PROJECTOR］（プロジェクター）：プロジェクターに保存されているファイル

「ファイル選択」画面が表示されます。

3 プレゼンテーションを行いたいファイルを選ぶ。

手順2で［COMPUTER］を選んだとき

［参照...］をクリックします。ファイル選択の画面が表示されるので、プレゼンテーションを行いたいPowerPointファイル（.pptまたは.ppsファイル）をクリックして選びます。テキストボックスにファイル名を入力しても選択できます。選んだファイル名がテキストボックスに表示されます。

［戻る］ボタン
クリックするとひとつ前の画面に戻ります。

［ホーム］ボタン
クリックすると「アプリケーション選択」画面に戻ります。

［パスワード］設定ボックス

選んだファイルをプロジェクターに保存したい場合は

[プロジェクターに保存] にチェックを付けます。

このとき、必要に応じてこのファイルにパスワードを設定することができます。[パスワード] テキストボックスにパスワードを設定します。設定すると、以降このパスワードを入力しないとファイルを開くことができなくなります。

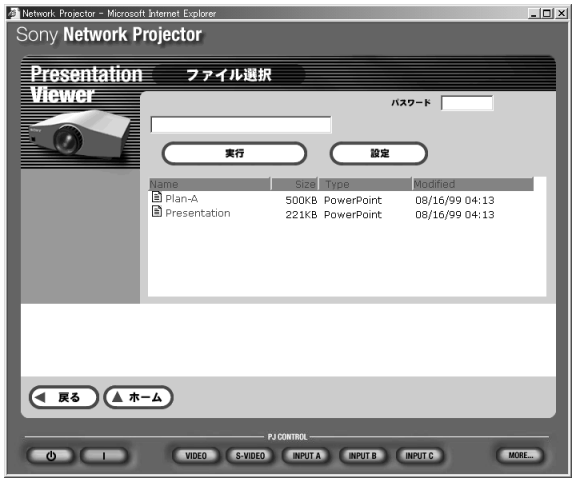
ファイルの保存は、[実行] ボタンまたは [設定] ボタンを押したときに行われます。

ご注意

File Managerでファイルを削除するときは、ファイルにパスワードを設定していても、パスワードの入力なしで削除できます。

手順2で [PROJECTOR] を選んだとき

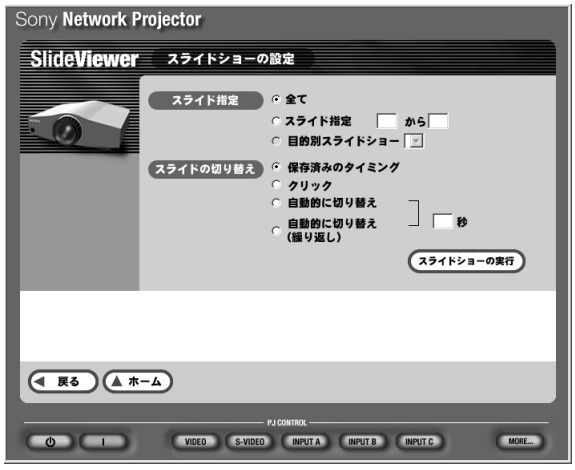
プロジェクターのストレージまたはメモリーカード (VPL-PX15、VPL-FX50) のファイルの一覧リストが表示されます。プレゼンテーションを行いたいPowerPointのファイルをクリックして選びます。選んだファイル名がテキストボックスに表示されます。



4 必要に応じて、スライドショーの設定をする。

「ファイル選択」画面で [設定] をクリックします。

「スライドショーの設定」画面が表示され、スライドショーを実行するときのオプション設定や、選択したスライドの切り替え方法を選ぶことができます。それぞれの項目にポインタを合わせると、その項目の説明が画面下に表示されます。



ご注意

コンピューター上のファイルでプレゼンテーションを行う場合、[設定]をクリックするとファイルがプロジェクターに転送されます。「スライドショーの設定」画面が出るまでに多少時間がかかります。転送にかかる時間はファイルの容量により異なります。転送中はプロジェクターの画面にメッセージが表示されます。

5 「ファイル選択」画面の [実行] ボタン、または「スライドショーの設定」画面の [スライドショーの実行] ボタンをクリックする。

プレゼンテーションがスタートします。

ご注意

コンピューター上のファイルでプレゼンテーションを行う場合、[実行] ボタンをクリックすると、ファイルがプロジェクターに転送されます。このためプロジェクターにスライドが表示されるまでに多少時間がかかります。転送にかかる時間はファイルの容量により異なります。転送中は画面にメッセージが表示されます。

スライドショーを中止するには

[スライドショーの終了]ボタンをクリックする。(22(JP)ページ参照)

「ファイル選択」画面に戻ります。

ご注意

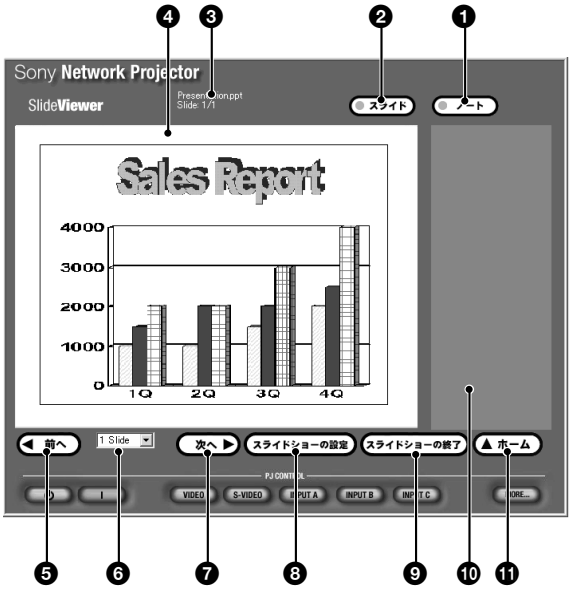
[実行] ボタンまたは [設定] ボタンを押したとき、「プロジェクターのメモリーがいっぱいです。」の表示が出たら、File Manager(ファイルマネージャー) でプロジェクター内のファイルを削除してから(26 (JP) ページ)、再度スライドショーを実行してください。また、「ファイルが大きすぎます。」の表示が出たら、ファイルの容量を減らして再度実行してください。

メモ：

PowerPointの [ツール] メニューから、[オプション] ー [保存] の [高速保存]のチェックをはずしても容量を減らせることがあります。

プレゼンテーション実行中の画面について

プレゼンテーション実行中は次の画面がコンピューター上に表示されます。



❶ ［ノート］ボタン

発表者用のノートの表示／非表示を選択できます。

❷ ［スライド］ボタン

プロジェクターで表示しているスライドショーのコンピューター画面上への表示／非表示を選択します。

❸ ファイル名／スライド番号

ファイル名と、何枚目のスライドが表示されているかを示します。

❹ スライド

現在実行中のスライドを表示します。プロジェクターのスクリーンにはこのスライドだけが表示されます。

❺ ［前へ］ボタン

プレゼンテーション実行中に、ひとつ前のスライドまたはアニメーション設定に戻りたいときクリックします。

❻ スライドテキストボックス

▼ボタンをクリックすると、スライド一覧のドロップダウンリストが表示されます。スライド名を選択すると、すぐにそのスライドを表示できます。

❼ ［次へ］ボタン

プレゼンテーション実行中に、すぐに次のスライドまたはアニメーションを表示したいときクリックします。

❽ ［スライドショーの設定］ボタン

スライドショーの設定画面に戻ります。

❾ ［スライドショーの終了］ボタン

実行中のスライドショーを終了または中断して、「ファイル選択」画面に戻ります。

❿ ノート

発表者用のノート表示ができます。このノートはプロジェクターのスクリーンには表示されません。

⓫ ［ホーム］ボタン

「アプリケーション選択」画面に戻ります。

Worksheet Viewer（ワークシートビューワー）でExcelのファイルを投影する

コンピューターの操作でExcelのファイルをプロジェクターのスクリーンに投影することができます。

Worksheet Viewerでできること

・Excelのワークシートをプロジェクターのスクリーンいっぱいに投影できます。
・プロジェクターに投影したワークシートの表示範囲を変えることができます。
・ワークシートを拡大、縮小して表示できます。

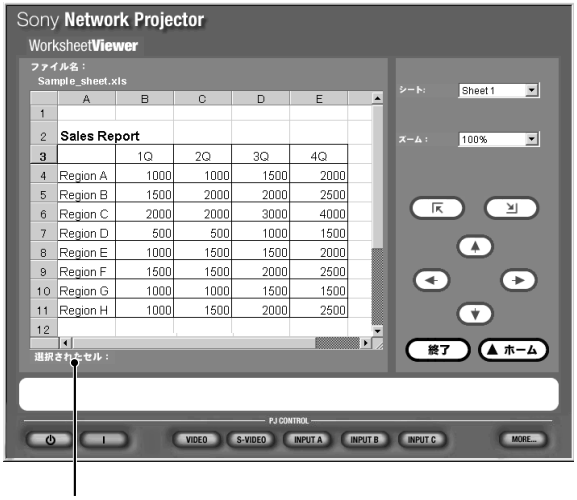
ご注意

本機のWorksheet Viewerは簡易ビューワー機能のため、分割機能など一部サポートされないものもあります。

Excelのファイルをプロジェクターに投影する

1 「Slide Viewer（スライドビューワー）でプレゼンテーションを行う ープレゼンテーションを実行する」(20(JP)ページ）の手順**1**～**3**を行い、手順**3**でExcelのファイル（.xlsファイル）を選択する。

2 [実行]ボタンをクリックする。
Worksheet Viewerが起動します。
選んだファイルのワークシートがプロジェクターに表示されます。



現在選択しているセル

画面右のボタンで投影中のワークシートを拡大、縮小したり、プロジェクターに表示される画面をスクロールしたり、表示範囲を変えることができます。それぞれのボタンや項目にポインタを合わせると、その説明が画面下に表示されます。

ご注意

・コンピューターに表示される部分とプロジェクターに投影される部分は異なります。
・コンピューターの画面でセルを選んだとき、プロジェクターの投影範囲内のセルの場合はそのセルが選ばれます。投影範囲外のセルを選んだ場合は、そのセルを中心とした範囲が投影されます。

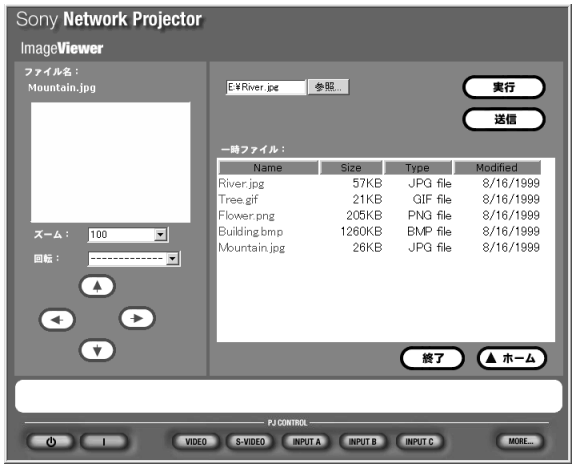
Image Viewer（イメージビューワー）で画像をプロジェクターに投影する

LAN上のコンピューターにある画像ファイルや、プロジェクターのストレージや本機に装着したメモリーカード内の画像ファイルをコンピューターの操作でプロジェクターに表示させることができます。また、すでにプロジェクターで設定してあるスライドショー設定ファイル（.SHOファイル）を使ってプレゼンテーションを実行することができます。

コンピューター上にある画像ファイルをプロジェクターに投影する

1 「アプリケーション選択」画面で［IMAGE VIEWER］のアイコンをクリックする。
「ファイルの場所」画面が表示されます。

2 [COMPUTER]（コンピューター）をクリックする。
本機のImage Viewerが起動し、「Image Viewer」画面が表示されます。



それぞれの項目にポインタを合わせると、その項目の説明が画面下に表示されます。

(続く)

3 投影したい画像ファイルを選ぶ。
[参照...]をクリックし、表示したいファイルをダブルクリックして選びます。選んだファイル名がテキストボックスに表示されます。

4 [実行] ボタンをクリックする。
選んだ画像がプロジェクターに全画面表示されます。

ご注意

UXGAなどサイズの大きい画像の場合、メモリーの制約から開けないことがあります。その場合は、縮少するなどしてサイズを小さくしてください。

プロジェクターへの転送時間をセーブするには

[実行]ボタンをクリックすると、ファイルがプロジェクターに転送されます。このためプロジェクターに画像が表示されるまでに多少時間がかかります。
ボタンをクリックしてすぐに表示させる場合は、あらかじめ、表示したい画像ファイルをプロジェクターに送信しておきます。

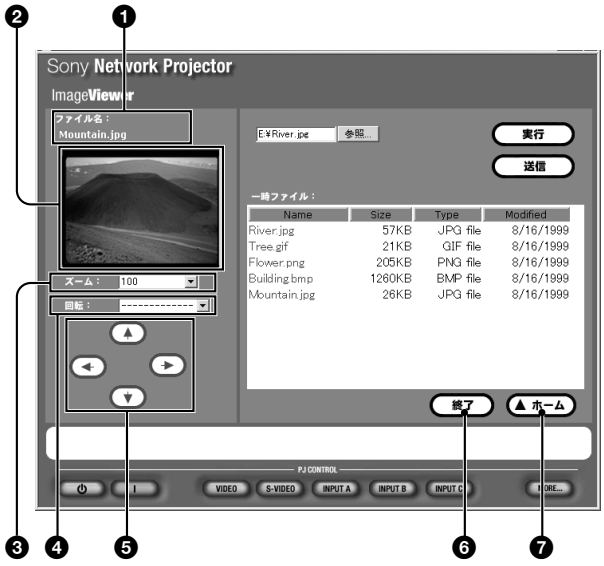
1 「画像をプロジェクターに投影する」の手順**3**のあと、[送信]ボタンをクリックする。
「一時ファイル」一覧に選んだファイル名が表示され、ファイルがプロジェクターに転送されます。
この手順を繰り返し、表示したい画像ファイルをすべて「一時ファイル」に表示させます。

2 「一時ファイル」一覧のファイル名をダブルクリックする。
選んだ画像がプロジェクターに全画面表示されます。

ご注意

「一時ファイル」のメモリーがいっぱいになると、自動的に最初に送ったファイルから消去されます。

Image Viewer実行中の画面について



❶ ファイル名
プロジェクターに投影されている画像ファイル名が表示されます。

❷ スライド
[実行]ボタンをクリックするか「一時ファイル」のファイル名をダブルクリックすると、現在プロジェクターに投影されている画像が表示されます。

❸ [ズーム] テキストボックス
▼ボタンをクリックして、ドロップダウンリストから表示中の画像の拡大、縮小率を選びます。

❹ [回転] テキストボックス
▼ボタンをクリックして、ドロップダウンリストから表示中の画像を回転させる角度を選びます。

ご注意

UXGAなどサイズの大きい画像の場合、メモリーの制約から回転させられないことがあります。その場合は、縮少するなどしてサイズを小さくしてください。

❺ スクロールボタン
表示中の画像を拡大して画面に入りきらない場合など、上下左右にスクロールさせて表示範囲を変えることができます。

❻ [終了] ボタン
全画面表示を終了または中断して「ファイルの場所」画面に戻ります。

❼ [ホーム] ボタン
「アプリケーション選択」画面に戻ります。

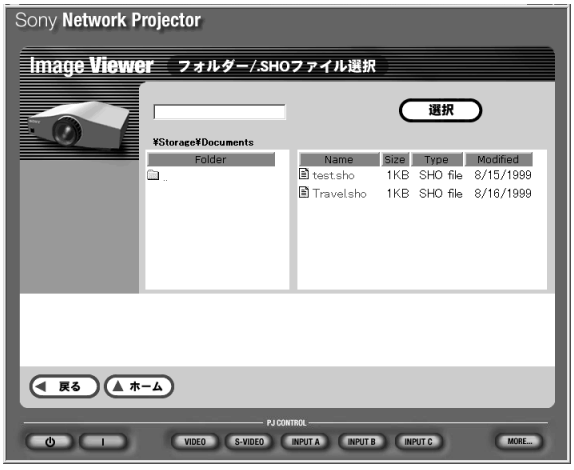
ご注意

[終了]ボタンまたは[ホーム]ボタンをクリックしてこの画面を抜けると、「一時ファイル」に表示されているファイルは自動的に消去されます。プロジェクターに保存する場合は、File Manager(ファイルマネージャー)(26(JP)ページ)でファイルの追加を行ってください。

プロジェクターに保存された画像ファイルでプレゼンテーションを実行する

1 「アプリケーション選択」画面で[IMAGE VIEWER]のアイコンをクリックする。
「ファイルの場所」画面が表示されます。

2 [PROJECTOR](プロジェクター)をクリックする。
本機のImage Viewerが起動し、「フォルダー/.SHOファイル選択」画面が表示されます。



3 画面左のフォルダー一覧から目的のフォルダーまたはスライドショー設定ファイル(.SHOファイル)のあるフォルダーをクリックする。
画面右に選択したフォルダー内の内容が一覧表示されます。

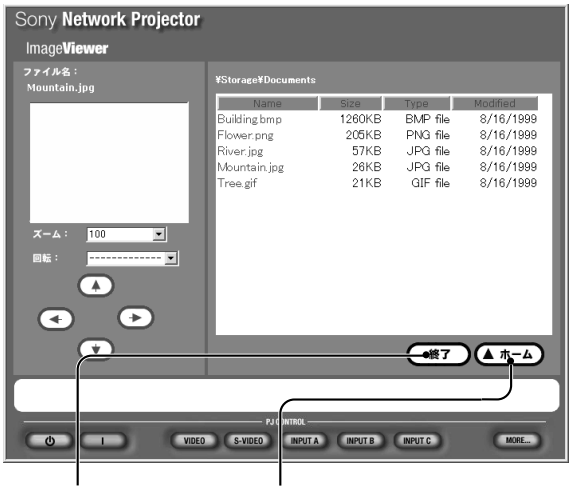
◆ .SHOファイルについて詳しくは、34 (JP)ページの「スライドショーの設定を保存する」をご覧ください。

4 目的のフォルダーまたは.SHOファイルを選び、[選択]ボタンをクリックする。
「Image Viewer」画面が表示されます。

5 投影したいファイルを選ぶ。

手順4でフォルダーを選んだ場合

選択したフォルダー内の画像ファイル名が画面右に一覧表示されます。



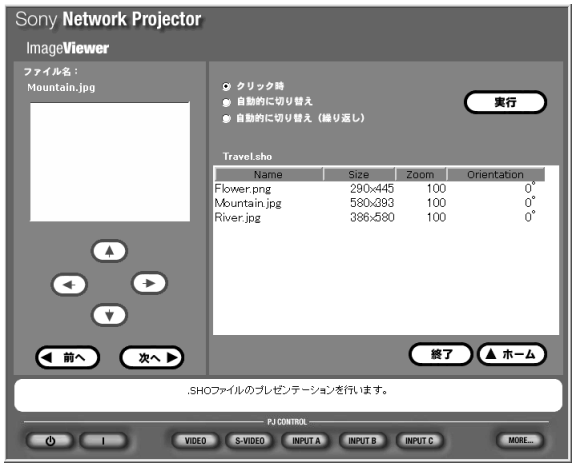
[終了]ボタン
全画面表示を終了して「ファイルの場所」画面に戻ります。

[ホーム]ボタン
「アプリケーション選択」画面に戻ります。

投影したい画像をクリックすると、画像がプロジェクターのスクリーンに投影されます。
画面左のそれぞれの項目にポインタを合わせると、その説明が画面下に表示されます。

手順4で.SHOファイルを選んだ場合

選択した.SHOファイルが画面右に表示されます。



表示するスライドの切り替えかたを選び、[実行]ボタンをクリックします。スライドショーが実行されます。
画面のそれぞれの項目にポインタを合わせると、その説明が画面下に表示されます。

Image Viewer実行中の画面について

コンピューター上にある画像ファイルを表示するときの「Image Viewer実行中の画面について」(24 (JP) ページ) と同じです。.SHOファイルを選択したときの画面に出る[次へ]ボタンは、スライドショー実行中にクリックするとすぐに次のスライドを表示します。[前へ]ボタンはひとつ前のスライドに戻ります。

File Manager (ファイルマネージャー) を使う

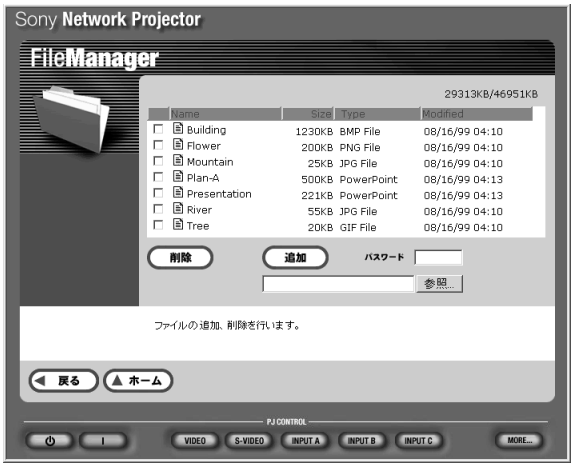
本機に保存されている不要なファイルを削除したり、LAN上のコンピューター内のファイルを本機に追加するなど、プロジェクター内のファイル管理をコンピューターから簡単に行なえます。
画面上に、現在使用しているメモリー容量／使用できるメモリー容量が表示されますので、これを見ながら追加、削除を行ってください。

File Managerを使ってファイルを追加する

1 「アプリケーション選択」画面で [FILE MANAGER] のアイコンをクリックする。
「File Manager」画面が表示されます。

2 追加したいファイルをコンピューターから選ぶ。
「ファイル追加」の[参照...]ボタンをクリックします。コンピューターのファイル選択の画面が表示され、追加したいファイルを選びます。テキストボックスにファイル名を入力しても選択できます。

ここで、選択したファイルにパスワードを設定することができます。[パスワード] テキストボックスにパスワードを入力します。設定すると、以降このパスワードを入力しないと、ファイルを開くことができなくなります。



3 [追加] ボタンをクリックする。
選んだファイルがプロジェクターに保存されます。

File Managerを使ってファイルを削除する

1 「アプリケーション選択」画面で [FILE MANAGER] のアイコンをクリックする。
「File Manager」画面が表示され、プロジェクターに保存されているファイル一覧が表示されます。

2 削除したいファイルを選ぶ。
削除したいファイルにはすべてチェックを付けます。

3 [削除] ボタンをクリックする。
選んだファイルがファイル一覧から削除されます。

ご注意

パスワードを設定してあるファイルも削除できます。

プロジェクターをコントロールする

コンピューターの画面上でプロジェクターの各種設定ができます。プロジェクターコントロール画面は、機能別に「GENERAL」画面、「PICTURE CTRL」画面、「SETTINGS」画面の3画面を表示できます。
各画面のボタンの働きは、本機に付属のリモートコマンダーの同名のボタンと同じです。

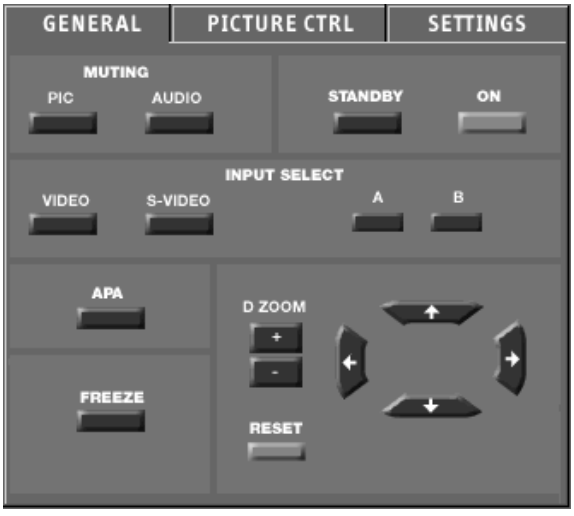
◆ ボタンの働きについて詳しくは、本機の取扱説明書をご覧ください。

下記のイラストはすべてVPL-PX15の画面です。

1 PJ CONTROL（プロジェクターコントロール）の［MORE...］（詳細）ボタンをクリックする。
「GENERAL」画面が表示されます。

2 画面上部の機能タブをクリックして表示したい画面を選ぶ。

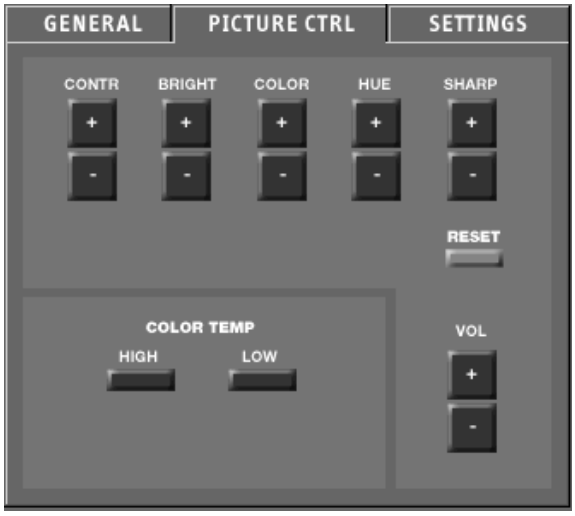
GENERAL画面



（VPL-PX15）

■ VPL-FE110J
SWITCHERボタンでスイッチャー番号を指定します。また、GROUPボタンでグループインデックス番号を、INDEXボタンでデバイスインデックス番号を指定します。
それぞれ▼ボタンをクリックして表示されるドロップダウンリストから選択します。

PICTURE CTRL画面



（VPL-PX15）

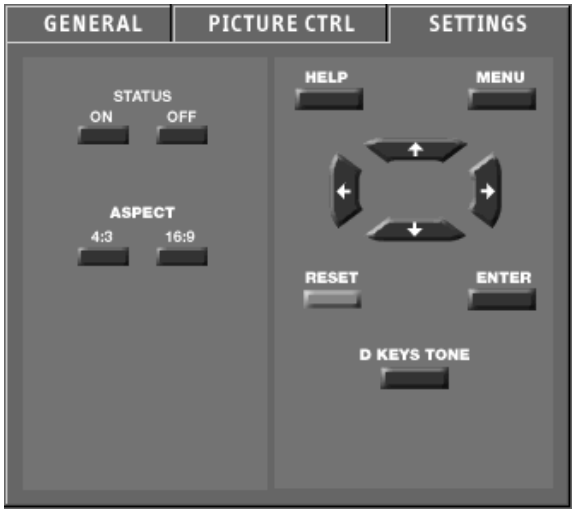
■ VPL-PX15
COLOR TEMP（HIGH、LOW）ボタンはメニュー画面で設定できる機能と同じです。

■ VPL-FX50
DDE（OFF、PROGRESSIVE、FILM）ボタン、RGB ENHANCER＋/－ボタンは、メニュー画面で設定できる機能と同じです。

◆ 詳しくは、本機の取扱説明書をご覧ください。

（続く）

SETTINGS画面



（VPL-PX15）

■ VPL-PX15

STATUS（ON、OFF）ボタン、ASPECT（4:3、16:9）ボタンは、メニュー画面で設定できる機能と同じです。

■ VPL-FX50

ASPECT（4:3、16:9）ボタン、LAMP MODE（STANDARD、LOW）ボタンは、メニュー画面で設定できる機能と同じです。

◆ 詳しくは、本機の取扱説明書をご覧ください。

3 ボタンをクリックして操作する。

プロジェクターのインジケーターを確認する

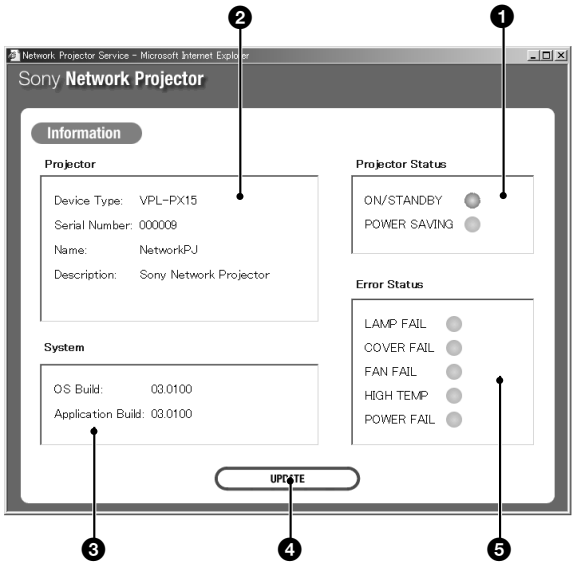
プロジェクターのコントロールパネルに表示されるインジケーターの現在の状態などをコンピューター上で確認できます。

1 コンピューターのブラウザ（Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.5x、4.7x）を起動する。

2 URLを「http ://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターのIPアドレス）/info」と入力します。
IPアドレスを工場出荷時のまま変更していない場合は、「http ://192.168.0.1/info」（LAN PCカードご使用の場合）または「http ://192.168.0.2/info」（ETHER端子ご使用の場合）を入力してください。
パスワードが設定されている場合は、パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 アドミニストレーターの［名前］と［パスワード］を入力する。
「Information」（インフォメーション）画面が表示されます。

下記のイラストはVPL-PX15の画面です。



❶ **Projector Status（プロジェクターステータス）**
プロジェクターの状態を表示します。

❷ **Projector（プロジェクター）**
プロジェクターについての情報が表示されます。

❸ **System（システム）**
本機のWindows CEとアプリケーションのバージョンが表示されます。

❹ **UPDATE（アップデート）ボタン**
クリックすると、最新の情報が得られます。

❺ **Error Status（エラーステータス）**
プロジェクターのコントロールパネルにあるインジケーターの状態を表示します。

◆ それぞれのインジケーターについて詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

プロジェクターで操作する

はじめに

操作の前に

■ VPL-PX15、VPL-FX50の場合

- 設置設定メニューの「入力B機能」(VPL-PX15) または「入力C機能」(VPL-FX50) が「オン」に設定されていることを確認してください。
- 付属のリモートコマンダーのPJ／NETWORK切り換えスイッチをNETWORK側に切り換えてください。

■ VPL-FE110Jの場合

- 本機後面の INPUT C/RS-232C/RS-422A切り換えスイッチが「INPUT C」の位置に設定されているか確認してください。
- 操作には別売りのリモートコマンダーRM-PJM610またはマウスとキーボードが必要です。マウスとキーボードは、本機の電源コードを接続する前に接続してください。

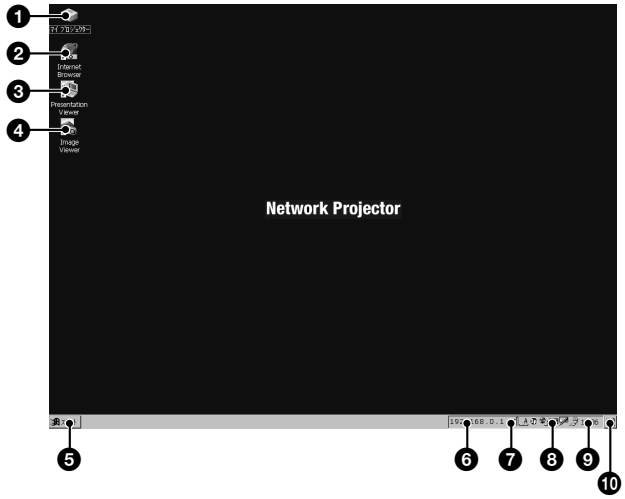
「Network Projector」画面を表示する

プロジェクター単体で操作するには、まず「Network Projector」画面を表示させます。

1 本機の電源を入れる。

2 本機の入力を「INPUT B」(入力B) (VPL-PX15) または「INPUT C」(入力C) (VPL-FX50、VPL-FE110J) にする。
「Network Projector」画面が表示されます。

「Network Projector」画面の各部の名前と機能



❶ [マイプロジェクター] アイコン
プロジェクターの中の項目を見ることができます。ダブルクリックすると、[メモリーカード] などのアイコンが表示されます。

❷ [Internet Browser] (インターネットブラウザ) アイコン
インターネットに接続します。

❸ [Presentation Viewer] (プレゼンテーションビューワー) アイコン
PowerPointファイルでプレゼンテーションを実行したり、Excelファイルを投影するとき選びます。

❹ [Image Viewer] (イメージビューワー) アイコン
プロジェクターのストレージやメモリーカードに保存した画像ファイルでスライドショーを行うとき、Image Viewer を起動します。

❺ [スタート] メニュー

❻ IPアドレス
設定したプロジェクターのIPアドレスを表示します。コンピューターからIPアドレスを入力するとき、ここで確認できます。

❼ 受信レベル表示アイコン
本機のPC CARD スロットにワイヤレスLAN PC カードが挿入され、正しく認識されると、アイコンがタスクバー上に表示されます。ダブルクリックすると、アクセスポイントとの接続状態を表示する画面が現れます。

❽ スクリーンキーボードアイコン
クリックすると画面にスクリーンキーボードが表示されます。付属のリモートコマンダー (VPL-PX15、VPL-FX50の場合) または別売りのリモートコマンダー RM-PJM610 (VPL-FE110J の場合) を使ってセットアップや URLの入力ができます。スクリーンキーボードは2ページあります。ページを切り換えるには、キーボードの [Shift] (シフト) キーをクリックします。なお、¥を表示するには [\] キーをクリックします。

(続く)

■ VPL-PX15、VPL-FX50に付属のリモートコマンダーについて

- 付属のリモートコマンダーのPJ/NETWORK切り換えスイッチをNETWORK側にすると、TAB、ESCAPE、ENTERおよび矢印キーがキーボードと同じ働きをします。
- スクリーンキーボードアイコン上で、付属のリモートコマンダーのR CLICKキーを押すとサブメニューが表示されます。[リモコン]をクリックし、[オン] をクリックすると、リモートコマンダーの矢印キーを画面上のキーボードの矢印キーとして使用でき、キーの選択に使えます。

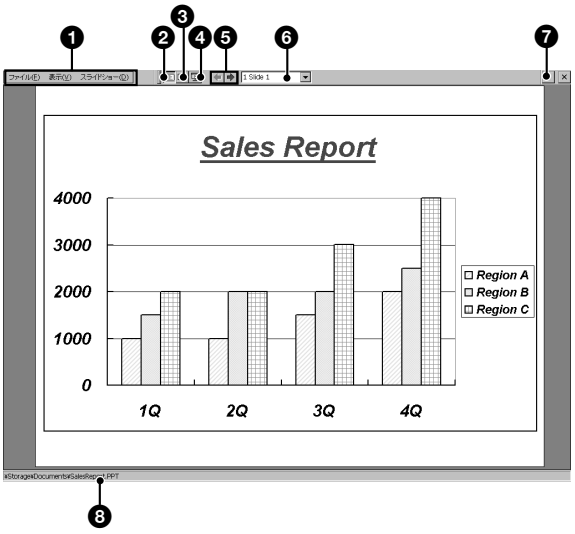
❾ 時計表示

❿ デスクトップアイコン

Slide Viewerでプレゼンテーションを行う

同一会議室または離れた場所にあるLAN上のコンピューターにあるPowerPointファイルを本機を操作してプレゼンテーションを行うことができます。
また、コンピューターが接続されていなくても、本機のストレージに保存してあるPowerPointファイルやPC CARDスロットに挿入したメモリーカード内のファイルを使って、プロジェクター単体でプレゼンテーションを行なうこともできます。

Slide Viewer（スライドビューワー）の画面について



❶ メニューバー

メニュー	コマンド	機能
ファイル	開く	本機内にあるファイルを開きます。
	最近使ったファイル	サブメニューにある、最近使ったファイルを開きます。
	閉じる	現在開いているファイルを閉じます。
	バージョン	このプログラムのバージョン情報を表示します。
表示	スライド表示	スライド表示モードで表示します。
	ノート表示	ノート表示モードで表示します。
	スライドショー	スライドショーを実行します。
スライドショー	実行	スライドショーを実行します。
	スライドショーの設定	スライドの指定やスライドの切り替え方法を設定します。

❷ （スライド表示）ボタン
スライドを表示します。

❸ （ノート表示）ボタン
スライドと発表者用のノートを表示します。

❹ （スライドショー）ボタン
スライドショーを実行します。

❺ スライド移動ボタン
（前へ）ボタンをクリックすると、1つ前のスライドが表示されます。
（次へ）ボタンをクリックすると、次のスライドが表示されます。

❻ スライド番号ボックス
をクリックして表示したいスライド番号を選択します。

❼ （ヘルプ）ボタン
クリックすると、Slide Viewerのヘルプが表示されます。

❽ ファイル名
ファイル名が表示されます。

プレゼンテーションを実行する

LAN上のコンピューターからファイルを選ぶ場合

1 「Network Projector」画面で［マイプロジェクター］アイコンをダブルクリックする。

2 アドレス欄に「¥¥ xxxx（アクセスしたいコンピューター名）」を入力し、［Enter］（確定）キーをクリックする。
選択したコンピューターの共有設定されているフォルダが表示されます。

ご注意

「ネットワーク構成」ダイアログボックスの[オーナー情報]の設定 (9 (JP) ページ) と、アクセスするコンピューターとのファイルの共有設定が必要です。

3 実行したいPowerPointファイル（.pptまたは.ppsファイル）のあるフォルダを選び、ファイルをダブルクリックする。
コンピューターにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。
Slide Viewerが起動します。

4 スライドショーを実行するときのスライドの指定やスライドの切り替え方法などを設定する場合は、［スライドショー］メニューの［スライドショーの設定］をクリックする。
「スライドショーの設定」ダイアログボックスが表示されます。
スライドショーの設定について詳しくは、Slide Viewerのヘルプをご覧ください。

5 スライドショーを実行するには、［スライドショー］メニューの［実行］をクリックする。

本機のストレージまたはメモリーカードからファイルを選ぶ場合

1 「Network Projector」画面の［Presentation Viewer］アイコンをダブルクリックする。
Presentation Viewerが起動し、「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

2 プレゼンテーションを行いたいPowerPointのファイルを選び、［OK］ボタンをクリックする。
Slide Viewerが起動し、選んだファイルがスライド表示されます。

3 「LAN上のコンピューターからファイルを選ぶ場合」の手順**4**、**5**を行う。

画面表示モードを切り替える

Slide Viewerには3つのタイプの画面（スライドショー、スライド表示およびノート表示）を表示できます。切り替えるには、［表示］メニューからそれぞれのモードを選ぶか、ツールバーのそれぞれのボタンをクリックします。

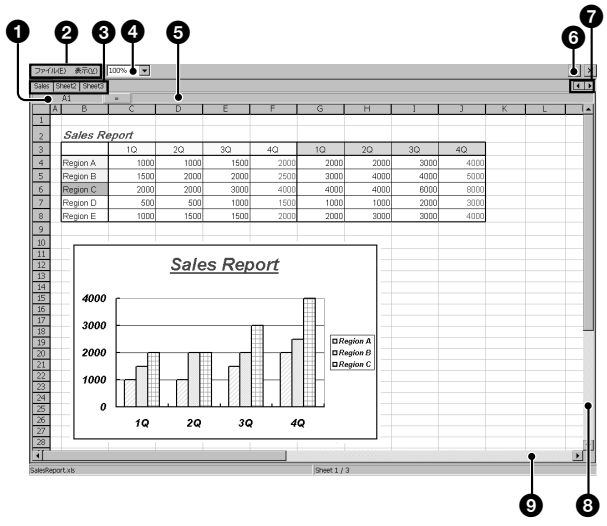
Slide Viewerのヘルプについて

詳しい操作のしかたは、Slide Viewerのヘルプをご覧ください。
Slide Viewer画面のツールバーにある ? ボタンをクリックするとヘルプが表示されます。

Worksheet ViewerでExcelのファイルを投影する

LAN上のコンピューターにあるExcelのファイルをプロジェクターの操作でスクリーンに投影できます。
また、本機のストレージに保存してあるExcelのファイルやメモリーカード内のファイルをプロジェクター単体でスクリーンに投影できます。

Worksheet Viewer（ワークシートビューワー）の画面について



（続く）

❶ 名前ボックス

選択しているセルの名前を表示します。

❷ メニューバー

メニュー	コマンド	機能
ファイル	開く	本機内にあるファイルを開きます。
	閉じる	現在開いているファイルを閉じます。
	バージョン	このプログラムのバージョン情報を表示します。
表示	ズーム	表示を拡大、縮小する「ズーム」ダイアログボックスを開きます。

❸ シート見出し

表示中のワークブックに含まれるワークシートの名前が表示されます。クリックすると、そのワークシートが画面に表示されます。

❹ ズームボックス

表示中のワークシートを拡大または縮小します。

❺ 数式バー

選択しているセルで使われている定数や数式を表示します。

❻ ? (ヘルプ) ボタン

クリックすると、Worksheet Viewerのヘルプが表示されます。

❼ ◀/▶ (シート見出しスクロール) ボタン

シート見出しをスクロールします。スクロールしたい方向の矢印をクリックします。

❽ ▲/▼ (上下) スクロールバー

表示画面を上下にスクロールします。スクロールさせるには、スクロールバーのボックスをドラッグするか矢印をクリックします。

❾ ◀/▶ (左右) スクロールバー

表示画面を左右にスクロールします。スクロールさせるには、スクロールバーのボックスをドラッグするか矢印をクリックします。

Excelのワークシートを投影する

LAN上のコンピューターからファイルを選ぶ場合

1 「プレゼンテーションを実行する－LAN上のコンピューターからファイルを選ぶ場合」(31 (JP) ページ) の手順**1**、**2**を行う。

2 表示したいExcelのファイルのあるフォルダーを選び、ファイルをダブルクリックする。
コンピューターにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。
Worksheet Viewerが起動し、Excelのワークシートが投影されます。

本機のストレージまたはメモリーカードからファイルを選ぶ場合

1 「Network Projector」画面の[Presentation Viewer]アイコンをダブルクリックする。
Presentation Viewerが起動し、「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

2 投影したいExcelのファイルを選び、[OK]ボタンをクリックする。
Worksheet Viewerが起動し、選択したファイルのワークシートがプロジェクターのスクリーンにに投影されます。

ファイルの表示サイズや表示範囲を変えるには

スクリーンに投影したワークシートを拡大、縮小したり、プロジェクターに表示する範囲を変えることができます。詳しくは、Worksheet Viewerのヘルプをご覧ください。

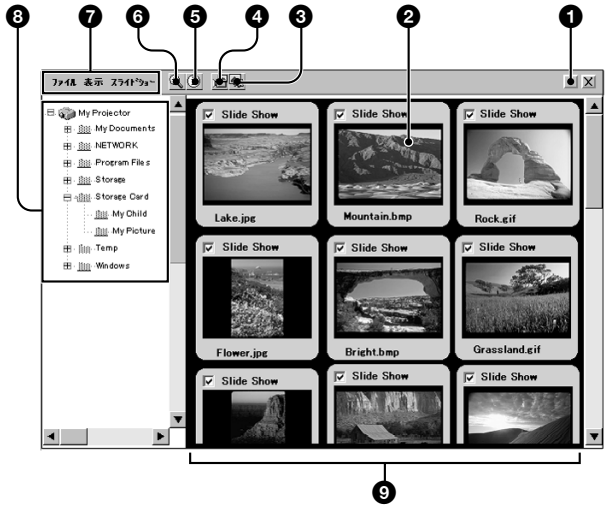
Worksheet Viewerのヘルプについて

詳しい操作のしかたは、Worksheet Viewerのヘルプをご覧ください。Worksheet Viewer画面のツールバーにある ? ボタンをクリックするとヘルプが表示されます。

Image Viewerでスライドショーを行う

プロジェクターのストレージや本機に装着したメモリーカードに保存した画像ファイルを一覧表示させ、必要なファイルを使ってスライドショーを行なうことができます。
本機のImage Viewerを起動し、表示したいフォルダーを選ぶとImage Viewerのメイン画面が表示されます。

Image Viewer（イメージビューワー）のメイン画面について



❶ (ヘルプ)ボタン
クリックすると、Image Viewerのヘルプが表示されます。

❷ スライド
クリックすると緑色の枠が出て、その画像（スライド）が選択されます。

❸ (スライドショーの設定)ボタン
「スライドショーの設定」ダイアログボックスを表示し、ズームや回転などの各種設定ができます。

❹ (実行)ボタン
クリックすると、スライドの切り替え方法のサブメニューが表示されます。いずれかを選んでスライドショーを実行します。

❺ (画像の情報)ボタン
選択した画像の情報を表示します。

❻ (全画面表示)ボタン
選択した画像だけを大きく一枚表示します。

❼ メニューバー

メニュー	コマンド	機能
ファイル	閉じる	現在開いているファイルを閉じます。
	バージョン情報	このプログラムのバージョン情報を表示します。
表示	全画面表示	選択した画像だけを全画面表示します。
	画像の情報	選択した画像の情報を表示します。
	スライドの並べ替え	フォルダー内のスライドを指定の順に並べ替えます。
スライドショー	実行	サブメニューにあるスライドの切り替え方法でスライドショーを実行します。
	スライドショーの設定	スライドショーの詳細な設定を行います。
	すべて選択	一覧表示されているスライドすべてを選択します。
	すべてクリア	一覧表示されているスライドの選択をすべて解除します。
	読み込み	あらかじめ本機に保存されているスライドショー設定ファイルを読み込みます。
	保存	現在のスライドショーの設定を設定ファイル（拡張子.SHO）として保存します。

❽ フォルダー一覧
本機のストレージや装着しているメモリーカードのフォルダーが一覧表示されます。

❾ 表示エリア
選択したフォルダー内の画像ファイルが一覧表示されます。

スライドを1枚表示する

メイン画面に一覧表示されたスライドから好きなスライドを1枚選んで、プロジェクターのスクリーンに全面表示することができます。

1 「Network Projector」画面の［Image Viwer］アイコンをダブルクリックする。
Image Viewerが起動します。

2 画面左のフォルダー一覧から表示したい画像ファイルのあるフォルダーを選ぶ。
本機のストレージまたは本機に装着したメモリーカードに保存されているファイルを選ぶことができます。
メイン画面が表示され、選択したフォルダー内の画像が一覧表示されます。

（続く）

3 一覧表示されたスライドから、表示したいスライドをクリックする。

4 スライドを右クリックしてショートカットメニューを表示させ、[全画面表示]をクリックする、または「表示」メニューの「全画面表示」をクリックするか、ツールバーの (全画面表示) ボタンをクリックする。
スライドが、プロジェクターのスクリーンいっぱいに表示されます。

スライドショーを実行する

1 「スライドを1枚表示する」の手順**1**、**2**を行う。

2 スライドショーで表示したい画像を選ぶ。
- 一覧表示された画像から、表示したい画像の [スライドショー]チェックボックスにチェックを付けます。スライドショーで表示したい画像はすべてチェックします。
- フォルダー内のすべての画像を使いたい場合は、[スライドショー] メニューから [すべて選択] を選びます。
- スライドショー設定ファイルを保存してある場合は、[スライドショー] メニューの [読み込み] をクリックして「スライドショー設定ファイルの読み込み」ダイアログボックスを表示させ、目的のファイルを選びます。

◆ スライドショー設定ファイルについては、「スライドショーの設定を保存する」をご覧ください。

3 ズームや回転など、画像の設定をしたい場合は、[スライドショー] メニューの [スライドショーの設定] をクリックするか、ツールバーの (スライドショーの設定) ボタンをクリックする。
「スライドショーの設定」 ダイアログボックスが表示されます。

設定を行ったら、[OK] または [保存] ボタンをクリックする。

ご注意

UXGAなどサイズの大きい画像の場合、メモリーの制約から開けなかったり、回転させられないことがあります。その場合は、縮少するなどしてサイズを小さくしてください。

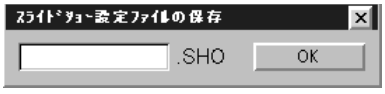
4 [スライドショー] メニューの [実行] をクリックするか、ツールバーの (スライドショーの実行) ボタンをクリックする。
スライドの切り替え方法のサブメニューが表示されます。いずれかをクリックするとスライドショーが実行されます。

スライドショーの設定を保存する

スライドショーのファイルを設定ファイル (.SHOファイル) として本機に保存し、繰り返しスライドショーで表示することができます。また、保存した設定ファイルの各種設定を変更することもできます。

保存するには

1 [スライドショー] メニューの [保存] をクリックする。
「スライドショー設定ファイルの保存」ダイアログボックスが表示されます。



2 ファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリックする。
保存したファイルは「スライドショー設定ファイルの読み込み」ダイアログボックスに一覧表示されます。

設定を変えて保存するときは

[スライドショー] メニューの [スライドショーの設定] をクリックし、「スライドショーの設定」 ダイアログボックスを表示させ、各種設定をします。
「スライドショーの設定」ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックし、「スライドショー設定ファイルの保存」ダイアログボックスを表示させ、手順**2**を行います。

保存した設定ファイルを変更するには

1 ［スライドショー］メニューの［スライドショーの設定］をクリックする。
「スライドショーの設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 ［読み込み］をクリックする。
「スライドショー設定ファイルの読み込み」ダイアログボックスが表示されます。

3 変更したいファイルを選択し、［OK］ボタンを押す。
選んだファイルの「スライドショーの設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 設定を変更し、［保存］ボタンをクリックする。

メイン画面で設定を変更するときは

1 ［スライドショー］メニューの［読み込み］をクリックする。
「スライドショー設定ファイルの読み込み」ダイアログボックスが表示されます。

2 変更したいファイルを選択し、［OK］ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。

3 ［スライドショー］チェックボックスのチェックの変更などをする。

Image Viewerのヘルプについて

詳しい操作のしかたは、Image Viewerのヘルプをご覧ください。Image Viewer画面のツールバーにある ? ボタンをクリックするとヘルプが表示されます。

インターネットに接続する

1 「Network Projector」画面で［Internet Browser］（インターネットブラウザ）のアイコンをダブルクリックする。
「Internet Browser」画面が表示されます。

2 「Network Projector」画面のタスクバーにあるスクリーンキーボードアイコンをクリックしてキーボードを表示させ、見たいホームページのアドレスを入力する。

トラブル時の対処

サービス窓口にご相談になる前に下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも具合の悪いときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因／対処
ネットワークに接続できない。	・ PCカードがプロジェクターのPC CARDスロットに正しく取り付けられていない。 → カードの向きが正しいか確認し、カードを奥までしっかり差し込んでください。 ・ ETHER端子にケーブルが正しく接続されていない。（VPL-PX15、VPL-FX50） → ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 ・ 指定／推奨のLAN PCカード、ワイヤレスLAN PCカード、アクセスポイントを使用していない。 → 指定／推奨以外のカードなどをご使用の場合、正しく動作しないことがあります。指定／推奨のものをご使用ください。指定／推奨のカードについては、「指定／推奨PCカード、ワイヤレスLANアクセスポイント一覧」をご覧ください。 ・ ネットワークの設定が正しくない。 → プロジェクターの「ネットワークの設定」を確認してください。（9（JP）、13（JP）ページ） → コンピューターのWebブラウザから操作している場合は、コンピューターのネットワーク設定も確認してください。 ・ ワイヤレスLAN PCカードをご使用の場合、[オンボードLANを有効にする]がチェックされている。（VPL-PX15、VPL-FX50） → チェックをはずしてください。 ・ ワイヤレスLAN PCカードをご使用の場合、プロジェクターのワイヤレスLANの設定が正しくない。 →「接続状態表示」画面のアクセスポイントIDとEncryption key (無線暗号キー)が接続先のアクセスポイントと合っているか確認してください。 ・ Peer to Peerモードの設定が正しくない。 → ワイヤレスLANに接続するプロジェクター、コンピューターのうち1台にのみPeer to Peerを設定してください。（11（JP）ページ） ・ アクセスポイントのチャンネル設定が12～14に設定されている。 → アクセスポイントのチャンネルを1～11に設定し直してください。 ・ 上記を確認してもLAN PCカード、ワイヤレスLAN PCカード、メモリーカード、アクセスポイントが正しく動作しない。 → ご使用のPCカードメーカー、アクセスポイントメーカーにお問い合わせください。 指定のソニーのワイヤレスLAN PCカードを使用していてプロジェクターが正しく動作しない場合は、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。
プロジェクターに接続できない。	・ 設置設定メニューの「入力B機能」（VPL-PX15）または「入力C機能」（VPL-FX50）の設定が正しくない。 →「オン」に設定してください。 ・ INPUT C/RS-232C/RS-422Aの切り換えスイッチの位置が正しくない。（VPL-FE110J） →「INPUT C」に設定してください。 ・ ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている。 → プロジェクターのIPアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。 ・ プロジェクターのIPアドレスの先頭に0を付けて入力している。 → 0で始まるIPアドレスの場合、0をとって入力してください。 例：192.168.000.001の場合、192.168.0.1と入力する。
画面がフリーズして動かない。	Windows CEがフリーズした。 → 設置設定メニューの「入力B機能」（VPL-PX15）または「入力C機能」（VPL-FX50）をいったん「オフ」にしてから「オン」に設定し直してください。 → 付属のリモートコマンダーRM-PJ1001のFUNCTIONキーを押し、続けて5秒以内にRESETキーを押して再起動してください。（VPL-FE110J）

症状	原因／対処
PowerPointやExcelのファイルのフォントやスタイルが変わってしまう。	本機のSlide Viewer、Worksheet Viewerでサポートしてないフォントやスタイルが使われている。 → サポートしているフォントは以下の通りです。その他のフォントは、以下のフォントに置き換わります。この場合、タブや改行の設定によっては段落などがずれることがあります。 ゴシック体 (日本語のみ)、Arial、Bookman Old Style、Comic Sans MS、Impact、Symbol、Tahoma、Times New Roman、Wingdings また、サポートしていないスタイルは他のスタイルに置き換わります。
PowerPointやExcelのファイルで文字などが表示されない。	本機のSlide Viewer、Worksheet Viewerでは、中国語などサポートしていない文字は表示できません。 → サポートしている文字は、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。これらの言語のファイルをご使用ください。
PowerPointファイルやExcelファイルのアニメーションやオートシェイプなどが変わってしまう、または表示されない。	本機のSlide Viewer、Worksheet Viewerでサポートされていない機能が使われている。 → 他の、サポートされているものに置き換わります。表示されない部分は、サポートされているものに書き換えてください。
スライドショーが実行できない。「プロジェクターのメモリーが一杯です。File Managerでファイルの整理をしてから再度実行してください。」のメッセージが出る。	プロジェクターに保存されているファイルが一杯で、これ以上ファイルを保存できません。 → 「File Manager」でファイルを削除し、空き容量が使用したいファイルの容量より多くなるようにしてください。
スライドショーが実行できない。「ファイルが大きすぎます。ファイルを分割するなどして再度実行してください。」のメッセージが出る。	ファイルの容量が、プロジェクターに送れるファイルの容量を越えている。 → 「File Manager」で空き容量を確認し、ファイルを分割するなどして、その容量内に収めてください。 → PowerPointの「ツール」メニューから、「オプション」－「保存」を選び、「高速保存」のチェックをはずしてみてください。
プロジェクターのInternet Browserが起動できない。	プロジェクターがLANに接続されていない。 → 「ネットワークの設定」、「ワイヤレスLANの設定」を確認してください。(9 (JP)～13 (JP)ページ)
「このファイルはパスワードが設定されています。パスワードを入力してください。」のメッセージが出る。	プロジェクターまたは選択したファイルにパスワードが設定されている。 → パスワードを入力してください。IPアドレスが工場出荷時のまま変更していない場合は、Administratorの[Name]にrootと入力してください。
「パスワードが違います。正しいパスワードを設定してください。」のメッセージが出る。	入力したパスワードが違っている。 → 正しいパスワードを入力し直してください。

Table of Contents

Before Using

Features ..... 4 (GB)
Precautions ..... 5 (GB)
About This Manual ..... 5 (GB)

Preparation

Preparations for Using the Networking Function .. 6 (GB)
System Configuration ..... 6 (GB)
Using the PC Card ..... 7 (GB)
Setting for Networking Function ..... 7 (GB)
Using the Remote Commander or a Mouse and Keyboard ..... 7 (GB)
Setting Up the Projector ..... 8 (GB)
Setting Up from the Projector ..... 8 (GB)
Setting Up from a Computer ..... 12 (GB)
Basic Operation Flowcharts ..... 14 (GB)
Operations from a Computer ..... 14 (GB)
Operations from the Projector ..... 16 (GB)

Operation

Operations from a Computer ..... 19 (GB)
Preparations ..... 19 (GB)
Running a Presentation Using the Slide Viewer ..... 20 (GB)
Projecting an Excel File Using the Worksheet Viewer ..... 23 (GB)
Projecting an Image Using the Image Viewer ..... 23 (GB)
Using File Manager ..... 26 (GB)
Controlling the Projector from a Computer ..... 27 (GB)
Checking the Indicators on the Projector ..... 28 (GB)
Operations from the Projector ..... 29 (GB)
Preparations ..... 29 (GB)
Running a Presentation Using the Slide Viewer ..... 30 (GB)
Projecting an Excel File Using the Worksheet Viewer ..... 31 (GB)
Running a Slide Show Using the Image Viewer ..... 33 (GB)
Connecting to the Internet ..... 35 (GB)

Others

Troubleshooting ..... 36 (GB)

- Microsoft, Windows and PowerPoint are the registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Netscape Navigator is a trademark of Netscape Communications Corporation in the United States and/or other countries.
- All other product and company names mentioned herein are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Features

The projector has built-in Windows CE and is compatible with networking. Connecting to a Local Area Network (LAN) allows you to run a presentation using a file stored in a computer connected by the same LAN. You can open the file from a computer located far away from the projector as well as one in the same conference room. Connecting to the Internet only with the projector is also available.
When you have access to the projector by using the Web browser of a computer, you can control the projector from that computer.

Connection to a LAN

The projector is equipped with the ETHER connector (VPL-PX15 and VPL-FX50) and a PC card slot, which allows you to connect the projector to LAN by using the LAN cables or the specified/recommended LAN PC card. Installing a wireless LAN PC card to the PC card slot enables wireless LAN connection.

PC card slot incorporated

The projector is equipped with a PC card slot. Inserting the PC memory card, in which data are stored, into this slot allows you to run a presentation easily without using a computer.

Presentation Viewer Function

The projector has built-in simple Microsoft PowerPoint and Microsoft Excel viewer funtions, named Slide Viewer and Worksheet Viewer, respectively. The functions allow you to run a slide show using a PowerPoint file or to project an Excel file without any conversion.

Image Viewer Function

The projector has built-in Image Viewer function, allowing you to view images created in the JPEG, BMP, GIF or PNG format, to set up a slide show, and to run a slide show using the images.

File Manager Function

Use of a computer's Web browser enables you to add files stored in the computer to the projector or delete files stored in the projector by operating the computer.

Web browser built-in

The Internet Explorer 4.0 and its equivalent is built into the projector, allowing you to connect to the Internet.

Memory function

The projector can store a file imported from a computer or a memory card.
When you store the file, you can create a password to prevent unauthorized people from opening it.

Precautions

Caution

Before you turn off the projector or reset it by using the supplied Remote Commander, make sure to exit any application software which is running. Otherwise, system damage may occur and you may not be able to restart the projector.

- Recommended system requirements for the projector are as follows:
  – Microsoft Windows 98, Microsoft Windows 98 SE, Microsoft Windows 2000, Microsoft Windows Me
- Make sure to use the specified/recommended LAN PC card, wireless LAN PC card, PC memory card and wireless LAN access point. Also use the specified/recommended wireless LAN PC card to install into the connected computers.
  Using a device not specified/recommended may cause incorrect operations.

  For the specified/recommended devices, see the supplied "Specified/recommended PC Card/Wireless LAN Access Point."

- To prevent data loss, make backup of data frequently. In no event will Sony be liable for any loss of data.
- Please note that the software specifications are subject to change without notice.
- Some of the illustrations in this manual may differ from the actual application software.

About This Manual

This manual explains networking operations of the VPL-PX15, VPL-FX50 and VPL-FE110U/M LCD Data Projector.
On-line Help files are also available. When you access the Web server of the projector, a Help sentence will appear on a computer when you rest the pointer over each item.
In the Windows CE window of the projector you can open the help file by clicking Help from the Start menu. The Windows CE of the projector does not support some functions. The Help file for Slide Viewer, Worksheet Viewer or Image Viewer opens when you click the ? button on the tool bar of the respective application window.

Refer to the Operating Instructions of this model for operations other than networking.

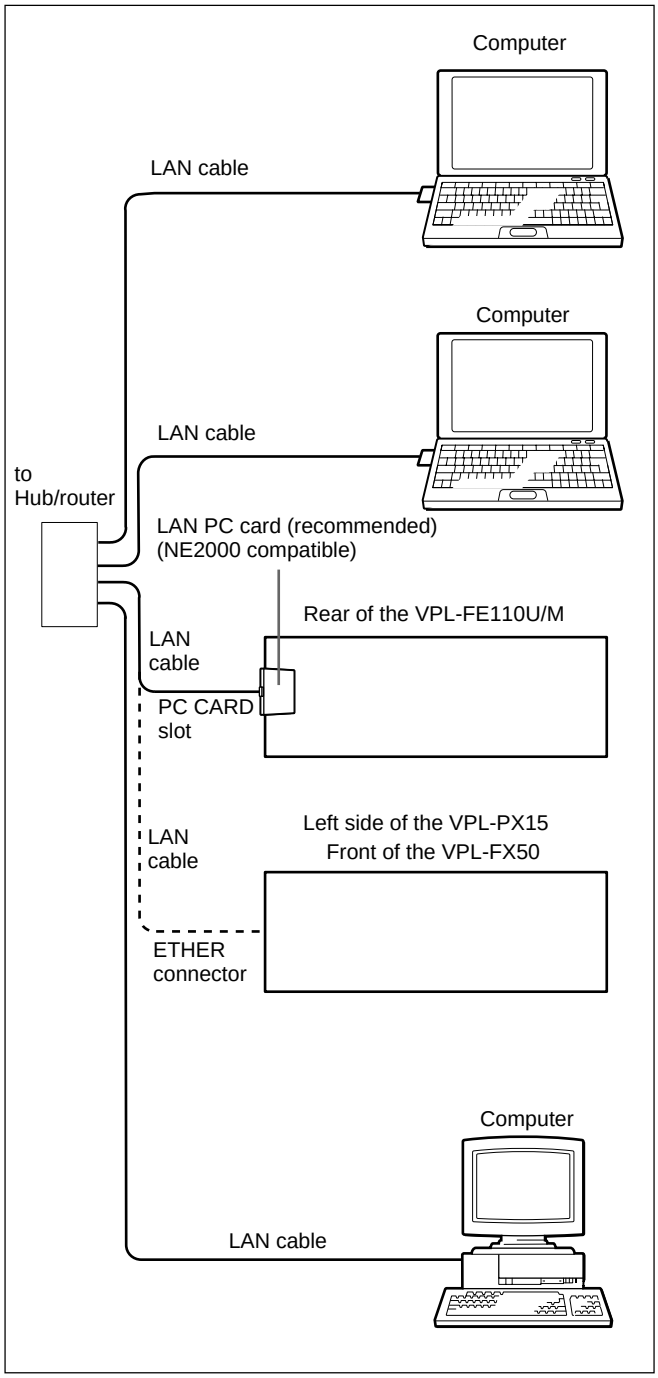
Preparations for Using the Networking Function

This section describes the tasks that are required for using the networking function of the projector.

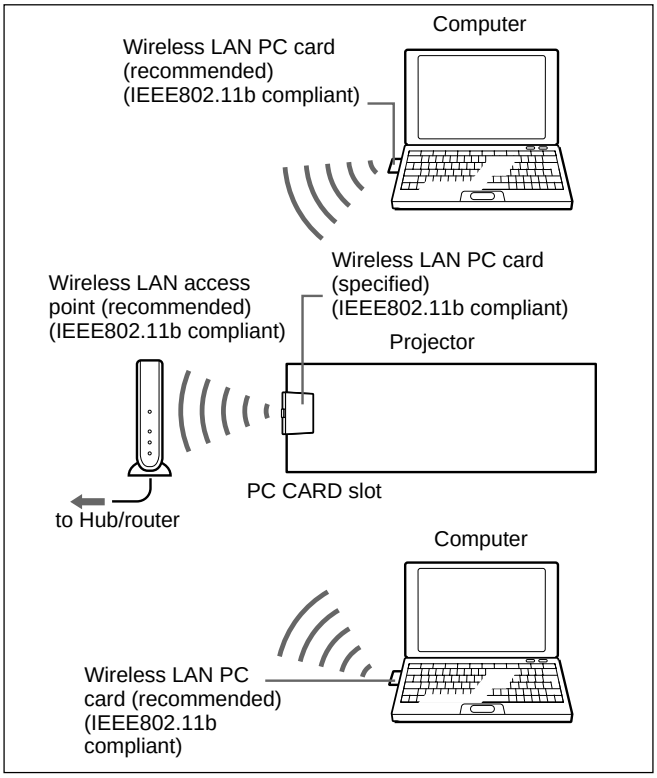
System Configuration

For details on connections, refer to the Operating Instructions of the projector.

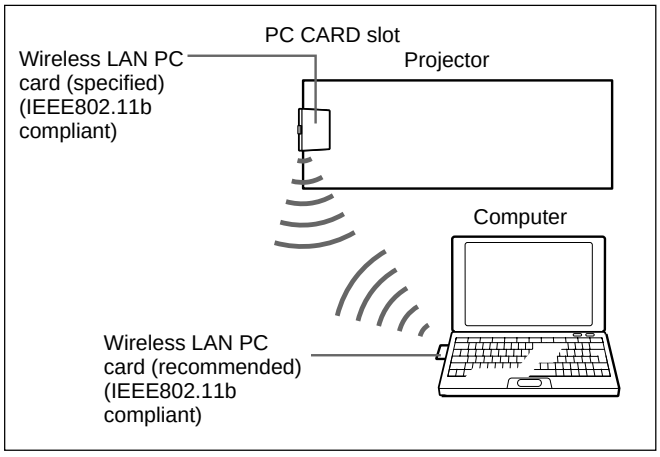
Connecting to LAN using the LAN cables or LAN PC card



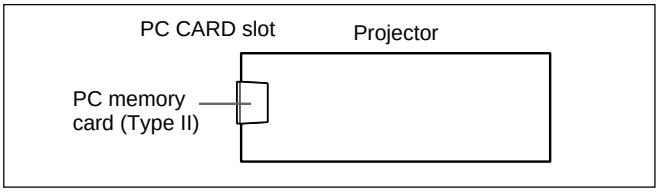
Connecting to wireless LAN using the wireless LAN access point



Connecting to wireless LAN without using the wireless LAN access point (Peer to Peer mode)



Using the memory card



Using the PC Card

The PC CARD slot of INPUT B (VPL-PX15) or INPUT C (VPL-FX50 and VPL-FE110U/M) on the projector accepts one PCMCIA Type II PC card. To connect to a LAN, it is required to insert the specified/recommended LAN PC card (VPL-FE110U/M only) or wireless LAN PC card into this slot.
You can also insert the recommended PC memory card into this slot. Storing the file created with Microsoft PowerPoint or Excel, or the image file in a memory card enables you to project a file or run a presentation without connecting to a computer.

Notes

- Do not turn off the projector or restart Windows CE of the projector while the PC card is writing or reading.
- Make sure to use the specified/recommended LAN PC card, wireless LAN PC card or PC memory card. For the specified/recommended cards, see the supplied "Specified/recommended PC Card/Wireless LAN Access Point."
- The driver software for the specified/recommended PC cards is installed into the projector at the factory. Installing any other driver software is not required and cannot be done.

For inserting and removing the PC card, refer to the Operating Instructions of the projector.

Setting for Networking Function

To activate the networking function of the projector, do the following setup.

■ For VPL-PX15
Set INPUT-B FUNC. in the INSTALL SETTING menu to ON.

For detailed information, see the Operating Instructions of the projector.

■ For VPL-FX50
Set INPUT-C FUNC. in the INSTALL SETTING menu to ON.

For detailed information, see the Operating Instructions of the projector.

■ For VPL-FE110U/M
Set the INPUT C/RS-232C/RS-422A select switch on the rear panel to INPUT C.

Using the Remote Commander or a Mouse and Keyboard

■ For VPL-PX15 and VPL-FX50
When you operate the projector for setting up the projector, running a slide show, etc., use the supplied Remote Commander. Before operation, set the PJ/NETWORK select switch on the Remote Commander to NETWORK.
You cannot connect a mouse and keyboard to the projector.

■ For VPL-FE110U/M
When you operate the projector for setting up the projector, running a presentation, etc., use of the RM-PJM610 remote commander (not supplied) or commercially available PS/2 mouse and keyboard is required.

Note

Connect the mouse and keyboard to the projector before connecting the power cord of the projector to the AC outlet.

For connections of the mouse and keyboard, refer to the Operating Instructions of the projector.

For operation of the RM-PJM610 remote commander (not supplied), refer to the Operating Instructions of the remote commander.

Basic setups such as IP address and wireless LAN settings are necessary for networking operations of the projector. You can set them up either from the projector or a computer connected to the same LAN.

Before setting up

■ For VPL-PX15 and VPL-FX50

- Turn on the projector with the I/ ⏻ key on the supplied Remote Commander or control panel of the projector.
- Confirm that INPUT-B FUNC. (VPL-PX15) or INPUT-C FUNC. (VPL-FX50) in the INSTALL SETTING menu is set to ON.
- Press the INPUT key on the supplied Remote Commander or control panel of the projector to select INPUT B (VPL-PX15) or INPUT C (VPL-FX50). The Network Projector window opens.
- Set the PJ/NETWORK select switch on the Remote Commander to NETWORK.
- When you set up from the projector, display the screen keyboard on the projector and operate with the supplied Remote Commander.
  For information on the screen keyboard, see page 29 (GB).
- Turn on the computer from which you set up the projector.

■ For VPL-FE110U/M

- Confirm that the INPUT C/RS-232C/RS-422A select switch is set to INPUT C.
- Turn on the projector with the ON key on the RM-PJM610 remote commander, supplied Remote Commander or control panel of the projector.
- Press the INPUT key on the RM-PJM610 or the INPUT SELECT key on the supplied Remote Commander or control panel of the projector to select INPUT C. The Network Projector window opens.
- When you set up from the projector, display the screen keyboard on the projector and operate with the connected mouse and keyboard, or the RM-PJM610 remote commander.
  For information on the screen keyboard, see page 29 (GB).
- Turn on the computer from which you set up the projector.

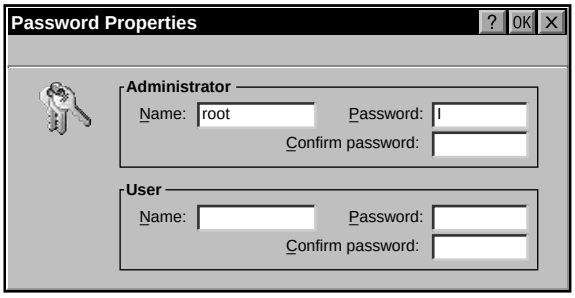
Setting Up from the Projector

Setting the password

You can set a password for protection against access from remote network users.

1 From the Start menu, click Control Panel in the Network Projector window.

2 Double-click the Password icon.
The Password Properties dialog box appears.



3 Specify the Password for Administrator, then enter the same password again in the Confirm password text box for Administrator.
The Name of Administrator is preset as “root” at the factory. It cannot be changed.

4 Specify the Name and Password for User, then enter the same password in the Confirm password text box for User.

When you are required to enter the password for Administrator or User while you are operating the projector from a computer, enter the Name and Password which you set in steps **3** and **4**.

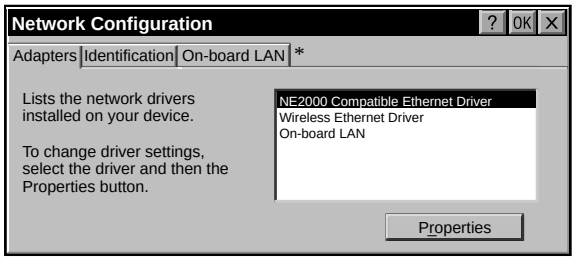
Setting up the network configuration

Setting up the network configuration, such as IP address setting, is necessary for building a LAN connection. The IP address of the projector will be displayed on the task bar of the Network Projector window of the projector.
If the connection environment is changed, you need to set up the network configuration again.

For details, contact your network administrator.

1 From the Start menu, click Control Panel in the Network Projector window.

2 Double-click the Network icon.
The Network Configuration dialog box appears.

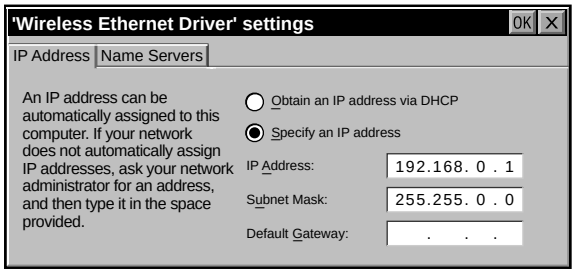

Network Configuration
? OK X
Adapters Identification On-board LAN *
Lists the network drivers installed on your device.
To change driver settings, select the driver and then the Properties button.
NE2000 Compatible Ethernet Driver
Wireless Ethernet Driver
On-board LAN
Properties

* The On-board LAN tab is displayed for the VPL-PX15 and VPL-FX50.

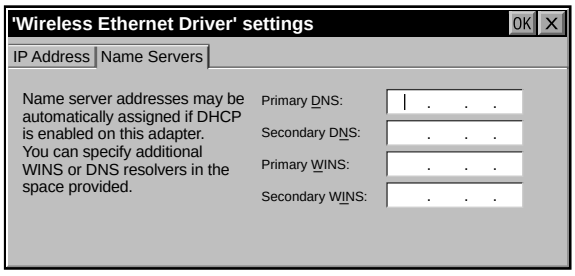
3 Select the driver name according to the network connection type.
You can select one of the following driver names.
NE2000 Compatible Ethernet Driver: When using the recommended NE2000 compatible PC LAN card.
Wireless Ethernet Driver: When using the specified wireless LAN PC card.
On-board LAN: When using the ETHER connector to connect to LAN (displayed for the VPL-PX15 and VPL-FX50)

The selected driver's setting dialog box appears.

4 Confirm that the "Specify an IP address" radio button is selected, and set the necessary items.
The IP Address is initially set to "192.168.0.1," and the Subnet Mask is set to "255.255.0.0" at the factory.

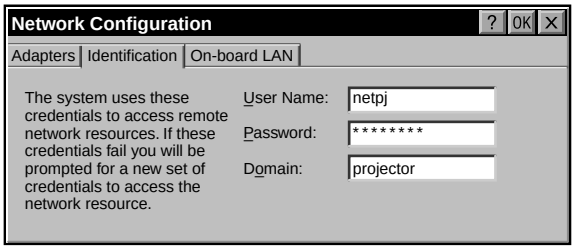

'Wireless Ethernet Driver' settings
OK X
IP Address Name Servers
An IP address can be automatically assigned to this computer. If your network does not automatically assign IP addresses, ask your network administrator for an address, and then type it in the space provided.
Obtain an IP address via DHCP
Specify an IP address
IP Address: 192.168. 0 . 1
Subnet Mask: 255.255. 0 . 0
Default Gateway: . . .

5 Click the Name Servers tab to display the Name Servers dialog box, then set the necessary items.


'Wireless Ethernet Driver' settings
OK X
IP Address Name Servers
Name server addresses may be automatically assigned if DHCP is enabled on this adapter. You can specify additional WINS or DNS resolvers in the space provided.
Primary DNS:
Secondary DNS:
Primary WINS:
Secondary WINS:

6 Click the OK button.
The Network Configuration dialog box reappears.

7 According to your requirements, click the Identification tab and set the necessary items.


Network Configuration
? OK X
Adapters Identification On-board LAN
The system uses these credentials to access remote network resources. If these credentials fail you will be prompted for a new set of credentials to access the network resource.
User Name: netpj
Password: ********
Domain: projector

8 Click the OK button.

When you use a wireless LAN PC card with the VPL-PX15 or the VPL-FX50

If you select Wireless Ethernet Driver in step **3**, follow the steps below after performing step **6**.

1 Click the On-board LAN tab.

2 Remove the check from the "Enable On-board LAN" checkbox.

3 Click the OK button.
The window in step **2** reappears.

Note

Once the On-board LAN was deactivated, it is not shown in the driver names of the Network Configuration dialog box. If you want to select On-board LAN, check the Enable On-board LAN checkbox, then repeat from step **2** in "Setting up the network configuration."

Setting up a wireless LAN environment

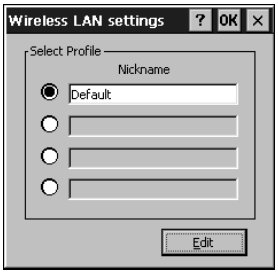
When you are using a wireless LAN PC card, it is also necessary to set up the projector following the steps below.

Using a wireless LAN access point

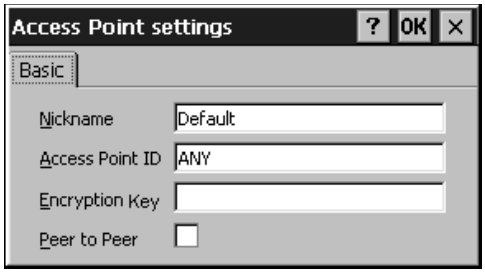
Set up the access point you are connecting to as follows.

1 From the Start menu, click Control Panel in the Network Projector window.

2 Double-click the Wireless LAN icon.
The Wireless LAN settings dialog box appears.



3 Click the Edit button.
The Access Point settings dialog box appears.



4 Enter a Nickname.
The Nickname identifies the access point. Enter up to 32 characters for the Nickname using alphanumeric characters and symbols (ASCII characters). If multiple access points exist, make sure to assign a different name to each one.

5 Enter the Access Point ID.
Type the ID specified for the access point you are connecting to.

6 Enter the Encryption Key.
Type the encryption key, if it is set and is active on the access point.

7 Click the OK button.
The Wireless LAN settings dialog box reappears.

8 Click the radio button of the Nickname you want to use, and click the OK button.
Connection is made to the selected access point.

To connect to an access point which is already configured

If multiple access points exist, you can assign up to four Nicknames for them. If you want to connect to an access point which is already configured, select a radio button next to the relevant Nickname then click the OK button in the Wireless LAN settings window. Connection is made to the selected access point.

Note

When the manufacturer of the wireless LAN card inserted into the projector and that of the wireless LAN access point are not the same, how to enter the encryption key may differ. If the encryption key appears in hexadecimal values, enter the hexadecimal values for Encryption Key.

When no communication is taking place between the access point and the projector

If the channel for the access point is set to 12–14, set it to any channel between 1 and 11.

Notes

- Contact qualified Sony personnel if any trouble occurs when you are using the specified/ recommended Sony wireless LAN PC card.
- If the manufacturer of the wireless LAN card and that of the wireless LAN access point are not the same, communication by enabled encryption does not take place correctly.

Peer to Peer (Ad-hoc) mode

To connect to a wireless LAN between the projector and computers without using the wireless LAN access point, follow the steps below on the projector only.

1 Follow steps **1** to **4** in "Using the wireless LAN access point." In the Access Point settings dialog box, set the Nickname of this mode.

2 Click the checkbox next to Peer to Peer.

3 Enter an optional Access Point ID.
You can type up to 32 alphanumeric characters for the ID.

4 Enter the Encryption Key if you want to make it active.

5 Click the OK button.
The Wireless LAN settings dialog box reappears.

6 Click the radio button of the Nickname you entered in step **1**.
The Peer to Peer mode takes effect.

For the computers connected it is required to enter the same Access Point ID and Encryption Key as those entered in the procedure above and an optional Nickname. For details, refer to the Operating Instructions of the wireless LAN PC card inserted into the computers.

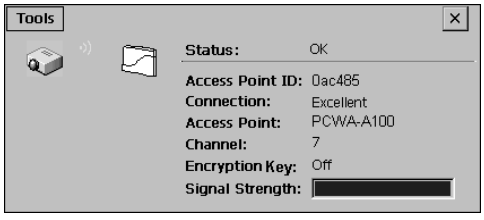
Notes

- Use wireless LAN PC cards of the same manufacturer both for the projector and the computer.
- If Peer to Peer (Ad-hoc) is configured on one of the connected computers, perform step **1**, then steps **3** to **6** above to enter the same Access Point ID and Encryption Key as those of the computer and an optional Nickname on the projector.
- Select Peer to Peer (Ad-hoc) only for one of the projector and computers on the same LAN.
- When you use Peer to Peer (Ad-hoc) mode, you need to set a dedicated IP address and Subnet Mask for this mode on the projector and the computer.

Checking connection with the access point

You can check if the projector is correctly connected to the access point.

1 Double-click the (reception level indicator) icon on the task bar of the Network Projector window. The window that indicates the connection status between the projector and the access point appears.



2 Check the following.
- Status: Shows OK if the projector has a correct recognition of the wireless LAN PC card.
- Access Point ID
- Connection: Connection status with the access point
- Access Point: Information about the connected access point
- Channel: Assigned channel
- Encryption Key: Encryption enabled or disabled on the connected access point
- Signal Strength: Signal level for communication between the projector and the access point

When Access Point ID shows "searching"

Verify if the Nickname, Access Point ID and Encryption Key are correct. Selecting Edit wireless Profiles... from the Tools menu opens the Wireless LAN settings window. If any of the items is not correct, correct it following steps **3** through **8** on page 10 (GB).

Setting the date and clock

The clock is displayed on the task bar of the Network Projector window. To set the date and time, follow the steps below.

1 From the Start menu of the Network Projector window, click Control Panel.

2 Double-click the Date/Time icon.

3 Set the date and time.

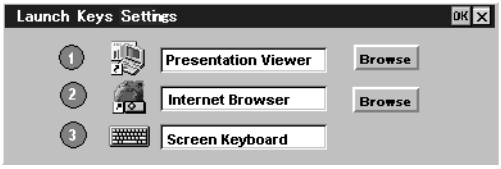
Assigning an application software to the FUNCTION key on the Remote Commander (for VPL-PX15 and VPL-FX50)

If you assigned an application to the FUNCTION 1 or 2 key on the supplied Remote Commander, a touch of the key enables you to start that application. The screen keyboard is assigned to the FUNCTION 3 key at the factory, and you cannot reassign or cancel that assignment.

For detailed information about the screen keyboard, see page 29 (GB).

1 From the Start menu of the Network Projector window, click Control Panel.

2 Double-click the Launch Keys icon.
The Launch Keys Settings dialog box appears.



3 Click Browse for the key (1 or 2) to which you want to assign an application software, then click the application you want from the application list.

4 Repeat step **3** if you want to assign an application to the other key.

5 Click the OK button.

Setting Up from a Computer

Notes

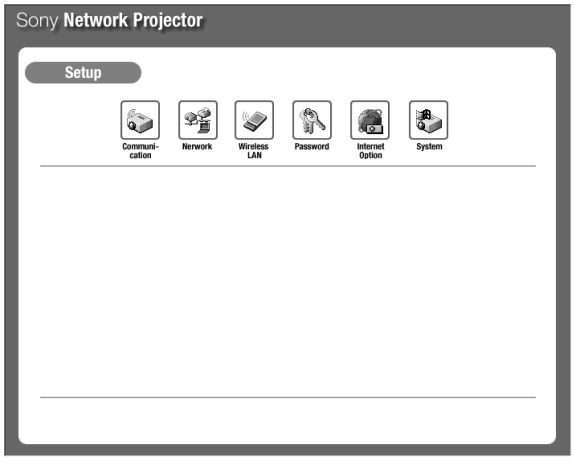
- Connect a single computer you are using for setups to the projector if the IP address of the projector is not changed from the factory-preset one.
- If the browser of your computer is set to “Access the Internet using a proxy server,” enter the IP address of the projector in the box “Access the Internet without using a proxy server” when you have access to the projector from your computer.
- The computer may not accept the password for the projector, depending on the version of the browser. In this case, restart the browser.

Opening the setup window

1 Start the computer’s browser software (Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version).

2 Type “http://xxx.xxx.xxx.xxx (for the IP address of the projector)/setup”.
If the IP address is not changed from the factory-preset one, type “http://192.168.0.1/setup” (when using a LAN PC card) or “http://192.168.0.2/setup” (when using the ETHER connector).
If the number of the IP address starts from 0 (zero), enter the number without 0.
Example: 192.168.000.001 → 192.168.0.1
The Password dialog box appears.

3 Enter the Name and Password for Administrator.
If the Password setting is not changed from the factory-preset one, enter “root” in the Name text box.
The Setup window appears.



Setting the password

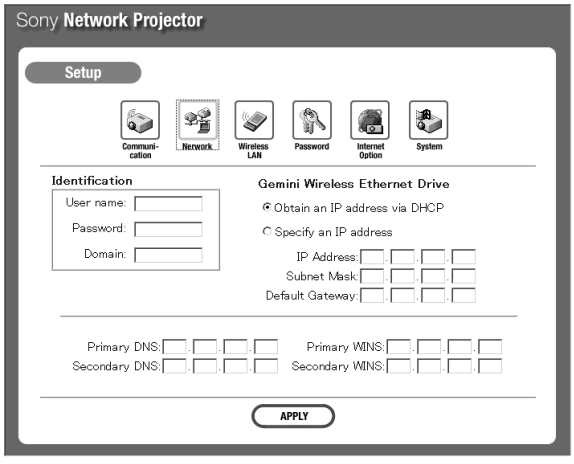
1 Click the Password icon in the Setup window.
The password setting dialog box appears.
Setup procedure is the same as that operated by the projector.

For details, see “Setting the password” on page 8 (GB).

2 Click the APPLY button.

Setting up the network configuration

1 Click the Network icon in the Setup window.
The Network configuration window appears.



In this window you can set the items described in steps **4** to **7** in “Setting up the network configuration” on page 9 (GB).

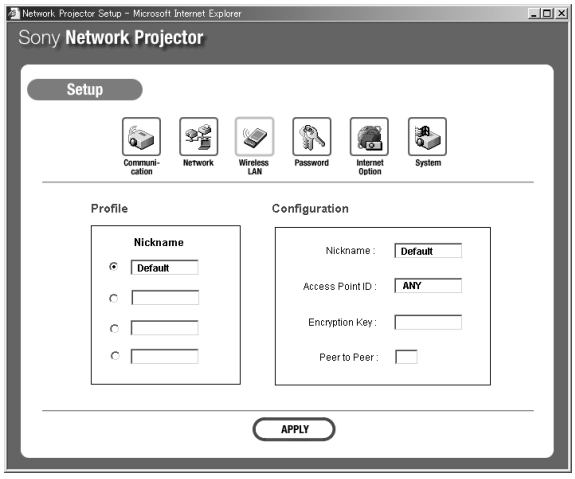
For details, see “Setting up the network configuration” on page 9 (GB).

2 Click the APPLY button.
The window for restart appears.

3 Click the RESTART button.
If the projector is turned on and the Network Projector window is open, the projector’s screen is turned off for about 10 seconds, then the projector restarts.
The network setting does not take effect until you restart the projector.

Setting up the wireless LAN environment

1 Click the Wireless LAN icon in the Setup window.
The dialog box for setting the Nickname, Access Point ID, Encryption Key and Peer to Peer appears.
Setup procedure is the same as that operated by the projector.



For details, see “Setting up a wireless LAN environment–Using a wireless LAN access point/Peer to Peer (Ad-hoc) mode” on pages 10 (GB) and 11 (GB).

2 Click the APPLY button.

Basic Operation Flowcharts

This section describes the operation flowchart for using the projector via a network or for using the built-in network function of the projector. There are two types of flowcharts; for operations from a computer and for those from the projector. For details, see the pages in parenthesis.

Required conditions

- The projector and computer are connected to the same LAN.
- The projector and computer are turned on.
- The INPUT-B FUNC. (VPL-PX15) or INPUT-C FUNC. (VPL-FX50) is set to ON in the INSTALL SETTING menu.
- The INPUT C/RS-232C/RS-422A select switch is set to INPUT C. (VPL-FE110U/M)
- The input of the projector is set to INPUT B (VPL-PX15) or INPUT C (VPL-FX50 and VPL-FE110U/M).

Operations from a Computer

Running a presentation using a file created with PowerPoint

You can control a presentation using a file created with PowerPoint from a computer.

Starting a Web browser of a computer to access the projector (page 19)

Start the Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version, and then enter the projector's IP address.

Selecting PRESENTATION VIEWER (page 20)

Select the PRESENTATION VIEWER icon in the Application Select window.

Finding a file you want to use for your presentation (page 20)

Select where the file is stored, the computer or projector, then select the PowerPoint file you want. The Slide Viewer starts.

Setting up a slide show (page 21)

Set which slides to use and how to advance a slide in a slide show.

Running a slide show

Projecting an Excel file onto the projector

You can display an Excel file on the projector by operating from a computer.

Starting a Web browser of a computer to access the projector (page 19)

Start the Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version, and then enter the projector's IP address.

Selecting PRESENTATION VIEWER (page 23)

Select the PRESENTATION VIEWER icon in the Application Select window.

Finding a file you want to project on the projector (page 23)

Select where the file is stored, the computer or projector, then select the Excel file you want. The Worksheet Viewer starts.

Projecting an Excel file

Projecting an image onto the projector using a file stored in a computer

You can project an image onto the projector by operating from a computer.

Starting a Web browser of a computer to access the projector **(page 19)**

Start the Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version, and then enter the projector's IP address.

Selecting the Image Viewer of the projector **(page 23)**

Select the IMAGE VIEWER icon in the Application Select window.

Selecting where the file is stored **(page 23)**

Select COMPUTER in the Look In window. The Image Viewer starts.

Finding a file you want to project on the projector **(page 24)**

Select the image file you want by clicking the Browse button.

Projecting an image

Projecting an image or running a slide show onto the projector using a file stored in the projector

By using an image file stored in the projector or in the PC memory card you can project it on the projector by operating a computer. You can also run a slide show using the slide show setting file preset on the projector.

Starting a Web browser of a computer to access the projector **(page 19)**

Start the Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version, and then enter the projector's IP address.

Selecting the image Viewer of the projector **(page 25)**

Select the IMAGE VIEWER icon in the Application Select window.

Selecting where the file is stored **(page 25)**

Select PROJECTOR in the Look In window. The Image Viewer starts.

Selecting a folder to project **(page 25)**

Select a folder you want in the Folder/.SHO File Select window.

Projecting an image

Selecting the setting file to run a slide show **(page 25)**

Select the .SHO file you want in the Folder/.SHO File Select window.

Setting up a slide show **(page 25)**

Set how to advance a slide in a slide show.

Running a slide show

Managing files with File Manager

You can add files stored in a computer to the projector's storage or delete files stored in the projector.

Starting a Web browser of a computer to access the projector (page 19)

Start the Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version, and then enter the projector's IP address.

Starting File Manager (page 26)

Select the FILE MANAGER icon in the Application Select window.

Adding files (page 26)

Select a file in a computer you want to add to the projector's storage.

Deleting files (page 26)

Select a file in the projector you want to delete.

Running an addition

Running a deletion

Controlling the projector

You can perform various adjustments and settings of the projector from a computer.

Starting a Web browser of a computer to access the projector (page 19)

Start the Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version, and then enter the projector's IP address.

Displaying the control window (page 27)

Click the MORE... button.

Adjusting or setting the projector

Operations from the Projector

Running a presentation using a file stored in the computer

Immediately after you open a file created with PowerPoint stored in a computer, you can start a presentation by operating the projector.

Starting My Projector (page 31)

Double-click the My Projector icon.

Selecting a file you want to use for your presentation (page 31)

Enter the name of a computer that stores the file to use, and select the PowerPoint file. Slide Viewer starts and the selected file appears in slide view.

Setting up a slide show (page 31)

Set which slides to use and how to advance a slide in a slide show.

Running a slide show

Running a presentation using a file stored in the projector or memory card

By using a PowerPoint file stored in the projector or in the PC memory card, you can run a presentation by operating the projector only.

Starting the Presentation Viewer **(page 31)**

Double-click the Presentation Viewer icon.

Selecting a file you want to use for your presentation **(page 31)**

Select the PowerPoint file you want in the Open File dialog box. The Slide Viewer starts, and the selected file appears in slide view.

Setting up a slide show **(page 31)**

Set which slides to use and how to advance a slide in a slide show.

Running a slide show

Projecting an Excel file stored in a computer

You can project an Excel file stored in a computer on the same LAN by operating the projector.

Starting My Projector **(page 32)**

Double-click the My Projector icon.

Selecting a file you want to project **(page 32)**

Enter the name of a computer that stores the file to use, and select an Excel file. Worksheet Viewer starts, and the selected file is displayed on the projector.

Projecting an Excel file stored in the projector or memory card

You can project an Excel file stored in the projector or memory card onto the projector.

Starting the Presentation Viewer **(page 32)**

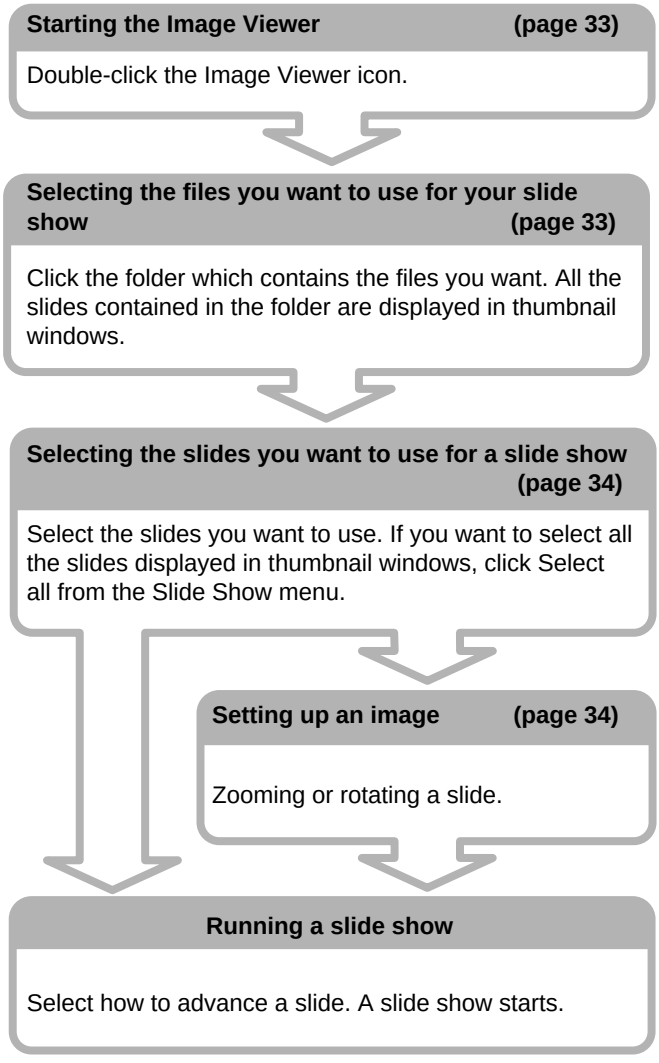
Double-click the Presentation Viewer icon.

Selecting a file you want to project **(page 32)**

Select the Excel file in the Open File dialog box. The Worksheet Viewer starts, and the selected file is projected on the projector.

Running a slide show using an image file stored in the projector or memory card

You can run a slide show using an image file stored in the projector or memory card by operating the projector only.


Starting the Image Viewer (page 33)
Double-click the Image Viewer icon.
Selecting the files you want to use for your slide show (page 33)
Click the folder which contains the files you want. All the slides contained in the folder are displayed in thumbnail windows.
Selecting the slides you want to use for a slide show (page 34)
Select the slides you want to use. If you want to select all the slides displayed in thumbnail windows, click Select all from the Slide Show menu.
Setting up an image (page 34)
Zooming or rotating a slide.
Running a slide show
Select how to advance a slide. A slide show starts.

Connecting to the Internet

Preparations

Before starting

■ **For VPL-PX15**
Confirm that the INPUT-B FUNC. is set to ON in the INSTALL SETTING menu.

■ **For VPL-FX50**
Confirm that the INPUT-C FUNC. is set to ON in the INSTALL SETTING menu.

■ **For VPL-FE110U/M**
Confirm that the INPUT C/RS-232C/RS-422A select switch is set to INPUT C.

Starting the browser to have access to the projector

In order to control the projector from a computer, you have to access the projector by starting the browser on the computer. Suitable browsers are Internet Explorer 4.0 or later versions, and Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version.

1 Turn on the projector.

2 Set the input to the projector to INPUT B (VPL-PX15) or INPUT C (VPL-FX50 and VPL-FE110U/M)

3 Switch on the computer.

4 Start the browser on the computer.

5 Enter the IP address of the projector.
Type “http://xxx.xxx.xxx.xxx (for the IP address of the projector).”
You can verify the IP address as it is displayed on the task bar in the Network Projector window.
The Application Select window appears.

When the password is set for the projector, the password setting dialog box appears. Enter the Name and Password for User.

For information on the Application Select window, see “Names and functions of the Application Select window.”

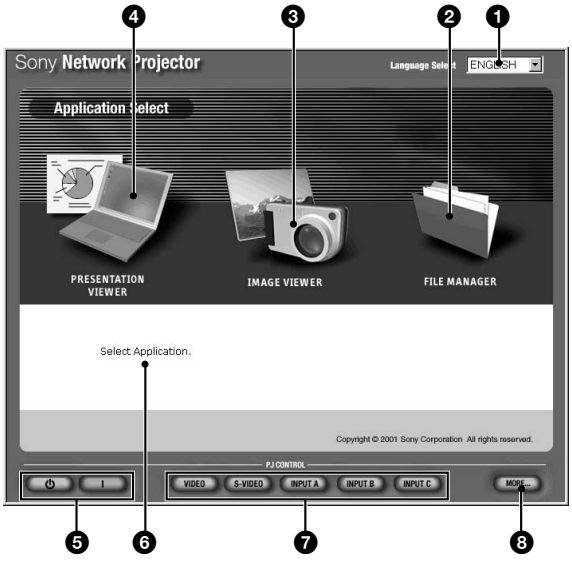
Operations that follow the above steps are shown on pages 20 (GB) to 28 (GB).

Notes

- Do not have access to the projector from two or more computers simultaneously.
- If the browser of your computer is set to “Access the Internet using a proxy server,” enter the IP address of the projector in the box “Access the Internet without using a proxy server” when you have access to the projector from your computer.
- The computer may not accept the password for the projector, depending on the version of the browser. In this case, restart the browser.
- If the browser on a computer exits without closing the application, the projector automatically returns to the initial Network Projector window after about 30 seconds. In this case, restart the browser.

Names and functions of the Application Select window

Having access to the projector opens the Application Select window. The following shows the names and functions of the icons and buttons in the window.



❶ Language select button

Clicking ▼ opens the language select drop-down list. Each window has help sentences shown on the lower part of the window. You can display them in English, French, German, Spanish, Italian or Japanese.

❷ FILE MANAGER icon

Starts the File Manager to manage the files stored in the projector.

❸ IMAGE VIEWER icon

Opens the setup window for projecting image files.

(continued)

❹ PRESENTATION VIEWER icon
Opens the select window for starting the PowerPoint viewer (Slide Viewer) or Excel viewer (Worksheet Viewer).

❺ I/⏻ (on/standby) button
Turns the projector on or sets it to standby mode.

❻ Help
Resting the pointer over each item displays the instructions for the item. This makes your operations easier in each window.

❼ Input select buttons
Select the input to the projector.
The INPUT C button does not exist in the window for the VPL-PX15.

❽ MORE... button
Opens the control window for the projector.

Running a Presentation Using the Slide Viewer

When you intend to run a presentation with PowerPoint in a conference room, you can control the presentation by operating your computer in the same room or in the location far away from the projector.

What you can do with the Slide Viewer

You can
- run a slide show using the file created with PowerPoint.
- show a custom slide show if created.
- show a speaker's note or hide it.
- show a slide or hide it.
- set timings to advance a slide during a slide show. You can select an automatic or manual slide show.

Notes
- It may take time to display the file depending on your network configuration.
- As the Slide Viewer is a basic PowerPoint viewer function, it does not support some features of PowerPoint. We recommend you should project the file you are using for your presentation on the projector before starting the presentation.
- The following fonts are available for the Presentation Viewer; Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman and Wingdings.

Running a presentation

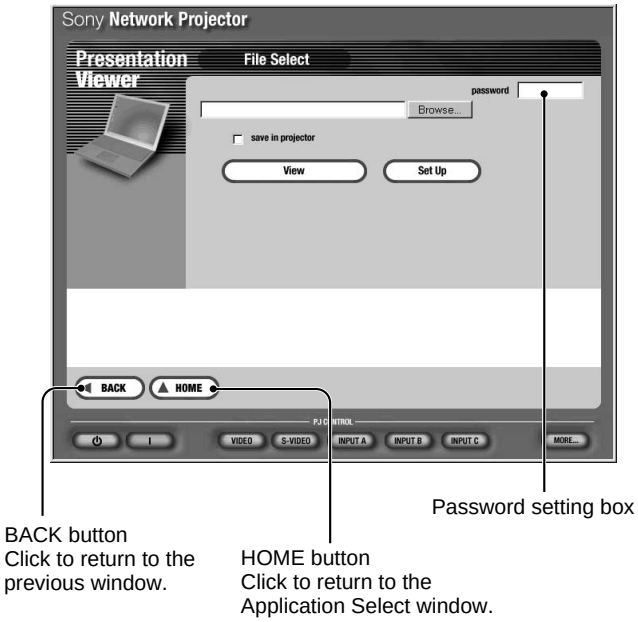
1 Click the PRESENTATION VIEWER icon in the Application Select window.
The Look In window appears.

2 Click to select where to search for the file you want to use for your presentation.
COMPUTER: To select a file stored in a computer
PROJECTOR: To select a file stored in the projector

The File Select window appears.

3 Select the file you want to use for your presentation.

When you select COMPUTER in step 2
Clicking Browse opens the file select window on a computer. Click the PowerPoint file (.ppt or .pps file) you want. You can also select the file by entering the file name in the Browse text box. The selected file name is displayed in the Browse text box.



To store the selected file into the projector

Click to check the “save in projector” checkbox. You can set the password for the file, if necessary. Specify the password in the “password” text box. This disables the file to open from now on unless you enter the password.

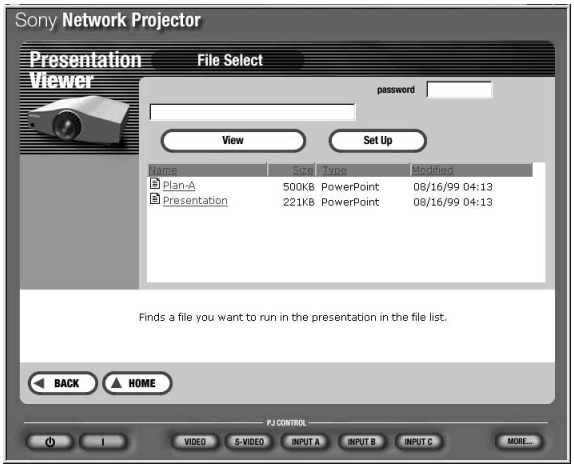
The file will be stored when you click the Set Up or View button.

Note

When you delete a file using File Manager, entering the password is not required even if the password is set for the file.

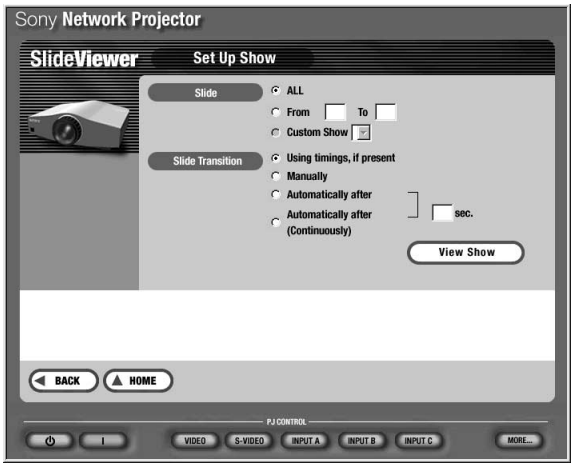
When you select PROJECTOR in step 2

The file list showing the files stored in the projector or a memory card (VPL-PX15 and VPL-FX50) appears. Click the PowerPoint file you want. The selected file name is displayed in the text box.



4 Set up your slide show, if necessary. Click the Set Up button in the File Select window.

The Set Up Show window appears. You can specify slides you want to use for your slide show and set how to advance a slide in the slide show. Resting the mouse pointer over each item shows its instruction on the lower part of the window.



Note

If you are running a presentation using the file stored in a computer, the file is transferred to the projector at the time you click the Set Up button. It will take a little time to display the Set Up Show window on the computer. How long it takes depends on the file size. During this time a message will appear.

5 Click the View button in the File Select window or click the View Show button in the Set Up Show window.

The slide show starts.

Note

If you are running a presentation using the file stored in a computer, the file is transferred to the projector at the time you click the View button. It will take a little time to display a slide show on the projector screen. How long it takes depends on the file size. During this time a message will appear.

To end the slide show

Click the End Show button. (See page 22 (GB).)

The File Select window returns.

(continued)

Note

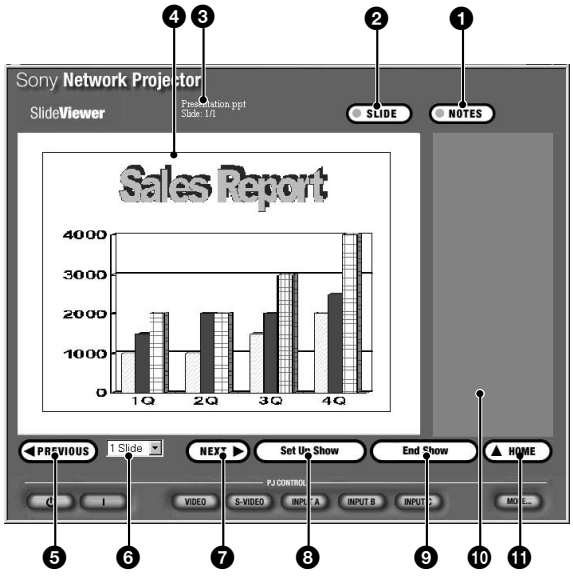
If the message “Projector’s memory is full” appears when clicking the View or Set Up button, delete unnecessary files stored in the projector using the File Manager (page 26 (GB)), then try to run the slide show again. If the message “File size is too large.” appears, reduce the file size, then try to run the slide show again.

Tips :

You may make it smaller by clicking Option, then Save from the Tools menu, and unchecking Save Fast in the PowerPoint application.

About the window displayed while the presentation is running

The following window is displayed during a presentation.



❶ NOTES button

Selects to display/remove a speaker’s note.

❷ SLIDE button

Selects to display/remove a slide show on/from a computer’s display.

❸ File name/slide number

Shows the name of a file and which slide is displayed.

❹ Slide

Shows the currently displayed slide in the slide show. The projector’s screen displays only this slide.

❺ PREVIOUS button

Returns to the previous slide or Animation setting during the slide show.

❻ Slide text box

Clicking ▼ opens the slide name drop-down list. When you select a specific slide from the list, it will be shown.

❼ NEXT button

Advances to the next slide or Animation setting immediately.

❽ Set Up Show button

Returns to the Set Up Show window.

❾ End Show button

Ends or suspends the slide show to return to the File Select window.

❿ Note

Displays a speaker’s note. It is not displayed on the projector screen.

⓫ HOME button

Returns to the Application Select window.

Projecting an Excel File Using the Worksheet Viewer

You can project an Excel file on the projector by operating a computer.

What you can do with the Worksheet Viewer

You can
- display Excel worksheets to fill the projector screen.
- change the area of a worksheet in view on the projector screen.
- zoom in or out the projected worksheet.

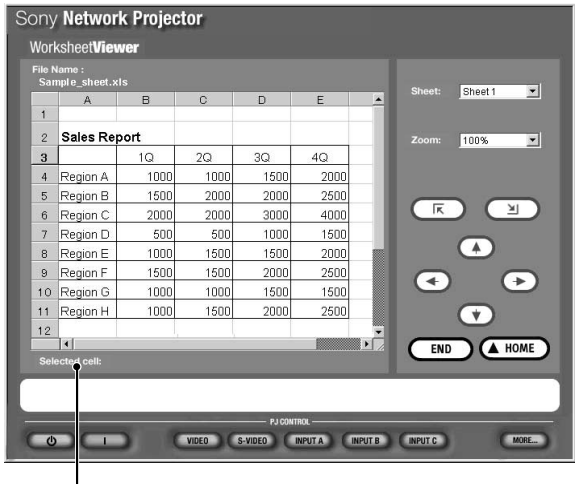
Note

As the Worksheet Viewer is a simple Excel viewer function, it does not support some Excel features such as a split feature.

Projecting an Excel file

1 Follow steps **1** to **3** in "Running a Presentation Using the Slide Viewer — Running a presentation" on page 20 (GB). Make sure to select an Excel file (.xls file) in step **3**.

2 Click the View button.
The Worksheet Viewer starts.
A worksheet of the selected file is displayed on the projector.



Currently selected cell

You can zoom in or out the worksheet projected on the screen, and change the area of the worksheet in view on the projector by using the buttons on the right window. When you rest the mouse pointer over each button or item, its instructions will appear on the bottom of the window.

Notes

- The range of the displayed area of a worksheet on a computer and that of the projected area on the projector is not the same.
- When you click a cell on a computer, the cell becomes active if the selected cell is within the area displayed on the projector. If the selected cell is outside the displayed area, the area with the selected cell is centered on the projector's display.

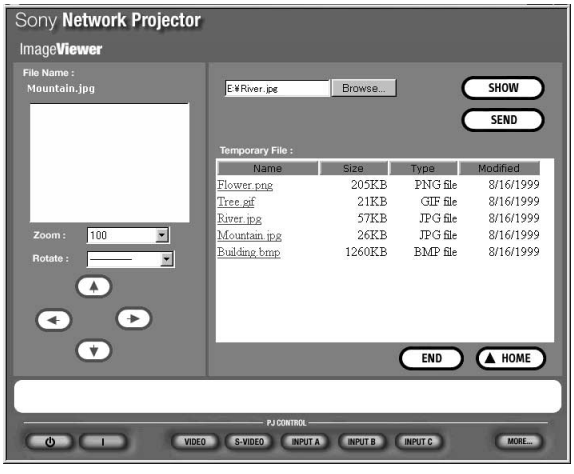
Projecting an Image Using the Image Viewer

You can project an image file stored in any computer on the same LAN or stored in the projector's storage or in the memory card installed in the projector. You can also run a slide show using the slide show setting file (.SHO file) preset in the projector.

Projecting an image stored in a computer on the projector

1 Click the IMAGE VIEWER icon in the Application Select window.
The Look In window appears.

2 Click COMPUTER.
The Image Viewer of the projector starts, and the Image Viewer window opens.



Resting the mouse pointer over each item shows its instruction on the lower part of the window.

(continued)

3 Select an image file to display.
Click Browse to open the file select window on a computer. Double-click the file you want.
The selected file name is displayed in the Browse text box.

4 Click the SHOW button.
A full-screen image of the selected file is displayed on the projector.

Note

When projecting a large size image file such as those in UXGA format, it cannot be opened due to lack of memory. In this case, reduce the image to obtain a smaller file size.

To save time taken for transferring data

When clicking the SHOW button, the file is transferred to the projector. It will take a little time to display an image on the projector's screen. To display the image immediately, transfer all the files you want to use to the projector before starting your presentation.

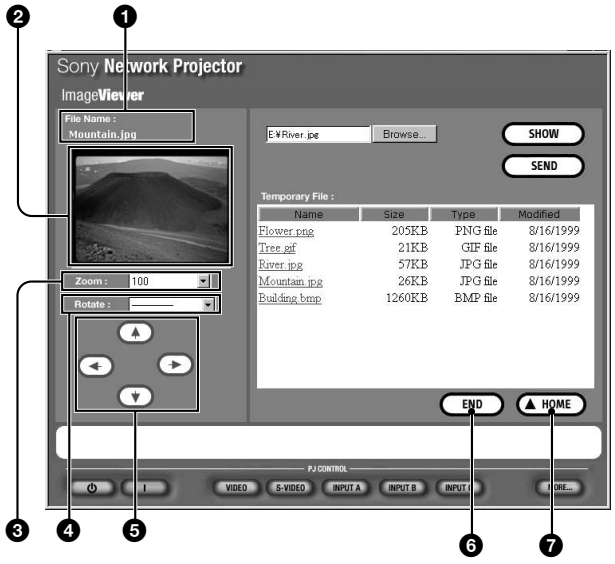
1 After step **3** in "Projecting an image stored in a computer on the projector," click the SEND button.
The selected file name appears in the Temporary File list and the file is transferred to the projector. Repeat this step until all the files you want are shown in the Temporary File dialog box.

2 Double-click the file name listed in the Temporary File dialog box.
A full-screen image of the selected file is displayed on the projector.

Note

If the memory of the Temporary File list is full, the data transferred earlier will be erased.

About the window displayed while the Image Viewer is running



❶ File name

Shows the file name of the currently displayed image.

❷ Slide

Shows the currently displayed image on the projector's screen.

❸ Zoom text box

Clicking ▼ opens the drop-down list to select the ratio of enlargement or reduction for the image.

❹ Rotate text box

Clicking ▼ opens the drop-down list to select the angle of rotation for the image.

Note

When projecting a large size image file such as those in UXGA format, it cannot be rotated due to lack of momory. In this case, reduce the image to obtain a smaller file size.

❺ Scroll buttons

Clicking the arrows changes the display area of the image on the screen, if the enlarged image does not fit the screen.

❻ END button

Ends or suspends the full-screen display to return to the File Select window.

❼ HOME button

Returns to the Application Select window.

Note

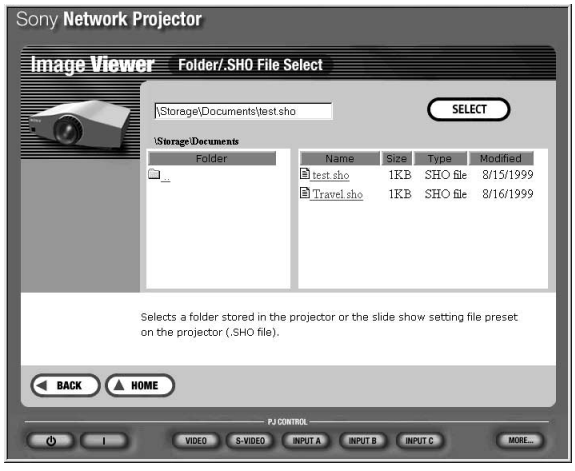
When you exit the Image Viewer window by clicking the END or HOME button, the files listed in the Temporary File will be automatically erased. To store the files, add them to the projector using the File Manager function.

For details, see "Using File Manager" on page 26 (GB).

Running a presentation using an image file stored in the projector

1 Click the IMAGE VIEWER icon in the Application Select window.
The Look In window appears.

2 Click PROJECTOR.
The Image Viewer of the projector starts, and the Folder/.SHO File Select window opens.



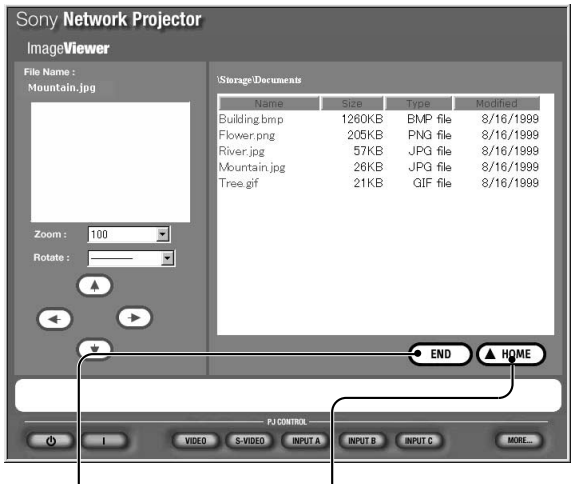
3 Click the folder you want or the folder that contains the slide show setting file (.SHO file) in the Folder list on the left of the window.
The contents of the selected folder are listed on the right.

For details on .SHO files, see "Saving the slide show setting" on page 34 (GB).

4 Select a folder or .SHO file you want to use, then click the SELECT button.
The Image Viewer window appears.

5 Select an image file you want to project on the projector.

When you select a folder in step 4
Image files contained in the selected folder are listed on the right.

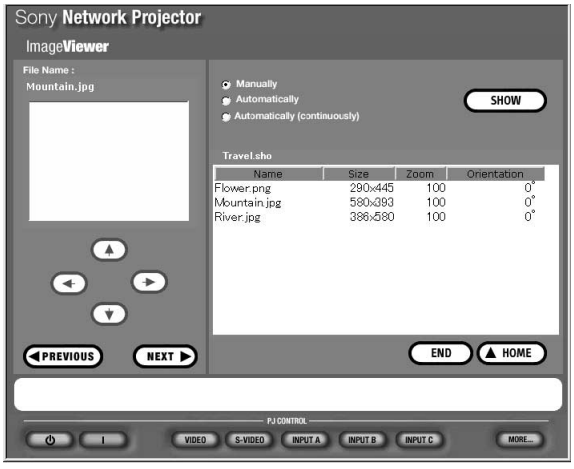


END button
Ends or suspends the display to return to the File Select window.

HOME button
Returns to the Application Select window.

Click the file you want.
A full-screen image of the selected file is projected on the projector.
Resting the mouse pointer over each item on the left of the window shows its instructions on the lower part.

When you select an .SHO file in step 4
The selected .SHO file appears on the right.



Select how to advance slides, and click the SHOW button. The slide show starts.
Resting the mouse pointer over each item on the window shows its instructions on the lower part.

About the window displayed while the Image Viewer is running

The same window as that in “About the window displayed while the Image Viewer is running” on page 24 appears.
The NEXT button on the .SHO file select window is to advance to the next slide immediately during the slide show. The PREVIOUS button is to go back to the previous slide.

Using File Manager

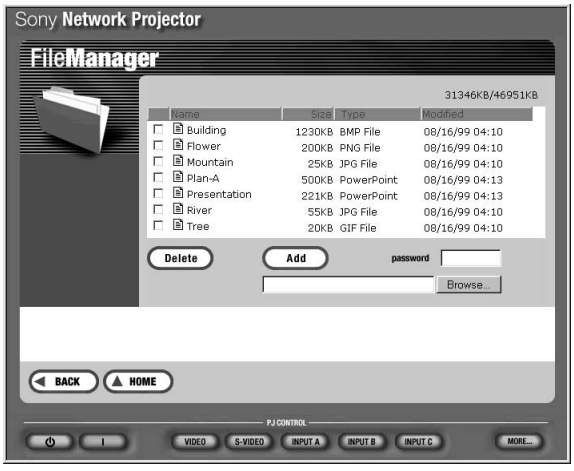
You can manage the files stored in the projector from a computer by a simple operation. The File Manager function enables you to delete unnecessary files stored in the projector or to add files stored in a computer to the projector’s storage.
Use File Manager while checking the currently used memory and largest unused memory of the projector displayed in the File Manager window.

Adding files to the projector using File Manager

1 Click the FILE MANAGER icon in the Application Select window.
The File Manager window appears.

2 Search for the file stored in a computer you want to add to the projector.
Click the Browse... button in the Add File section to open the file select window on the computer. Select the file you want. You can also select the file by entering the file name in the Browse... text box.

You can set the password for the selected file in this step. Specify the password in the “password” text box. Setting the password disables you to open the file from now on unless you enter the password.



3 Click the Add button.
The selected file is stored in the projector.

Deleting files from the projector using File Manager

1 Click the FILE MANAGER icon in the Application Select window.
The File Manager window appears and the list of files stored in the projector pops up.

2 Select the file you want to delete.
You can check all the files you want to delete.

3 Click the Delete button.
All the files you have checked are removed from the file list.

Note

You can delete a file even if the password is set for the file.

Controlling the Projector from a Computer

You can perform various adjustments and settings of the projector on a computer's display. Three control windows are available; GENERAL, PICTURE CTRL and SETTINGS windows, each with different functions.
The functions of the buttons in the windows are the same as those on the Remote Commander supplied with the projector.

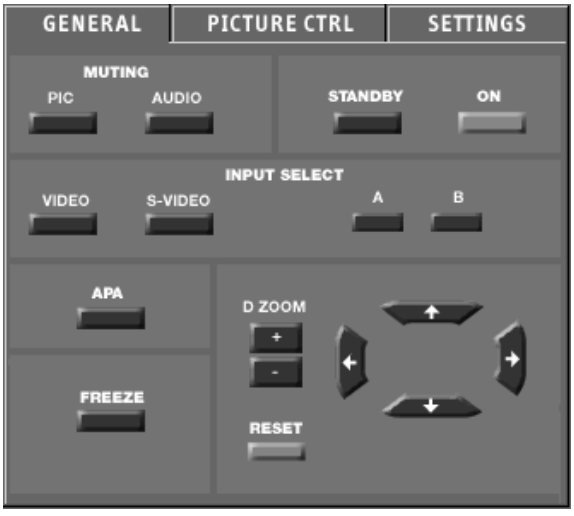
For details on the buttons, see the Operating Instructions of the projector.

The illustrations shown in the steps below are for the VPL-PX15.

1 Click the MORE... button in the PJ CONTROL section.
The GENERAL window appears.

2 Click the function tab to select the window you want.

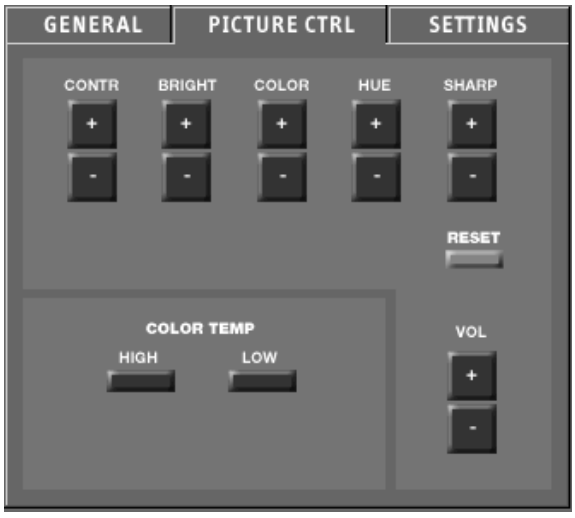
GENERAL window



(VPL-PX15)

■ For VPL-FE110U/M
Specify the switcher number with the SWITCHER button. Use the GROUP button to specify the group index numbers and the INDEX button to specify the device index numbers. Click ▼ to open the drop-down list, then select the number.

PICTURE CTRL window



(VPL-PX15)

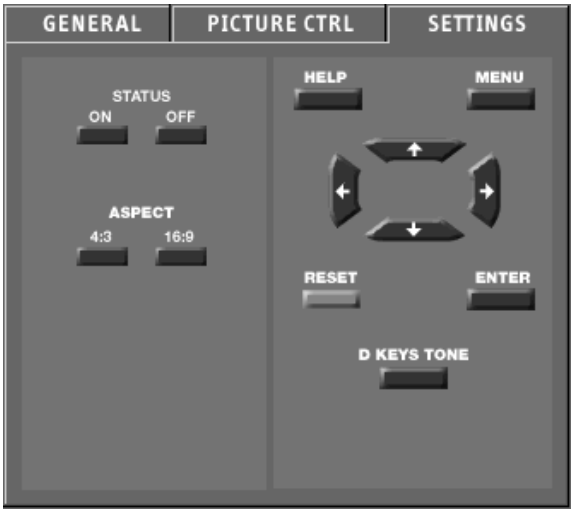
■ For VPL-PX15
The COLOR TEMP (HIGH, LOW) buttons function the same as the settings in the menu.

■ For VPL-FX50
The DDE (OFF, PROGRESSIVE, FILM) and RGB ENHANCER +/– buttons function the same as the settings in the menus.

For details, see the Operating Instructions of the projector.

(continued)

SETTINGS window



(VPL-PX15)

■ For VPL-PX15
The ASPECT (4:3, 16:9) and STATUS (ON, OFF) buttons function the same as the settings in the menu.

■ For VPL-FX50
The ASPECT (4:3, 16:9) and LAMP MODE (STANDARD, LOW) buttons function the same as the settings in the menus.

For details, see the Operating Instructions of the projector.

3 Click the button to adjust or set.

Checking the Indicators on the Projector

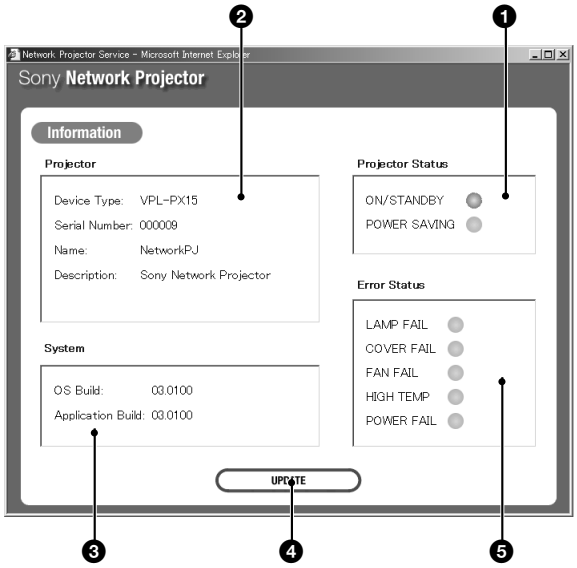
You can check the present status of the indicators on the control panel of the projector on a computer display.

1 Start Internet Explorer 4.0 or later versions, or Netscape Navigator 4.5x or 4.7x version on the computer.

2 Type “http://xxx.xxx.xxx.xxx (for the IP address of the projector)/info” as a URL.
If you do not change the factory-set IP address, type “http://192.168.0.1/info” (when using a LAN PC card) or “http://192.168.0.2/info” (when using the ETHER connector).
If the password is set, the password setting dialog box appears.

3 Enter the name and password of the Administrator. The Information window appears.

The illustration below is for the VPL-PX15.



❶ Projector Status
Shows the present status of the projector.

❷ Projector
Shows the information on the projector.

❸ System
Shows the versions of the Windows CE and application currently used.

❹ UPDATE button
Click to update the latest information.

❺ Error Status
Shows the present status of the indicators on the control panel of the projector.

For information on the indicators, see the Operating Instructions.

Preparations

Before starting

■ For VPL-PX15 and VPL-FX50

- Confirm that INPUT-B FUNC. (VPL-PX15) or INPUT-C FUNC. (VPL-FX50) in the INSTALL SETTING menu is set to ON.
- Switch the PJ/NETWORK select switch to NETWORK.

■ For VPL-FE110U/M

- Confirm that the INPUT C/RS-232C/RS-422A select switch on the rear of the projector is set to INPUT C.
- To operate the projector, use the RM-PJM610 remote commander or mouse and keyboard (not supplied). Connect the mouse and keyboard to the projector before connecting the power cord of the projector to the AC outlet.

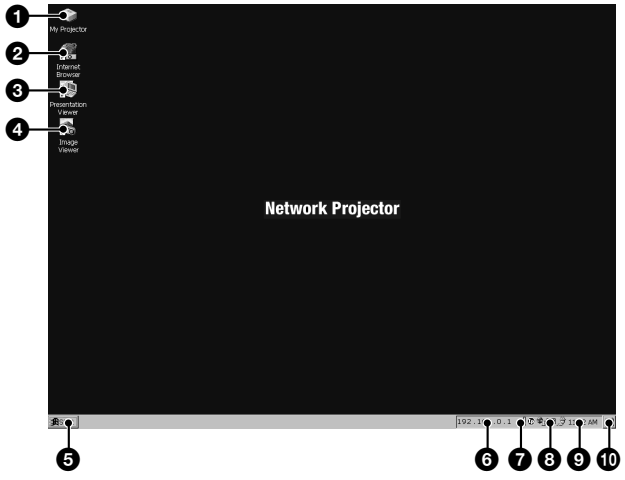
Opening the Network Projector window

To perform networking operations without connecting to a computer, display the Network Projector window on the projector.

1 Turn on the projector.

2 Set the input to the projector to INPUT B (VPL-PX15) or INPUT C (VPL-FX50 and VPL-FE110U/M).
The Network Projector window appears.

Names and functions of the Network Projector window



❶ My Projector icon
Browses the folders in the projector.
Double-clicking the icon shows the Memory card icon, etc.

❷ Internet Browser icon
Double-clicking the icon connects to the Internet.

❸ Presentation Viewer icon
Select when you want to run a presentation using the file created with PowerPoint or you want to project an Excel file on the projector.

❹ Image Viewer icon
Double-clicking the icon starts Image Viewer for running a slide show using image files stored in the projector or memory card.

❺ Start menu

❻ IP address
Shows the IP address of the projector. You can verify it when you are accessing the projector from a computer.

❼ Reception level indicator icon
When the projector correctly recognizes the wireless LAN PC card you insert into the PC CARD slot, the icon appears on the task bar. Double-clicking the icon opens the window indicating the connection status between the projector and the access point.

❽ Screen keyboard icon
Clicking the icon displays the screen keyboard on the projector screen. You can operate the projector for setups or enter a URL by using the supplied Remote Commander (for the VPL-PX15 and VPL-FX50) or the RM-PJM610 remote commander (not supplied, for the VPL-FE110U/M). The screen keyboard has two pages. Clicking the Shift key changes the page.

(continued)

■ **For VPL-PX15 and VPL-FX50**

- When the PJ/NETWORK select switch on the supplied Remote Commander is set to NETWORK, the TAB, ESCAPE, ENTER and arrow keys on the Commander function the same as those on the keyboard.
- Pressing the R CLICK key on the supplied Remote Commander on the screen keyboard icon opens the sub menu. Clicking Remote, then On enables you to use the arrow keys on the Remote Commander as those on the screen keyboard and to select the keys.

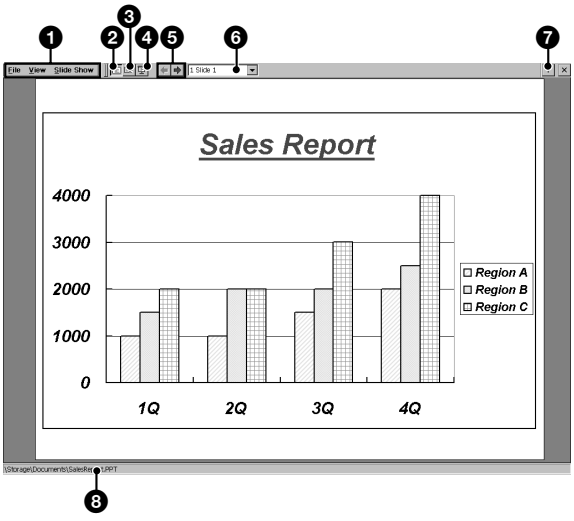
❾ Clock

❿ Desktop icon

Running a Presentation Using the Slide Viewer

You can run a presentation by using a file with PowerPoint stored in a computer located in the same conference room or far from the projector.
Even when a computer is not connected to the projector, you can also start the presentation using a file stored in the projector's storage or in the memory card installed into the PC CARD slot.

About the Slide Viewer window



❶ Menu bar

Menu	Command	Function
File	Open	Opens files stored in the projector.
	Recent Files	Opens the recently used files which are shown in the submenu.
	Close	Closes the currently displayed file.
	Version	Indicates version information on the program.
View	Slide View	Shows a slide in Slide View mode.
	Note View	Shows a slide in Note View mode.
	Slide Show	Runs a slide show.
View Show	Run	Runs a slide show.
	Set Up Show	Sets up the slide show.

❷ (Slide View) button

Shows a slide.

❸ (Note View) button

Shows a slide and speaker's note.

❹ (Slide Show) button

Runs a slide show.

❺ Slide transition buttons

Click the button to display the previous slide.
Click the button to display the next slide.

❻ Slide list box

Click to open the drop-down list and select the number of the slide you want to display.

❼ (Help) button

Click to display the Help topic for the Slide Viewer.

❽ File name

The name of a file is displayed.

Running a presentation

Using a file stored in a computer connected to the LAN

1 Double-click the My Projector icon in the Network Projector window.

2 Enter "\\ xxxx (name of a computer you want to access)" in the address column, then click the Enter button.
The shared folders for the computer are displayed.

Note

You have to set the items for Identification in the Network Configuration dialog box (page 9 (GB)), and have to set share files with a computer you want to access.

3 Select the folder which contains the PowerPoint file (.ppt or .pps file) you want to run a presentation, then double-click that file.
If the password is set for the selected computer, enter the password.
The Slide Viewer starts.

4 When you want to set up the slide show, click Set Up Show from the View Show menu.
The Set Up Show dialog box opens.
For details, see Help for Slide Viewer.

5 Click Run from the View Show menu to run the slide show.

Using a file stored in the projector or in the memory card

1 Double-click the Presentation Viewer icon in the Network Projector window.
The Presentation Viewer starts, and the Open File dialog box appears.

2 Select the PowerPoint file you want, and click the OK button.
The Slide Viewer starts, and the selected file appears in slide view.

3 Perform steps **4** and **5** in "Using a file stored in a computer connected to the LAN."

Switching the slide view mode

Slide Viewer has three view modes; Slide Show, Slide View and Note View, each of which gives you a different way of showing a slide. Display a view by clicking its corresponding command from the View menu. Clicking its button on the tool bar also switches the view.

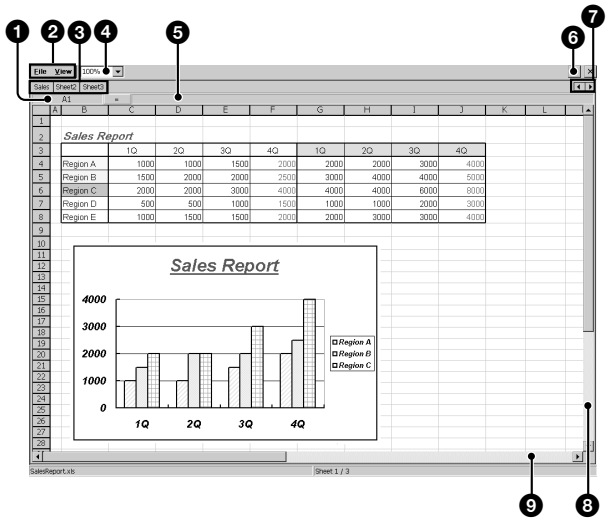
About Help for the Slide Viewer

For details on operations with the Slide Viewer, see Help. Clicking the ? button on the tool bar opens the Help topic.

Projecting an Excel File Using the Worksheet Viewer

You can project Excel files stored in a computer on the same LAN. You can also project those stored in the projector or in the memory card without connecting a computer.

About the Worksheet Viewer window



(continued)

❶ Name box
Identifies the currently selected cell.

❷ Menu bar

Menu	Command	Function
File	Open	Opens files stored in the projector.
	Close	Closes the currently displayed file.
	About	Indicates version information on the program.
View	Zoom	Opens the Zoom dialog box to enlarge or reduce the display.

❸ Sheet tabs
Displays the names of sheets. Click the sheet tab to make a sheet active.

❹ Zoom box
Click ▼ to select the magnification to reduce or enlarge the display of an active worksheet.

❺ Cell contents bar
Displays the result or constant value of the active cell.

❻ ? (Help) button
Displays the Help topic for the Worksheet Viewer.

❼ ◀/▶ buttons
Use to scroll through the sheet tabs. Click an arrow of the direction to which you want to scroll.

❽ ▲/▼ (up/down) scroll bar
Use to scroll the display up or down. To scroll, drag the box or click the arrow.

❾ ◀/▶ (left/right) scroll bar
Use to scroll the display left or right. To scroll, drag the box or click the arrow.

Projecting an Excel file

Using a file stored in a computer connected to the LAN

1 Follow steps **1** and **2** in “Running a presentation — Using a file stored in a computer connected to the LAN” on page 31 (GB).

2 Select the folder which contains the Excel file you want to project on the projector, then double-click that file.
If the password is set for the selected computer, enter the password.
The Worksheet Viewer starts and a worksheet in the selected Excel file appears on the projector.

Using a file stored in the projector or in the memory card

1 Double-click the Presentation Viewer icon in the Network Projector window.
The Presentation Viewer starts, and the Open File dialog box appears.

2 Select the Excel file you want to project, and click the OK button.
The Worksheet Viewer starts, and a worksheet in the selected file appears on the projector.

Changing the size or display area of the projected worksheet
When you want to zoom in or out the projected worksheet or change the area of the worksheet in view, see Help for Worksheet Viewer.

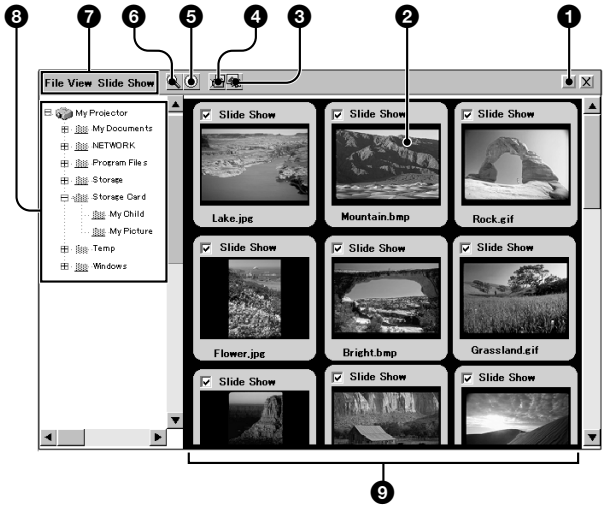
About Help for Worksheet Viewer

For details on operation with Worksheet Viewer, see Help. Clicking the ? button on the tool bar opens the Help topic.

Running a Slide Show Using the Image Viewer

You can display thumbnail images of the files stored in the projector or a memory card installed in the projector, then run a slide show by selecting the images you want.
When you start the Image Viewer of the projector and select the folder which contains the files you want, the main window opens.

About the main window of the Image Viewer



❶ (Help) button
Click to display the Help topic for the Image Viewer.

❷ Slide
Clicking a slide displays a green frame around the slide. This indicates that the slide is selected.

❸ (Slide Show Setting) button
Opens the Slide Show Setting dialog box for zooming, rotating, etc.

❹ (View Show) button
Clicking the button opens the sub menu for advancing a slide.

❺ (Information) button
Opens the information dialog box of the selected slide.

❻ (Full screen) button
Displays the full-screen window of a slide you choose.

❼ Menu bar

Menu	Command	Function
File	Close	Closes the currently displayed file.
	About	Indicates version information on the program.
View	Full Screen	Displays the full-screen window of an image you choose.
	Information	Opens the information dialog box of the selected image.
	Sort slides	Sorts the slides in a folder by specified order.
Slide Show	View Show	Runs a slide show by advancing a slide selected in the sub menu.
	Slide Show Setting	Sets up the slide show in detail.
	Select all	Selects all the slides included in the thumbnail window.
	Clear all	Cancels any selection of slides in thumbnail images.
	Load...	Loads the slide show setting file stored.
	Save...	Stores the current slide show setting as a setting file (Extension is ".SHO.")

❽ Folder dialog box
Browses the folders stored in the projector or a memory card installed in the projector.

❾ Slide display area
Displays thumbnail images of the slides included in the folder you select.

Displaying a full-screen image

You can display a full-screen image of an thumbnail image selected from the main window.

1 Double-click the Image Viewer icon in the Network Projector window.
The Image Viewer starts.

2 Select the folder which contains the image files you want to display from the folder dialog box.
You can choose the folder stored in the projector or a memory card installed in the projector.
The main window opens, showing thumbnail images of the slides contained in the selected folder.

(continued)

3 Select a slide you want to display by clicking a thumbnail slide.
The green frame appears on the selected slide.

4 Right-click the slide to select Full Screen, click Full Screen from the View menu, or click the button on the tool bar.
The slide is displayed to fit the projector screen.

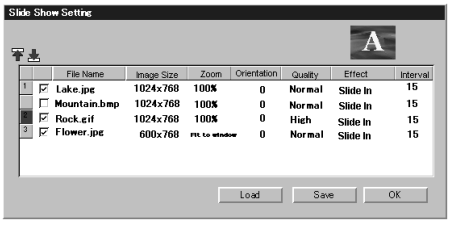
Running a slide show

1 Follow steps **1** and **2** in "Displaying a full-screen image."

2 Select slides you want to use for your slide show.
- Check the Slide Show check box on each slide you want to use. Check all the slides you are using.
- To use all of the slides in the selected folder, click Select all from the Slide Show menu.
- If you have already stored the slide show setting files, click Load... from the Slide Show menu to display the Load Slide show setting file dialog box. Select the file you want.

For details on the Slide show setting files, see "Saving the slide show setting."

3 When you want to set up the slide, such as zooming or rotating of an image, click Slide Show Setting from the Slide Show menu or click the button on the tool bar.
The Slide Show Setting dialog box appears.



Change the settings and click the OK or Save button.

Note

When projecting a large size image file such as those in UXGA format, it may not be opened or rotated due to lack of memory. In this case, reduce the image to obtain a smaller file size.

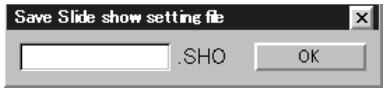
4 Click View Show from the Slide Show menu, or click the button on the tool bar.
The sub menu for choosing how to advance a slide opens. Clicking one of the options starts a slide show.

Saving the slide show setting

You can run a slide show repeatedly by using the files stored as the slide show setting files (.SHO files). You can also change the settings of the stored setting files.

To save the file

1 Click Save... from the Slide Show menu.
The Save Slide show setting file dialog box opens.



2 Enter the file name, then click the OK button.
The saved files are shown in the Load Slide show setting file dialog box.

To save after changing the settings

Click Slide Show Setting from the Slide Show menu to open the Slide Show Setting dialog box, and change the settings. Click the Save button to open the Save Slide show setting file dialog box. Follow step **2**.

To change the settings after saving

1 Click Slide Show Setting from the Slide Show menu.
The Slide Show Setting dialog box opens.

2 Click Load.
The Load Slide show setting file dialog box opens.

3 Select the file for which you want to change the settings, and click the OK button.
The Slide Show Setting dialog box opens.

4 Change the settings, then click the Save button.

To change the setting in the main window

1 Click Load... from the Slide Show menu.
The Load Slide show setting file dialog box opens.

2 Select the file you want to change, and click the OK button.
The main window opens.

3 Change the checks in the Slide Show check boxes of the slides.

About Help for Image Viewer

For details on operations with Image Viewer, see Help. Clicking the ? button on the tool bar opens the Help topic.

Connecting to the Internet

1 Double-click the Internet Browser icon in the Network Projector window.
The Internet Browser window appears.

2 Click the software keyboard icon on the task bar to display the screen keyboard, then enter the address for the homepage you want.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem, using the following guide. If the problem still persists, consult with qualified Sony personnel.

Symptom	Causes and remedies
A connection to the network is not established.	• The PC card is not properly inserted into the PC CARD slot. → Check that the card is facing correctly, then push the card into the slot until it is firmly seated. • The cable is not properly connected to the ETHER connector. (VPL-PX15, VPL-FX50) → Insert the plug of the cable to the connector firmly. • The LAN PC card, wireless LAN PC card and wireless LAN access point you are using are not the specified/recommended ones. → Use the specified/recommended devices. Use of those not specified/ recommended may cause incorrect operation. For information on the specified/recommended cards, etc., see the attached “Specified/recommended PC Card/Wireless LAN Access Point.” • The network environment is not properly set up. → Check the network configuration settings of the projector. (pages 9 (GB) and 13 (GB)) → When you control the projector by using the computer’s Web browser, check the network settings on the computer as well. • When you use a wireless LAN PC card, Enable On-board LAN is selected. (VPL-PX15, VPL-FX50) → Remove the check mark from the Enable On-board LAN checkbox. • When you are using the wireless LAN PC card, the wireless LAN is not properly set up. → Check that the Access Point ID and Encryption Key in the Connecting Status dialog box are set to the same numbers as those of the connected access point (page 11 (GB)). • When you are using the wireless LAN PC card, Peer to Peer mode is not properly set up. → Select Peer to Peer only on a piece of equipment connected to the same wireless LAN (page 11 (GB)). • The channel of the access point is set to 12–14. → Set the channel of the access point to 1–11. • The LAN PC card, wireless LAN PC card, memory card or access point still does not operate properly after checking the above. → Consult with the manufacturer of the card or access point you use. When you are using the specified Sony wireless LAN PC card, consult with the qualified Sony personnel.
The computer cannot access to the projector.	• The setting of INPUT-B FUNC. (VPL-PX15) or INPUT-C FUNC. (VPL-FX50) in the INSTALL SETTING menu is not correct. → Set it to ON. • The INPUT C/RS-232C/RS-422A select switch is not correctly set. (VPL-FE110U/M) → Set it to INPUT C. • The browser of your computer is set to “Access the Internet using a proxy server.” → Enter the IP address of the projector in the box “Access the Internet without using a proxy server.” • You entered the projector’s IP address started with 0 (zero). → Do not enter 0 at the beggining of the number. Example: 192.168.000.001 →192.168.0.1

Symptom	Causes and remedies
The projector screen freezes.	The Windows CE software is frozen. → Once you set INPUT-B FUNC. (VPL-PX15) or INPUT-C FUNC. (VPL-FX50) in the INSTALL SETTING menu to OFF, then reset it to ON. → Restart Windows CE by pressing the RESET key within 5 seconds after pressing the FUNCTION key on the supplied RM-PJ1001 Remote Commander. (VPL-FE110U/M)
Fonts or styles change in a PowerPoint or Excel file.	In the text of the file, fonts or styles not supported by the Slide Viewer or Worksheet Viewer are used. → Only the following fonts are available for the Slide Viewer. Other fonts will be replaced with these fonts; Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman, Wingdings. If replaced, an end of paragraph may change according to tab or pharagraph settings. Styles not supported by the Slide Viewer will be replaced with supported styles.
Some characters are not displayed in a PowerPoint or Excel file.	You cannot display characters that the Slide Viewer or Worksheet Viewer does not support, such as Chinese. → Use the file created in English, French, Spanish, German or Italian which are supported by the Slide Viewer.
Some features of a PowerPoint or Excel file are not properly displayed or such effects are not displayed at all.	The file is using the features that are not supported by the Slide Viewer or Worksheet Viewer of the projector. → The features will be replaced with those that are supported. Apply effects that are supported if nothing is displayed.
A slide show cannot be run. The message “Projector’s memory is full. Arrange the files stored in the projector with File Manager, then try to restart the slide show.” appears.	The memory of the projector is full. → Delete unnecessary files stored in the projector using File Manager to increase memory capacity.
A slide show cannot be run. The message “File size is too large. Decrease file size in any way; for example, by dividing it into smaller files, then try to restart the slide show.” appears.	File size exceeds the capacity for transition to the projector. → Check empty memory capacity in the File Manager window, then decrease the file’s capacity by dividing it into smaller files. → Click Option then Save from the Tool menu on the PowerPoint, then remove the check from Save Fast.
Internet Browser for the projector cannot be started.	The projector is not connected to the LAN. → Check the setups for the network configuration and wireless LAN environment. (pages 9 (GB)–13 (GB))
The message “Password is set for the file. Enter password.” appears.	The password is set for the projector or the file. → Enter the password. When the IP address is not changed from the factory-preset one, enter “root” in the Name text box for Administrator.
The message “You might have entered the wrong password. Enter it again.” appears.	The password you entered is not correct. → Enter the correct password.

© 1999 - 2001 WESTTEK LLC. All Rights Reserved. WESTTEK and the WT Logo are registered trademarks of WESTTEK, LLC.
The SONY VPL-Series projector contains materials owned by Sony and Sony suppliers, including WESTTEK, LLC. Your purchase of the SONY VPL-Series projector gives you a limited right to use these materials, solely as a part of the SONY VPL-Series projector and only as necessary to use the SONY VPL-Series projector in the manner described in the accompanying documentation. Your purchase of the SONY VPL-Series projector does not transfer any ownership in these materials to you and you are forbidden to use them for any purpose other than as part of the SONY VPL-Series projector. These materials are protected by copyright law and international treaties. Any unauthorized use, reproduction or distribution of such materials, or any portion of them, may result in severe civil and criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent permissible under law.

Table des matières

Avant l'utilisation

Caractéristiques ..... 4 (FR)
Précautions ..... 5 (FR)
A propos de ce manuel ..... 5 (FR)

Préparatifs

Préparation à l'utilisation de la fonction de gestion de réseaux ..... 6 (FR)
Configuration système ..... 6 (FR)
Utilisation de la carte PC ..... 7 (FR)
Configuration de la fonction de gestion de réseaux ..... 7 (FR)
Utilisation de la télécommande ou d'une souris et d'un clavier ..... 7 (FR)
Configuration du projecteur ..... 8 (FR)
Configuration à partir du projecteur ..... 8 (FR)
Configuration à partir d'un ordinateur ..... 12 (FR)
Organigrammes de fonctionnement de base ..... 14 (FR)
Opérations à partir d'un ordinateur ..... 14 (FR)
Opérations à partir du projecteur ..... 16 (FR)

FR

Opération

Opérations à partir d'un ordinateur ..... 19 (FR)
Préparatifs ..... 19 (FR)
Exécution d'une présentation à l'aide du visualiseur de diapositives ..... 20 (FR)
Projection d'un fichier Excel à l'aide du visualiseur feuille de travail ..... 23 (FR)
Projection d'une image à l'aide de la visionneuse ..... 23 (FR)
Utilisation du Gestionnaire de fichiers ..... 26 (FR)
Contrôle du projecteur à partir d'un ordinateur ..... 27 (FR)
Vérification des indicateurs sur le projecteur ..... 28 (FR)
Opérations à partir du projecteur ..... 29 (FR)
Préparatifs ..... 29 (FR)
Exécution d'une présentation à l'aide du visualiseur de diapositives ..... 30 (FR)
Projection d'un fichier Excel à l'aide du visualiseur feuille de travail ..... 31 (FR)
Lancement d'un diaporama à l'aide de la visionneuse ..... 33 (FR)
Connexion à Internet ..... 35 (FR)

Informations complémentaires

Guide de dépannage ..... 36 (FR)

• Microsoft, Windows et PowerPoint sont des marques déposées de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et/ou dans d'autres pays.
• Netscape Navigator est une marque commerciale de Netscape Communications Corporation aux Etats-Unis et/ou dans d'autres pays.
• Tous les autres noms de produits et de sociétés mentionnés dans le présent manuel sont des marques commerciales ou des marques déposées de leurs propriétaires respectifs.

Caractéristiques

Le projecteur dispose de Windows CE intégré et est compatible avec la gestion de réseaux. La connexion à un réseau local (réseau LAN, Local Area Network) vous permet d'exécuter une présentation en utilisant un fichier stocké dans un ordinateur connecté via ce même réseau local. Vous pouvez ouvrir un fichier enregistré sur un ordinateur, que ce dernier soit éloigné du projecteur ou qu'il se situe dans la même salle de conférence. La connexion à Internet à l'aide du projecteur uniquement est une fonction également disponible.
Lorsque vous accédez au projecteur à l'aide du navigateur Web d'un ordinateur, vous pouvez contrôler le projecteur à partir de cet ordinateur.

Connexion à un réseau local (LAN)

Le projecteur est équipé du connecteur ETHER (modèle VPL-PX15 et VPL-FX50) et d'un emplacement pour carte PC vous permettant de connecter le projecteur à un réseau local à l'aide des câbles LAN ou de la carte PC LAN spécifiée/ recommandée. L'installation d'une carte PC LAN sans fil dans l'emplacement pour carte PC permet une connexion à un réseau local sans fil.

Emplacement carte PC intégré

Le projecteur est doté d'un emplacement réservé à l'insertion d'une carte PC. L'insertion d'une carte mémoire PC, dans laquelle sont stockées les données, vous permet d'exécuter facilement une présentation sans l'aide d'un ordinateur.

Fonction Visualiseur de présentation

Le projecteur possède des fonctions élémentaires Microsoft PowerPoint et Microsoft Excel intégrées, appelées respectivement visualiseur de diapositives et visualiseur feuille de travail. Ces fonctions vous permettent d'exécuter un diaporama à partir d'un fichier PowerPoint ou de projeter un fichier Excel sans conversion.

Fonction Visionneuse

Le projecteur dispose d'une fonction de visionneuse intégrée vous permettant d'afficher des images créées au format JPEG, BMP, GIF ou PNG, de mettre au point un diaporama et de lancer la lecture d'un diaporama à l'aide d'images.

Fonction Gestionnaire de fichiers

L'utilisation du navigateur Web d'un ordinateur vous permet d'ajouter des fichiers stockés dans l'ordinateur au projecteur ou de supprimer des fichiers stockés sur le projecteur, en se servant de l'ordinateur.

Navigateur Web intégré

Internet Explorer 4.0 et son équivalent est intégré au projecteur, ce qui vous permet de vous connecter à Internet.

Fonction de mémoire

Le projecteur peut stocker un fichier importé à partir d'un ordinateur ou d'une carte mémoire.
Lorsque vous stockez le fichier, vous pouvez créer un mot de passe afin d'empêcher les personnes non autorisées de l'ouvrir.

Précautions

Avertissement

Avant de mettre le projecteur hors tension ou de le réinitialiser à l'aide de la télécommande fournie, assurez-vous que vous avez quitté toutes vos applications. Dans le cas contraire, une erreur système risque de survenir et vous ne pourrez peut-être pas redémarrer le projecteur.

- La configuration système recommandée pour le projecteur est la suivante :
  – Microsoft Windows 98, Microsoft Windows 98 SE, Microsoft Windows 2000, Miscrosoft Windows Me
- Assurez-vous que vous utilisez la carte PC LAN spécifiée/recommandée, la carte PC LAN sans fil, la carte mémoire PC et le point d'accès LAN sans fil. Utilisez également la carte PC LAN sans fil spécifiée/recommandée sur les ordinateurs connectés. L'utilisation d'un dispositif non spécifié/recommandé risque de provoquer des dysfonctionnements.

Pour connaître les dispositifs spécifiés/recommandés, reportez-vous au manuel "Carte PC/point d'accès LAN sans fil spécifié/recommandé" fourni.

- Afin d'éviter toute perte de données, effectuez fréquemment des sauvegardes de données. En aucun cas, la société Sony ne sera responsable de toute perte de données.
- Notez que les spécifications du logiciel sont sujettes à modifications sans préavis.
- Certaines illustrations du présent manuel peuvent être légèrement différentes de ce qui apparaît réellement dans le logiciel.

A propos de ce manuel

Ce manuel explique les opérations de gestion de réseaux du projecteur de données à affichage à cristaux liquides VPL-PX15, VPL-FX50 et VPL-FE110U/M. Des fichiers d'aide en ligne sont également disponibles. Lorsque vous accédez au serveur Web du projecteur, une aide contextuelle s'affiche sur un ordinateur lorsque vous placez le curseur sur chaque élément.
Dans la fenêtre Windows CE du projecteur, vous pouvez cliquer sur Help (aide) à partir du menu Start (démarrer) pour ouvrir le fichier d'aide. Le Windows CE du projecteur ne prend pas en charge certaines fonctions. Le fichier d'aide du visualiseur de diapositives, du visualiseur feuille de travail ou de la visionneuse apparaît lorsque vous cliquez sur le bouton ? situé dans la barre d'outils de la fenêtre de l'application correspondante.

Reportez-vous au mode d'emploi du présent modèle pour les opérations autres que la gestion de réseaux.

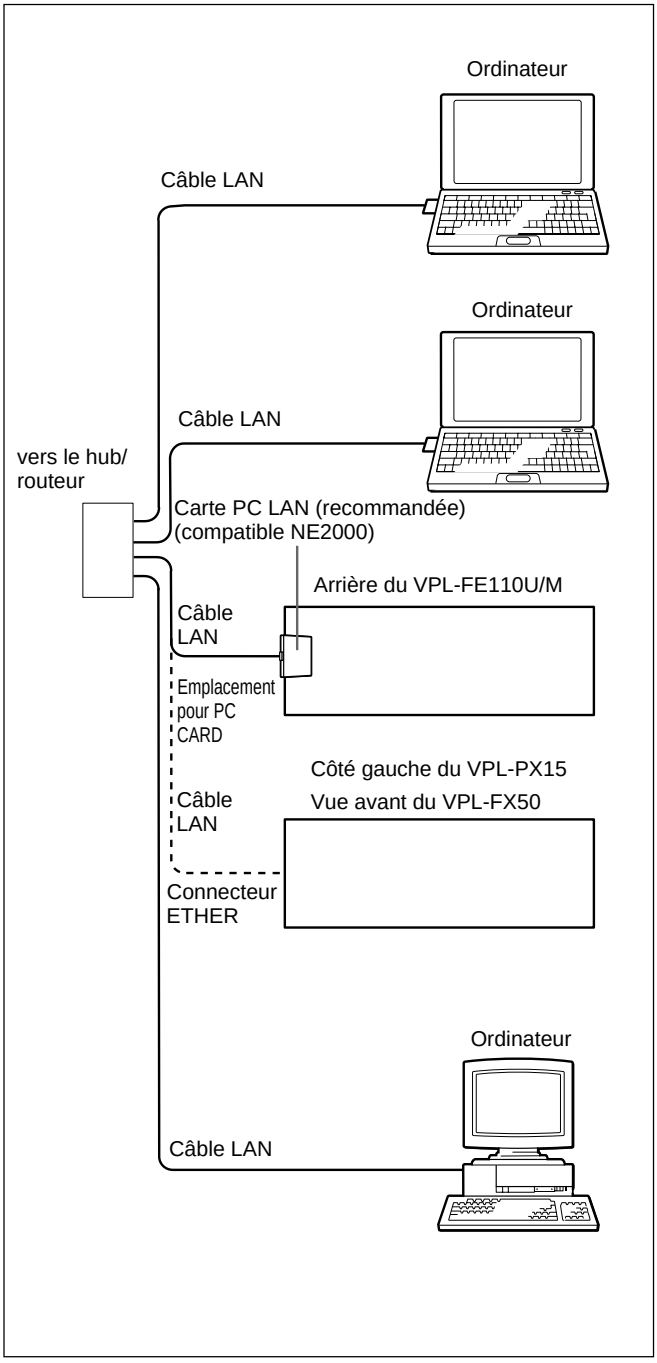
Préparation à l’utilisation de la fonction de gestion de réseaux

Cette section décrit les tâches requises pour utiliser la fonction de gestion de réseaux du projecteur.

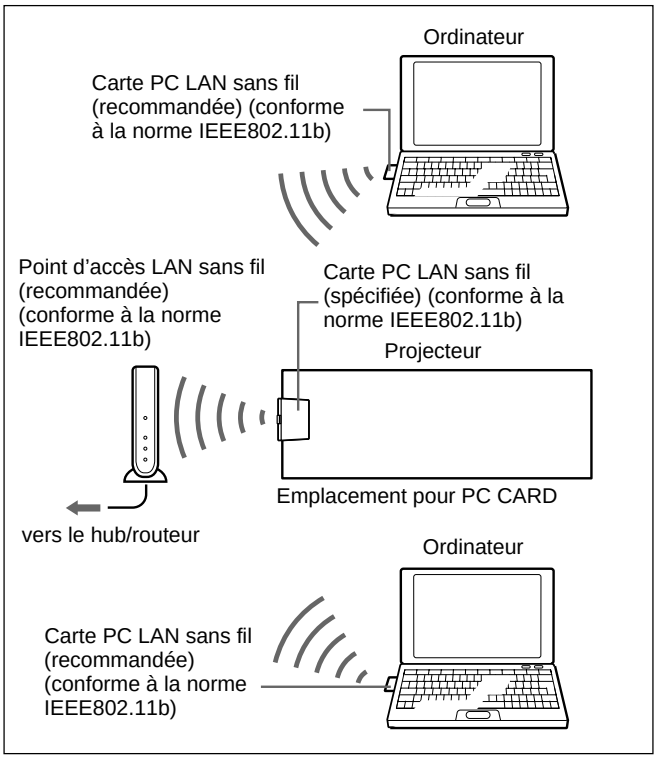
Configuration système

Pour obtenir des détails sur les raccordements, reportez-vous au mode d’emploi du projecteur.

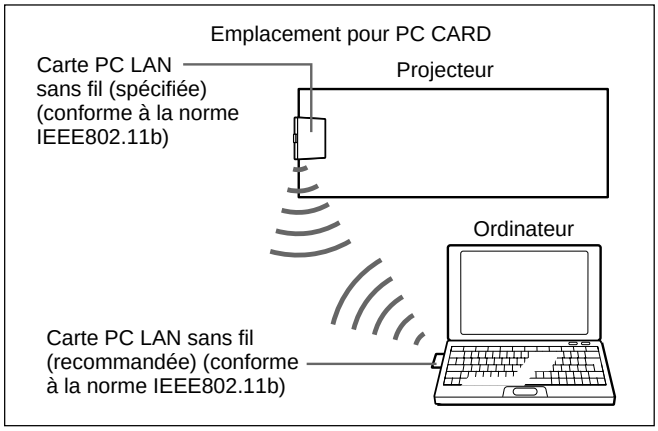
Connexion à un réseau local à l’aide des câbles LAN ou de la carte PC LAN



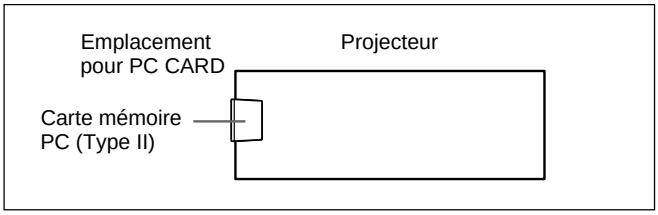
Connexion à un réseau LAN sans fil à l’aide d’un point d’accès LAN sans fil



Connexion à un réseau LAN sans fil sans utiliser le point d’accès LAN sans fil (mode poste à poste)



Utilisation d’une carte mémoire



Utilisation de la carte PC

L'emplacement pour PC CARD de INPUT B (VPL-PX15) ou INPUT C (VPL-FX50 et VPL-FE110U/M) situé sur le panneau arrière du projecteur accepte une seule carte PC au format PCMCIA Type II. Pour connecter l'appareil à un réseau local, il est nécessaire d'insérer la carte PC LAN spécifiée/recommandée (modèle VPL-FE110U/M uniquement) ou la carte PC LAN sans fil dans cet emplacement.
Vous pouvez également insérer la carte mémoire PC recommandée dans cet emplacement. Le stockage d'un fichier créé à l'aide de l'application Microsoft PowerPoint ou Excel, ou d'un fichier image dans une carte mémoire vous permet de projeter un fichier ou d'exécuter une présentation sans vous connecter à un ordinateur.

Remarques

- Ne mettez pas le projecteur hors tension et ne redémarrez pas Windows CE sur le projecteur pendant l'écriture ou la lecture de la carte PC.
- Assurez-vous que vous utilisez la carte PC LAN spécifiée/recommandée, la carte PC LAN sans fil ou la carte mémoire PC. Pour connaître les cartes spécifiées/recommandées, reportez-vous au manuel "Carte PC/point d'accès LAN sans fil spécifié/recommandé" fourni.
- Le pilote des cartes PC spécifiées/recommandées est installé en usine sur le projecteur. L'installation d'un autre pilote n'est pas nécessaire et s'avère impossible.

Pour insérer et retirer la carte PC, reportez-vous au mode d'emploi du projecteur.

Configuration de la fonction de gestion de réseaux

Pour activer la fonction de gestion de réseaux du projecteur, procédez comme suit.

■ Pour le modèle VPL-PX15
Dans le menu REGL. INSTAL., définissez FONCT ENTREE-B sur ON.

Pour plus d'informations, reportez-vous au mode d'emploi du projecteur.

■ Pour le modèle VPL-FX50
Dans le menu REGL. INSTAL., définissez FONCT ENTREE-C sur ON.

Pour obtenir des informations détaillées, reportez-vous au mode d'emploi du projecteur.

■ Pour le modèle VPL-FE110U/M
Réglez le commutateur de sélection INPUT C/RS-232C/RS-422A du panneau arrière sur INPUT C.

Utilisation de la télécommande ou d'une souris et d'un clavier

■ Pour le modèle VPL-PX15 et VPL-FX50
Lorsque vous utilisez le projecteur pour effectuer la configuration, pour lancer la lecture d'un diaporama, etc., utilisez la télécommande fournie. Auparavant, réglez le commutateur de sélection PJ/NETWORK de la télécommande sur NETWORK.
Il est impossible de raccorder une souris et un clavier au projecteur.

■ Pour le modèle VPL-FE110U/M
Pour configurer le projecteur, exécuter une présentation, etc., l'utilisation de la télécommande RM-PJM610 (non fournie) ou d'une souris et d'un clavier PS/2 disponibles dans le commerce est requise.

Remarque

Raccordez la souris et le clavier au projecteur avant de connecter le cordon d'alimentation du projecteur à la prise secteur.

Pour les raccordements de la souris et du clavier, reportez-vous au mode d'emploi du projecteur.

Pour le fonctionnement de la télécommande RM-PJM610 (non fournie), reportez-vous au mode d'emploi de la télécommande.

Configuration du projecteur

Des configurations élémentaires telles que celles des paramètres de l'adresse IP et du réseau local sans fil sont nécessaires pour le fonctionnement en réseau du projecteur. Vous pouvez effectuer les configurations soit à partir du projecteur, soit à partir d'un ordinateur connecté au même réseau local.

Avant la configuration

■ Pour le modèle VPL-PX15 et VPL-FX50

- Mettez le projecteur sous tension avec la touche I/⏻ de la télécommande fournie ou du panneau de commande du projecteur.
- Dans le menu REGL. INSTAL., vérifiez que FONCT ENTREE-B (VPL-PX15) ou FONCT ENTREE-C (VPL-FX50) est défini sur ON.
- Appuyez sur la touche INPUT de la télécommande fournie ou du panneau de commande du projecteur pour sélectionner INPUT B (VPL-PX15) ou INPUT C (VPL-FX50). La fenêtre Network Projector apparaît.
- Réglez le commutateur de sélection PJ/NETWORK de la télécommande sur NETWORK.
- Lorsque vous procédez à la configuration à partir du projecteur, affichez le clavier d'écran sur le projecteur et utilisez la télécommande fournie.
  Pour obtenir des informations sur le clavier d'écran, reportez-vous à la page 29 (FR).
- Mettez l'ordinateur à partir duquel vous configurez le projecteur sous tension.

■ Pour le modèle VPL-FE110U/M

- Vérifiez que le commutateur de sélection INPUT C/ RS-232C/RS-422A est réglé sur INPUT C.
- Mettez le projecteur sous tension à l'aide de la touche ON située sur la télécommande RM-PJM610, la télécommande fournie ou le panneau de commande du projecteur.
- Appuyez sur la touche INPUT de la télécommande RM-PJM610 ou sur la touche INPUT SELECT de la télécommande fournie ou du panneau de commande du projecteur pour sélectionner INPUT C. La fenêtre Network Projector apparaît.
- Lorsque vous procédez à la configuration à partir du projecteur, affichez le clavier d'écran sur le projecteur et utilisez la souris et le clavier raccordés ou la télécommande RM-PJM610.
  Pour obtenir des informations sur le clavier d'écran, reportez-vous à la page 29 (FR).
- Mettez l'ordinateur à partir duquel vous configurez le projecteur sous tension.

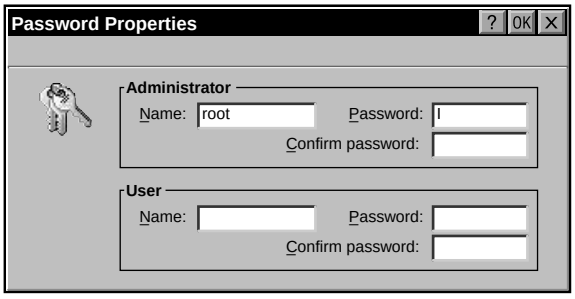
Configuration à partir du projecteur

Configuration du mot de passe

Vous pouvez définir un mot de passe afin d'empêcher l'accès aux utilisateurs du réseau à distance.

1 A partir du menu Start (démarrer), dans la fenêtre Network Projector, cliquez sur Control Panel (panneau de configuration).

2 Cliquez deux fois sur l'icône Password (mot de passe).
La boîte de dialogue Password Properties (Propriétés du mot de passe) s'affiche.



3 Spécifiez le mot de passe (Password) de l'administrateur (Administrator), puis entrez le même mot de passe une nouvelle fois dans la zone de texte Confirm password (confirmer le mot de passe).
Le nom (Name) de l'administrateur (Administrator) est prédéfini sur "root" en usine. Il est impossible de le modifier.

4 Spécifiez le nom et le mot de passe de l'utilisateur (User), puis entrez le même mot de passe dans la zone de texte Confirm password (Confirmer le mot de passe).

Lorsque le mot de passe de l'administrateur ou de l'utilisateur vous est demandé lors de l'utilisation du projecteur à partir d'un ordinateur, entrez le nom et le mot de passe que vous avez définis à l'étape **3** et **4**.

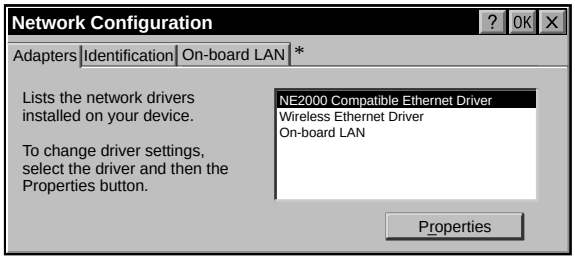
Définition de la configuration du réseau

Il est nécessaire de définir la configuration du réseau, telle que l'adresse IP, pour établir une connexion de réseau local. L'adresse IP du projecteur s'affiche sur la barre des tâches de la fenêtre Network Projector du projecteur.
Si l'environnement de connexion change, vous devez redéfinir la configuration du réseau.

Pour obtenir plus d'informations, consultez votre administrateur réseau.

1 A partir du menu Start (démarrer), dans la fenêtre Network Projector, cliquez sur Control Panel (panneau de configuration).

2 Cliquez deux fois sur l'icône Network (réseau).
La boîte de dialogue Network Configuration (configuration du réseau) apparaît.



* L'onglet On-board LAN (LAN intégré) est affiché pour les modèles VPL-PX15 et VPL-FX50.

3 Sélectionnez le nom du pilote en fonction du type de connexion réseau.
Vous pouvez sélectionner l'un des pilotes suivants.

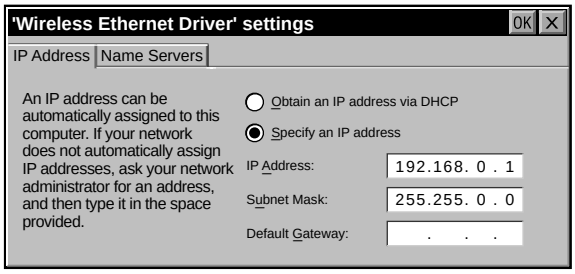
NE2000 Compatible Ethernet Driver : lorsque vous utilisez la carte PC LAN compatible NE2000 recommandée.

Wireless Ethernet Driver : lorsque vous utilisez la carte PC LAN sans fil spécifiée/ recommandée.

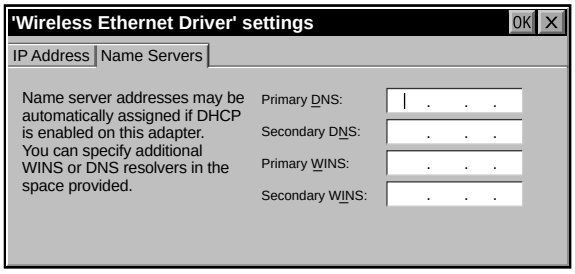
On-board LAN (LAN intégré) : lorsque vous utilisez le connecteur ETHER pour raccorder le projecteur à un réseau local (affiché pour le VPL-PX15 et VPL-FX50).

La boîte de dialogue de configuration du pilote sélectionné s'affiche.

4 Assurez-vous que le bouton radio "Specify an IP address" (Spécifier une adresse IP) est sélectionné et définissez les éléments nécessaires.
IP Address (adresse IP) est initialement réglée sur "192.168.0.1" et Subnet Mask (masque de sous-réseau) sur "255.255.0.0" en usine.

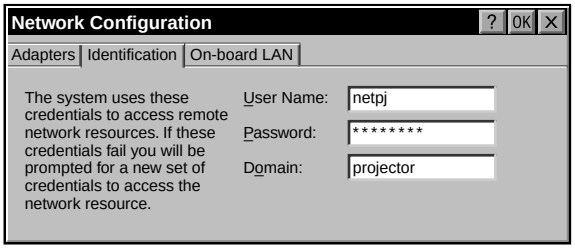

'Wireless Ethernet Driver' settings
OK
IP Address
Name Servers
An IP address can be automatically assigned to this computer. If your network does not automatically assign IP addresses, ask your network administrator for an address, and then type it in the space provided.
Obtain an IP address via DHCP
Specify an IP address
IP Address:
192.168. 0 . 1
Subnet Mask:
255.255. 0 . 0
Default Gateway:

5 Cliquez sur l'onglet Name Servers (serveurs de noms) pour afficher la boîte de dialogue Name Servers, puis définissez les éléments nécessaires.


'Wireless Ethernet Driver' settings
OK
IP Address
Name Servers
Name server addresses may be automatically assigned if DHCP is enabled on this adapter. You can specify additional WINS or DNS resolvers in the space provided.
Primary DNS:
Secondary DNS:
Primary WINS:
Secondary WINS:

6 Cliquez sur le bouton OK.
La boîte de dialogue Network Configuration s'affiche de nouveau.

7 En fonction de vos besoins, cliquez sur l'onglet Identification et définissez les éléments nécessaires.



8 Cliquez sur le bouton OK.

Lorsque vous utilisez une carte PC LAN sans fil avec le VPL-PX15 ou le VPL-FX50

Si vous sélectionnez un pilote Ethernet sans fil à l'étape **3**, suivez les instructions ci-dessous après avoir effectué l'étape **6**.

1 Cliquez sur l'onglet On-board LAN (LAN intégré).

2 Décochez la case "Enable On-board LAN" (activer LAN intégré).

3 Cliquez sur OK.
La fenêtre de l'étape **2** réapparaît.

Remarque

Lorsque la case "On-board LAN" est désactivée, ce pilote n'apparaît plus dans la liste de la boîte de dialogue Network Configuration (configuration du réseau). Si vous souhaitez sélectionner On-board LAN, cochez la case Enable On-board LAN, puis reprenez la procédure à partir de l'étape **2** de la section "Définition de la configuration du réseau".

Configuration d’un environnement de réseau sans fil

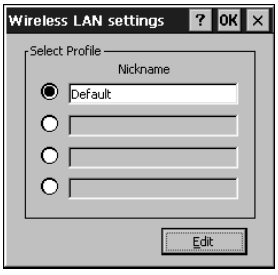
Lorsque vous utilisez une carte PC LAN sans fil, il est également nécessaire de configurer le projecteur en suivant la procédure ci-dessous.

Utilisation d’un point d’accès LAN sans fil

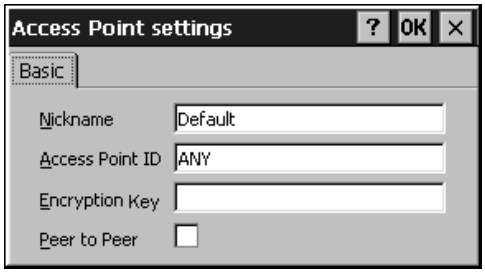
Configurez le point d’accès sur lequel vous vous connectez, comme suit.

1 A partir du menu Start (démarrer) de la fenêtre Network Projector, cliquez sur Control Panel (panneau de configuration).

2 Cliquez deux fois sur l’icône Wireless LAN (réseau LAN sans fil).
La boîte de dialogue Wireless LAN setting (Paramètres LAN sans fil) apparaît.



3 Cliquez sur le bouton Edit (Edition).
La boîte de dialogue Access Point setting (Paramètres du point d’accès) apparaît.



4 Entrez un nom (Nickname).
Le nom saisi identifie le point d’accès. Saisissez un maximum de 32 caractères pour le nom, en utilisant des caractères alphanumériques et des symboles (caractères ASCII). S’il existe plusieurs points d’accès, assurez-vous que chacun d’entre eux porte un nom différent.

5 Entrez l’identification du point d’accès (Access Point ID).
Saisissez l’identification spécifiée pour le point d’accès auquel vous vous connectez.

6 Entrez la clé de cryptage (Encryption Key).
Saisissez la clé de cryptage si elle est définie et activée pour le point d’accès.

7 Cliquez sur le bouton OK.
La boîte de dialogue Wireless LAN settings apparaît à nouveau.

8 Cliquez sur le bouton radio du nom que vous souhaitez utiliser puis cliquez sur le bouton OK.
La connexion est établie au niveau du point d’accès sélectionné.

Pour se connecter à un point d’accès déjà configuré

S’il existe plusieurs points d’accès, vous pouvez leur attribuer au maximum quatre noms. Si vous souhaitez vous connecter au point d’accès déjà configuré, sélectionnez bouton radio à côté du nom correspondant puis cliquez sur le bouton OK de la fenêtre Wireless LAN settings (Paramètres LAN sans fil). La connexion au point d’accès sélectionné est alors réalisée.

Remarque

Lorsque le fabricant de la carte LAN sans fil insérée dans le projecteur et celui du point d’accès LAN sans fil sont différents, le mode de saisie de la clé de cryptage peut varier. Si la clé de cryptage apparaît en valeurs hexadécimales, entrez les valeurs hexadécimales dans la boîte de dialogue Encryption Key.

Lorsqu’ancune communication ne s’établit entre le point d’accès et le projecteur

Si le canal du point d’accès est réglé sur 12-14, réglez-le sur un canal quelconque entre 1 et 11.

Remarques

- Contactez un personnel Sony qualifié si vous rencontrez des problèmes lors de l’utilisation de la carte PC LAN sans fil Sony spécifiée/recommandée.
- Lorsque le fabricant de la carte LAN sans fil et celui du point d’accès LAN sans fil sont différents, la communication par cryptage activé ne s’effectue pas correctement.

Mode poste à poste (Ad-hoc)

Pour procéder à un raccordement à un réseau LAN sans fil entre le projecteur et les ordinateurs sans utiliser le point d'accès LAN sans fil, suivez la procédure ci-dessous sur le projecteur uniquement.

1 Suivez les étapes **1** à **4** de "Utilisation du point d'accès LAN sans fil". Définissez un nom (Nickname) pour ce mode dans la boîte de dialogue Access Point settings (Paramètres du point d'accès).

2 Cliquez sur la case qui se trouve à côté de Peer to Peer (poste à poste).

3 Entrez une identification du point d'accès facultative.
Vous pouvez saisir un maximum de 32 caractères alphanumériques pour l'identification.

4 Saisissez la Encryption Key (clé de cryptage) si vous souhaitez l'activer.

5 Cliquez sur le bouton OK.
La boîte de dialogue Wireless LAN settings (Paramètres LAN sans fil) apparaît de nouveau.

6 Cliquez sur le bouton radio du Nickname (nom) saisi à l'étape **1**.
Le mode Peer to Peer est activé.

Pour les ordinateurs connectés, il est nécessaire de saisir la même identification du point d'accès et la même clé de cryptage que celles saisies dans le cadre de la procédure ci-dessus, ainsi qu'un nom facultatif. Pour plus d'informations, veuillez vous référer au mode d'emploi de la carte PC LAN sans fil installée sur les ordinateurs.

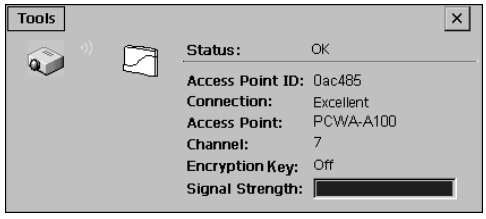
Remarques

- Utilisez des cartes PC LAN sans fil du même constructeur pour le projecteur et l'ordinateur.
- Si le mode poste à poste (Ad-hoc) est configuré sur l'un des ordinateurs connectés, suivez l'étape **1** puis les étapes **3** à **6** ci-dessus pour saisir la même identification du point d'accès et la même clé de cryptage que celles de l'ordinateur ainsi qu'un nom facultatif pour le projecteur.
- Sélectionner le mode poste à poste (Ad-hoc) uniquement pour l'un des projecteurs et ordinateurs du même LAN.
- Lorsque vous utilisez le mode poste à poste (Ad-hoc), il est nécessaire de définir une adresse IP et un masque de sous-réseau dédiés à ce mode sur le projecteur et l'ordinateur.

Vérification de la connexion avec le point d'accès

Vous pouvez vérifier si le projecteur est bien connecté au point d'accès.

1 Cliquez deux fois sur l'icône (indicateur du niveau de réception) de la barre des tâches dans la fenêtre Network Projector.
La fenêtre indiquant l'état de connexion entre le projecteur et le point d'accès s'affiche.



2 Vérifiez les points suivants.
- Status : OK est affiché si le projecteur reconnaît correctement la carte PC LAN sans fil.
- Access Point ID : Identification du point d'accès
- Connection : statut de la connexion avec le point d'accès
- Access Point : informations concernant le point d'accès connecté
- Channel : canal affecté
- Encryption Key : cryptage activé ou désactivé pour le point d'accès connecté
- Signal Strength : niveau de signal pour la communication entre le projecteur et le point d'accès

Lorsque l'identification du point d'accès indique "searching" (recherche en cours)

Vérifiez si le nom, l'identification du point d'accès et la clé de cryptage entrés sont bien affichés dans la fenêtre.
La sélection de Edit wireless Profiles... à partir du menu Tools (Outils) ouvre la fenêtre Wireless LAN settings (Paramètres LAN sans fil). Si l'un de ces éléments n'est pas correct, corrigez-le en suivant les étapes **3** à **8** de la page 10 (FR).

Réglage de la date et de l'heure

L'heure s'affiche sur la barre des tâches de la fenêtre Network Projector. Pour régler la date et l'heure, suivez les étapes ci-dessous.

1 A partir du menu Start (démarrer) de la fenêtre Network Projector, cliquez sur Control Panel (panneau de configuration).

2 Cliquez deux fois sur l'icône Date/Time (date/heure).

3 Réglez la date et l'heure.

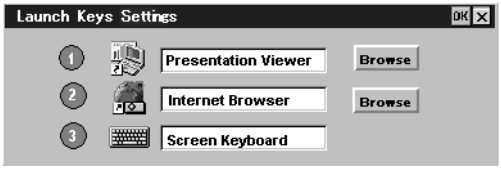
Association d'une application à la touche FUNCTION de la télécommande (pour les modèles VPL-PX15 et VPL-FX50)

Si vous avez associé une application à la touche FUNCTION 1 ou 2 de la télécommande fournie, une simple pression sur cette touche vous permet de lancer cette application. Le clavier d'écran est associé à la touche FUNCTION 3 par défaut et vous ne pouvez pas modifier ni supprimer ce réglage.

Pour obtenir davantage de détails sur le clavier d'écran, reportez-vous à la page 29 (FR).

1 A partir du menu Start (démarrer) de la fenêtre Network Projector, cliquez sur Control Panel (panneau de configuration).

2 Cliquez deux fois sur l'icône Launch Keys (Touches de lancement).
La boîte de dialogue Launch Keys Settings (Réglages des touches de lancement) apparaît.



3 Cliquez sur Browse (parcourir) pour sélectionner la touche (1 ou 2) à laquelle vous souhaitez associer une application, puis cliquez sur l'application concernée dans la liste.

4 Répétez l'étape **3** si vous souhaitez associer une application à l'autre touche.

5 Cliquez sur OK.

Configuration à partir d'un ordinateur

Remarques

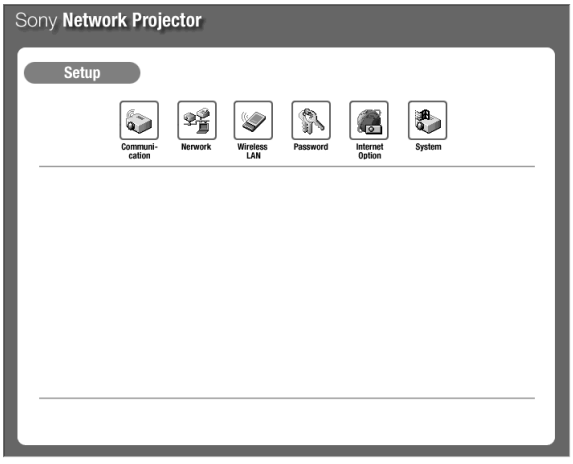
- Connectez un seul ordinateur, que vous utilisez pour les configurations, au projecteur si l'adresse IP du projecteur reste celle qui est prédéfinie en usine.
- Si le navigateur de votre ordinateur est réglé sur "Accéder à Internet avec un serveur proxy", entrez l'adresse IP du projecteur dans la zone "Accéder à Internet sans serveur proxy" si vous avez accès au projecteur à partir de votre ordinateur.
- Il se peut, en fonction de la version du navigateur, que l'ordinateur rejette le mot de passe contrôlant l'accès au projecteur. Dans ce cas, redémarrez le navigateur.

Ouverture de la fenêtre de configuration

1 Démarrez le navigateur de l'ordinateur (Internet Explorer version 4.0 ou ultérieure ou Netscape Navigator version 4.5x ou 4.7x).

2 Tapez "http://xxx.xxx.xxx.xxx (correspondant à l'adresse IP du projecteur)/setup".
Si l'adresse IP prédéfinie en usine n'a pas été modifiée, tapez "http://192.168.0.1/setup" (lorsque vous utilisez une carte PC LAN) ou "http://192.168.0.2/setup" (lorsque vous utilisez le connecteur ETHER).
Si l'adresse IP commence par 0 (zéro), entrez le numéro sans le 0.
Exemple : 192.168.000.001 → 192.168.0.1
La boîte de dialogue Password (mot de passe) apparaît.

3 Entrez le nom (Name) et le mot de passe (Password) de l'administrateur (Administrator).
Si le mot de passe prédéfinie en usine n'a pas été modifiée, saisissez "root" dans la zone de texte Name (nom).
La fenêtre Setup (configuration) s'affiche.



Configuration du mot de passe

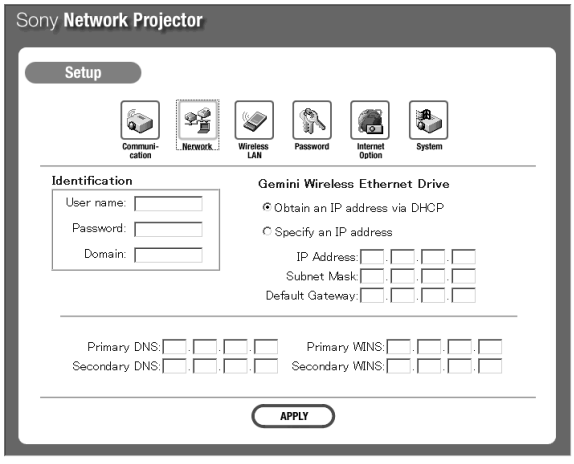
1 Cliquez sur l'icône Password (mot de passe) de la fenêtre Setup (configuration).
La boîte de dialogue de définition du mot de passe s'affiche.
La procédure de configuration est la même que celle utilisée à partir du projecteur.

Pour obtenir plus d'informations, reportez-vous à la section "Configuration du mot de passe" page 8 (FR).

2 Cliquez sur le bouton APPLY (appliquer).

Définition de la configuration du réseau

1 Cliquez sur l'icône Network (réseau) dans la fenêtre de configuration.
La fenêtre Network Configuration (configuration du réseau) s'affiche.



Dans cette fenêtre, vous pouvez définir les éléments décrits dans les étapes **4** à **7** de la section "Définition de la configuration du réseau" page 9 (FR).

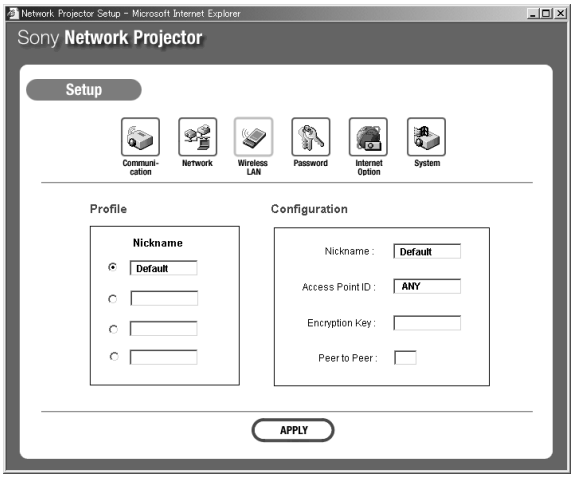
Pour obtenir plus d'informations, reportez-vous à la section "Définition de la configuration du réseau" page 8 (FR).

2 Cliquez sur le bouton APPLY (appliquer).
La fenêtre de redémarrage apparaît.

3 Cliquez sur le bouton RESTART (redémarrer).
Si le projecteur est sous tension et si la fenêtre Network Projector est ouverte, l'écran du projecteur s'éteint pendant environ 10 secondes, puis le projecteur redémarre.
Le paramétrage du réseau n'est pas activé tant que vous n'avez pas redémarré le projecteur.

Configuration de l'environnement du réseau local (LAN) sans fil

1 Cliquez sur l'icône Wireless LAN (réseau local sans fil) dans la fenêtre Setup (configuration).
La boîte de dialogue de définition du nom (Nickname), de l'ID du point d'accès (Access Point ID), de la clé de cryptage (Encryption Key) et du type de connexion (mode poste à poste) (Peer to Peer) s'affiche.
La procédure de configuration est identique à celle suivie par le projecteur.



Pour obtenir plus d'informations, reportez-vous à la section "Configuration d'un environnement de réseau sans fil – Utilisation d'un point d'accès LAN sans fil / Mode poste à poste (Ad-hoc)" pages 10 (FR) et 11 (FR).

2 Cliquez sur le bouton APPLY (appliquer).

Organigrammes de fonctionnement de base

Cette section décrit l'organigramme de fonctionnement relatif à l'utilisation du projecteur via un réseau ou à l'utilisation de la fonction de réseau intégrée du projecteur. Deux types d'organigramme sont présentés; le premier concerne les opérations effectuées à partir d'un ordinateur et l'autre concerne celles effectuées à partir du projecteur. Pour plus de détails, reportez-vous aux pages indiquées entre parenthèses.

Conditions requises

- Le projecteur et l'ordinateur sont connectés au même réseau local.
- Le projecteur et l'ordinateur sont mis sous tension.
- Dans le menu REGL. INSTAL, FONCT ENTREE-B (VPL-PX15) ou FONCT ENTREE-C (VPL-FX50) est défini sur ON.
- Le commutateur de sélection INPUT C/RS-232C/RS-422A est réglé sur INPUT C. (VPL-FE110U/M)
- L'entrée du projecteur est réglée sur INPUT B (VPL-PX15) ou INPUT C (VPL-FX50 et VPL-FE110U/M).

Opérations à partir d'un ordinateur

Exécution d'une présentation en utilisant un fichier créé à l'aide de PowerPoint

Vous pouvez contrôler une présentation en utilisant un fichier créé à l'aide de PowerPoint à partir d'un ordinateur.

Démarrage du navigateur Web d'un ordinateur pour accéder au projecteur (page 19)

Démarrez Internet Explorer versions 4.0 ou ultérieure ou Netscape Navigator versions 4.5x ou 4.7x, puis entrez l'adresse IP du projecteur.

Sélection de Visualiseur de présentation (page 20)

Sélectionnez l'icône Visualiseur de présentation dans la fenêtre Sélection de l'application.

Recherche d'un fichier que vous souhaitez utiliser pour votre présentation (page 20)

Sélectionnez l'appareil où est stocké le fichier, sur l'ordinateur ou le projecteur, puis sélectionnez le fichier PowerPoint souhaité. Le visualiseur de diapositives démarre.

Configuration d'un diaporama (page 21)

Définissez les diapositives à utiliser et le mode de défilement des diapositives au cours du diaporama.

Exécution d'un diaporama

Projection d'un fichier Excel sur le projecteur

Vous pouvez afficher un fichier Excel sur le projecteur à partir d'un ordinateur.

Démarrage du navigateur Web d'un ordinateur pour accéder au projecteur (page 19)

Démarrez Internet Explorer versions 4.0 ou ultérieure ou Netscape Navigator versions 4.5x ou 4.7x, puis entrez l'adresse IP du projecteur.

Sélection de Visualiseur de présentation (page 23)

Sélectionnez l'icône Visualiseur de présentation dans la fenêtre Sélection de l'application.

Recherche d'un fichier à projeter (page 23)

Sélectionnez l'appareil où est stocké le fichier, sur l'ordinateur ou le projecteur, puis sélectionnez le fichier Excel souhaité. Le visualiseur feuille de travail démarre.

Projection d'un fichier Excel

Projection d’une image sur le projecteur à l’aide d’un fichier stocké sur un ordinateur.

Vous pouvez projeter une image sur le projecteur à partir d’un ordinateur.

Démarrage du navigateur Web d’un ordinateur pour accéder au projecteur **(page 19)**

Démarrez Internet Explorer versions 4.0 ou ulterieure ou Netscape Navigator versions 4.5x ou 4.7x, puis entrez l’adresse IP du projecteur.

Sélection de Visionneuse **(page 23)**

Sélectionnez l’icône Visionneuse dans la fenêtre Sélection de l’application.

Sélection de l’appareil où est stocké le fichier **(page 23)**

Sélectionnez Ordinateur dans la fenêtre Regarder Dans. La visionneuse démarre.

Recherche du fichier que vous souhaitez projeter à l’aide du projecteur **(page 24)**

Sélectionnez le fichier image souhaité en cliquant sur le bouton Parcourir.

Projection d’une image

Projection d’une image ou exécution d’un diaporama sur le projecteur en utilisant un fichier stocké dans le projecteur

A l’aide d’un fichier image stocké dans le projecteur ou dans la carte mémoire PC, vous pouvez effectuer cette projection à partir d’un ordinateur. Vous pouvez également lancer la lecture d’un diaporama en utilisant la présélection du fichier de définition du diaporama sur le projecteur.

Démarrage du navigateur Web d’un ordinateur pour accéder au projecteur **(page 19)**

Démarrez Internet Explorer versions 4.0 ou ulterieure ou Netscape Navigator versions 4.5x ou 4.7x, puis entrez l’adresse IP du projecteur.

Sélection de Visionneuse **(page 25)**

Sélectionnez l’icône Visionneuse dans la fenêtre Sélection de l’application.

Sélection de l’appareil où est stocké le fichier **(page 25)**

Sélectionnez Projecteur dans la fenêtre Regarder Dans. La visionneuse démarre.

Sélection d’un répertoire à projeter **(page 25)**

Sélectionnez un répertoire souhaité dans la fenêtre Sélect. Dossier/Fichier. SHO.

Projection d’une image

Sélection du fichier de définition pour lancer la lecture d’un diaporama **(page 25)**

Sélectionnez le fichier .SHO souhaité dans la fenêtre Sélect. Dossier/Fichier. SHO.

Réglage d’un diaporama **(page 25)**

Définissez le mode de défilement des diapositives.

Lancement d’un diaporama

Gestion de fichiers à l’aide du Gestionnaire de fichiers

Vous pouvez ajouter des fichiers stockés dans un ordinateur à la mémoire du projecteur ou supprimer des fichiers mémorisés dans le projecteur.

Démarrage du navigateur Web d’un ordinateur pour accéder au projecteur (page 19)

Démarrez Internet Explorer version 4.0 ou ultérieure ou Netscape Navigator version 4.5x ou 4.7x, puis entrez l’adresse IP du projecteur.

Démarrage du Gestionnaire de fichiers (page 26)

Sélectionnez l’icône Gestionnaire de fichiers dans la fenêtre Sélection de l’application.

Ajout de fichiers (page 26)

Sélectionnez un fichier, situé sur l’ordinateur, à ajouter à la mémoire du projecteur.

Suppression de fichiers (page 26)

Sélectionnez un fichier à supprimer du projecteur.

Exécution d’un ajout

Exécution d’une suppression

Contrôle du projecteur

Vous pouvez effectuer divers réglages et paramétrages du projecteur à partir d’un ordinateur.

Démarrage du navigateur Web d’un ordinateur pour accéder au projecteur (page 19)

Démarrez Internet Explorer version 4.0 ou ultérieure ou Netscape Navigator version 4.5x ou 4.7x, puis entrez l’adresse IP du projecteur.

Affichage de la fenêtre de commandes (page 27)

Cliquez sur le bouton MORE... .

Réglage ou configuration du projecteur

Opérations à partir du projecteur

Exécution d’une présentation en utilisant un fichier stocké dans l’ordinateur

Immédiatement après avoir ouvert un fichier créé sous Powerpoint et stocké dans un ordinateur, vous pouvez démarrer une présentation en utilisant le projecteur.

Démarrage de My Projector (page 31)

Cliquez deux fois sur l’icône de My Projector.

Sélection d’un fichier que vous souhaitez utiliser pour votre présentation (page 31)

Saisissez le nom d’un ordinateur qui stocke le fichier à utiliser, puis sélectionnez le fichier PowerPoint. Le visualiseur de diapositives démarre et le fichier sélectionné apparaît sous forme de diapositive.

Configuration d’un diaporama (page 31)

Définissez les diapositives à utiliser et le mode de défilement des diapositives au cours du diaporama.

Exécution d’un diaporama

Exécution d’une présentation en utilisant un fichier stocké dans le projecteur ou la carte mémoire

Utilisez un fichier PowerPoint stocké sur le projecteur ou sur la carte mémoire PC pour exécuter une présentation à l’aide du projecteur uniquement.

Démarrage du Visualiseur de présentation (page 31)

Cliquez deux fois sur l’icône Presentation Viewer.

Sélection d’un fichier que vous souhaitez utiliser pour votre présentation (page 31)

Sélectionnez le fichier PowerPoint souhaité dans la boîte de dialogue Open File (Ouvrir). Le visualiseur de diapositives démarre et le fichier sélectionné apparaît sous forme de diapositive.

Configuration d’un diaporama (page 31)

Définissez les diapositives à utiliser et le mode de défilement des diapositives au cours du diaporama.

Exécution d’un diaporama

Projection d’un fichier Excel stocké dans un ordinateur

Vous pouvez projeter un fichier Excel stocké dans un ordinateur sur le même réseau en utilisant uniquement le projecteur.

Démarrage de My Projector (mon projecteur) (page 32)

Cliquez deux fois sur l’icône My Projector (mon projecteur).

Sélection d’un fichier à projeter (page 32)

Saisissez le nom d’un ordinateur où se trouve le fichier à utiliser, puis sélectionnez un fichier Excel. Le visualiseur feuille de travail démarre et le fichier sélectionné apparaît sur le projecteur.

Projection d’un fichier Excel stocké dans le projecteur ou sur la carte mémoire

Vous pouvez afficher des feuilles de calcul Excel stockées dans le projecteur ou dans la carte mémoire sur le projecteur.

Démarrage du Visualiseur de Présentation (page 32)

Cliquez deux fois sur l’icône Presentation Viewer.

Sélection d’un fichier à projeter (page 32)

Sélectionnez le fichier Excel dans la boîte de dialogue Open File (Ouvrir). Le visualiseur feuille de travail démarre et le fichier sélectionné est projeté sur le projecteur.

Lancement d’un diaporama à l’aide d’un fichier image stocké dans le projecteur ou la carte mémoire

Vous pouvez lancer la lecture d’un diaporama à l’aide d’un fichier image stocké dans le projecteur ou la carte mémoire en utilisant uniquement le projecteur.

Sélection de Visionneuse **(page 33)**

Cliquez deux fois sur l’icône Image Viewer.

Sélection des fichiers à utiliser pour votre diaporama **(page 33)**

Cliquez sur le dossier contenant les fichiers souhaités. Tous les fichiers contenus dans le dossier sont affichés sous forme de miniatures.

Sélection des diapositives à utiliser pour un diaporama **(page 34)**

Sélectionnez les diapositives à utiliser. Si vous souhaitez sélectionner toutes les diapositives affichées dans les miniatures, cliquez sur Select all (sélectionner tout) dans le menu Slide Show (diaporama).

Configuration d’une image **(page 34)**

Effectuez un zoom ou une rotation sur une diapositive.

Lancement d’un diaporama

Définissez le mode de défilement des diapositives. Le diaporama commence.

Connexion à Internet

Démarrage de Internet Browser **(page 35)**

Cliquez deux fois sur l’icône Internet Browser.

Préparatifs

Avant de commencer

■ **Pour le modèle VPL-PX15**
Dans le menu REGL.INSTAL., vérifiez que FONCT ENTREE-B est réglé sur ON.

■ **Pour le modèle VPL-FX50**
Dans le menu REGL. INSTAL, vérifiez que FONCT ENTREE-C est réglé sur ON.

■ **Pour le modèle VPL-FE110U/M**
Vérifiez que le commutateur de sélection INPUT C/ RS-232C/RS-422A est réglé sur INPUT C.

Démarrage du navigateur pour accéder au projecteur

Afin de contrôler le projecteur et d’y accéder à partir d’un ordinateur, vous devez démarrer le navigateur sur l’ordinateur. Les navigateurs appropriés sont Internet Explorer version 4.0 ou ultérieure et Netscape Navigator version 4.5x ou 4.7x.

1 Mettez le projecteur sous tension.

2 Réglez l’entrée du projecteur sur INPUT B (VPL-PX15) ou INPUT C (VPL-FX50 et VPL-FE110U/M)

3 Allumez votre ordinateur.

4 Démarrez le navigateur sur l’ordinateur.

5 Entrez l’adresse IP du projecteur.
Tapez “http://xxx.xxx.xxx.xxx (correspondant à l’adresse IP du projecteur)”.
Vous pouvez vérifier l’adresse IP étant donné qu’elle s’affiche sur la barre des tâches de la fenêtre Network Projector.

La fenêtre Sélection de l’application s’affiche. Lorsque le mot de passe est réglé pour le projecteur, la boîte de dialogue de définition du mot de passe s’affiche. Entrez le nom (Name) et le mot de passe (Password) de l’utilisateur (User).

Pour obtenir des informations sur la fenêtre Sélection de l’application, reportez-vous à la section “ Noms et fonctions de la fenêtre Sélection de l’application “.

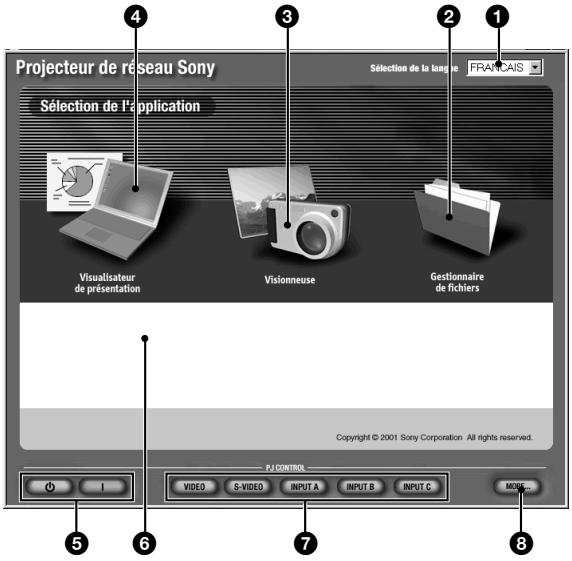
Les opérations décrites dans les étapes ci-dessus sont illustrées aux pages 20 (FR) à 28 (FR).

Remarques

- N’accédez pas simultanément au projecteur depuis deux ordinateurs ou plus.
- Si le navigateur de votre ordinateur est réglé sur “Accéder à Internet avec un serveur proxy”, entrez l’adresse IP du projecteur dans la zone “Accéder à Internet sans serveur proxy” si vous avez accès au projecteur à partir de votre ordinateur.
- Il se peut, en fonction de la version du navigateur, que l'ordinateur rejette le mot de passe contrôlant l'accès au projecteur. Dans ce cas, redémarrez le navigateur.
- Si le navigateur d’un ordinateur s’interrompt sans que l’application ne se ferme, le projecteur revient automatiquement à la fenêtre Network Projector initiale après environ 30 secondes. Dans ce cas, redémarrez le navigateur.

Noms et fonctions de la fenêtre Sélection de l’application

L’accès au projecteur ouvre la fenêtre Sélection de l’application. Les noms et les fonctions des icônes et des boutons de cette fenêtre sont indiqués ci-après.



❶ Bouton Sélection de la langue

Le fait de cliquer sur ▼ ouvre la liste de sélection de la langue. Chaque fenêtre comprend une aide contextuelle qui s’affiche dans la partie inférieure de la fenêtre. Vous pouvez l’afficher en anglais, français, allemand, espagnol, italien ou japonais.

❷ Icône du Gestionnaire de fichiers

Démarre le Gestionnaire de fichiers afin de gérer les fichiers stockés sur le projecteur.

❸ Icône Visionneuse

Ouvre la fenêtre de configuration pour la projection d’images.

(suite)

❹ Icône du Visualiseur de présentation
Ouvre la fenêtre de sélection pour démarrer le visualiseur PowerPoint (Visualiseur de diapositives) ou le visualiseur Excel (visualiseur feuille de calcul).

❺ Bouton I/⏻ (marche/veille)
Met le projecteur sous ou hors tension ou en mode de veille.

❻ Aide
Maintenez le pointeur sur un élément pour afficher les instructions qui s'y rapportent. Vos actions sont ainsi facilitées dans chaque fenêtre.

❼ Touches de sélection d'entrée
Sélectionnez l'entrée du projecteur.
Le bouton INPUT C n'existe pas dans la fenêtre du VPL-PX15.

❽ Bouton MORE... (plus...)
Ouvre la fenêtre de commandes du projecteur.

Exécution d'une présentation à l'aide du visualiseur de diapositives

Lorsque vous envisagez d'exécuter une présentation à l'aide de PowerPoint dans une salle de conférence, il est possible d'utiliser votre ordinateur dans cette même salle ou dans un endroit éloigné du projecteur pour contrôler cette présentation.

Ce que vous pouvez faire avec le visualiseur de diapositives

Vous pouvez :
- exécuter un diaporama en utilisant le fichier créé sous PowerPoint.
- afficher un diaporama personnalisé, si vous en avez créé un.
- afficher un commentaire de l'orateur ou le masquer.
- afficher une diapositive ou la cacher.
- définir des délais de passage à la diapositive suivante lors d'un diaporama. Vous pouvez sélectionner un diaporama automatique ou manuel.

Remarques
- L'affichage du fichier peut prendre plus ou moins de temps selon votre configuration réseau.
- Etant donné que le visualiseur de diapositives est une fonction de visualisation PowerPoint élémentaire, elle ne prend pas en charge l'ensemble des fonctionnalités de PowerPoint. Nous vous recommandons d'essayer de projeter le fichier utilisé pour votre présentation à partir du projecteur avant d'exécuter la présentation.
- Les polices suivantes sont disponibles pour le visualiseur de présentation : Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman et Wingdings.

Exécution d'une présentation

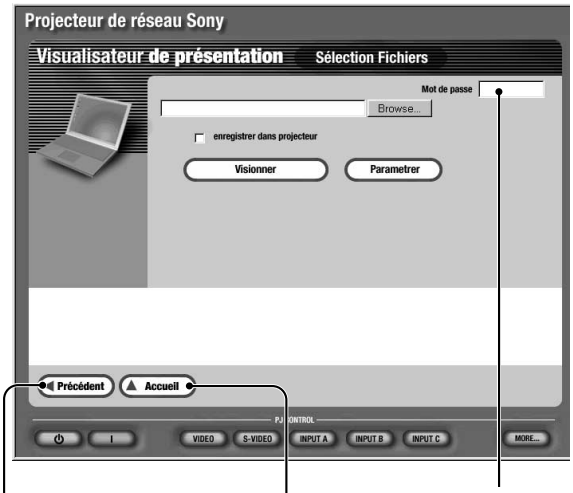
1 Cliquez sur l'icône du visualiseur de présentation dans la fenêtre Sélection de l'application.
La fenêtre Regarder Dans s'affiche.

2 Cliquez pour sélectionner l'endroit où rechercher le fichier à utiliser pour votre présentation.
Ordinateur : Pour sélectionner un fichier stocké dans un ordinateur.
Projecteur : Pour sélectionner un fichier stocké dans le projecteur.

La fenêtre Sélection Fichiers s'affiche.

3 Sélectionnez le fichier que vous souhaitez utiliser pour votre présentation.

Lorsque vous sélectionnez Ordinateur à l'étape 2
Cliquez sur Parcourir pour ouvrir la fenêtre Sélection Fichiers sur l'ordinateur. Cliquez sur le fichier PowerPoint (fichier .ppt ou .pps) souhaité. Vous pouvez également sélectionner le fichier en entrant son nom dans la zone de texte Parcourir. Le nom du fichier sélectionné s'affiche dans la zone de texte Parcourir.



Bouton Précédent
Cliquez pour revenir à la fenêtre précédente.

Bouton Accueil
Cliquez pour revenir à la fenêtre Sélection de l'application.

Zone de définition du Mot de passe

Pour stocker le fichier sélectionné sur le projecteur

Cliquez pour cocher la case “enregistrer dans projecteur”. Vous pouvez définir un mot de passe pour le fichier, si nécessaire. Spécifiez le mot de passe dans la zone de texte Mot de passe. A partir de maintenant, il est impossible d’ouvrir ce fichier sans entrer son mot de passe.

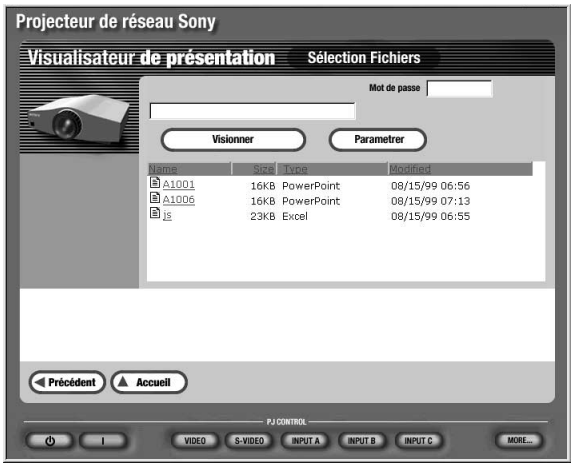
Le fichier est stocké dès que vous cliquez sur le bouton Paramétrer ou Visionner.

Remarque

Lorsque vous supprimez un fichier à l’aide du Gestionnaire de fichiers, le mot de passe n’est pas demandé, même si un mot de passe est défini pour ce fichier.

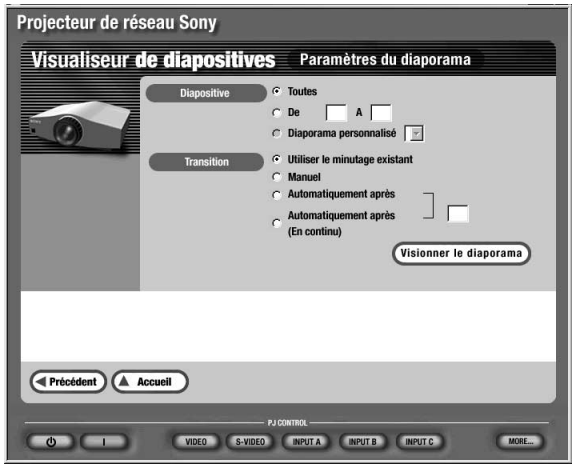
Lorsque vous sélectionnez Projecteur à l’étape 2

La liste des fichiers stockés sur le projecteur ou la carte mémoire (VPL-PX15 et VPL-FX50) s’affiche. Cliquez sur le fichier PowerPoint souhaité. Le nom du fichier sélectionné apparaît dans la zone de texte.



4 Réglez votre diaporama, si nécessaire. Cliquez sur le bouton Paramètres dans la fenêtre Sélection Fichiers.

La fenêtre Paramétres du diaporama s’affiche. Vous pouvez spécifier les diapositives à utiliser pour le diaporama et définir le mode de défilement des diapositives pendant le diaporama. Maintenez le pointeur de la souris sur un élément pour afficher les instructions qui s’y rapportent dans la partie inférieure de la fenêtre.



Remarque

Si vous exécutez une présentation à l’aide du fichier stocké dans un ordinateur, celui-ci est transféré vers le projecteur lorsque vous cliquez sur le bouton Paramétrer. Un court délai d’attente est nécessaire pour afficher la fenêtre Paramètres du diaporama sur l’ordinateur. Sa durée dépend de la taille du fichier. Pendant cette attente, un message s’affiche.

5 Cliquez sur le bouton Visionner de la fenêtre Sélection Fichiers ou cliquez sur le bouton Visionner le diaporama de la fenêtre Paramètres du diaporama.

Le diaporama démarre.

Remarque

Si vous exécutez une présentation à l’aide du fichier stocké dans un ordinateur, celui-ci est transféré vers le projecteur lorsque vous cliquez sur le bouton Visionner. Un court délai d’attente est nécessaire pour afficher le diaporama sur l’écran du projecteur. Sa durée dépend de la taille du fichier. Pendant cette attente, un message s’affiche.

Pour mettre fin au diaporama

Cliquez sur le bouton Mettre fin au diaporama. (Voir page 22 (FR).)

La fenêtre Sélection Fichiers s’affiche à nouveau.

(suite)

Remarque

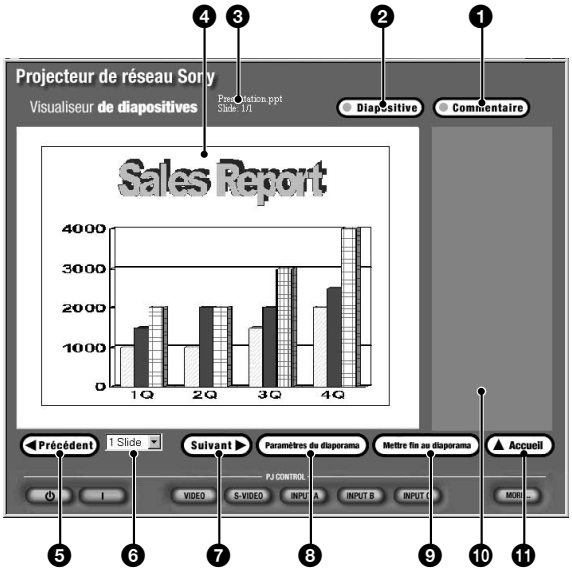
Si le message “La mémoire du projecteur est saturée” apparaît lorsque vous cliquez sur le bouton Visionner ou Paramétrer, supprimez les fichiers inutiles stockés dans le projecteur à l’aide du Gestionnaire de fichiers (page 26 (FR)), puis essayez d’exécuter de nouveau le diaporama. Si le message “La taille du fichier est trop importante.” s’affiche, réduisez la taille du fichier, puis essayez d’exécuter le diaporama à nouveau.

Conseils :

Vous pouvez réduire la taille du fichier en cliquant sur Option, à partir du menu Outils de l’application PowerPoint, puis cliquez sur Enregistrement et décochez la case Enregistrement rapide.

A propos de la fenêtre affichée pendant l’exécution de la présentation

La fenêtre suivante s’affiche pendant une présentation.



❶ Bouton Commentaire

Sélectionnez ce bouton pour afficher/supprimer un commentaire de l’orateur.

❷ Bouton Diapositive

Sélectionnez ce bouton pour afficher/supprimer un diaporama de l’écran de l’ordinateur.

❸ Nom du fichier/numéro de la diapositive

Indique le nom d’un fichier ainsi que la diapositive affichée.

❹ Diapositive

Indique la diapositive en cours d’affichage par rapport au diaporama. L’écran du projecteur affiche uniquement cette diapositive.

❺ Bouton Précédent

Revient à la diapositive ou au paramètre d’animation précédent(e) pendant le diaporama.

❻ Zone du numéro de Diapositive

Cliquez sur ▼ pour ouvrir la liste déroulante des noms de diapositives. Lorsque vous sélectionnez une diapositive spécifique dans cette liste, celle-ci s’affiche.

❼ Bouton Suivant

Passe immédiatement à la diapositive suivante ou au paramètre d’animation suivant.

❽ Bouton Paramètres du diaporama

Rétablit la fenêtre Paramètres du diaporama.

❾ Bouton Mettre fin au diaporama

Met fin au diaporama ou le suspend pour rétablir la fenêtre Sélection Fichiers.

❿ Commentaire

Affiche un commentaire de l’orateur. Il n’apparaît pas sur l’écran du projecteur.

⓫ Bouton Accueil

Rétablit la fenêtre Sélection de l’application.

Projection d’un fichier Excel à l’aide du visualiseur feuille de travail

Vous pouvez afficher un fichier Excel sur le projecteur à partir d’un ordinateur.

Ce que vous pouvez faire avec le visualiseur feuille de travail

Vous pouvez :
- afficher des feuilles de travail Excel sur l’écran du projecteur ;
- modifier la disposition d’une feuille de travail visualisée à l’écran ;
- réduire ou agrandir la feuille de travail projetée.

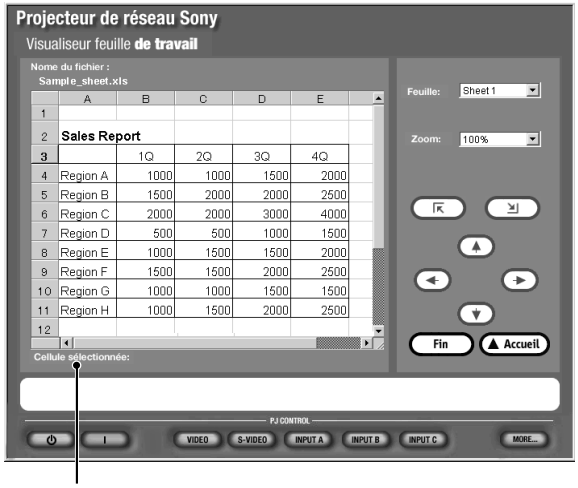
Remarque

Le visualiseur feuille de travail n’étant qu’une simple fonction de visualisation Excel, il ne prend pas en charge certaines fonctions Excel, telles que la fonction de fractionnement.

Projection d’un fichier Excel

1 Suivez les étapes **1** à **3** présentées dans “Exécution d’une présentation à l’aide du visualiseur de diapositives — Exécution d’une présentation” page 20 (FR). Assurez-vous d’avoir sélectionné un fichier Excel (fichier .xls) à l’étape **3**.

2 Cliquez sur le bouton Visionner.
Le visualiseur feuille de travail démarre.
Une feuille de travail du fichier sélectionné apparaît sur le projecteur.



Cellule sélectionnée

Vous pouvez réduire ou agrandir la feuille de travail projetée à l’écran et modifier la disposition de cette feuille sur le projecteur à l’aide des boutons situés dans la fenêtre de droite.

Lorsque vous pointez la souris sur un bouton ou un élément, ses instructions apparaissent en bas de la fenêtre.

Remarques

- L’étendue de la zone d’une feuille de travail affichée sur un ordinateur et celle de la zone projetée sur le projecteur sont différentes.
- Lorsque vous cliquez sur une cellule, sur l’ordinateur, celle-ci est activée si elle se trouve dans la zone affichée sur le projecteur. Si la cellule sélectionnée est en-dehors de la zone affichée, la zone entourant la cellule sélectionnée est affichée sur le projecteur, avec la cellule centrée.

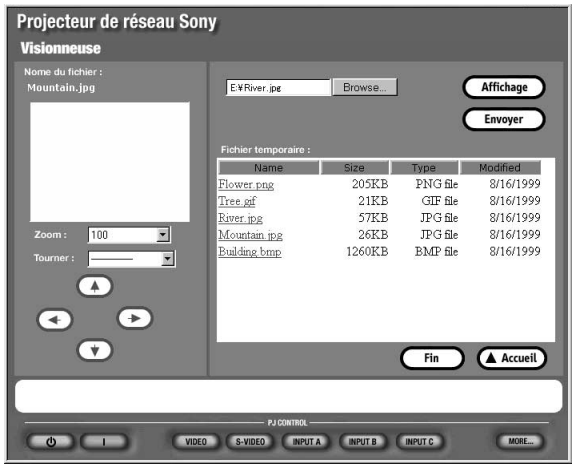
Projection d’une image à l’aide de la visionneuse

Vous pouvez projeter un fichier image enregistré sur n’importe quel ordinateur du même réseau LAN ou dans la mémoire du projecteur, ou encore sur la carte mémoire installée dans le projecteur. Vous pouvez également lancer la lecture d’un diaporama en utilisant la présélection du fichier de paramétrage du diaporama (fichier .SHO) sur le projecteur.

Projection d’une image stockée dans un ordinateur sur le projecteur

1 Cliquez sur l’icône Visionneuse de la fenêtre Sélection de l’application.
La fenêtre Regarder Dans apparaît.

2 Cliquez sur Ordinateur.
La visionneuse du projecteur démarre et la fenêtre Visionneuse apparaît.



Maintenez le pointeur de la souris sur chaque élément pour afficher les instructions s’y rapportant dans la partie inférieure de la fenêtre.

(suite)

3 Sélectionnez le fichier image à afficher.
Cliquez sur Parcourir pour ouvrir la fenêtre de sélection de fichiers d’un ordinateur. Cliquez deux fois sur le fichier souhaité.
Le nom du fichier sélectionné est affiché dans la zone de texte Parcourir.

4 Cliquez sur le bouton Affichage.
Une image plein écran du fichier sélectionné est affichée sur le projecteur.

Remarque

Lorsque vous projetez un fichier image de taille importante, comme les fichiers au format UXGA, il est impossible de l’ouvrir car la mémoire est insuffisante. Dans ce cas, réduisez l’image pour obtenir un fichier plus petit.

Pour gagner du temps lors des transferts de données

Lorsque vous cliquez sur le bouton Affichage, le fichier est transféré vers le projecteur. L’affichage d’une image sur l’écran du projecteur peut prendre quelques instants. Pour afficher l’image immédiatement, transférez tous les fichiers à utiliser vers le projecteur avant de commencer votre présentation.

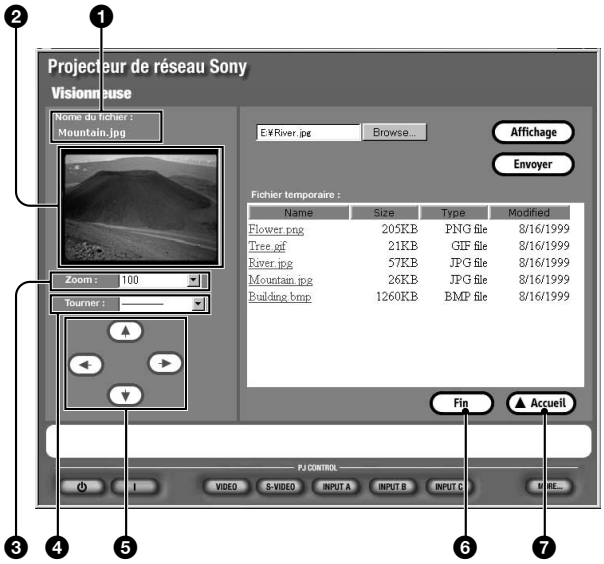
1 Après l’étape **3** de la section “Projection d’une image sur le projecteur”, cliquez sur le bouton Envoyer.
Le nom du fichier sélectionné apparaît dans la liste Fichier temporaire et le fichier est transféré vers le projecteur.
Répétez cette étape jusqu’à ce que tous les fichiers souhaités soient affichés dans la boîte de dialogue Fichier temporaire.

2 Cliquez deux fois sur le nom du fichier apparaissant dans la boîte de dialogue Fichier temporaire.
Une image plein écran du fichier sélectionné est affichée sur le projecteur.

Remarque

Si la mémoire de la liste Fichier Temporaire est pleine, les données transférées précédemment sont effacées.

A propos de la fenêtre affichée pendant la présentation



❶ Nom du fichier

Affiche le nom de fichier de l’image affichée.

❷ Diapositive

Affiche l’image sur l’écran du projecteur.

❸ Zone de texte Zoom

Si vous cliquez sur ▼, la liste déroulante des pourcentages d’agrandissement ou de réduction de l’image apparaît.

❹ Zone de texte Rotation

Si vous cliquez sur ▼, la liste déroulante des angles de rotation de l’image apparaît.

Remarque

Lorsque vous projetez un fichier image de taille importante, comme les fichiers au format UXGA, il est impossible d’effectuer une rotation de l’image car la mémoire est insuffisante. Dans ce cas, réduisez l’image afin d’obtenir un fichier plus petit.

❺ Boutons Scroll (défilement)

Si vous cliquez sur les flèches, la zone d’affichage de l’image sur l’écran change si l’écran n’est pas suffisamment grand.

❻ Bouton Fin

Met fin à l’affichage plein écran ou suspend l’affichage plein écran pour revenir à la fenêtre Sélection Fichiers.

❼ Bouton Accueil

Revient à la fenêtre Sélection de l’application.

Remarque

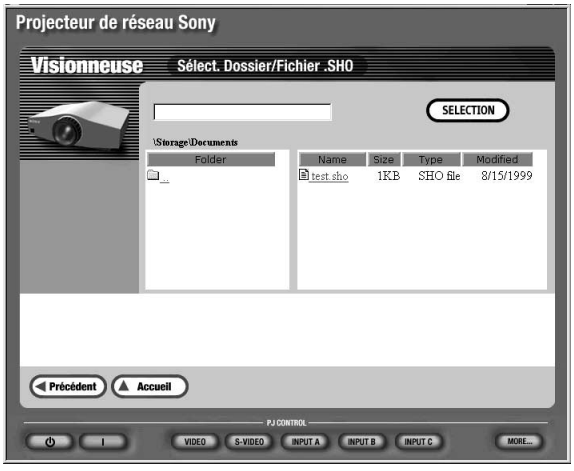
Lorsque vous quittez la fenêtre Visionneuse en cliquant sur le bouton Fin ou Accueil, les fichiers répertoriés dans la liste Fichier temporaire sont automatiquement supprimés. Pour les enregistrer, transférez-les vers le projecteur à l'aide de la fonction Gestionnaire de fichiers.

Pour obtenir plus d'informations, reportez-vous à la section "Utilisation du gestionnaire de fichier" page 26 (FR).

Exécution d'une présentation à l'aide d'un fichier image stocké dans le projecteur.

1 Cliquez sur l'icône Visionneuse dans la fenêtre Sélection de l'application.
La fenêtre Regarder Dans apparaît.

2 Cliquez sur Projecteur.
La visionneuse du projecteur démarre et la fenêtre Select. Dossier/Fichier .SHO apparaît.



3 Cliquez sur le répertoire souhaité ou sur le répertoire qui contient le fichier des paramètres diaporama (fichier .SHO) dans la liste des répertoires située à gauche de la fenêtre.
Le contenu du répertoire sélectionné est répertorié sur la droite.

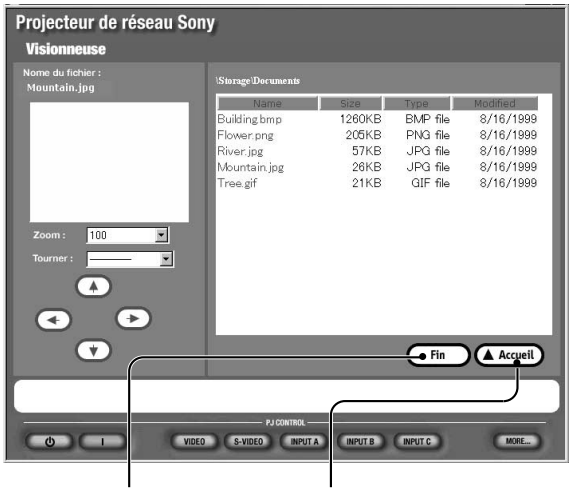
Pour obtenir plus de détails sur les fichiers .SHO, reportez-vous à la section "Sauvegarde des paramètres d'un diaporama" page 35 (FR).

4 Sélectionnez un répertoire ou un fichier .SHO, puis cliquez sur le bouton SELECTION.
La fenêtre Visionneuse apparaît.

5 Sélectionnez un fichier image à projeter.

Lorsque vous sélectionnez un répertoire à l'étape 4

Les fichiers image contenus dans le répertoire sélectionné sont répertoriés sur la droite.



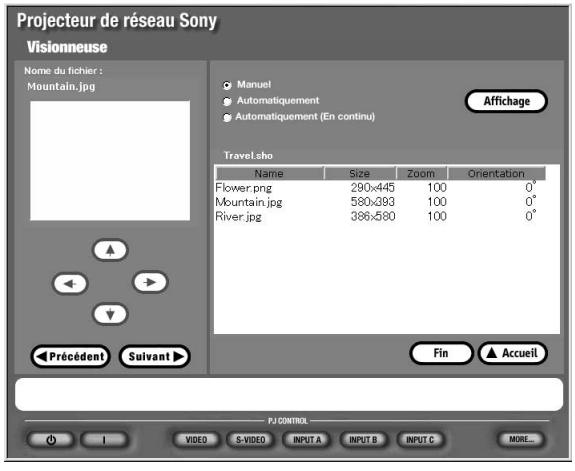
Bouton Fin
Ferme ou interrompt l'affichage et revient à la fenêtre Sélection fichiers.

Bouton Accueil
Revient à la fenêtre Sélection de l'application.

Cliquez sur le fichier souhaité.Une image du fichier sélectionné est projetée en plein écran.
Lorsque vous pointez la souris sur un élément situé à gauche de la fenêtre, ses instructions apparaissent en bas de la fenêtre.

Lorsque vous sélectionnez un fichier .SHO à l'étape 4

Le fichier .SHO sélectionné apparaît sur la droite.



Sélectionnez le mode de défilement des diapositives, puis cliquez sur le bouton Affichage.
Le diaporama démarre.
Lorsque vous pointez la souris sur un élément de la fenêtre, ses instructions apparaissent en bas de la fenêtre.

A propos de la fenêtre affichée lors de l’exécution de la visionneuse

La même fenêtre que celle de “A propos de la fenêtre affichée pendant la présentation” page 24 apparaît. Le bouton Suivant situé dans la fenêtre de sélection du fichier .SHO sert à passer à la diapositive suivante immédiatement pendant le diaporama. Le bouton Précédent sert à revenir à la diapositive précédente.

Utilisation du Gestionnaire de fichiers

Vous pouvez gérer des fichiers stockés dans le projecteur à partir d’un ordinateur en suivant une procédure simple. La fonction Gestionnaire de fichiers vous permet de supprimer des fichiers inutiles stockés sur le projecteur ou d’ajouter des fichiers stockés dans un ordinateur dans la mémoire du projecteur. Utilisez le Gestionnaire de fichiers pour vérifier la mémoire actuellement utilisée et la mémoire restante disponible du projecteur (elles sont affichées dans la fenêtre Gestionnaire de fichiers).

Ajout de fichiers au projecteur à l’aide du Gestionnaire de fichiers

1 Cliquez sur l’icône du Gestionnaire de fichiers dans la fenêtre Sélection de l’application.
La fenêtre Gestionnaire de fichiers s’affiche.

2 Recherchez le fichier, stocké dans l’ordinateur, que vous souhaitez ajouter au projecteur.
Cliquez sur le bouton Parcourir dans la section Ajout de fichier pour ouvrir la fenêtre Sélection Fichiers de l’ordinateur. Sélectionnez le fichier de votre choix. Vous pouvez également sélectionner le fichier en entrant son nom dans la zone de texte Parcourir.

Vous pouvez définir un mot de passe pour le fichier sélectionné lors de cette étape. Spécifiez le mot de passe dans la zone de texte Mot de passe. A partir de maintenant, il est impossible d’ouvrir ce fichier sans entrer son mot de passe.

3 Cliquez sur le bouton Ajout.
Le fichier sélectionné est stocké sur le projecteur.

Suppression de fichiers à partir du projecteur à l’aide du Gestionnaire de fichiers

1 Cliquez sur l’icône du Gestionnaire de fichiers dans la fenêtre Sélection de l’application.
La fenêtre Gestionnaire de fichiers s’affiche et la liste des fichiers stockés sur le projecteur apparaît.

2 Sélectionnez le fichier que vous souhaitez supprimer.
Vous pouvez sélectionner tous les fichiers que vous souhaitez supprimer.

3 Cliquez sur le bouton Suppression.
Tous les fichiers sélectionnés sont supprimés de la liste de fichiers.

Remarque

Vous pouvez supprimer un fichier même s’il possède un mot de passe.

Contrôle du projecteur à partir d’un ordinateur

Vous pouvez effectuer divers réglages et paramétrages du projecteur sur un écran d’ordinateur. Les trois fenêtres de commandes suivantes sont disponibles : GENERAL, PICTURE CTRL et SETTINGS, comportant chacune des fonctions différentes.
Les fonctions des boutons qui apparaissent dans les fenêtres sont les mêmes que celles des boutons de la télécommande fournie avec le projecteur.

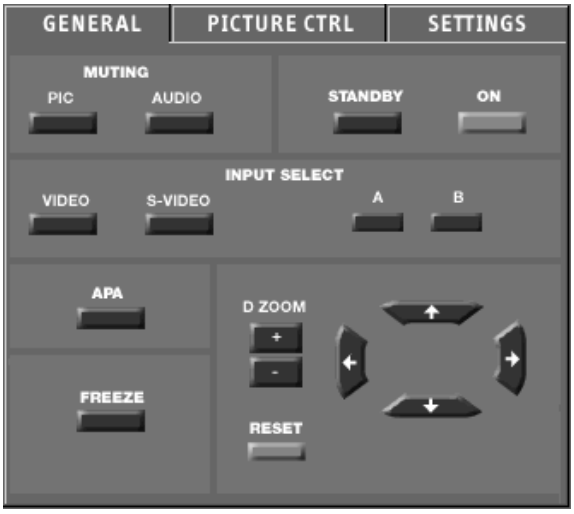
Pour obtenir plus d’informations sur les boutons, reportez-vous au mode d’emploi du projecteur.

Les illustrations ci-dessous concernent le modèle VPL-PX15.

1 Cliquez sur le bouton MORE... (plus...) dans la section PJ CONTROL (contrôle PJ).
La fenêtre GENERAL s’affiche.

2 Cliquez sur l’onglet correspondant pour sélectionner la fenêtre souhaitée.

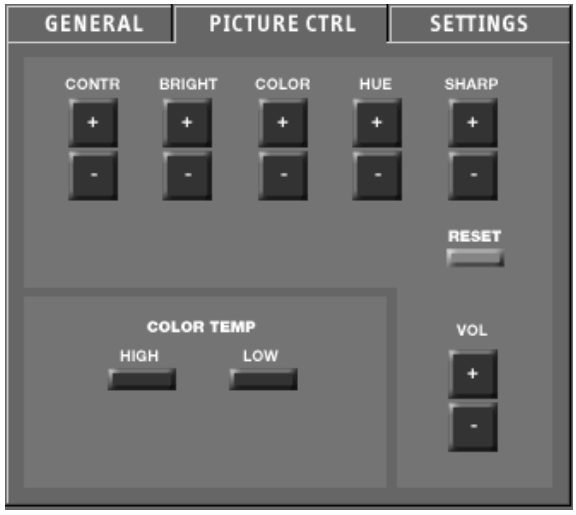
Fenêtre GENERAL



(VPL-PX15)

■ Pour le modèle VPL-FE110U/M
Utilisez la touche SWITCHER pour spécifier le périphérique. Utilisez la touche GROUP pour spécifier les numéros d’index de groupes et la touche INDEX pour spécifier les numéros d’index de périphériques. Cliquez sur ▼ pour ouvrir la liste déroulante, puis sélectionnez le numéro.

Fenêtre PICTURE CTRL



(VPL-PX15)

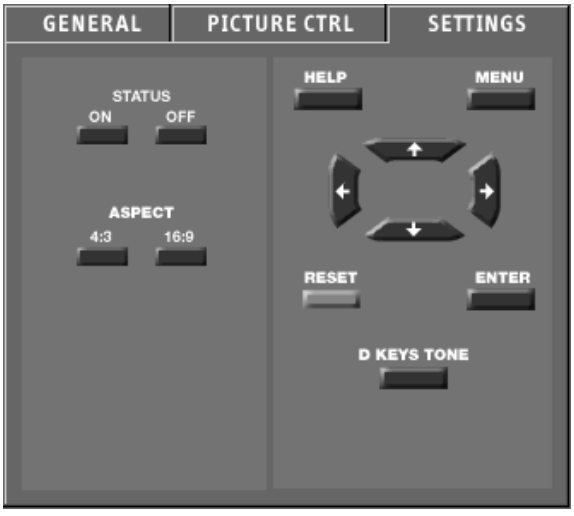
■ Pour le modèle VPL-PX15
Les boutons COLOR TEMP (HIGH, LOW) fonctionnent de la même manière que dans le menu.

■ Pour le modèle VPL-FX50
Les boutons DDE (OFF, PROGRESSIVE, FILM) et RGB ENHANCER +/– fonctionnent de la même manière que dans les menus.

Pour obtenir plus d’informations, reportez-vous au mode d’emploi du projecteur.

(suite)

Fenêtre SETTINGS



(VPL-PX15)

■ **Pour le modèle VPL-PX15**
Les boutons ASPECT (4:3, 16:9) et STATUS (ON, OFF) fonctionnent de la même manière que dans le menu.

■ **Pour le modèle VPL-FX50**
Les boutons ASPECT (4:3, 16:9) et LAMP MODE (STANDARD, LOW) fonctionnent de la même manière que dans les menus.

Pour obtenir plus d’informations, reportez-vous au mode d’emploi du projecteur définition approprié.

3 Cliquez sur le bouton de réglage ou de définition.

Vérification des indicateurs sur le projecteur

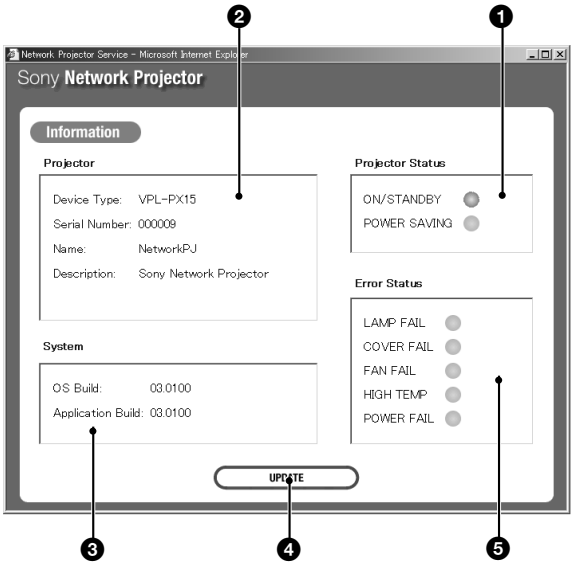
Vous pouvez vérifier l’état en cours des indicateurs situés sur le panneau de commande du projecteur sur l’écran d’un ordinateur.

1 Démarrez Internet Explorer version 4.0 ou ultérieure ou Netscape Navigator version 4.5x ou 4.7x sur l’ordinateur.

2 Tapez l’URL “http://xxx.xxx.xxx.xxx (correspondant à l’adresse IP du projecteur)/info”. Si vous n’avez pas modifié l’adresse IP définie en usine, tapez “http://192.168.0.1/info” (lorsque vous utilisez une carte PC LAN) ou “http://192.168.0.2/info” (lorsque vous utilisez le connecteur ETHER). Si le mot de passe est défini, la boîte de dialogue Définition du mot de passe apparaît.

3 Entrez le nom et le mot de passe de l’administrateur (Administrator).
La fenêtre Information (informations) s’affiche.

L’illustration ci-dessous concerne le modèle VPL-PX15.



❶ Projector Status (état du projecteur)
Affiche l’état en cours du projecteur.

❷ Projector (projecteur)
Affiche les informations sur le projecteur.

❸ System (système)
Affiche les versions de Windows CE et des applications en cours d’utilisation.

❹ Bouton UPDATE (mise à jour)
Cliquez sur ce bouton pour mettre à jour les dernières informations.

❺ Error Status (Etat d’erreur)
Affiche l’état en cours des indicateurs du panneau de commandes du projecteur.

Pour obtenir des informations sur les indicateurs, reportez-vous au mode d’emploi.

Préparatifs

Avant de commencer

■ Pour le modèle VPL-PX15 et VPL-FX50

- Dans le menu REGL. INSTAL, vérifiez que FONCT ENTREE-B (VPL-PX15) ou FONCT ENTREE-C (VPL-FX50) est réglé sur ON.
- Réglez le commutateur de sélection PJ/NETWORK sur NETWORK.

■ Pour le modèle VPL-FE110U/M

- Vérifiez que le commutateur de sélection INPUT C/RS-232C/RS-422A situé à l'arrière du projecteur est réglé sur INPUT C.
- Pour commander le projecteur, utilisez la télécommande RM-PJM610 ou une souris et un clavier (non fournis). Raccordez la souris et le clavier au projecteur avant de brancher le cordon d'alimentation du projecteur sur la prise secteur.

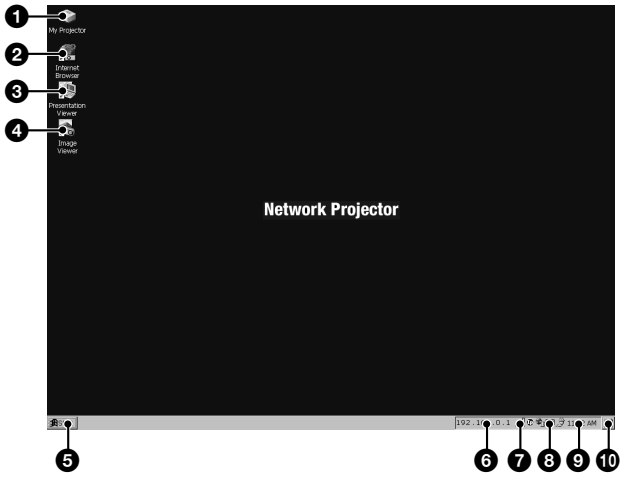
Ouverture de la fenêtre Network Projector

Pour exécuter des opérations de réseau sans connexion à un ordinateur, affichez la fenêtre Network Projector sur le projecteur.

1 Mettez le projecteur sous tension.

2 Réglez l'entrée du projecteur sur INPUT B (VPL-PX15) ou INPUT C (VPL-FX50 et VPL-FE110U/M).
La fenêtre Network Projector apparaît.

Noms et fonctions de la fenêtre Network Projector



❶ Icône My Projector (mon projecteur)
Permet de parcourir les dossiers sur le projecteur. Cliquez deux fois sur cette icône pour afficher l'icône de la carte mémoire, etc.

❷ Icône Internet Browser (navigateur Internet)
Cliquez deux fois sur cette icône pour vous connecter à Internet.

❸ Icône Presentation Viewer (Visualiseur de présentation)
Sélectionnez ce bouton lorsque vous souhaitez lancer une présentation avec le fichier créé sous PowerPoint ou projeter un fichier Excel sur le projecteur.

❹ Icône Image Viewer (Visionneuse)
Cliquez deux fois sur cette icône pour démarrer la visionneuse et lancer un diaporama à l'aide de fichiers contenant des images fixes stockés dans le projecteur ou la carte mémoire.

❺ Menu Start (démarrer)

❻ Adresse IP
Affiche l'adresse IP du projecteur. Vous pouvez la vérifier lorsque vous accédez au projecteur à partir d'un ordinateur.

❼ Icône d'indicateur du niveau de réception
Lorsque le projecteur reconnaît correctement la carte PC LAN sans fil insérée dans l'emplacement pour PC CARD, l'icône apparaît dans la barre des tâches. Cliquez deux fois sur l'icône pour afficher la fenêtre indiquant l'état de connexion entre le projecteur et le point d'accès.

❽ Icône du clavier d'écran
Cliquez sur cette icône pour afficher le clavier d'écran sur le projecteur. Vous pouvez utiliser le projecteur pour effectuer des paramétrages ou pour entrer une URL à l'aide de la télécommande fournie (pour les modèle VPL-PX15 et VPL-FX50) ou de la télécommande RM-PJM610 (non fournie, pour les modèles VPL-FE110U/M). Le clavier d'écran comporte deux pages. Cliquez sur la touche Shift (MAJ) pour changer de page.

(suite)

■ **Pour le modèle VPL-PX15 et VPL-FX50**

- Lorsque le commutateur de sélection PJ/NETWORK de la télécommande fournie est réglé sur NETWORK, les touches TAB, ESCAPE, ENTER ainsi que les flèches de direction de la télécommande fonctionnent de la même manière que celles du clavier.
- Appuyez sur la touche R CLICK de la télécommande fournie sur l'icône du clavier d'écran pour afficher le sous-menu. Cliquez sur Remote (télécommande), puis sur On pour utiliser les flèches de direction de la télécommande de la même manière que celles du clavier d'écran et pour sélectionner les touches.

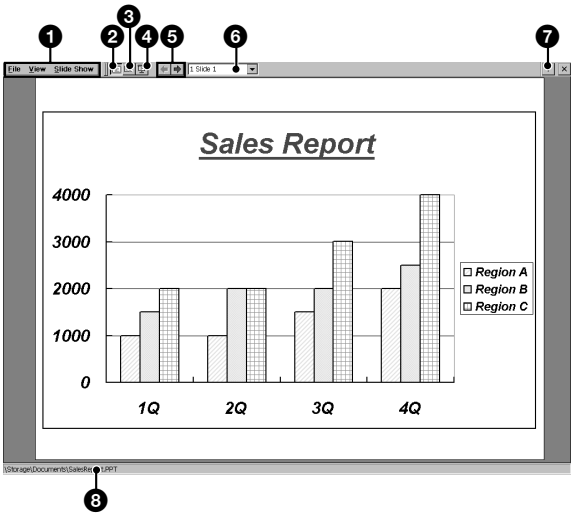
❾ Heure

❿ Icône Bureau

Exécution d'une présentation à l'aide du visualiseur de diapositives

Vous pouvez exécuter une présentation à l'aide d'un fichier PowerPoint stocké dans un ordinateur situé dans la même salle de conférence que le projecteur ou en un endroit différent.
Même lorsqu'un ordinateur n'est pas connecté au projecteur, vous pouvez également démarrer la présentation à l'aide d'un fichier stocké dans la mémoire du projecteur ou sur la carte mémoire installée dans l'emplacement pour PC CARD.

A propos de la fenêtre Visualiseur de diapositives



❶ Barre de menus

Menu	Commandes	Fonction
File	Open (ouvrir)	Ouvre les fichiers stockés sur le projecteur.
	Recent Files (fichiers récents)	Ouvre les fichiers récemment utilisés, affichés dans le sous-menu.
	Close (fermer)	Ferme le fichier en cours d'affichage.
	Version (version)	Indique les informations de version relatives au programme.
View (affichage)	Slide View (mode diapositive)	Affiche une diapositive en mode diapositive.
	Note View (mode commentaire)	Affiche une diapositive en mode commentaire.
	Slide Show (diaporama)	Exécute un diaporama.
View Show (visionner le diaporama)	Run (exécuter)	Exécute un diaporama.
	Set Up Show (paramètres du diaporama)	Configure le diaporama.

❷ Bouton (mode diapositive)
Affiche une diapositive.

❸ Bouton (mode commentaire)
Affiche une diapositive et un commentaire de l'orateur.

❹ Bouton (diaporama)
Exécute un diaporama.

❺ Boutons Transition
Cliquez sur le bouton pour afficher la diapositive précédente.
Cliquez sur le bouton pour afficher la diapositive suivante.

❻ Liste des diapositives
Cliquez sur pour ouvrir la liste déroulante et sélectionner le numéro de la diapositive que vous souhaitez afficher.

❼ Bouton (aide)
Cliquez sur ce bouton pour afficher la rubrique d'aide relative au visualiseur de diapositives.

❽ Nom du fichier
Le nom d'un fichier est affiché.

Exécution d’une présentation

Utilisation d’un fichier stocké dans un ordinateur connecté au réseau local

1 Cliquez deux fois sur l’icône My Projector (mon projecteur) dans la fenêtre Network Projector.

2 Entrez “\\ xxxx (nom de l’ordinateur auquel vous souhaitez accéder)” dans la colonne adresse, puis cliquez sur la touche Enter.
Les dossiers partagés de l’ordinateur sont affichés.

Remarque

Définissez les éléments dans la boîte de dialogue Identification in the Network Configuration (identification dans la configuration réseau)(page 9 (FR)), puis définissez les fichiers partagés avec un ordinateur auxquels vous souhaitez accéder.

3 Sélectionnez le dossier contenant le fichier PowerPoint (fichier .ppt ou .pps) pour lequel vous souhaitez exécuter une présentation, puis cliquez deux fois sur ce fichier.
Si un mot de passe est requis pour l’ordinateur sélectionné, entrez le mot de passe.
Le visualiseur de diapositives démarre.

4 Lorsque vous souhaitez configurer un diaporama, cliquez sur Set Up Show (paramètres du diaporama) dans le menu View Show (visionner le diaporama).
La boîte de dialogue Set Up Show s’ouvre.
Pour plus de détails, reportez-vous à l’aide du visualiseur de diapositives.

5 Cliquez sur Run (exécuter) à partir du menu View Show pour exécuter le diaporama.

Utilisation d’un fichier stocké sur le projecteur ou sur la carte mémoire

1 Cliquez deux fois sur l’icône Presentation Viewer dans la fenêtre Network Projector.
Le visualiseur de présentation démarre et la boîte de dialogue Ouvrir apparaît.

2 Sélectionnez le fichier PowerPoint souhaité puis cliquez sur le bouton OK.
Le visualiseur de diapositives démarre et le fichier sélectionné apparaît sous forme de diapositive.

3 Effectuez les étapes **4** et **5** de la section “Utilisation d’un fichier stocké dans un ordinateur connecté au réseau local”.

Permutation du mode d’affichage des diapositives

Le visualiseur de diapositives comporte trois modes d’affichage : Slide Show (diaporama), Slide View (diapositive) et Note View (commentaire). Chacun d’entre eux vous permet d’afficher une diapositive différemment. Pour sélectionner un affichage, cliquez sur la commande correspondante dans le menu View (affichage). Vous pouvez également cliquer sur le bouton correspondant de la barre d’outils pour permuter l’affichage.

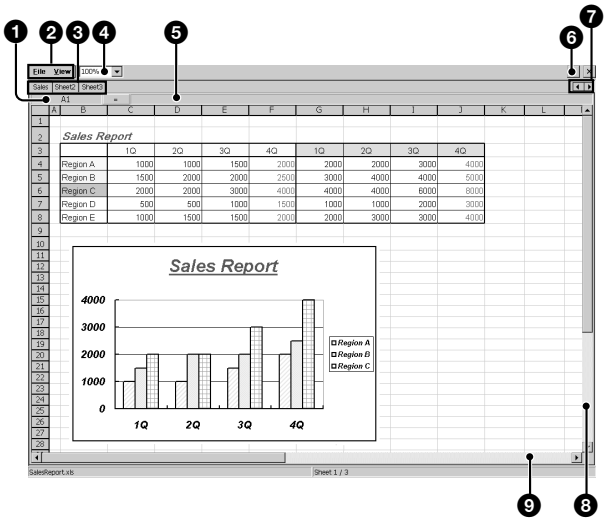
A propos de l’aide sur le visualiseur de diapositives

Pour obtenir des détails sur le fonctionnement du visualiseur de diapositives, reportez-vous au menu Aide. Vous pouvez cliquer sur le bouton ? de la barre d’outils pour ouvrir une rubrique d’aide.

Projection d’un fichier Excel à l’aide du visualiseur feuille de travail

Vous pouvez projeter des fichiers Excel stockés dans un ordinateur sur le même réseau LAN. Vous pouvez également projeter des fichiers stockés dans le projecteur ou dans la carte mémoire sans vous connecter à un ordinateur.

A propos de la fenêtre visualiseur feuille de travail



(suite)

❶ Name (Nom)
Identifie la cellule sélectionnée.

❷ Barre de menus

Menu	Commande	Fonction
File (Fichier)	Open (Ouvrir)	Ouvre les fichiers stockés dans le projecteur.
	Close (Fermer)	Ferme le fichier en cours d'affichage.
	About (A propos de)	Indique la version du programme.
View (Affichage)	Zoom	Ouvre la boîte de dialogue Zoom pour agrandir ou réduire l'affichage.

❸ Onglets feuilles
Affiche les noms des feuilles. Cliquez sur l'onglet d'une feuille pour activer une feuille.

❹ Zoom
Cliquez sur ▼ pour sélectionner le facteur d'agrandissement, afin de réduire ou d'augmenter l'affichage d'une feuille de travail active.

❺ Barre du contenu de la cellule
Affiche le résultat ou une valeur constante de la cellule active.

❻Bouton (aide) ?
Affiche la rubrique d'aide pour le visualiseur feuille de travail.

❼ Boutons ◀/▶
Utilisez ces boutons pour parcourir les onglets des feuilles. Cliquez sur une flèche pour défiler vers la direction souhaitée.

❽ Barre de défilement (haut/bas) ▲/▼
Sert à défiler vers le haut ou vers le bas. Pour défiler, déplacez la boîte de dialogue ou cliquez sur la flèche.

❾ Barre de défilement (gauche/droite) ◀/▶
Sert à défiler vers la gauche ou vers la droite. Pour défiler, déplacez la boîte de dialogue ou cliquez sur la flèche.

Projection d'un fichier Excel

Utilisation d'un fichier stocké dans un ordinateur connecté au réseau LAN

1 Suivez les étapes **1** et **2** dans "Exécution d'une présentation — Utilisation d'un fichier stocké dans un ordinateur connecté au réseau local" page 31 (FR).

2 Sélectionnez le répertoire contenant le fichier Excel (fichier .xls) à projeter, puis cliquez deux fois sur ce fichier.
Si le mot de passe est défini pour l'ordinateur sélectionné, saisissez le mot de passe.
Le visualiseur feuille de travail démarre et une feuille de travail du fichier Excel sélectionné apparaît dans le projecteur.

Utilisation d'un fichier stocké dans le projecteur ou dans la carte mémoire

1 Cliquez deux fois sur l'icône Presentation Viewer dans la fenêtre Network Projector.
Le visualiseur de présentation démarre et la boîte de dialogue Open File (Ouvrir) apparaît.

2 Sélectionnez le fichier Excel que vous souhaitez projeter puis cliquez sur le bouton OK.
Le visualiseur feuille de travail démarre et une feuille de travail du fichier sélectionné apparaît sur le projecteur.

Modification de la taille ou de la zone d'affichage de la feuille de travail projetée
Pour réduire ou agrandir la feuille de travail projetée ou modifier la zone d'affichage de cette feuille, reportez-vous à l'aide du visualiseur feuille de travail.

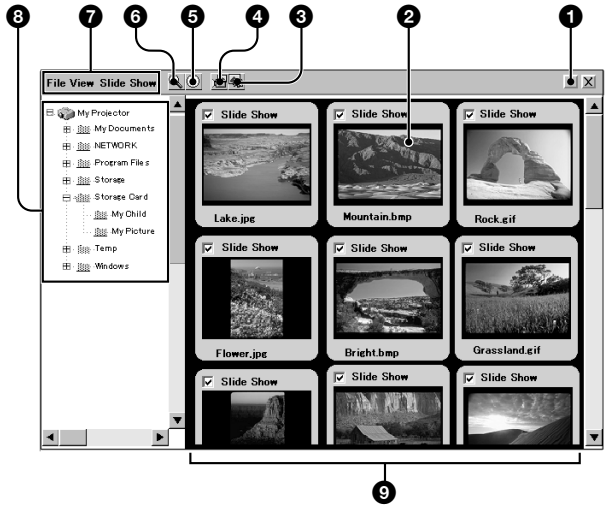
A propos de l'aide sur le visualiseur feuille de travail

Pour plus d'informations sur l'utilisation du visualiseur feuille de travail, reportez-vous à l'aide. Pour ouvrir la rubrique d'aide, cliquez sur le bouton ? situé dans la barre d'outils.

Lancement d’un diaporama à l’aide de la visionneuse

Vous pouvez afficher des miniatures des fichiers stockés dans le projecteur ou dans une carte mémoire installée dans le projecteur, puis lancer la lecture d’un diaporama en sélectionnant les images souhaitées. Lorsque vous démarrez la visionneuse du projecteur et que vous sélectionnez le dossier contenant les fichiers souhaités, la fenêtre principale apparaît.

A propos de la fenêtre principale de la visionneuse



❶ Bouton (aide)
Cliquez sur ce bouton pour afficher l’aide relative à la visionneuse.

❷ Diapositive
Cliquez sur une diapositive pour afficher un cadre vert autour de cette diapositive. Cela indique que la diapositive est sélectionnée.

❸ Bouton (configuration du diaporama)
Ouvre la boîte de dialogue de configuration du diaporama qui permet d’effectuer un zoom, une rotation, etc.

❹ Bouton (visionner le diaporama)
Cliquez sur ce bouton pour ouvrir le sous-menu et faire avancer une diapositive.

❺ Bouton (informations)
Ouvre la boîte de dialogue contenant des informations sur la diapositive sélectionnée.

❻ Bouton (plein écran)
Affiche en plein écran une diapositive de votre choix.

❼ Barre de menus

Menu	Commande	Fonction
File (fichier)	Close (fermer)	Ferme le fichier en cours d’affichage.
	About (à propos de)	Indique la version du programme.
View (affichage)	Full Screen (plein écran)	Affiche l’image sélectionnée en plein écran.
	Information (informations)	Ouvre la boîte de dialogue contenant des informations sur l’image sélectionnée.
	Sort slides (trier les diapositives)	Trie les diapositives d’un dossier selon l’ordre spécifié.
Slide Show (diaporama)	View Show (visionner le diaporama)	Lance un diaporama en avançant une diapositive sélectionnée dans le sous-menu.
	Slide Show Setting (configuration du diaporama)	Configure le diaporama en détails.
	Select all (sélectionner tout)	Sélectionne toutes les diapositives de la miniature.
	Clear all (supprimer tout)	Annule toute sélection de diapositives dans les miniatures.
	Load... (charger)	Charge les fichiers de configuration du diaporama mémorisés.
	Save... (sauvegarder)	Mémorise la configuration actuelle du diaporama comme un fichier de configuration (L’extension est “.SHO”).

❽ Boîte de dialogue Folder (dossier)
Permet de parcourir les dossiers stockés dans le projecteur ou dans une carte mémoire installée dans le projecteur.

❾ Zone d’affichage de la diapositive
Affiche des miniatures des diapositives contenues dans le dossier sélectionné.

Affichage d’une image plein écran

Vous pouvez afficher en plein écran une miniature sélectionnée dans la fenêtre principale.

1 Cliquez deux fois sur l’icône Visionneuse dans la fenêtre Network Projector.
La visionneuse démarre.

2 Sélectionnez le dossier contenant les fichiers image à afficher dans la boîte de dialogue Folder (dossier).
Vous pouvez choisir le dossier stocké dans le projecteur ou dans une carte mémoire installée dans le projecteur.
La fenêtre principale apparaît, affichant des miniatures des diapositives contenues dans le dossier sélectionné.

3 Sélectionnez la diapositive à afficher en cliquant sur une diapositive miniature.
Un cadre vert apparaît autour de la diapositive sélectionnée.

4 Cliquez avec le bouton droit de la souris sur la diapositive pour sélectionner Full Screen (plein écran), cliquez sur Full Screen dans le menu View (affichage) ou cliquez sur le bouton de la barre d’outils.
La diapositive affichée est adaptée à la taille de l’écran du projecteur.

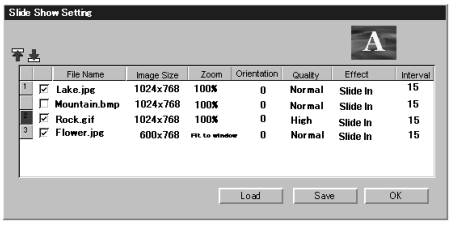
Lancement de la lecture d’un diaporama

1 Suivez les étapes **1** à **2** de la section “Affichage d’une image plein écran”.

2 Sélectionnez les diapositives à utiliser pour votre diaporama.
- Cochez la case Slide Show (diaporama) de chaque diapositive à utiliser.
- Pour utiliser toutes les diapositives du dossier sélectionné, cliquez sur Select all (sélectionner tout) dans le menu Slide Show (diaporama).
- Si vous avez déjà stocké les fichiers de configuration du diaporama, cliquez sur Load... (charger) dans le menu Slide Show pour afficher la boîte de dialogue Load Slide show setting file (charger le fichier de configuration du diaporama). Sélectionnez le fichier souhaité.

Pour obtenir plus d’informations sur les fichiers de configuration du diaporama, reportez-vous à la section “Sauvegarde d’un diaporama”.

3 Lorsque vous souhaitez paramétrer la diapositive, par exemple, pour effectuer un zoom ou une rotation d’une image, cliquez sur Slide Show Setting (configuration du diaporama) dans le menu Slide Show ou appuyez sur le bouton de la barre d’outils.
La boîte de dialogue Paramètres du diaporama apparaît.



Changez les réglages et cliquez sur OK ou sur le bouton Save.

Remarque

Lorsque vous projetez un fichier image de taille importante, comme les fichiers au format UXGA, il est impossible de l’ouvrir ou de faire tourner car la mémoire est insuffisante. Dans ce cas, réduisez l’image pour obtenir un fichier plus petit.

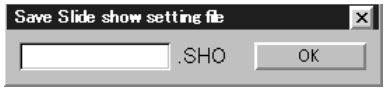
4 Cliquez sur View Show (visionner le diaporama) dans le menu Slide Show (diaporama) ou cliquez sur le bouton correspondant de la barre d’outils.
Le sous-menu vous permettant de choisir le mode de défilement d’une diapositive apparaît. Cliquez sur l’une des options pour lancer un diaporama.

Sauvegarde des paramètres d'un diaporama

Vous pouvez lancer plusieurs fois la lecture d'un diaporama en utilisant les fichiers de paramétrage du diaporama (fichiers .SHO). Vous pouvez également modifier les paramétrages des fichiers de paramétrage stockés.

Pour sauvegarder le fichier

1 Cliquez sur Save... (sauvegarder) dans le menu Slide Show (diaporama).
La boîte de dialogue Save Slide show setting file (sauvegarder le fichier de paramétrage du diaporama) apparaît.



2 Entrez le nom du fichier, puis cliquez sur OK.
Les fichiers sauvegardés apparaissent dans la boîte de dialogue Load Slide show setting file (charger le fichier de paramétrage du diaporama).

Pour effectuer une sauvegarde après avoir modifié les paramètres

Cliquez sur Slide Show Setting (paramètres du diaporama) dans le menu Slide Show (diaporama) pour ouvrir la boîte de dialogue Slide Show Setting, puis modifiez les paramétrages. Cliquez sur Save pour ouvrir la boîte de dialogue Save Slide show setting file. Suivez l'étape **2**.

Pour modifier les paramètres après avoir effectué la sauvegarde

1 Cliquez sur Slide Show Setting (paramètres du diaporama) dans le menu Slide Show (diaporama).
La boîte de dialogue Slide Show Setting apparaît.

2 Cliquez sur Load (charger).
La boîte de dialogue Load Slide show setting file (charger le fichier de paramétrage du diaporama) apparaît.

3 Sélectionnez le fichier dont vous souhaitez modifier les paramètres, puis cliquez sur OK.
La boîte de dialogue Slide Show Setting apparaît.

4 Modifiez les paramétrages, puis cliquez sur le bouton Save.

Pour modifier le paramétrage dans la fenêtre principale

1 Cliquez sur Load... (charger) dans le menu Slide Show.
La boîte de dialogue Load Slide show setting file apparaît.

2 Sélectionnez le fichier à modifier, puis cliquez sur OK.
La fenêtre principale apparaît.

3 Modifiez les coches des cases Slide Show des diapositives.

A propos de l'aide relative à la visionneuse

Pour obtenir plus d'informations sur le fonctionnement de la visionneuse, reportez-vous à l'aide. Cliquez sur le bouton ? de la barre d'outils permettant d'ouvrir l'aide.

Connexion à Internet

1 Cliquez deux fois sur l'icône Internet Browser (navigateur Internet) dans la fenêtre Network Projector.
La fenêtre Internet Browser s'affiche.

2 Cliquez sur l'icône clavier de la barre des tâches pour afficher le clavier d'écran, puis entrez l'adresse de la page d'accueil souhaitée.

Guide de dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et de remédier au problème à l'aide du guide ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le personnel qualifié Sony.

Symptôme	Causes et solutions
La connexion au réseau n'est pas établie.	• La carte PC n'est pas correctement insérée dans l'emplacement pour PC CARD. → Vérifiez que la carte est insérée dans le bon sens, puis exercez une pression sur la carte pour l'introduire fermement dans l'emplacement. • Le câble n'est pas raccordé correctement au connecteur ETHER. (VPL-PX15, VPL-FX50) → Insérez à fond la fiche du câble dans le connecteur. • La carte PC LAN, la carte PC LAN sans fil et le point d'accès LAN sans fil que vous utilisez ne correspondent pas aux modèles spécifiés/recommandés. → Utilisez les dispositifs spécifiés/recommandés. L'utilisation d'un dispositif non spécifié/recommandé risque de provoquer un dysfonctionnement. Pour obtenir des informations sur les cartes spécifiées/recommandées, etc., reportez-vous à la liste fournie portant sur les cartes PC/points d'accès LAN sans fil spécifié/recommandé. • L'environnement du réseau n'est pas correctement configuré. → Vérifiez les paramètres de la configuration du réseau du projecteur (pages 9 (FR) et 13 (FR)). → Lorsque vous contrôlez le projecteur à l'aide du navigateur Web d'un ordinateur, vérifiez également les paramètres réseau de l'ordinateur. • Lorsque vous utilisez une carte PC LAN sans fil, Enable On-board LAN est sélectionné. (VPL-PX15, VPL-FX50) → Supprimez la coche dans la case Enable On-board LAN. • Lorsque vous utilisez la carte PC LAN sans fil, le réseau local (LAN) sans fil n'est pas configuré correctement. → Vérifiez que l'ID du point d'accès et la clé de cryptage dans la boîte de dialogue Connecting Status sont définies sur les mêmes numéros que ceux du point d'accès connecté (page 11 (FR)). • Lorsque vous utilisez la carte PC LAN sans fil, le mode poste à poste n'est pas configuré correctement. → Sélectionner le mode poste à poste uniquement sur un appareil connecté au même réseau LAN sans fil (page 11 (FR)). • Le canal du point d'accès est réglé sur 12 à 14. → Réglez le canal du point d'accès sur 1 à 11. • La carte PC LAN, la carte PC LAN sans fil, la carte mémoire ou le point d'accès ne fonctionnent toujours pas correctement après les vérifications ci-dessus. → Contactez le fabricant de la carte ou du point d'accès utilisé(e). Lorsque vous utilisez la carte PC LAN sans fil Sony spécifiée/recommandée, contactez un technicien Sony qualifié.
L'ordinateur ne parvient pas à accéder au projecteur.	• Le paramétrage de FONCT ENTREE-B (VPL-PX15) ou FONCT ENTREE-C (VPL-FX50) dans le menu REGL. INSTAL est incorrect. → Réglez-le sur ON. • Le commutateur de sélection INPUT C/RS-232C/RS-422A n'est pas réglé correctement. (VPL-FE110U/M) → Réglez-le sur INPUT C. • Le navigateur de votre ordinateur est réglé sur "Accéder à Internet via un serveur proxy". → Saisissez l'adresse IP du projecteur dans la boîte de dialogue "Accéder à Internet sans serveur proxy". • Votre adresse IP du projecteur commence par 0 (zéro). → N'entrez pas de 0 au début du numéro. Exemple : 192.168.000.001 →192.168.0.1

Symptôme	Causes et solutions
L'écran du projecteur s'immobilise.	Le logiciel Windows CE ne répond pas. → Une fois que FONCT ENTREE-B (VPL-PX15) ou FONCT ENTREE-C (VPL-FX50) dans le menu REGL. INSTAL est fichier PowerPoint ou sur OFF, réinitialisez-le sur ON. → Redémarrez Windows CE. Pour ce faire, appuyez sur la touche RESET dans les cinq secondes après avoir appuyé sur la touche FUNCTION de la télécommande RM-PJ1001 fournie. (VPL-FE110U/M)
Les polices ou les styles sont différents d'un fichier PowerPoint à un fichier Excel.	Dans le texte du fichier, certaines polices ou certains styles utilisés ne sont pas pris en charge par le visualiseur de diapositives ou le visualiseur feuille de travail. → Seules les polices suivantes sont disponibles dans le visualiseur de diapositives. Toute autre police sera remplacée par ces polices. Arial, Bookman Old style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman, Wingdings. Si elles sont modifiées, la fin d'un paragraphe peut changer selon les réglages des tabulations ou des paragraphes. Les styles non pris en charge par le visualiseur de diapositives seront remplacés par des styles pris en charge.
Certains caractères ne sont pas affichés dans un fichier PowerPoint ou Excel.	Il est impossible d'afficher des caractères non pris en charge par le visualiseur de diapositives ou le visualiseur feuille de travail, comme les caractères chinois. → Utilisez des fichiers créés en anglais, français, espagnol, allemand ou italien, pris en charge par le visualiseur de diapositives.
Certaines fonctions d'un fichier PowerPoint ou Excel ne sont pas affichées correctement ou ces effets ne sont pas affichés du tout.	Le fichier utilise des fonctions qui ne sont pas prises en charge par le visualiseur de diapositives ou le visualiseur feuille de travail du projecteur. → Les fonctions seront remplacées par des fonctions prises en charge. Appliquez des effets pris en charge si rien ne s'affiche.
Impossible d'exécuter un diaporama. Le message " La mémoire du projecteur est saturée. Organisez les fichiers stockés dans le projecteur à l'aide du Gestionnaire de fichiers, puis essayez de redémarrer le diaporama. " s'affiche.	La mémoire du projecteur est saturée. → Supprimez les fichiers inutiles stockés sur le projecteur à l'aide du Gestionnaire de fichiers afin d'augmenter la capacité de mémoire.
Impossible d'exécuter un diaporama. Le message " La taille du fichier est trop importante. Diminuez la taille de fichier : par exemple, en le divisant en plusieurs fichiers, puis essayez de redémarrer le diaporama. " s'affiche.	La taille du fichier dépasse la capacité de transition du projecteur. → Vérifiez la capacité de mémoire disponible dans la fenêtre Gestionnaire de fichiers, puis diminuez la taille du fichier en le divisant en plusieurs fichiers plus petits. → Cliquez sur Option, puis sur Enregistrement dans le menu Outils, à partir de PowerPoint, puis décochez la case Enregistrement rapide.
Impossible de démarrer le navigateur Internet pour le projecteur.	Le projecteur n'est pas connecté au réseau local. → Vérifiez les réglages de la configuration du réseau et de l'environnement du réseau local (LAN) sans fil. (pages 8 (FR) – 13 (FR))
Le message "Un mot de passe a été défini pour le fichier. Entrez le mot de passe." s'affiche.	Un mot de passe est défini pour le projecteur ou le fichier. → Entrez le mot de passe. Lorsque l'adresse IP a été définie et qu'elle n'est pas modifiée, saisissez "root" dans la zone de texte Name (Nom) pour l'administrateur.
Le message "Vous avez peut être-entré un mot de passe incorrect. Entrez-le de nouveau." s'affiche.	Le mot de passe entré est incorrect. → Entrez le mot de passe correct.

Índice

Antes del uso

Características ..... 4 (ES)
Precauciones ..... 5 (ES)
Acerca de este manual ..... 5 (ES)

Preparativos

Preparativos para utilizar la función de red ..... 6 (ES)
Configuración de sistema ..... 6 (ES)
Uso de la tarjeta de PC ..... 7 (ES)
Ajuste de la función de red ..... 7 (ES)
Uso del mando a distancia o de un ratón y teclado ..... 7 (ES)
Configuración del proyector ..... 8 (ES)
Configuración mediante el proyector ..... 8 (ES)
Configuración mediante un ordenador ..... 12 (ES)
Diagramas de funcionamiento básico ..... 14 (ES)
Operaciones mediante un ordenador ..... 14 (ES)
Operaciones mediante el proyector ..... 16 (ES)

Operación

Operaciones mediante un ordenador ..... 19 (ES)
Preparativos ..... 19 (ES)
Realización de presentaciones con el Visor de diapositivas ..... 20 (ES)
Proyección de un archivo Excel con el visor de hojas de trabajo ..... 22 (ES)
Proyección de imágenes con el Visor de imágenes ..... 23 (ES)
Uso del Administrador de archivos ..... 26 (ES)
Control del proyector mediante un ordenador ..... 27 (ES)
Comprobación de los indicadores del proyector ..... 28 (ES)
Operaciones mediante el proyector ..... 29 (ES)
Preparativos ..... 29 (ES)
Realización de presentaciones con el Visor de diapositivas ..... 30 (ES)
Proyección de un archivo Excel con el visor de hojas de trabajo ..... 31 (ES)
Ejecución de presentaciones de diapositivas utilizando el Visor de imágenes ..... 33 (ES)
Conexión a Internet ..... 35 (ES)

Otros

Solución de problemas ..... 36 (ES)

• Microsoft, Windows y PowerPoint son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en Estados Unidos y/u otros países.
• Netscape Navigator es una marca comercial de Netscape Communications Corporation en Estados Unidos y/u otros países.
• Los demás nombres de productos y empresas mencionados aquí son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios.

Características

El proyector dispone de Windows CE incorporado y es compatible con redes. La conexión a una red de área local (LAN) permite ejecutar presentaciones utilizando archivos almacenados en un ordenador conectado mediante la misma LAN. Es posible abrir el archivo mediante un ordenador que se encuentre alejado del proyector, así como mediante uno que se encuentre en la misma sala de conferencias. También es posible conectarse a Internet sólo con el proyector.
Si tiene acceso al proyector mediante el uso del explorador web de un ordenador, podrá controlar el proyector mediante dicho ordenador.

Conexión a una LAN

El proyector está equipado con un conector ETHER (sólo VPL-PX15 y VPL-FX50) y una ranura de tarjeta de PC, que permiten conectar el proyector a una LAN mediante los cables LAN o la tarjeta de PC de LAN recomendada o especificada. La instalación de una tarjeta de PC de LAN inalámbrica en la ranura de tarjeta de PC permite realizar la conexión de LAN inalámbrica.

Ranura de tarjeta de PC incorporada

El proyector está equipado con una ranura de tarjeta de PC. Si en esta ranura inserta la tarjeta de memoria de PC, donde están almacenados los datos, podrá ejecutar una presentación fácilmente y sin necesidad de utilizar un ordenador.

Función Visor de presentación

El proyector dispone de sencillas funciones incorporadas de visualización Microsoft PowerPoint y Microsoft Excel, denominadas visor de diapositivas y visor de hojas de trabajo, respectivamente. Las funciones permiten realizar presentaciones de diapositivas utilizando un archivo PowerPoint o proyectar un archivo Excel sin realizar ninguna conversión.

Función Visor de imágenes

El proyector dispone de la función Visor de imágenes incorporada, que permite ver imágenes creadas en formato JPEG, BMP, GIF o PNG, configurar presentaciones de diapositivas y ejecutar dichas presentaciones utilizando las imágenes.

Función de administrador de archivos

El uso del explorador web de un ordenador permite añadir archivos almacenados en éste al proyector o eliminar archivos almacenados en el proyector mediante el ordenador.

Explorador web incorporado

Internet Explorer 4.0 y su equivalente están incorporados en el proyector, lo que permite conectarse a Internet.

Función de memoria

El proyector puede almacenar archivos importados desde un ordenador o una tarjeta de memoria. Cuando almacene el archivo, puede crear una contraseña para impedir que lo abra personal no autorizado.

Precauciones

Precaución
Antes de apagar el proyector o de reajustarlo mediante el mando a distancia suministrado, asegúrese de salir de todas las aplicaciones que estén abiertas. En caso contrario, el sistema podría cerrarse y es posible que no pueda reiniciar el proyector.

- Los requisitos de sistema recomendados para el proyector son los siguientes:
  – Microsoft Windows 98, Microsoft Windows 98 SE, Microsoft Windows 2000, Microsoft Windows Me
- Asegúrese de utilizar la tarjeta de PC de LAN, la de LAN inalámbrica, la de memoria de PC y el punto de acceso a LAN inalámbrica especificados/recomendados. Utilice también la tarjeta de PC de LAN inalámbrica especificada/recomendada para instalarla en los ordenadores conectados.
  El uso de dispositivos no especificados/recomendados puede causar operaciones incorrectas.

  Con respecto a los dispositivos especificados/recomendados, consulte el documento suministrado "Tarjeta de PC/punto de acceso a LAN inalámbrica especificados/recomendados".

- Para evitar pérdidas de datos, realice copias de seguridad de los datos con frecuencia. En ningún caso Sony será responsable de pérdidas de datos.
- Tenga en cuenta que las especificaciones del software están sujetas a cambios sin previo aviso.
- Algunas de las ilustraciones de este manual pueden variar con respecto al software de aplicación existente.

Acerca de este manual

En este manual se describen operaciones de red de los proyectores LCD de datos VPL-PX15, VPL-FX50 y VPL-FE110U/M.
También se encuentran disponibles archivos de ayuda en línea (On-line Help). Cuando acceda al servidor web del proyector, aparecerá una frase de ayuda en el ordenador al situar el puntero sobre cada uno de los elementos.
En la ventana Windows CE del proyector, puede abrir el archivo de ayuda haciendo clic en Help (ayuda) en el menú Start (Inicio). El programa Windows CE del proyector no admite determinadas funciones. El archivo de ayuda (Help) correspondiente al Visor de diapositivas, Visor de hojas de trabajo o al Visor de imágenes se abre al hacer clic en el botón ? de la barra de herramientas de la ventana de aplicación respectiva.

Consulte el manual de instrucciones de este modelo con respecto a operaciones diferentes a las de red.

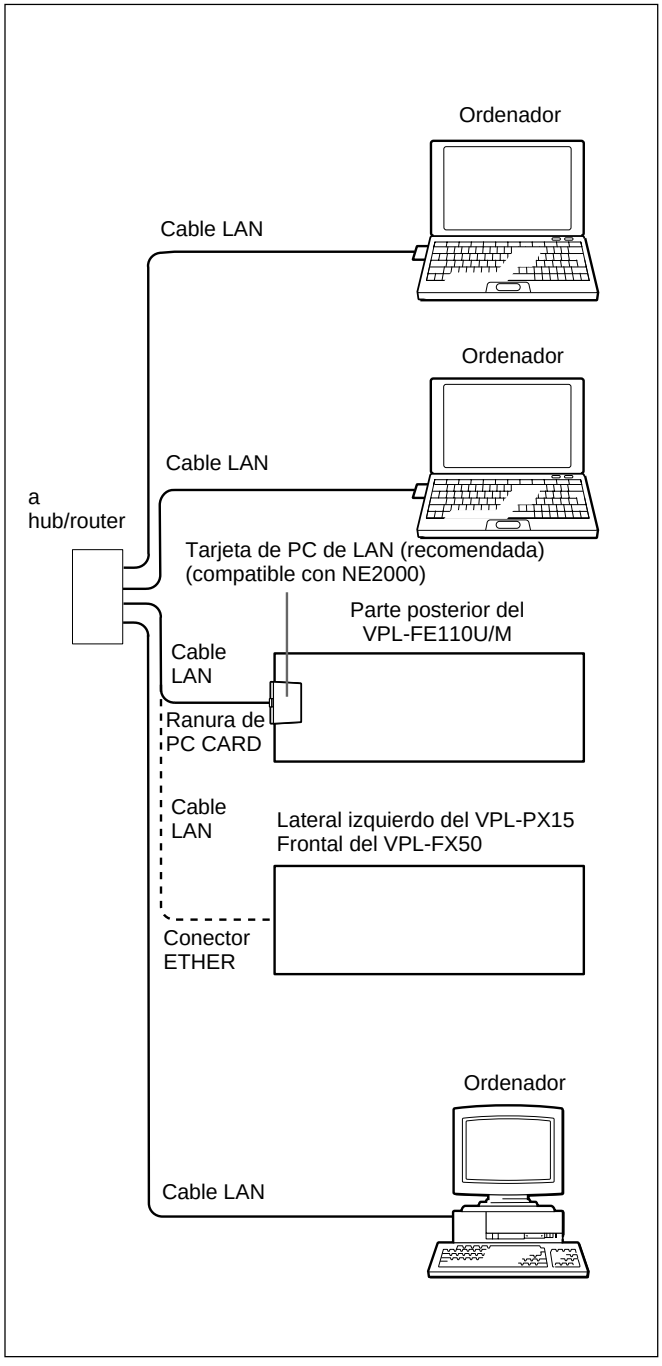
Preparativos para utilizar la función de red

En esta sección se describen las tareas necesarias para utilizar la función de red del proyector.

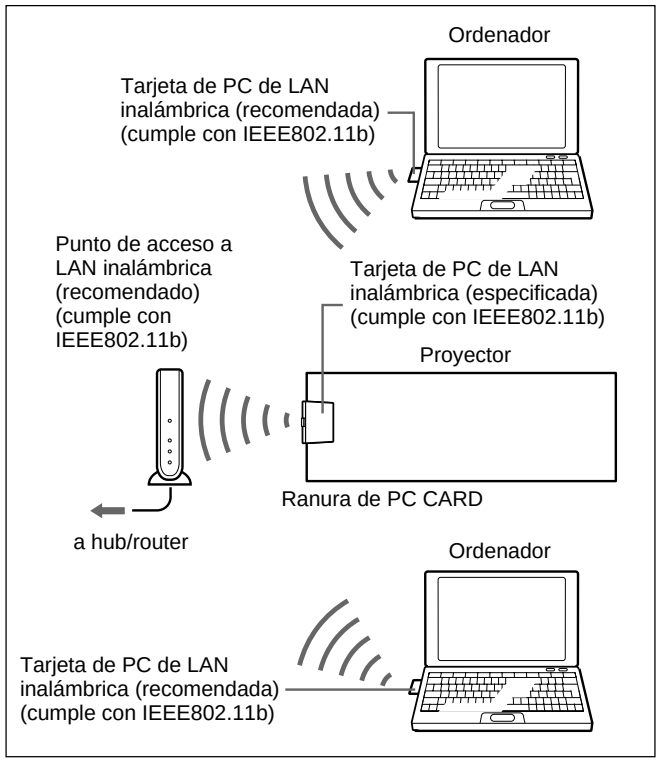
Configuración de sistema

Para obtener información detallada sobre conexiones, consulte el manual de instrucciones del proyector.

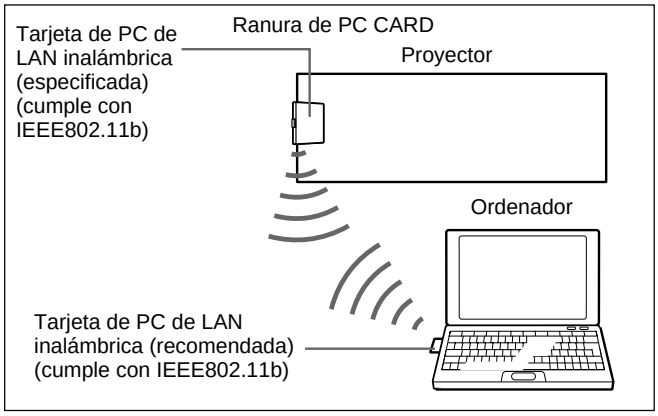
Conexión a la LAN utilizando los cables LAN o la tarjeta de PC de LAN



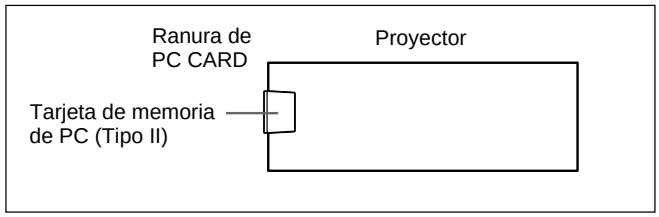
Conexión a una LAN inalámbrica utilizando el punto de acceso a LAN inalámbrica



Conexión a una LAN inalámbrica sin utilizar el punto de acceso a LAN inalámbrica (modo Peer to Peer)



Uso de una tarjeta de memoria



Uso de la tarjeta de PC

La ranura de PC CARD de ENTR B (VPL-PX15) o ENTR C (VPL-FX50 y VPL-FE110U/M) del proyector acepta una tarjeta de PC Tipo II PCMCIA. Para conectarlo a una LAN, es necesario insertar en esta ranura la tarjeta de PC de LAN especificada/recomendada (sólo VPL-FE110U/M) o la tarjeta de PC de LAN inalámbrica.
También puede insertar la tarjeta de memoria de PC recomendada en esta ranura. El almacenamiento del archivo creado con Microsoft PowerPoint o Excel, o del archivo de imagen en una tarjeta de memoria permite proyectar un archivo o realizar presentaciones sin conectarlo a un ordenador.

Notas

- No apague el proyector ni reinicie Windows CE del mismo mientras la tarjeta de PC escribe o lee.
- Asegúrese de utilizar la tarjeta de PC de LAN, la de LAN inalámbrica o la de memoria de PC especificada/recomendada. Con respecto a las tarjetas especificadas/recomendadas, consulte el documento suministrado “Tarjeta de PC/punto de acceso a LAN inalámbrica especificados/recomendados”.
- El software de controlador para las tarjetas de PC especificadas/recomendadas está instalado de fábrica en el proyector. No es necesario instalar otros tipos de software de controlador y no puede realizarse.

Para insertar y extraer la tarjeta de PC, consulte el manual de instrucciones del proyector.

Ajuste de la función de red

Para activar la función de red del proyector, realice la siguiente configuración:

■ Para VPL-PX15
Ajuste el elemento FUNCION ENTR B del menú AJUSTE INST en el valor ON.

Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones del proyector.

■ Para VPL-FX50
Ajuste FUNCION ENTR C en el menú AJUSTE INST en el valor ON.

Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones del proyector.

■ Para VPL-FE110U/M
Ajuste el interruptor de selección INPUT C/RS-232C/RS-422A del panel posterior en INPUT C.

Uso del mando a distancia o de un ratón y teclado

■ Para VPL-PX15 y VPL-FX50
Cuando utilice el proyector para configurarlo, ejecutar una presentación de dispositivas, etc., utilice el mando a distancia suministrado. Antes de realizar la operación, ajuste el interruptor de selección PJ/NETWORK del mando a distancia en NETWORK.
No es posible conectar un ratón y un teclado al proyector.

■ Para VPL-FE110U/M
Cuando utilice el proyector para configurarlo, realizar la presentación, etc., es necesario emplear el mando a distancia RM-PJM610 (no suministrado) o un teclado y ratón PS/2 disponibles en el mercado.

Nota

Conecte el ratón y el teclado al proyector antes de conectar el cable de alimentación de dicho proyector a la toma de CA.

Con respecto a las conexiones del ratón y del teclado, consulte el manual de instrucciones del proyector.

Con respecto a la utilización del mando a distancia RM-PJM610 (no suministrado), consulte el manual de instrucciones del mismo.

Configuración del proyector

Es preciso realizar las configuraciones básicas, como la dirección IP y los ajustes de LAN inalámbrica, para llevar a cabo operaciones de red del proyector. Puede configurarlos mediante el proyector o un ordenador conectado a la misma LAN.

Antes de la configuración

■ Para VPL-PX15 y VPL-FX50

- Encienda el proyector con la tecla I/⏻ del mando a distancia suministrado o del panel de control de dicho proyector.
- Compruebe que FUNCION ENTR B (VPL-PX15) o FUNCION ENTR C (VPL-FX50) del menú AJUSTE INST está ajustado en ON.
- Pulse la tecla INPUT del mando a distancia suministrado o del panel de control del proyector para seleccionar ENTR B (VPL-PX15) o ENTR C (VPL-FX50). Se abre la ventana Network Projector.
- Ajuste el interruptor de selección PJ/NETWORK del mando a distancia en NETWORK.
- Cuando realice la configuración mediante el proyector, muestre el teclado en pantalla en el proyector y realice la operación con el mando a distancia suministrado.
  Para obtener información sobre el teclado en pantalla, consulte la página 29 (ES).
- Encienda el ordenador que vaya a utilizar para configurar el proyector.

■ Para VPL-FE110U/M

- Compruebe que el interruptor de selección INPUT C/RS-232C/RS-422A está ajustado en INPUT C.
- Encienda el proyector con la tecla ON del mando a distancia RM-PJM610, el mando a distancia suministrado o el panel de control de dicho proyector.
- Pulse la tecla INPUT del RM-PJM610 o la tecla INPUT SELECT del mando a distancia suministrado o del panel de control del proyector para seleccionar ENTR C. Se abre la ventana Network Projector.
- Cuando realice la configuración mediante el proyector, muestre el teclado en pantalla en el proyector y realice la operación con el ratón y el teclado conectados o con el mando a distancia RM-PJM610.
  Para obtener información sobre el teclado en pantalla, consulte la página 29 (ES).
- Encienda el ordenador que vaya a utilizar para configurar el proyector.

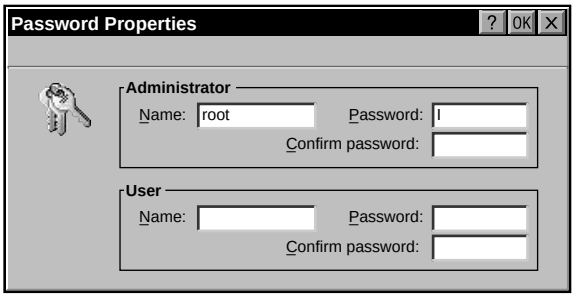
Configuración mediante el proyector

Ajuste de la contraseña

Puede definir una contraseña como protección frente al acceso de usuarios remotos en la red.

1 En el menú Start (Inicio), haga clic en Control Panel (Panel de control) en la ventana Network Projector.

2 Haga doble clic en el icono Password (Contraseña).
Aparece el cuadro de diálogo Password Properties (Propiedades de contraseña).



3 Especifique la contraseña para Administrator (Administrador) y, a continuación, introduzca la misma contraseña de nuevo en el cuadro de texto Confirm password (Confirmar contraseña).
El nombre (Name) del administrador está predefinido de fábrica como “root”. No puede cambiarse.

4 Especifique Name y Password para User (Usuario) y, a continuación, introduzca la misma contraseña en el cuadro de texto Confirm password.

Si se le solicita introducir la contraseña del administrador o del usuario mientras utiliza el proyector mediante un ordenador, introduzca el nombre y la contraseña definidos en los pasos **3** y **4**.

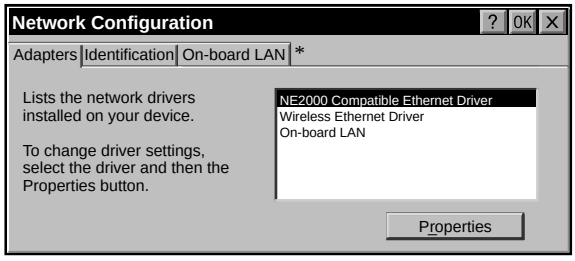
Configuración de la red

Es preciso realizar la configuración de la red, como el ajuste de dirección IP, para crear una conexión LAN. La dirección IP del proyector aparecerá en la barra de tareas de la ventana Network Projector de dicho proyector.
Si cambia el entorno de conexión, será necesario configurar de nuevo la red.

Para obtener información detallada, póngase en contacto con el administrador de redes.

1 En el menú Start (Inicio), haga clic en Control Panel (Panel de control) en la ventana Network Projector.

2 Haga doble clic en el icono Network (Red). Aparece el cuadro de diálogo Network Configuration (Configuración de red).


Network Configuration
? OK X
Adapters Identification On-board LAN *
Lists the network drivers installed on your device.
To change driver settings, select the driver and then the Properties button.
NE2000 Compatible Ethernet Driver
Wireless Ethernet Driver
On-board LAN
Properties

* La ficha On-board LAN aparece para el VPL-PX15 y el VPL-FX50.

3 Seleccione el nombre de controlador según el tipo de conexión de red.
Puede seleccionar uno de los siguientes nombres de controlador:

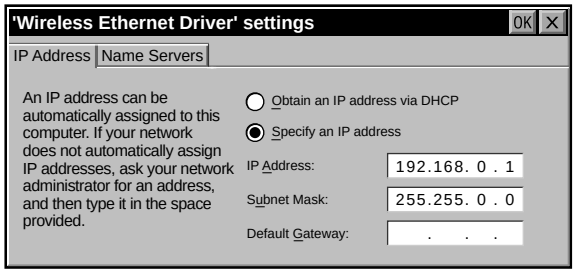
NE2000 Compatible Ethernet Driver: Cuando se utilice la tarjeta de PC de LAN compatible con NE2000 recomendada.

Gemini Wireless Ethernet Driver: Cuando se utilice la tarjeta de PC de LAN inalámbrica especificada.

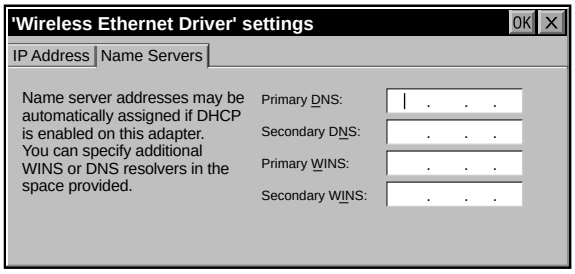
On-board LAN: Cuando se utilice el conector ETHER para conectarlo a la LAN (mostrado para el VPL-PX15 y el VPL-FX50)

Aparece el cuadro de diálogo de ajuste del controlador seleccionado.

4 Confirme que el botón de radio “Specify an IP address“ (Especificar una dirección IP) se encuentra seleccionado, y ajuste los elementos necesarios.
IP Address (dirección IP) está inicialmente ajustada de fábrica en “192.168.0.1” y Subnet Mask (Máscara de subred) en “255.255.0.0”.

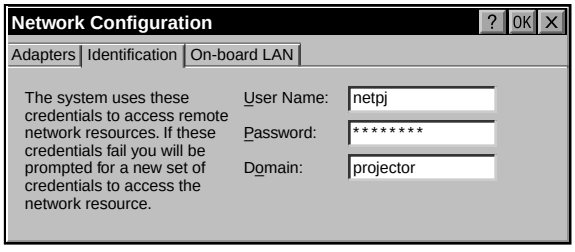

'Wireless Ethernet Driver' settings
OK X
IP Address Name Servers
An IP address can be automatically assigned to this computer. If your network does not automatically assign IP addresses, ask your network administrator for an address, and then type it in the space provided.
Obtain an IP address via DHCP
Specify an IP address
IP Address: 192.168. 0 . 1
Subnet Mask: 255.255. 0 . 0
Default Gateway: . . .

5 Haga clic en la ficha Name Servers (Servidores de nombres) para que aparezca el cuadro de diálogo Name Servers; a continuación, ajuste los elementos necesarios.


'Wireless Ethernet Driver' settings
OK X
IP Address Name Servers
Name server addresses may be automatically assigned if DHCP is enabled on this adapter. You can specify additional WINS or DNS resolvers in the space provided.
Primary DNS:
Secondary DNS:
Primary WINS:
Secondary WINS:

6 Haga clic en el botón OK.
Aparece de nuevo el cuadro de diálogo Network Configuration.

7 De acuerdo con sus requisitos, haga clic en la ficha Identification (Identificación) y ajuste los elementos necesarios.


Network Configuration
? OK X
Adapters Identification On-board LAN
The system uses these credentials to access remote network resources. If these credentials fail you will be prompted for a new set of credentials to access the network resource.
User Name: netpj
Password: ********
Domain: projector

8 Haga clic en el botón OK.

Cuando utilice una tarjeta de PC de LAN inalámbrica con el VPL-PX15 y el VPL-FX50

Si selecciona Wireless Ethernet Driver en el paso **3**, realice los pasos siguientes después de realizar el paso **6**.

1 Haga clic en la ficha On-board LAN (Tarjeta LAN).

2 Elimine la marca de la casilla de verificación “Enable On-board LAN” (Activar tarjeta LAN).

3 Haga clic en el botón OK.
Vuelve a aparecer la ventana del paso **2**.

Nota

Una vez desactivado On-board LAN, no aparece en los nombres de controlador del cuadro de diálogo Network Configuration. Si desea seleccionar On-board LAN, marque la casilla de verificación Enable On-board LAN, y repita la operación a partir del paso **2** de “Configuración de la red”.

Configuración del entorno de LAN inalámbrica

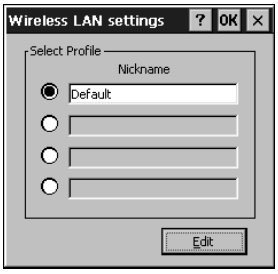
Cuando utilice una tarjeta de PC de LAN inalámbrica, también es necesario configurar el proyector realizando los siguientes pasos.

Uso de un punto de acceso a LAN inalámbrica

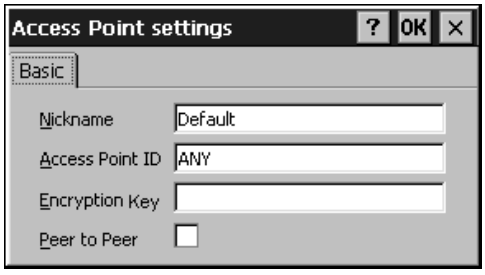
Configure de la siguiente forma el punto de acceso al que se conecte:

1 En el menú Start (Inicio), haga clic en Control Panel (Panel de control) en la ventana Network Projector.

2 Haga doble clic en el icono Wireless LAN.
Aparece el cuadro de diálogo Wireless LAN settings (LAN inalámbrica).



3 Haga clic en el botón Edit (Editar).
Aparece el cuadro de diálogo Access Point settings (Configuración de punto de acceso).



4 Introduzca un Nickname (Apodo).
El Nickname identifica al punto de acceso. Introduzca un máximo de 32 caracteres para el Nickname utilizando caracteres alfanuméricos y símbolos (caracteres ASCII). Si existen varios puntos de acceso, debe asegurarse de asignar a cada uno un nombre diferente.

5 Introduzca el Access Point ID (ID de punto de acceso).
Escriba el ID especificado para el punto de acceso al que se conecte.

6 Introduzca la Encryption Key (clave de encriptación).
Escriba la clave de encriptación, si está establecida y está activa en el punto de acceso.

7 Haga clic en el botón OK.
Aparece de nuevo el cuadro de diálogo Wireless LAN settings.

8 Haga clic en el botón de radio del Nickname que desee utilizar, y haga clic en el botón OK.
Se realiza la conexión al punto de acceso seleccionado.

Para conectarse a un punto de acceso ya configurado

Si existen varios puntos de acceso, es posible asignar hasta cuatro apodos para ellos. Si desea conectarse al punto de acceso ya configurado, seleccione un botón de radio situado junto al apodo correspondiente y haga clic en el botón OK de la ventana Wireless LAN settings. Se realiza la conexión al punto de acceso seleccionado.

Nota

Si el fabricante de la tarjeta LAN inalámbrica insertada en el proyector y el del punto de acceso a LAN inalámbrica no es el mismo, el método de introducción de la clave de encriptación puede ser diferente. Si la clave de encriptación aparece en valores hexadecimales, introduzca éstos en el cuadro de diálogo Encryption Key.

Cuando no haya comunicación entre el punto de acceso y el proyector

Si el canal del punto de acceso está ajustado en 12-14, defínalo en cualquier canal entre 1 y 11.

Notas

- Póngase en contacto con personal especializado Sony si se produce algún problema al utilizar la tarjeta de PC de LAN inalámbrica Sony especificada/ recomendada.
- Si el fabricante de la tarjeta LAN inalámbrica y el del punto de acceso a LAN inalámbrica no es el mismo, la comunicación mediante la encriptación activada no se realizará correctamente.

Modo Peer to Peer (Ad-hoc)

Para conectarse a una LAN inalámbrica entre el proyector y ordenadores sin utilizar el punto de acceso a LAN inalámbrica, realice los siguientes pasos sólo en el proyector.

1 Realice los pasos **1** a **4** de "Uso del punto de acceso a LAN inalámbrica". En el cuadro de diálogo Access Point settings (Configuración de punto de acceso), establezca un Nickname (Apodo) para este modo.

2 Haga clic en la casilla de verificación situada junto a Peer to Peer (Par a par).

3 Introduzca un Access Point ID (ID de punto de acceso) opcional.
Puede escribir hasta 32 caracteres alfanuméricos para el ID.

4 Introduzca la Encryption Key (clave de encriptación) si desea activarla.

5 Haga clic en el botón OK.
Aparece de nuevo el cuadro de diálogo Wireless LAN settings (Configuración de LAN inalámbrica).

6 Haga clic en el botón de radio del Nickname introducido en el paso **1**.
Se activa el modo Peer to Peer.

Para los ordenadores conectados, es preciso introducir el mismo Access Point ID y Encryption Key que los introducidos en el procedimiento anterior y un Nickname opcional. Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones de la tarjeta de PC de LAN inalámbrica instalada en los ordenadores.

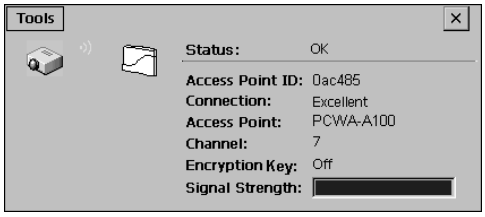
Notas

- Utilice tarjetas de PC de LAN inalámbricas del mismo fabricante para el proyector y el ordenador.
- Si Peer to Peer (Ad-hoc) está configurado en uno de los ordenadores conectados, realice el paso **1** y, a continuación, los anteriores **3** a **6** para introducir el mismo Access Point ID y Encryption Key que los del ordenador, y un Nickname opcional en el proyector.
- Seleccione Peer to Peer (Ad-hoc) solamente para uno de los proyectores y ordenadores de la misma LAN.
- Cuando utilice el modo Peer to Peer (Ad-hoc), tendrá que establecer una dirección IP y una Máscara de subred para este modo tanto en el proyector como en el ordenador.

Comprobación de la conexión con el punto de acceso

Puede verificar que el proyector está correctamente conectado al punto de acceso.

1 Haga doble clic en el icono (indicador del nivel de recepción) de la barra de tareas de la ventana Network Projector.
Aparece la ventana que indica el estado de la conexión entre el proyector y el punto de acceso.



2 Compruebe lo siguiente:
- Status: Muestra OK cuando el proyector reconoce correctamente la tarjeta de PC de LAN inalámbrica.
- Access Point ID: ID de punto de acceso
- Connection: Estado de conexión con el punto de acceso
- Access Point: Información sobre el punto de acceso conectado
- Channel: Canal asignado
- Encryption Key: Encriptación activada o desactivada en el punto de acceso conectado
- Signal Strength: Nivel de la señal de comunicación entre el proyector y el punto de acceso

Cuando Access Point ID muestre "searching" (buscando)

Verifique que el Nickname, Access Point ID y Encryption Key introducidos se muestran correctamente en la ventana.
Al seleccionar Edit wireless Profiles... (Editar perfiles de comunicación inalámbrica) en el menú Tools (Herramientas) se abre la ventana Wireless LAN settings. Si alguno de los elementos no es correcto, corríjalo realizando los pasos **3** a **8** de la página 10 (ES).

Ajuste de la fecha y del reloj

El reloj se muestra en la barra de tareas de la ventana Network Projector. Para ajustar la fecha y hora, siga estos pasos.

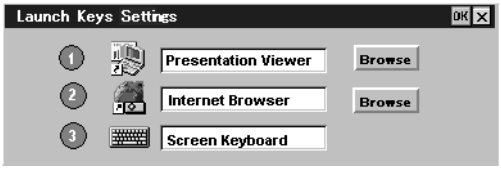
1. En el menú Start (Inicio) de la ventana Network Projector, haga clic en Control Panel (Panel de control).
2. Haga doble clic en el icono Date/Time (Fecha/hora).
3. Ajuste la fecha y la hora.

Asignación de un software de aplicación a la tecla FUNCTION del mando a distancia (para VPL-PX15 y VPL-FX50)

Si asigna una aplicación a la tecla FUNCTION 1 o 2 del mando a distancia suministrado, la pulsación de la tecla permite iniciar esa aplicación. El teclado en pantalla está asignado a la tecla FUNCTION 3 de fábrica y no es posible cambiar ni cancelar dicha asignación.

Para obtener información detallada sobre el teclado en pantalla, consulte la página 29 (ES).

1. En el menú Start (Inicio) de la ventana Network Projector, haga clic en Control Panel (Panel de control).
2. Haga doble clic en el icono Launch Keys (Teclas de ejecución).
   Aparece el cuadro de diálogo Launch Keys Settings (Configuración de las teclas de ejecución).



3. Haga clic en Browse (Examinar) para la tecla (1 o 2) a la que desee asignar un software de aplicación y haga clic en la aplicación que desee en la lista de aplicaciones.
4. Repita el paso **3** si desea asignar una aplicación a la otra tecla.
5. Haga clic en el botón OK.

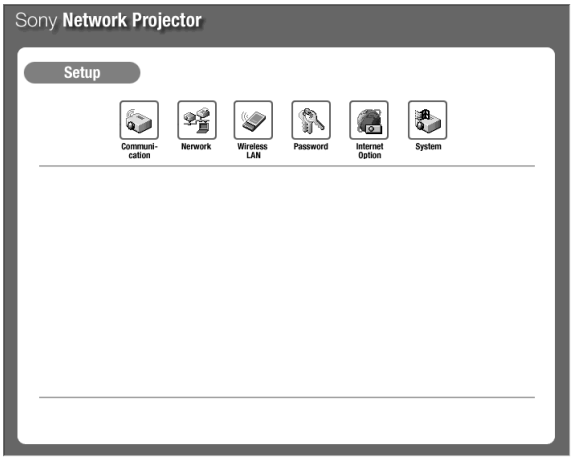
Configuración mediante un ordenador

Notas

- Conecte el ordenador que utilice para configurar el proyector si la dirección IP de éste es la predefinida en fábrica.
- Si el explorador del ordenador está ajustado en "Acceso a Internet mediante un servidor proxy", introduzca la dirección IP del proyector en el cuadro "Acceso a Internet sin utilizar un servidor proxy" cuando tenga acceso al proyector desde el ordenador.
- El ordenador puede no aceptar la contraseña para el proyector según la versión del explorador. En este caso, reinicie el explorador.

Apertura de la ventana de configuración

1. Inicie el software de explorador del ordenador (Internet Explorer versión 4.0 o posterior, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x).
2. Escriba "http://xxx.xxx.xxx.xxx (para la dirección IP del proyector)/setup".
   Si la dirección IP sigue siendo la predefinida en fábrica, escriba "http://192.168.0.1/setup" (cuando se utiliza una tarjeta de PC de LAN) o "http://192.168.0.2/setup" (cuando se utiliza el conector ETHER).
   Si el número de la dirección IP comienza por 0 (cero), introduzca el número sin 0.
   Ejemplo: 192.168.000.001 → 192.168.0.1
   Aparece el cuadro de diálogo Password (Contraseña).
3. Introduzca el nombre (Name) y contraseña (Password) del administrador (Administrator).
   Si no ha cambiado la contraseña establecida en fábrica, introduzca "root" en el cuadro de texto Name (Nombre).
   Aparece la ventana Setup (Configuración).



Creación de la contraseña

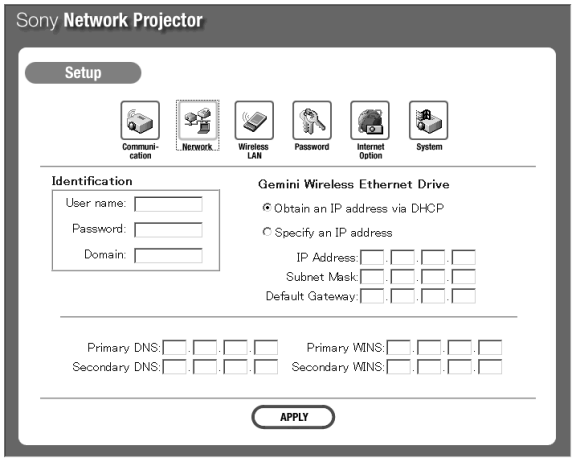
1 Haga clic en el icono Password (Contraseña) de la ventana Setup (Configuración).
Aparece el cuadro de diálogo de ajuste de contraseñas.
El procedimiento de configuración es el mismo que el utilizado mediante el proyector.

Para obtener información detallada, consulte "Ajuste de la contraseña" en la página 8 (ES).

2 Haga clic en el botón APPLY (Aplicar).

Configuración de la red

1 Haga clic en el icono Network (Red) de la ventana Setup (Configuración).
Aparece la ventana Network Configuration (Configuración de red).



En esta ventana, puede ajustar los elementos descritos en los pasos **4** a **7** de la sección "Configuración de la red" de la página 9 (ES).

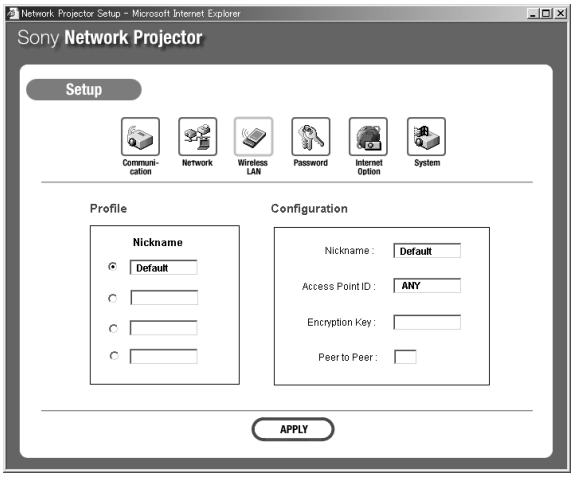
Para obtener información detallada, consulte "Configuración de la red" en la página 8 (ES).

2 Haga clic en el botón APPLY (Aplicar).
Aparece la ventana de reinicio.

3 Haga clic en el botón RESTART (Reiniciar).
Si el proyector está encendido y la ventana Network Projector está abierta, la pantalla del mismo se desactivará durante unos 10 segundos y después dicho proyector se reiniciará.
El ajuste de red no es efectivo hasta que se reinicia el proyector.

Configuración del entorno de LAN inalámbrica

1 Haga clic en el icono Wireless LAN (LAN inalámbrica) de la ventana Setup (Configuración).
Aparece el cuadro de diálogo para establecer el Nickname (Apodo), Access Point ID (ID de punto de acceso), Encryption Key (clave de encriptación) y Peer to Peer (Par a par).
El procedimiento de configuración es el mismo que el utilizado mediante el proyector.



Para obtener información detallada, consulte "Configuración del entorno de LAN inalámbrica–Uso de un punto de acceso a LAN inalámbrica/Modo Peer to Peer (Ad-hoc)" en las páginas 10 (ES) y 11 (ES).

2 Haga clic en el botón APPLY (Aplicar).

Diagramas de funcionamiento básico

En esta sección se describe el diagrama de funcionamiento de uso del proyector mediante una red o de uso de la función de red incorporada del proyector. Hay dos tipos de diagramas: para operaciones mediante un ordenador y para operaciones mediante el proyector. Para obtener información detallada, consulte las páginas indicadas entre paréntesis.

Condiciones necesarias

- El proyector y el ordenador están conectados a la misma LAN.
- El proyector y el ordenador están encendidos.
- FUNCION ENTR B (VPL-PX15) o FUNCION ENTR C (VPL-FX50) está ajustado en ON en el menú AJUSTE INST.
- El interruptor de selección INPUT C/RS-232C/RS-422A está ajustado en INPUT C. (VPL-FE110U/M)
- La entrada del proyector está ajustada en INPUT B (VPL-PX15) o INPUT C (VPL-FX50 y VPL-FE110U/M).

Operaciones mediante un ordenador

Realización de una presentación utilizando un archivo creado con PowerPoint

Puede controlar una presentación utilizando un archivo creado con PowerPoint mediante un ordenador.

Inicio de un explorador web de un ordenador para acceder al proyector (página 19)

Inicie Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x, y después introduzca la dirección IP del proyector.

↓

Selección del Visor de presentación (página 20)

Seleccione el icono Visor de presentación de la ventana Selección de aplicación.

↓

Localización del archivo que desee utilizar para la presentación (página 20)

Seleccione la ubicación de almacenamiento del archivo, ordenador o proyector y, a continuación seleccione el archivo PowerPoint que desee. Se inicia el Visor de diapositivas.

↓

Configuración de una presentación de diapositivas (página 21)

Establezca las diapositivas que desee utilizar y cómo avanzar una diapositiva en una presentación de éstas.

↓

Realización de una presentación de diapositivas

Proyección de un archivo Excel en el proyector

Es posible mostrar un archivo Excel en el proyector mediante un ordenador.

Inicio de un explorador web de un ordenador para acceder al proyector (página 19)

Inicie Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x, y después introduzca la dirección IP del proyector.

↓

Selección del Visor de presentación (página 23)

Seleccione el icono Visor de presentación de la ventana Selección de aplicación.

↓

Localización de archivos para proyectarlos en el proyector (página 23)

Seleccione la ubicación de almacenamiento del archivo, ordenador o proyector y, a continuación seleccione el archivo Excel que desee. Se inicia el Visor de hojas de trabajo.

↓

Proyección de un archivo Excel

Proyección de una imagen en el proyector utilizando un archivo almacenado en un ordenador

Es posible proyectar una imagen en el proyector mediante el uso de un ordenador.

Inicio de un explorador web de un ordenador para acceder al proyector (página 19)

Inicie Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x, y después introduzca la dirección IP del proyector.

Selección del Visor de imágenes del projector (página 23)

Seleccione el icono Visor de imágenes de la ventana Selección de aplicación.

Selección de la ubicación de almacenamiento del archivo (página 23)

Seleccione Ordenador en la ventana Buscar En. Se inicia el visor de imágenes.

Localización del archivo que desee proyectar en el proyector (página 24)

Seleccione el archivo de imagen que desee haciendo clic en el botón Browse (Examinar).

Proyección de una imagen

Proyección de una imagen o realización de una presentación de diapositivas en el proyector utilizando un archivo almacenado en éste

Es posible proyectar en el proyector un archivo de imagen almacenado en éste o en la tarjeta de memoria de PC mediante el uso de un ordenador. También es posible realizar una presentación de diapositivas utilizando el archivo de ajuste de presentaciones de diapositivas predefinido en el proyector.

Inicio de un explorador web de un ordenador para acceder al proyector (página 19)

Inicie Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x, y después introduzca la dirección IP del proyector.

Selección del Visor de imágenes del proyector (página 25)

Seleccione el icono Visor de imágenes de la ventana Selección de aplicación.

Selección de la ubicación de almacenamiento del archivo (página 25)

Seleccione Proyector en la ventana Buscar En. Se inicia el Visor de imágenes.

Selección de una carpeta para la proyección (página 25)

Seleccione la carpeta que desee en la ventana Selección de carpeta/ archivo .SHO.

Proyección de una imagen

Selección del archivo de ajuste para realizar una presentación de diapositivas (página 25)

Seleccione el archivo .SHO que desee en la ventana Selección de carpeta/ archivo .SHO.

Configuración de una presentación de diapositivas (página 25)

Establezca el método de avance de las diapositivas durante una presentación de éstas.

Realización de una presentación de diapositivas

Gestión de archivos con el Administrador de archivos

Puede añadir archivos guardados en un ordenador al almacenaje del proyector o eliminar archivos guardados en éste.

Inicio de un explorador web de un ordenador para acceder al proyector (página 19)

Inicie Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x, y después introduzca la dirección IP del proyector.

Inicio del Administrador de archivos (página 26)

Seleccione el icono Administrador de archivos de la ventana Selección de aplicación.

Adición de archivos (página 26)

Seleccione el archivo de un ordenador que desee añadir al almacenaje del proyector.

Eliminación de archivos (página 26)

Seleccione el archivo del proyector que desee eliminar.

Ejecución de una adición

Ejecución de una eliminación

Control del proyector

Puede realizar diversos ajustes del proyector mediante un ordenador.

Inicio de un explorador web de un ordenador para acceder al proyector (página 19)

Inicie Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x, y después introduzca la dirección IP del proyector.

Visualización de la ventana de control (página 27)

Haga clic en el botón MORE... .

Ajuste del proyector

Operaciones mediante el proyector

Realización de una presentación utilizando un archivo almacenado en el ordenador

Inmediatamente después de abrir un archivo creado con PowerPoint almacenado en un ordenador, puede iniciar una presentación utilizando el proyector.

Inicio de Mi proyector (My Projector) (página 31)

Haga doble clic en el icono My Projector.

Selección del archivo que desee utilizar para la presentación (página 31)

Introduzca el nombre del ordenador en el que esté almacenado el archivo que desee utilizar, y seleccione dicho archivo (PowerPoint). El Visor de diapositivas se inicia y el archivo seleccionado aparece en vista de dispositivas.

Configuración de una presentación de diapositivas (página 31)

Establezca las diapositivas que desee utilizar y cómo avanzar una diapositiva en una presentación de éstas.

Realización de una presentación de diapositivas

Realización de una presentación utilizando un archivo almacenado en el proyector o en la tarjeta de memoria

Mediante el uso de un archivo almacenado en el proyector o en la tarjeta de memoria de PC, puede realizar una presentación utilizando el proyector solamente.

Inicio de Visor de presentación **(página 31)**

Haga doble clic en el icono Presentation Viewer.

Selección del archivo que desee utilizar para la presentación **(página 31)**

Seleccione el archivo PowerPoint que desee en el cuadro de diálogo Open File. El Visor de diapositivas se inicia y el archivo seleccionado aparece en vista de dispositivas.

Configuración de una presentación de diapositivas **(página 31)**

Establezca las diapositivas que desee utilizar y cómo avanzar una diapositiva en una presentación de éstas.

Realización de una presentación de diapositivas

Proyección de un archivo Excel almacenado en un ordenador

Es posible proyectar hojas de trabajo Excel almacenadas en un ordenador mediante el uso del proyector.

Inicio de Mi Proyector **(página 32)**

Haga doble clic en el icono My Projector.

Selección de archivos para proyectarlos **(página 32)**

Introduzca el nombre del ordenador en el que esté almacenado el archivo que desee utilizar, y seleccione un archivo Excel. Se inicia el Visor de hojas de trabajo y el archivo seleccionado se muestra en el proyector.

Proyección de un archivo Excel almacenado en el proyector o en la tarjeta de memoria

Es posible mostrar en el proyector hojas de trabajo Excel almacenadas en éste o en la tarjeta de memoria.

Inicio de Visor de presentación **(página 32)**

Haga doble clic en el icono Presentation Viewer.

Selección de archivos para proyectarlos **(página 32)**

Seleccione el archivo Excel en el cuadro de diálogo Open File. Se inicia el Visor de hojas de trabajo y el archivo seleccionado se proyecta en el proyector.

Ejecución de presentaciones de diapositivas utilizando archivos de imagen almacenados en el proyector o en la tarjeta de memoria

Es posible ejecutar mediante el proyector solamente una presentación de diapositivas utilizando un archivo de imagen almacenado en el proyector o en la tarjeta de memoria.

Inicio del Visor de imágenes **(página 34)**

Haga doble clic en el icono Image Viewer.

Selección de los archivos que desee utilizar para la presentación de dispositivas **(página 34)**

Haga clic en la carpeta que contenga los archivos que desee. Todas las dispositivas incluidas en la carpeta aparecen en ventanas de miniaturas.

Selección de las diapositivas que desee utilizar para la presentación de éstas **(página 34)**

Seleccione las dispositivas que desee utilizar. Si desea seleccionar todas las diapositivas mostradas en las ventanas de miniaturas, haga clic en Select all (Seleccionar todo) en el menú Slide Show (Presentación de diapositivas).

Configuración de la imagen **(página 34)**

Zoom o giro de la diapositiva.

Realización de una presentación de diapositivas

Seleccione cómo avanzar una diapositiva. Se inicia la presentación de diapositivas.

Conexión a Internet

Inicio del Explorador de Internet **(página 35)**

Haga doble clic en el icono Internet Browser.

Preparativos

Antes de comenzar

■ **Para VPL-PX15**
Compruebe que FUNCION ENTR B está ajustado en ON en el menú AJUSTE INST.

■ **Para VPL-FX50**
Compruebe que FUNCION ENTR C está ajustado en ON en el menú AJUSTE INST.

■ **Para VPL-FE110U/M**
Compruebe que el interruptor de selección INPUT C/ RS-232C/RS-422A está ajustado en INPUT C.

Inicio del explorador para tener acceso al proyector

Con el fin de controlar el proyector mediante un ordenador, debe acceder a dicho proyector iniciando el explorador en el ordenador. Los exploradores adecuados son Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, y Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x.

1 Encienda el proyector.

2 Establezca la entrada al proyector en el valor INPUT B (VPL-PX15) o INPUT C (VPL-FX50 y VPL-FE110U/M)

3 Encienda el ordenador.

4 Inicie el explorador en el ordenador.

5 Introduzca la dirección IP del proyector.
Escriba “http://xxx.xxx.xxx.xxx (para la dirección IP del proyector)”.
Puede verificar la dirección IP como se muestra en la barra de tareas de la ventana Network Projector.
Aparece la ventana Selección de aplicación.

Si hay una contraseña definida para el proyector, aparecerá el cuadro de diálogo de ajuste de contraseñas. Introduzca el nombre y contraseña del usuario.

Para obtener información sobre la ventana Selección de aplicación, consulte “Nombres y funciones de la ventana Selección de aplicación”.

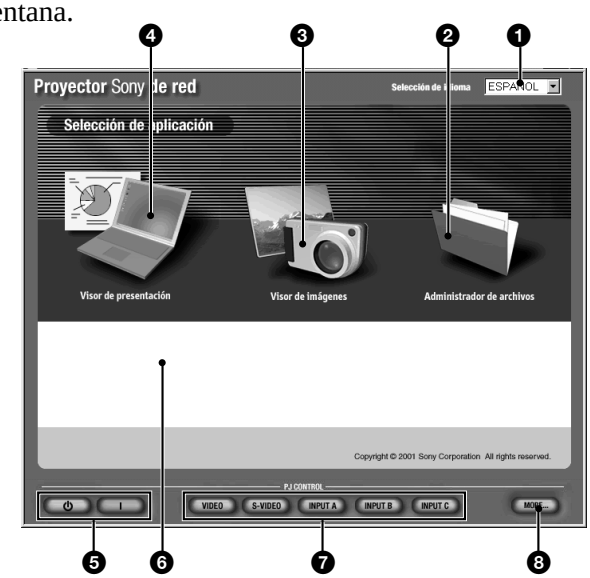
Las operaciones que siguen a los pasos anteriores se muestran en las páginas 20 (ES) a 28 (ES).

Notas

- No es posible acceder al proyector desde dos o más ordenadores de forma simultánea.
- Si el explorador del ordenador está ajustado en “Acceso a Internet mediante un servidor proxy”, introduzca la dirección IP del proyector en el cuadro “Acceso a Internet sin utilizar un servidor proxy” cuando tenga acceso al proyector desde el ordenador.
- El ordenador puede no aceptar la contraseña para el proyector según la versión del explorador. En este caso, reinicie el explorador.
- Si sale del explorador de un ordenador sin cerrar la aplicación, el proyector volverá automáticamente a la ventana Network Projector inicial después de unos 30 segundos. En este caso, reinicie el explorador.

Nombres y funciones de la ventana Selección de aplicación

Al tener acceso al proyector se abre la ventana Selección de aplicación. A continuación se muestran los nombres y funciones de los iconos y botones de la ventana.



❶ Botón Selección de idioma
Al hacer clic en ▼ se abre la lista desplegable de selección de idioma. Cada una de las ventanas dispone de frases de ayuda mostradas en la parte inferior de la ventana. Puede visualizarlas en inglés, francés, alemán, español, italiano o japonés.

❷ Icono Administrador de archivos
Inicia el Administrador de archivos para gestionar los archivos almacenados en el proyector.

❸ Icono Visor de imágenes
Abre la ventana de configuración para la proyección de archivos de imagen.

(continúa)

❹ Icono Visor de presentación
Abre la ventana de selección para iniciar el visor de PowerPoint (Visor de diapositivas) o el de Excel (Visor de hojas de trabajo).

❺ Botón I/⏻ (encendido/espera)
Enciende el proyector o lo ajusta en el modo de espera.

❻ Ayuda
Al situar el puntero sobre cada uno de los elementos, aparecen las instrucciones correspondientes a éstos. De esta forma se facilita la realización de las operaciones en cada ventana.

❼ Botones de selección de entrada
Seleccionan la entrada que recibe el proyector.
El botón INPUT C no existe en la ventana para el VPL-PX15.

❽ Botón MORE... (MÁS...)
Abre la ventana de control del proyector.

Realización de presentaciones con el Visor de diapositivas

Cuando desee realizar una presentación con PowerPoint en una sala de conferencias, podrá controlar dicha presentación mediante el ordenador en la misma sala o en un lugar alejado del proyector.

Utilidades del Visor de diapositivas

Podrá:
- realizar una presentación de diapositivas utilizando el archivo creado con PowerPoint.
- realizar una presentación personalizada de diapositivas si la ha creado.
- mostrar notas del orador u ocultarlas.
- mostrar una diapositiva u ocultarla.
- establecer intervalos para avanzar una diapositiva durante una presentación de éstas. Puede seleccionar presentaciones automáticas o manuales de diapositivas.

Notas
- El archivo puede tardar cierto tiempo en mostrarse en función de la configuración de la red.
- Puesto que el Visor de diapositivas es una función de visor sencilla de PowerPoint, no admite algunas funciones de PowerPoint. Se recomienda que proyecte el archivo que utilice para la presentación en el proyector antes de iniciar la presentación.
- Pueden utilizarse los siguientes tipos de letra para el Visor de presentación: Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman y Wingdings.

Realización de una presentación

1 Haga clic en el icono Visor de presentación de la ventana Selección de aplicación.
Aparece la ventana Buscar En.

2 Haga clic para seleccionar dónde buscar el archivo que desee utilizar para la presentación.
Ordenador: Para seleccionar un archivo almacenado en un ordenador
Proyector: Para seleccionar un archivo almacenado en el proyector

Aparece la ventana Selección archivo.

3 Seleccione el archivo que desee utilizar para la presentación.

Si selecciona Ordenador en el paso 2
Al hacer clic en Browse (Examinar) se abre la ventana de selección de archivo en un ordenador. Haga clic en el archivo PowerPoint (archivo .ppt o .pps) que desee. También puede seleccionar el archivo introduciendo el nombre de éste en el cuadro de texto Browse. El nombre del archivo seleccionado aparece en el cuadro de texto Browse.

Botón Volver
Al hacer clic en el botón se recupera la ventana anterior.

Botón Inicio
Al hacer clic en el botón se recupera la ventana Selección de aplicación.

Cuadro de ajuste de contraseñas

Para almacenar el archivo seleccionado en el proyector

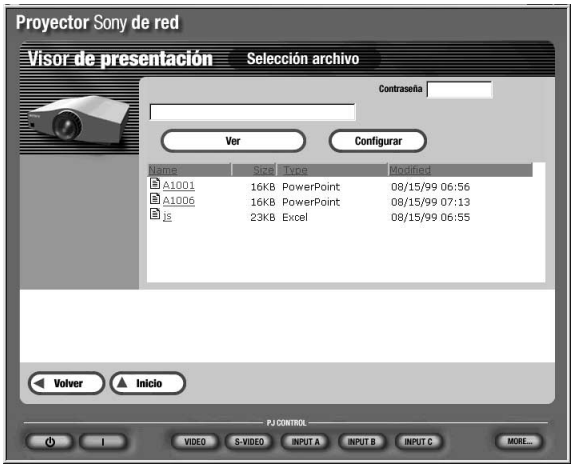
Haga clic para marcar la casilla de verificación “guardar en proyector”. Puede definir la contraseña para el archivo, si es necesario. Especifique la contraseña en el cuadro de texto “Contraseña”. De esta forma el archivo no se abrirá posteriormente, a menos que se introduzca la contraseña.
El archivo se almacena al hacer clic en el botón Configurar o Ver.

Nota

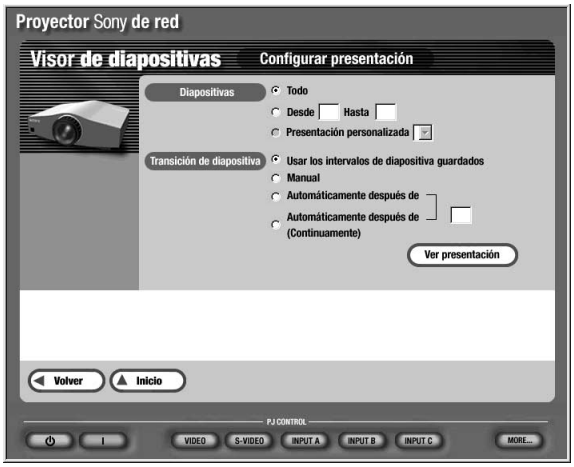
Al eliminar un archivo mediante el Administrador de archivos, no es necesario introducir la contraseña aunque haya una definida para el archivo.

Si selecciona Proyector en el paso 2

Aparece la lista que muestra los archivos almacenados en el proyector o en la tarjeta de memoria (VPL-PX15 y VPL-FX50). Haga clic en el archivo PowerPoint que desee. El nombre del archivo seleccionado aparece en el cuadro de texto.



4 Configure la presentación de diapositivas, si es necesario. Haga clic en el botón Configurar de la ventana Selección archivo.
Aparece la ventana Configurar presentación. Puede especificar las diapositivas que desee utilizar en la presentación y ajustar cómo avanzar una diapositiva en dicha presentación. Al situar el puntero del ratón sobre cada elemento, aparecen sus instrucciones en la parte inferior de la ventana.



Nota

Si ejecuta una presentación utilizando el archivo almacenado en un ordenador, dicho archivo se transferirá al proyector al hacer clic en el botón Configurar. Transcurrirán unos instantes hasta aparecer la ventana Configurar presentación en el ordenador. El tiempo que transcurre depende del tamaño del archivo. Durante este tiempo aparecerá un mensaje.

5 Haga clic en el botón Ver de la ventana Selección archivo o en el botón Ver presentación de la ventana Configurar presentación.
Se inicia la presentación de diapositivas.

Nota

Si ejecuta una presentación utilizando el archivo almacenado en un ordenador, dicho archivo se transferirá al proyector al hacer clic en el botón Ver. Transcurrirán unos instantes hasta aparecer la presentación de diapositivas en la pantalla del proyector. El tiempo que transcurre depende del tamaño del archivo. Durante este tiempo aparecerá un mensaje.

Para finalizar la presentación de diapositivas

Haga clic en el botón Fin de la presentación. (Consulte la página 22 (ES).)
Vuelve a aparecer la ventana Selección archivo.

(continúa)

Nota

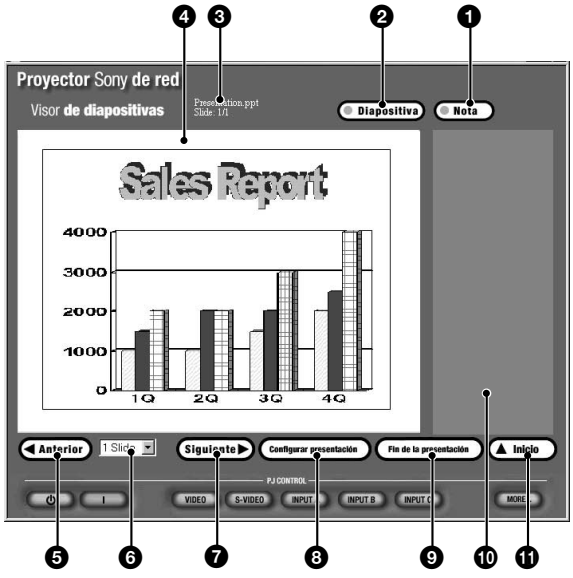
Si aparece el mensaje “Memoria del proyector llena.” al hacer clic en el botón Ver o Configurar, elimine archivos innecesarios almacenados en el proyector mediante el administrador de archivos (página 26 (ES)) y, a continuación, intente realizar la presentación de nuevo. Si aparece el mensaje “Tamaño del archivo demasiado grande.”, reduzca el tamaño del archivo y, a continuación, intente realizar la presentación de nuevo.

Sugerencias:

Es posible que pueda reducirlo haciendo clic en Option (Opciones), después en Save (Guardar) en el menú Tools (Herramientas), y eliminando la marca en Save Fast (Guardar rápidamente) en la aplicación PowerPoint.

Acerca de la ventana mostrada mientras se realiza la presentación

La siguiente ventana aparece durante la presentación.



❶ Botón Nota

Selecciona si mostrar u ocultar las notas del orador.

❷ Botón Diapositiva

Selecciona si mostrar u ocultar la presentación de diapositivas en o de la pantalla de un ordenador.

❸ Nombre de archivo/número de diapositiva

Muestra el nombre de un archivo y la dispositiva mostrada.

❹ Diapositiva

Muestra la diapositiva actualmente mostrada en la presentación. La pantalla del proyector muestra sólo esta diapositiva.

❺ Botón Anterior

Vuelve al ajuste de animación o a la diapositiva anterior durante la presentación.

❻ Cuadro de texto de diapositiva

Al hacer clic en ▼ se abre la lista desplegable de los nombres de las diapositivas. Al seleccionar una diapositiva específica en la lista, se mostrará.

❼ Botón Siguiente

Avanza al ajuste de animación o a la diapositiva siguiente de forma inmediata.

❽ Botón Configurar presentación

Vuelve a la ventana Configurar presentación.

❾ Botón Fin de la presentación

Finaliza o suspende la presentación para volver a la ventana Selección archivo.

❿ Nota

Muestra las notas del orador. No aparece en la pantalla del proyector.

⓫ Botón Inicio

Vuelve a la ventana Selección de aplicación.

Proyección de un archivo Excel con el Visor de hojas de trabajo

Es posible mostrar archivos Excel en el proyector mediante el uso de un ordenador.

Utilidades del Visor de hojas de trabajo

Permite

- mostrar hojas de trabajo Excel que llenan la pantalla del proyector.
- cambiar el área de una hoja de trabajo en vista en la pantalla del proyector.
- ampliar hacia una panorámica de detalle o general la hoja de trabajo proyectada.

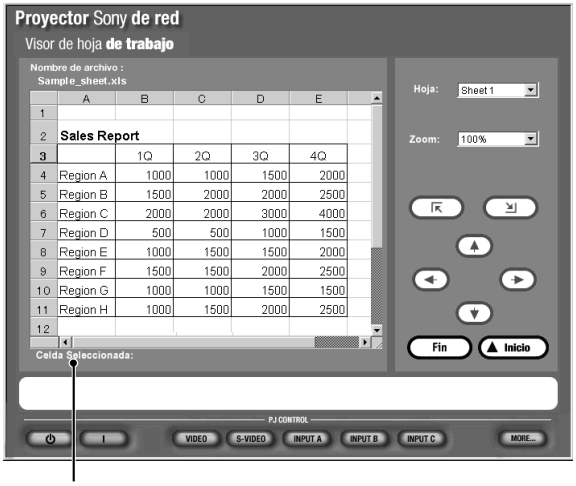
Nota

Puesto que el visor de hojas de trabajo es una función de visor Excel sencilla, no admite determinadas funciones Excel.

Proyección de archivos Excel

1 Realice los pasos **1** a **3** del apartado “Realización de presentaciones con el visor de diapositivas — Realización de presentaciones” de la página 20 (ES). Asegúrese de seleccionar un archivo Excel (archivo .xls) en el paso **3**.

2 Haga clic en el botón Ver.
Se inicia el Visor de hojas de trabajo.
Aparece en el proyector una hoja de trabajo del archivo seleccionado.



Celda actualmente seleccionada

Es posible ampliar hacia una panorámica de detalle o general la hoja de trabajo proyectada en pantalla, y cambiar el área de la hoja en vista en el proyector mediante el uso de los botones de la ventana derecha. Al colocar el puntero del ratón sobre cada uno de los botones o elementos, las instrucciones correspondientes se muestran en la parte inferior de la ventana.

Nota

- El campo de aplicación del área mostrada de una hoja de trabajo de un ordenador y el del área proyectada en el proyector es diferente.
- Al hacer clic en una celda en un ordenador, ésta se activará si la celda seleccionada se encuentra en el área mostrada en el proyector. Si la celda seleccionada no se encuentra en el área mostrada, el área con la celda seleccionada centrada se mostrará en el proyector.

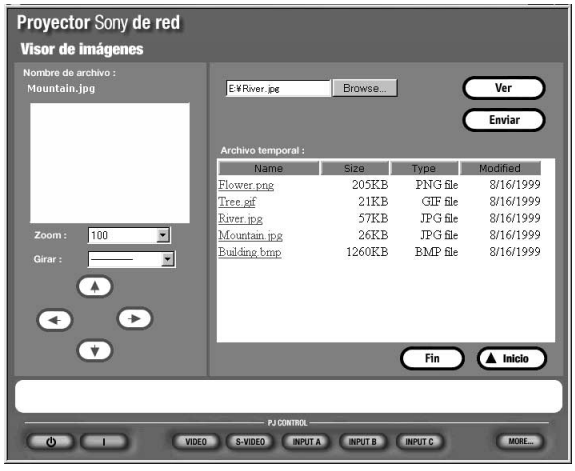
Proyección de imágenes con el Visor de imágenes

Es posible proyectar un archivo de imagen almacenado en cualquier ordenador de la misma LAN, en el almacenaje del proyector o en la tarjeta de memoria instalada en el proyector. También es posible realizar una presentación utilizando el archivo de ajuste de presentaciones de diapositivas (archivo .SHO) predefinido en el proyector.

Proyección en el proyector de una imagen almacenada en un ordenador

1 Haga clic en el icono Visor de imágenes de la ventana Selección de aplicación.
Aparece la ventana Buscar En.

2 Haga clic en Ordenador.
El visor de imágenes del proyector se inicia y se abre la ventana Visor de imágenes.



Al situar el puntero del ratón sobre cada elemento, aparecen sus instrucciones en la parte inferior de la ventana.

3 Seleccione un archivo de imagen que desee mostrar.
Haga clic en Browse (Examinar) para abrir la ventana de selección de archivo en un ordenador.
Haga doble clic en el archivo que desee.
El nombre del archivo seleccionado aparece en el cuadro de texto Browse.

4 Haga clic en el botón Ver.
Aparece en el proyector una imagen en pantalla completa del archivo seleccionado.

(continúa)

Nota

Al proyectar un archivo de imagen de gran tamaño como los de formato UXGA, no es posible abrirlo debido a que la memoria es insuficiente. En este caso, reduzca la imagen para obtener un archivo de menor tamaño.

Para ahorrar tiempo al transferir datos

Al hacer clic en el botón Ver, el archivo se transfiere al proyector. Transcurrirán unos instantes hasta aparecer la imagen en la pantalla del proyector. Para visualizar la imagen de forma inmediata, transfiera al proyector todos los archivos que desee utilizar antes de iniciar la presentación.

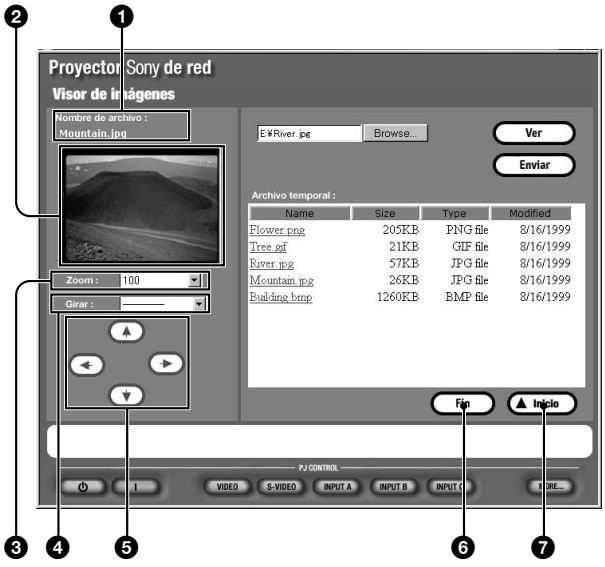
1 Después del paso **3** de "Proyección en el proyector de una imagen almacenada en un ordenador", haga clic en el botón Enviar.
El nombre del archivo seleccionado aparece en la lista Archivo temporal y el archivo se transfiere al proyector.
Repita este paso hasta que todos los archivos que desee aparezcan en el cuadro de diálogo Archivo temporal.

2 Haga doble clic en el nombre de archivo enumerado en el cuadro de diálogo Archivo temporal.
Aparece en el proyector una imagen en pantalla completa del archivo seleccionado.

Nota

Si la memoria de la lista Archivo temporal está llena, los datos transferidos anteriormente se borrarán.

Acerca de la ventana mostrada mientras se realiza la presentación



❶ Nombre de archivo

Muestra Indica el nombre del archivo de la imagen mostrada actualmente.

❷ Diapositiva

Muestra Indica la imagen actualmente mostrada en la pantalla del proyector.

❸ Cuadro de texto Zoom

Al hacer clic en ▼, se abre la lista desplegable para seleccionar la relación de aumento o reducción para la imagen.

❹ Cuadro de texto Girar

Al hacer clic en ▼, se abre la lista desplegable para seleccionar el ángulo de giro para la imagen.

Nota

Al proyectar un archivo de imagen de gran tamaño como los de formato UXGA, no es posible girarlo debido a que la memoria es insuficiente. En este caso, reduzca la imagen para obtener un archivo de menor tamaño.

❺ Botones de desplazamiento

Al hacer clic en las flechas, el área de visualización de la imagen en pantalla cambia, si la imagen ampliada no se adapta a la pantalla.

❻ Botón Fin

Finaliza o suspende la visualización para volver a la ventana Selección archivo.

❼ Botón Inicio

Vuelve a la ventana Selección de aplicación.

Nota

Si sale de la ventana Visor de imágenes haciendo clic en el botón Fin o Inicio, los archivos enumerados en Archivo temporal se borrarán de forma automática. Para almacenar los archivos, añádalos al proyector mediante la función Administrador de archivos.

Para obtener información detallada, consulte "Uso del Administrador de archivos" en la página 26 (ES).

Realización de presentaciones utilizando un archivo de imagen almacenado en el proyector

1 Haga clic en el icono Visor de imágenes de la ventana Selección de aplicación.
Aparece la ventana Buscar En.

2 Haga clic en Proyector.
El Visor de imágenes del proyector se inicia y se abre la ventana Selección de carpeta/archivo .SHO.

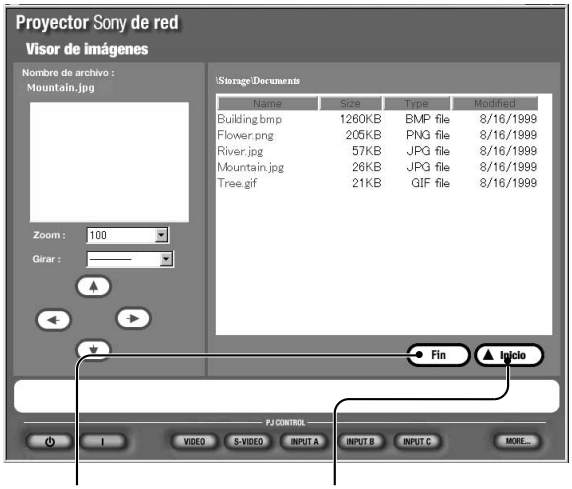
3 Haga clic en la carpeta que desee o en la carpeta que contiene el archivo de ajuste de presentaciones (archivo .SHO) en la lista Folder de la izquierda de la ventana.
El contenido de la carpeta seleccionada aparece enumerado a la derecha.

Para obtener información detallada sobre archivos .SHO, consulte "Almacenamiento del ajuste de la presentación de diapositivas" en la página 35 (ES).

4 Seleccione la carpeta o el archivo .SHO que desee utilizar y haga clic en el botón SELECCION.
Se muestra la ventana Visor de imágenes.

5 Realiza una presentación.

Al seleccionar una carpeta en el paso 4
Los archivos de imagen que contiene la carpeta seleccionada aparecen enumerados a la derecha.

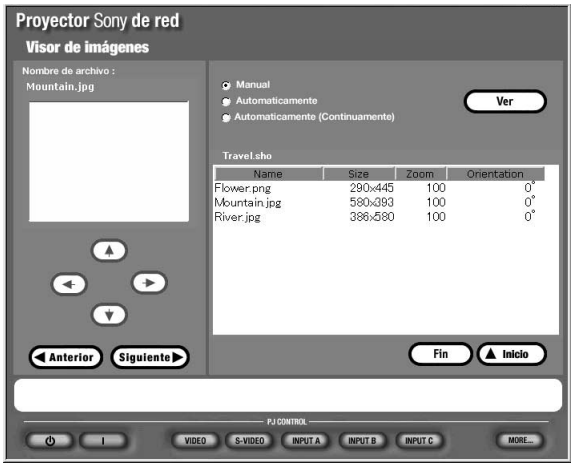


Botón Fin
Finaliza o suspende la visualización para volver a la ventana Selección archivo.

Botón Inicio
Vuelve a la ventana Selección de aplicación.

Haga clic en el archivo que desee.
Aparece en el proyector una imagen en pantalla completa del archivo seleccionado.
Al situar el puntero del ratón sobre cada uno de los elementos de la izquierda de la ventana, sus instrucciones se muestran en la parte inferior.

Al seleccionar un archivo .SHO en el paso 4
El archivo .SHO seleccionado aparece a la derecha.



Seleccione el método de avance de las diapositivas y haga clic en el botón Ver. Se inicia la presentación de diapositivas.
Al situar el puntero del ratón sobre cada elemento de la ventana, aparecen sus instrucciones en la parte inferior.

Acerca de la ventana mostrada mientras se utiliza el Visor de imágenes

Aparece la misma ventana que la mostrada en “Acerca de la ventana mostrada mientras se utiliza el Visor de imágenes” en la página 24.
El botón Siguiente de la ventana de selección de archivos .SHO sirve para avanzar hasta la siguiente diapositiva de forma inmediata durante la presentación de dispositivas. El botón Anterior sirve para retroceder a la dispositiva anterior.

Uso del Administrador de archivos

Puede gestionar los archivos almacenados en el proyector desde un ordenador mediante una sencilla operación. La función Administrador de archivos permite eliminar archivos innecesarios almacenados en el proyector o añadir archivos almacenados en un ordenador al almacenaje del proyector.
Use el Administrador de archivos mientras comprueba la memoria actualmente utilizada y la mayor no utilizada del proyector mostrada en la ventana Administrador de archivos.

Adición de archivos al proyector mediante el Administrador de archivos

1 Haga clic en el icono Administrador de archivos de la ventana Selección de aplicación.
Aparece la ventana Administrador de archivos.

2 Busque el archivo almacenado en un ordenador que desee añadir al proyector.
Haga clic en el botón Browse de la sección Añadir archivo para abrir la ventana de selección de archivos del ordenador. Seleccione el archivo que desee. También puede seleccionar el archivo introduciendo el nombre de éste en el cuadro de texto Browse.
Puede definir la contraseña para el archivo seleccionado en este paso. Especifique la contraseña en el cuadro de texto “Contraseña”. Al definir la contraseña, no podrá abrir el archivo posteriormente a menos que introduzca dicha contraseña.

3 Haga clic en el botón Añadir.
El archivo seleccionado se almacena en el proyector.

Eliminación de archivos del proyector mediante el Administrador de archivos

1 Haga clic en el icono Administrador de archivos de la ventana Selección de aplicación.
Aparece la ventana Administrador de archivos y se muestra la lista de archivos almacenados en el proyector.

2 Seleccione el archivo que desee eliminar.
Puede marcar todos los archivos que desee eliminar.

3 Haga clic en el botón Eliminar.
Todos los archivos marcados se eliminan de la lista.

Nota

Puede eliminar archivos aunque haya una contraseña definida para ellos.

Control del proyector mediante un ordenador

Puede realizar distintos ajustes del proyector en la pantalla de un ordenador. Existen tres ventanas de control disponibles: GENERAL, PICTURE CTRL y SETTINGS, cada una de ellas con diferentes funciones.
Las funciones de los botones de las ventanas son las mismas que las del mando a distancia suministrado con el proyector.

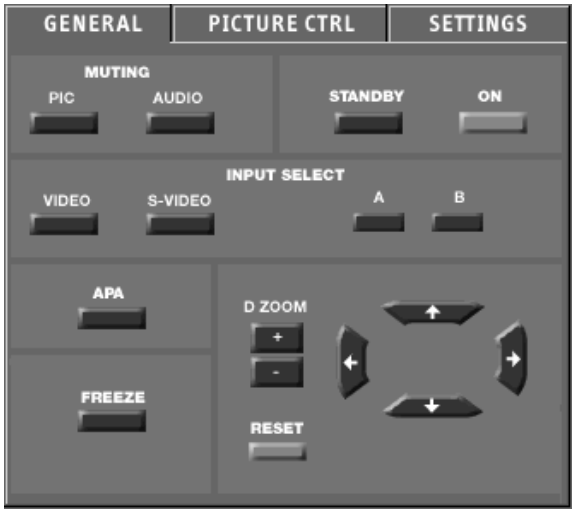
Para obtener información detallada sobre los botones, consulte el manual de instrucciones del proyector.

Las ilustraciones mostradas en los siguientes pasos corresponden al VPL-PX15.

1 Haga clic en el botón MORE... (MÁS...) de la sección PJ CONTROL (control PJ).
Aparece la ventana GENERAL.

2 Haga clic en la ficha de funciones para seleccionar la ventana que desee.

Ventana GENERAL

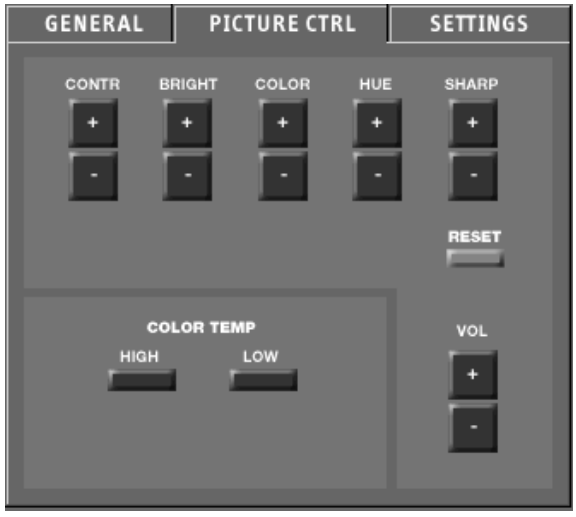


(VPL-PX15)

■ Para VPL-FE110U/M

Especifique el número del conmutador con el botón SWITCHER. Utilice el botón GROUP para especificar los números de índice de grupo y el botón INDEX para especificar los números de índice de dispositivo. Haga clic en ▼ para abrir la lista desplegable, y seleccione el número.

Ventana PICTURE CTRL



(VPL-PX15)

■ Para VPL-PX15

Los botones COLOR TEMP (HIGH, LOW) y funcionan igual que los ajustes de los menús.

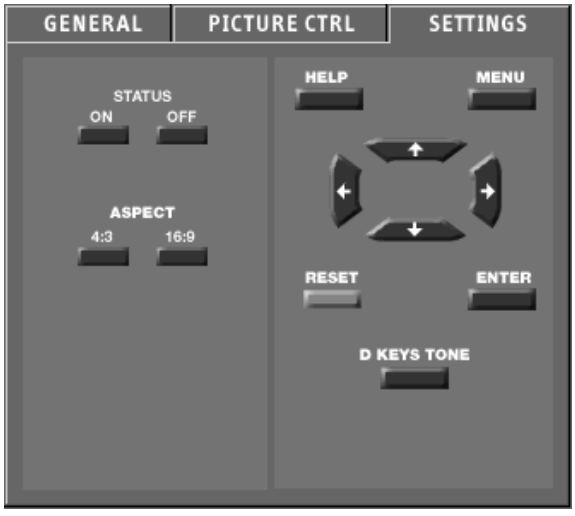
■ Para VPL-FX50

Los botones DDE (OFF, PROGRESSIVE, FILM) y RGB ENHANCER +/– funcionan igual que los ajustes de los menús.

Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones del proyector.

(continúa)

Ventana SETTINGS



(VPL-PX15)

■ **Para VPL-PX15**
Los botones ASPECT (4:3, 16:9) y STATUS (ON, OFF) funcionan igual que los ajustes de los menús.

■ **Para VPL-FX50**
Los botones ASPECT (4:3, 16:9) y LAMP MODE (STANDARD, LOW) funcionan igual que los ajustes de los menús.

Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones del proyector.

3 Haga clic en el botón para realizar el ajuste.

Comprobación de los indicadores del proyector

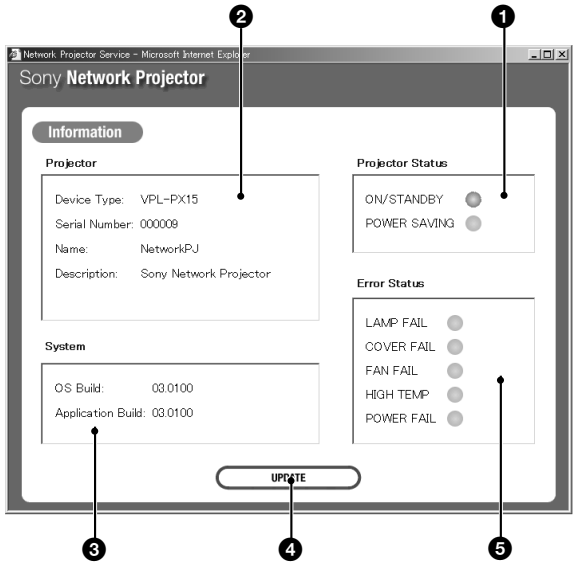
Puede comprobar el estado actual de los indicadores del panel de control del proyector en la pantalla de un ordenador.

1 Inicie Internet Explorer 4.0 o versiones posteriores, o Netscape Navigator versión 4.5x o 4.7x en el ordenador.

2 Escriba “http://xxx.xxx.xxx.xxx (para la dirección IP del proyector)/info” como URL.
Si no cambia la dirección IP ajustada en fábrica, escriba “http://192.168.0.1/info” (cuando se utiliza una tarjeta de PC de LAN) o “http://192.168.0.2/info” (cuando se utiliza el conector ETHER).
Si la contraseña está definida, aparecerá el cuadro de diálogo de ajuste de contraseña.

3 Introduzca el nombre y contraseña del administrador (Administrator).
Aparece la ventana Information (Información).

La ilustración siguiente corresponde al VPL-PX15.



❶ Projector Status (Estado del proyector)
Muestra el estado actual del proyector.

❷ Projector (Proyector)
Muestra información sobre el proyector.

❸ System (Sistema)
Muestra las versiones de Windows CE y de la aplicación actualmente en uso.

❹ Botón UPDATE (ACTUALIZACIÓN)
Haga clic para actualizar la información.

❺ Error Status (Estado de error)
Muestra el estado actual de los indicadores del panel de control del proyector.

Para obtener información sobre los indicadores, consulte el manual de instrucciones.

Preparativos

Antes de comenzar

■ Para VPL-PX15 y VPL-FX50

- Compruebe que FUNCION ENTR B (VPL-PX15) o FUNCION ENTR C (VPL-FX50) del menú AJUSTE INST está ajustado en ON.
- Cambie el interruptor de selección PJ/NETWORK a NETWORK.

■ Para VPL-FE110U/M

- Compruebe que el interruptor de selección INPUT C/RS-232C/RS-422A de la parte posterior del proyector está ajustado en INPUT C.
- Para utilizar el proyector, emplee el mando a distancia RM-PJM610 o el ratón y el teclado (no suministrados). Conecte el ratón y el teclado al proyector antes de conectar el cable de alimentación de dicho proyector a la toma de CA.

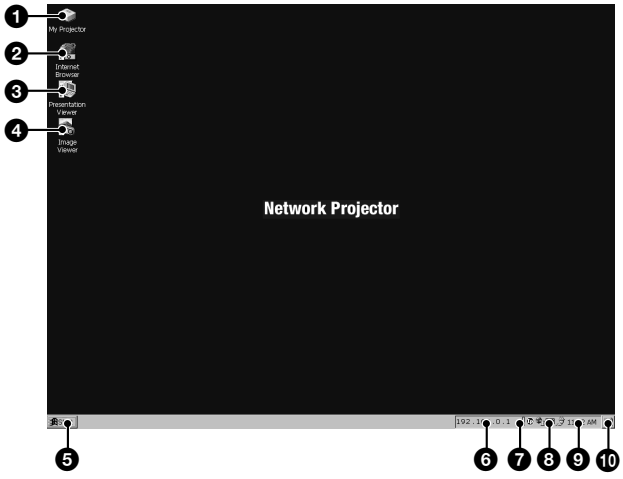
Apertura de la ventana Network Projector

Para realizar operaciones de red sin conectar un ordenador, muestre la ventana Network Projector en el proyector.

1 Encienda el proyector.

2 Ajuste la entrada al proyector en INPUT B (VPL-PX15) o INPUT C (VPL-FX50 y VPL-FE110U/M).
Aparece la ventana Network Projector.

Nombres y funciones de la ventana Network Projector



❶ Icono My Projector (Mi proyector)
Explora las carpetas del proyector.
Al hacer doble clic en el icono, aparece el icono Memory card (Tarjeta de memoria), etc.

❷ Icono Internet Browser (Explorador de Internet)
Al hacer doble clic en el icono, se conecta a Internet.

❸ Icono Presentation Viewer (Visor de Presentación)
Selecciónelo cuando desee realizar una presentación utilizando el archivo creado con PowerPoint o cuando desee proyectar un archivo Excel en el proyector.

❹ Icono Imagen Viewer (Visor de imágenes)
Al hacer doble clic en el icono se inicia el Visor de imágenes para ejecutar presentaciones de diapositivas utilizando archivos de imagen almacenados en el proyector o en la tarjeta de memoria.

❺ Menú Start (Inicio)

❻ Dirección IP
Muestra la dirección IP del proyector. Puede verificarla al acceder al proyector desde un ordenador.

❼ Icono indicador del nivel de recepción
Cuando el proyector reconoce correctamente la tarjeta de PC de LAN inalámbrica insertada en la ranura PC CARD, el icono aparece en la barra de tareas. Al hacer doble clic en el icono, se abre la ventana que indica el estado de conexión entre el proyector y el punto de acceso.

❽ Icono de teclado en pantalla
Al hacer clic en el icono, aparece el teclado en la pantalla del proyector. Puede utilizar el proyector para configuraciones o introducir un URL utilizando el mando a distancia suministrado (para el VPL-PX15 y VPL-FX50) o el mando RM-PJM610 (no suministrado, para el VPL-FE110U/M). El teclado en pantalla dispone de dos páginas. Haga clic en la tecla Mayús para cambiar de página.

(continúa)

■ **Para VPL-PX15 y VPL-FX50**

- Cuando el interruptor de selección PJ/NETWORK del mando a distancia suministrado se ajusta en NETWORK, las teclas TAB, ESCAPE, ENTER y de flecha del mando funcionan igual que las del teclado.
- El menú secundario se abre al pulsar la tecla R CLICK del mando a distancia suministrado en el icono de teclado en pantalla. Al hacer clic en Remote (Mando a distancia) y después en On, podrá utilizar las teclas de flecha del mando a distancia como las del teclado en pantalla y seleccionar las teclas.

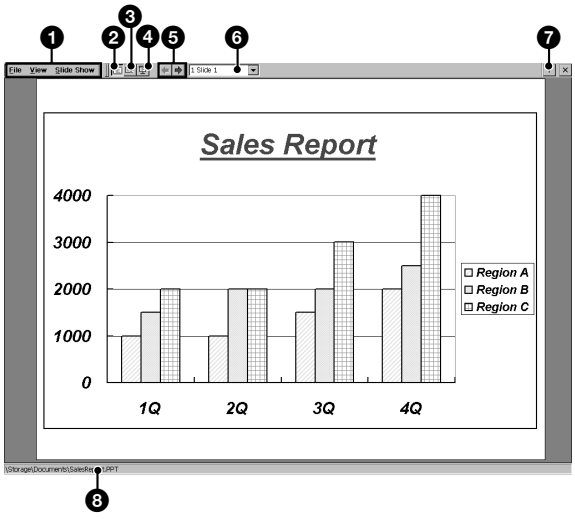
❾ Reloj

❿ Icono de escritorio

Realización de presentaciones con el Visor de diapositivas

Puede realizar presentaciones utilizando un archivo con PowerPoint almacenado en un ordenador situado en la misma sala de conferencias o alejado del proyector. Aunque no haya ningún ordenador conectado al proyector, también es posible iniciar la presentación con un archivo guardado en el almacenaje del proyector o en la tarjeta de memoria instalada en la ranura de PC CARD.

Acerca de la ventana Visor de diapositivas



❶ Barra de menús

Menú	Comando	Función
File (Archivo)	Open (Abrir)	Abre archivos almacenados en el proyector.
	Recent Files (Archivos recientes)	Abre los archivos recientemente utilizados que se muestran en el menú secundario.
	Close (Cerrar)	Cierra el archivo actualmente mostrado.
	Version (Versión)	Indica información de versión del programa.
View (Ver)	Slide View (Visualización Diapositivas)	Muestra la diapositiva en el modo Visualización Diapositivas.
	Note View (Visualización Notas)	Muestra la diapositiva en el modo Visualización Notas.
	Slide Show (Presentación)	Realiza la presentación de diapositivas.
View Show (Ver Presentación)	Run (Ejecutar)	Realiza la presentación de diapositivas.
	Set Up Show (Configurar presentación)	Configura la presentación de diapositivas.

❷ Botón (Visualización Diapositivas)

Muestra una diapositiva.

❸ Botón (Visualización Notas)

Muestra una diapositiva y notas del orador.

❹ Botón (Presentación)

Realiza la presentación.

❺ Botones de transición de diapositivas

Haga clic en el botón para visualizar la diapositiva anterior.
Haga clic en el botón para visualizar la diapositiva siguiente.

❻ Cuadro de lista Slide (Diapositiva)

Haga clic en para abrir la lista desplegable y seleccionar el número de la diapositiva que desee visualizar.

❼ Botón (Ayuda)

Haga clic para visualizar el tema de ayuda (Help) correspondiente al Visor de diapositivas.

❽ Nombre de archivo

Se muestra el nombre de un archivo.

Realización de una presentación

Uso de un archivo almacenado en un ordenador conectado a la LAN

1 Haga doble clic en el icono My Projector (Mi proyector) de la ventana Network Projector.

2 Introduzca "\\ xxxx (nombre del ordenador al que desee acceder)" en la columna de direcciones y haga clic en el botón Enter.
Se muestran las carpetas compartidas del ordenador.

Nota

Es preciso establecer los elementos de Identification (Identificación) en el cuadro de diálogo Network Configuration (Configuración de red) (página 9 (ES)), así como configurar una carpeta compartida en el ordenador al que desee acceder.

3 Seleccione la carpeta que contenga el archivo PowerPoint (archivo .ppt o .pps) con el que desee ejecutar una presentación y, a continuación, haga doble clic en dicho archivo.
Si hay una contraseña definida para el ordenador seleccionado, introdúzcala.
Se inicia el Visor de diapositivas.

4 Si desea configurar la presentación, haga clic en Set Up Show (Configurar presentación) en el menú View Show (Ver Presentación).
El cuadro de diálogo Set Up Show se abre.
Para obtener más información, consulte la ayuda (Help) de Visor de diapositivas.

5 Haga clic en Run (Ejecutar) en el menú View Show para realizar la presentación.

Uso de un archivo almacenado en el proyector o en la tarjeta de memoria

1 Haga doble clic en el icono Presentation Viewer de la ventana Network Projector.
El Visor de presentación se inicia y aparece el cuadro de diálogo Open File.

2 Seleccione el archivo PowerPoint que desee y haga clic en el botón OK.
El Visor de diapositivas se inicia y el archivo seleccionado aparece en vista de dispositivas.

3 Realice los pasos **4** y **5** de la sección "Uso de un archivo almacenado en un ordenador conectado a la LAN".

Cambio del modo de visualización de diapositivas

El Visor de diapositivas dispone de tres modos de visualización : Slide Show (Presentación), Slide View (Visualización Diapositivas) y Note View (Visualización Notas), proporcionando cada uno de ellos una forma diferente de presentar diapositivas. Muestre una visualización haciendo clic en su comando correspondiente en el menú View (Ver). Al hacer clic en su botón en la barra de herramientas, también cambia la visualización.

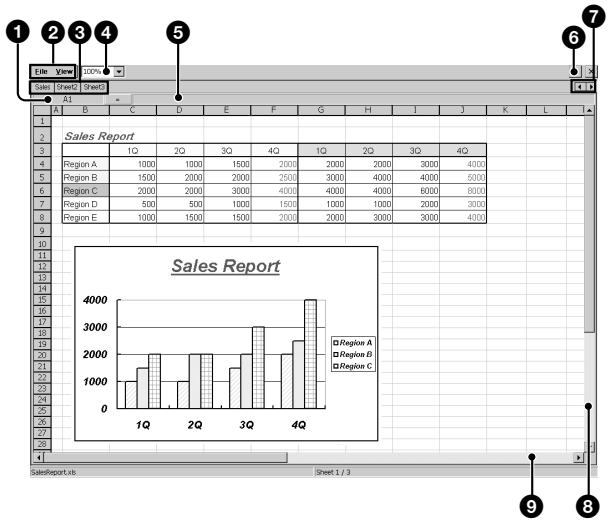
Acerca de la ayuda del Visor de diapositivas

Para obtener información detallada sobre las operaciones con el Visor de diapositivas, consulte la ayuda. Al hacer clic en el botón ? de la barra de herramientas, se abre el tema de ayuda.

Proyección de un archivo Excel con el Visor de hojas de trabajo

Es posible mostrar archivos Excel almacenados en un ordenador conectado mediante la misma LAN. También es posible proyectar archivos almacenados en el proyector o en la tarjeta de memoria sin conectar un ordenador.

Acerca de la ventana Visor de hojas de trabajo



(continúa)

❶ Cuadro Nombre
Identifica la celda actualmente seleccionada.

❷ Barra de menús

Menú	Comando	Función
File (Archivo)	Open (Abrir)	Abre archivos almacenados en el proyector.
	Close (Cerrar)	Cierra el archivo actualmente mostrado.
	About (Acerca de)	Indica información de versión del programa.
View (Ver)	Zoom	Abre el cuadro de diálogo Zoom para ampliar o reducir la visualización.

❸ Fichas Hoja
Muestra los nombres de las hojas. Haga clic en la ficha de hojas para activar una hoja.

❹ Cuadro Zoom
Haga clic en ▼ para seleccionar el aumento con el fin de reducir o ampliar la visualización de una hoja de trabajo activa.

❺ Barra de contenido de celda
Muestra el resultado o el valor constante de la celda activa.

❻ Botón ? (Ayuda)
Muestra el tema de Ayuda correspondiente al Visor de hojas de trabajo.

❼ Botones ◀/▶
Utilícelos para desplazarse por las fichas de hojas. Haga clic en la flecha de la dirección en la que desee desplazarse.

❽ Barra de desplazamiento ▲/▼ (arriba/abajo)
Utilícela para desplazar la visualización arriba o abajo. Para desplazarse, arrastre el cuadro o haga clic en la flecha.

❾ Barra de desplazamiento ◀/▶ (izquierda/derecha)
Utilícela para desplazar la visualización a la izquierda o la derecha. Para desplazarse, arrastre el cuadro o haga clic en la flecha.

Projección de archivos Excel

Uso de un archivo almacenado en un ordenador conectado a la LAN

1 Realice los pasos **1** y **2** del apartado “Realización de presentaciones – Uso de un archivo almacenado en un ordenador conectado a la LAN” de la página 31 (ES).

2 Seleccione la carpeta que contenga el archivo Excel que desee proyectar en el proyector y, a continuación, haga doble clic en dicho archivo.
Si hay una contraseña definida para el ordenador seleccionado, introdúzcala
Se inicia el Visor de hojas de trabajo y en el proyector se muestra una hoja de trabajo del archivo Excel seleccionado.

Uso de un archivo almacenado en el proyector o en la tarjeta de memoria

1 Haga doble clic en el icono Presentation Viewer de la ventana Network Projector.
El Visor de presentación se inicia y aparece el cuadro de diálogo Open File.

2 Seleccione el archivo Excel que desee proyectar y haga clic en el botón OK.
Se inicia el Visor de hojas de trabajo y en el proyector se muestra una hoja de trabajo del archivo seleccionado.

Cambio del tamaño o del área de visualización de la hoja de trabajo proyectada
Cuando desee ampliar hacia una panorámica de detalle o general la hoja de trabajo proyectada o cambiar el área de la hoja en vista, consulte, en la Ayuda, Worksheet Viewer (Visor de hojas de trabajo).

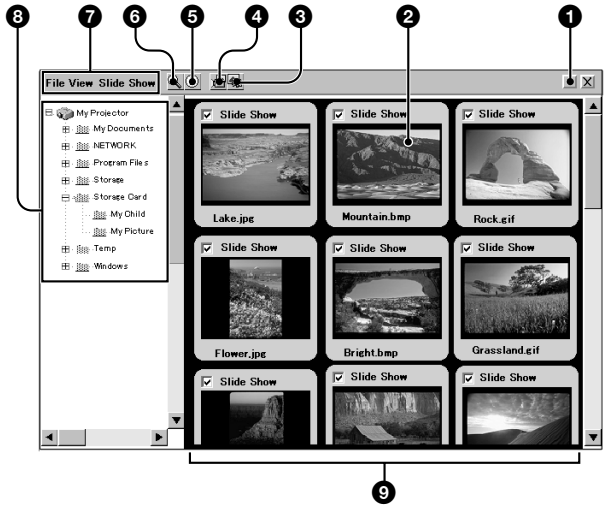
Acerca de la ayuda del visor de hojas de trabajo

Para obtener información detallada sobre las operaciones con el visor de hojas de trabajo, consulte la ayuda. Al hacer clic en el botón ? de la barra de herramientas, se abre el tema de ayuda.

Ejecución de presentaciones de diapositivas utilizando el Visor de imágenes

Es posible mostrar imágenes en miniatura de los archivos almacenados en el proyector o en una tarjeta de memoria instalada en dicho proyector y, a continuación, ejecutar una presentación de diapositivas seleccionando las imágenes deseadas.
Al iniciar el Visor de imágenes del proyector y seleccionar la carpeta que contiene los archivos deseados, se abre la ventana principal.

Acerca de la ventana principal del Visor de imágenes



❶ Botón (Ayuda)
Haga clic para visualizar el tema de ayuda (Help) correspondiente al Visor de imágenes.

❷ Diapositiva
Al hacer clic en una diapositiva, aparece un marco verde alrededor de ésta. Esto indica que la dispositiva está seleccionada.

❸ Botón (Ajuste de la presentación)
Abre el cuadro de diálogo Slide Show Setting (Ajuste de la presentación) para aplicar el zoom, giro, etc.

❹ Botón (Ver presentación)
Al hacer clic en el botón, se abre el menú secundario para avanzar una diapositiva.

❺ Botón (Información)
Abre el cuadro de diálogo de información de la diapositiva seleccionada.

❻ Botón (Pantalla completa)
Muestra la ventana en pantalla completa de una diapositiva elegida.

❼ Barra de menús

Menú	Comando	Función
File (Archivo)	Close (Cerrar)	Cierra el archivo actualmente mostrado.
	About (Acerca de)	Indica información de versión del programa.
View (Ver)	Full Screen (Pantalla completa)	Muestra la ventana en pantalla completa de una imagen elegida.
	Information (Información)	Abre el cuadro de diálogo de información de la imagen seleccionada.
	Sort slides (Clasificar diapositivas)	Clasifica las diapositivas de una carpeta según el orden especificado.
Slide Show (Presentación)	View Show (Ver presentación)	Realiza la presentación avanzando la dispositiva seleccionada en el menú secundario.
	Slide Show Setting (Ajuste de la presentación)	Configura en detalle la presentación de diapositivas.
	Select all (Seleccionar todo)	Selecciona todas las dispositivas incluidas en la ventana de miniaturas.
	Clear all (Borrar todo)	Cancela las selecciones de diapositivas en imágenes en miniatura.
	Load... (Cargar)	Carga los archivos almacenados de ajuste de presentaciones.
	Save... (Guardar)	Almacena el ajuste actual de presentaciones como archivo de ajuste (La extensión es ".SHO").

❽ Cuadro de diálogo de carpetas
Explora las carpetas almacenadas en el proyector o en una tarjeta de memoria instalada en dicho proyector.

❾ Área de visualización de dispositivas
Muestra imágenes en miniatura de las diapositivas incluidas en la carpeta que seleccione.

Visualización de imágenes en pantalla completa

Es posible visualizar imágenes en pantalla completa de imágenes en miniatura seleccionadas en la ventana principal.

1 Haga doble clic en Image Viewer (Visor de imágenes) de la ventana Network Projector.
Se inicia el Visor de imágenes.

2 Seleccione en el cuadro de diálogo de carpetas la carpeta que contenga los archivos de imagen que desee mostrar.
Puede elegir la carpeta almacenada en el proyector o en una tarjeta de memoria instalada en dicho proyector. La ventana principal se abre mostrando imágenes en miniatura de las diapositivas incluidas en la carpeta seleccionada.

3 Seleccione la diapositiva que desee visualizar; para ello, haga clic en una diapositiva en miniatura.
El marco verde aparece en la diapositiva seleccionada.

4 Haga clic con el botón derecho en la diapositiva para seleccionar Full Screen (Pantalla completa), haga clic en Full Screen en el menú View (Ver) o haga clic en el botón de la barra de herramientas.
Aparece la diapositiva adaptada a la pantalla del proyector.

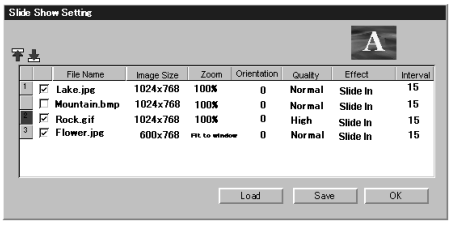
Ejecución de presentaciones de diapositivas

1 Realice los pasos **1** y **2** de “Visualización de imágenes en pantalla completa”.

2 Seleccione las diapositivas que desee utilizar en la presentación.
- Marque la casilla de verificación Slide Show (Presentación) de cada diapositiva que desee utilizar. Marque todas las diapositivas que utilice.
- Para emplear todas las diapositivas de la carpeta seleccionada, haga clic en Select all (Seleccionar todo) en el menú Slide Show (Presentación).
- Si ya ha almacenado los archivos de ajuste de la presentación, haga clic en Load... (Cargar) en el menú Slide Show para mostrar el cuadro de diálogo Load Slide show setting file (Cargar archivo de ajuste de presentaciones). Seleccione el archivo que desee.

Para obtener información detallada sobre los archivos de ajuste de presentaciones, consulte “Almacenamiento de la presentación de diapositivas”.

3 Si desea configurar la diapositiva, como aplicar el zoom o giro en una imagen, haga clic en Slide Show Setting (Ajuste de la presentación) en el menú Slide Show o haga clic en el botón de la barra de herramientas.
Aparece el cuadro de diálogo Slide Show Setting.



Cambie la configuración y haga clic en el botón OK o Save (Guardar).

Nota

Al proyectar un archivo de imagen de gran tamaño como los de formato UXGA, no es posible abrirlo ni girarlo debido a que la memoria es insuficiente. En este caso, reduzca la imagen para obtener un archivo de menor tamaño.

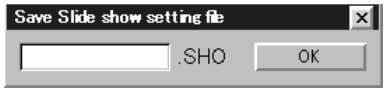
4 Haga clic en View Show (Ver presentación) en el menú Slide Show o en el botón de la barra de herramientas.
Se abre el menú secundario para elegir cómo avanzar una dispositiva. La presentación se inicia al hacer clic en una de las opciones.

Almacenamiento del ajuste de la presentación de diapositivas

Puede realizar una presentación de forma repetida utilizando los archivos almacenados como archivos de ajuste de la presentación (archivos .SHO). También puede cambiar los valores de los archivos de ajuste almacenados.

Para guardar los archivos

1 Haga clic en Save... (Guardar) en el menú Slide Show (Presentación).
Se abre el cuadro de diálogo Save Slide show setting file (Guardar archivo de ajuste de presentaciones).



2 Introduzca el nombre del archivo y haga clic en el botón OK.
Los archivos guardados se muestran en el cuadro de diálogo Load Slide show setting file (Cargar archivo de ajuste de presentaciones).

Para realizar el almacenamiento después de cambiar los ajustes

Haga clic en Slide Show Setting (Ajuste de la presentación) en el menú Slide Show para abrir el cuadro de diálogo Slide Show Setting y cambie los ajustes. Haga clic en el botón Save para abrir el cuadro de diálogo Save Slide show setting file. Realice el paso **2**.

Para cambiar los ajustes después de realizar el almacenamiento

1 Haga clic en Slide Show Setting en el menú Slide Show.
Se abre el cuadro de diálogo Slide Show Setting.

2 Haga clic en Load.
Se abre el cuadro de diálogo Load Slide show setting file.

3 Seleccione el archivo cuyos ajustes desee cambiar y haga clic en el botón OK.
Se abre el cuadro de diálogo Slide Show Setting.

4 Cambie los ajustes y haga clic en el botón Save.

Para cambiar el ajuste en la ventana principal

1 Haga clic en Load... en el menú Slide Show.
Se abre el cuadro de diálogo Load Slide show setting file.

2 Seleccione el archivo que desee cambiar y haga clic en el botón OK.
Se abre la ventana principal.

3 Cambie las marcas de las casillas de verificación Slide Show de las diapositivas.

Acerca de la ayuda del Visor de imágenes

Para obtener información detallada sobre las operaciones con Visor de imágenes, consulte la ayuda. Al hacer clic en el botón ? de la barra de herramientas, se abre el tema de ayuda.

Conexión a Internet

1 Haga doble clic en el icono Internet Browser (Explorador de Internet) de la ventana Network Projector.
Aparece la ventana del Explorador de Internet.

2 Haga clic en el icono de teclado de software de la barra de tareas para visualizar el teclado en pantalla, y después introduzca la dirección de la página inicial que desee.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando la siguiente guía. Si el problema no se soluciona, consulte con personal Sony especializado.

Problema	Causas y soluciones
No se establece la conexión a la red.	• La tarjeta de PC no está correctamente insertada en la ranura de tarjeta de PC CARD. → Compruebe que la tarjeta está correctamente orientada y, a continuación, introdúzcala en la ranura hasta que quede firmemente encajada. • El cable no está correctamente conectado al conector ETHER. (VPL-PX15, VPL-FX50) → Inserte la clavija del cable firmemente en el conector. • La tarjeta de PC de LAN, la tarjeta de PC de LAN inalámbrica y el punto de acceso a LAN inalámbrica que utiliza no son los especificados/recomendados. → Utilice los dispositivos especificados/recomendados. El uso de dispositivos no especificados/recomendados puede causar operaciones incorrectas. Para obtener información sobre las tarjetas especificadas/recomendadas, etc., consulte el documento adjunto “Tarjeta de PC/punto de acceso a LAN inalámbrica especificados/recomendados”. • El entorno de red no está adecuadamente configurado. → Compruebe los ajustes de configuración de red del proyector (páginas 9 (ES) y 13 (ES)). → Cuando controle el proyector mediante el explorador web del ordenador, compruebe también los ajustes de red de éste. • Cuando utilice una tarjeta de PC LAN inalámbrica, Enable On-board LAN se encuentra seleccionado. (VPL-PX15, VPL-FX50) → Elimine la marca de verificación de la casilla correspondiente a Enable On-board LAN. • Al utilizar la tarjeta de PC de LAN inalámbrica, la LAN inalámbrica no está correctamente configurada. → Compruebe que Access Point ID (ID de punto de acceso) y Encryption Key (clave de encriptación) del cuadro de diálogo de ajuste Wireless LAN Settings (Ajustes de LAN inalámbrica) están ajustados en los mismos números que los del punto de acceso conectado (página 11 (ES)). • Al utilizar la tarjeta de PC de LAN inalámbrica, el modo Peer to Peer no está correctamente configurado. → Seleccione Peer to Peer solamente en un componente del equipo conectado a la misma LAN inalámbrica (página 11 (ES)). • El canal del punto de acceso está ajustado en 12–14. → Ajuste el canal del punto de acceso en 1–11. • La tarjeta de PC de LAN, tarjeta de PC de LAN inalámbrica, tarjeta de memoria o punto de acceso siguen sin funcionar correctamente una vez comprobado lo anterior. → Consulte con el fabricante de la tarjeta o del punto de acceso que utilice. Si utiliza la tarjeta de PC de LAN inalámbrica Sony especificada, consulte con personal Sony especializado.
El ordenador no puede acceder al proyector.	• El ajuste de FUNCION ENTR B (VPL-PX15) o FUNCION ENTR C (VPL-X50) del menú AJUSTE INST no es correcto. → Ajústelo en ON. • El interruptor de selección INPUT C/RS-232C/RS-422A no está correctamente ajustado. (VPL-FE110U/M) → Ajústelo en INPUT C. • El explorador del ordenador está ajustado en “Acceso a Internet mediante un servidor proxy”. → Introduzca la dirección IP del proyector en el cuadro “Acceso a Internet sin utilizar un servidor proxy”. • Ha introducido la dirección IP del proyector precedido por 0 (cero). → No introduzca 0 delante del número. Ejemplo: 192.168.000.001 ➔192.168.0.1

Problema	Causas y soluciones
La pantalla del proyector se congela.	El software Windows CE está congelado. → Una vez ajustado FUNCION ENTR B (VPL-PX15) o FUNCION ENTR C (VPL-FX50) del menú AJUSTE INST en el valor OFF, vuelva a ajustarlo en ON. → Reinicie Windows CE pulsando la tecla RESET antes de 5 segundos después de pulsar la tecla FUNCTION del mando a distancia RM-PJ1001 suministrado. (VPL-FE110U/M)
Los tipos de letra o estilos cambian en un archivo PowerPoint o Excel.	En el texto del archivo, se utilizan tipos de letra o estilos no admitidos por el Visor de diapositivas ni el Visor de hojas de trabajo. → Sólo los siguientes tipos de letra se encuentran disponibles para el Visor de diapositivas. El resto de tipos de letra se sustituirán por estos tipos. Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman, Wingdings. Si se sustituye, es posible que un final de párrafo cambie en función de los ajustes de tabulador o párrafo. Los estilos no admitidos por el Visor de diapositivas se sustituirán por los estilos admitidos.
Algunos caracteres no aparecen en un archivo PowerPoint o Excel.	No es posible mostrar caracteres que no admita el Visor de diapositivas ni el Visor de hojas de trabajo, como los caracteres chinos. → Utilice el archivo creado en inglés, francés, español, alemán o italiano con caracteres admitidos por el Visor de diapositivas.
Algunas de las características utilizadas en un archivo PowerPoint no aparecen adecuadamente o tales efectos no aparecen en absoluto.	El archivo utiliza características no admitidas por el Visor de diapositivas o Visor de hojas de trabajo del proyector. → Las características se sustituirán por las admitidas. Aplique efectos admitidos si no aparece nada.
No es posible realizar una presentación de diapositivas. Aparece el mensaje “Memoria del proyector llena. Organice los archivos almacenados en el proyector con el Administrador de archivos, e intente reiniciar la presentación de diapositivas.”.	La memoria del proyector está llena. → Elimine archivos innecesarios almacenados en el proyector utilizando el Administrador de archivos con el fin de aumentar la capacidad de la memoria.
No es posible realizar una presentación de diapositivas. Aparece el mensaje “Tamaño del archivo demasiado grande. Disminuya el tamaño de cualquier forma; por ejemplo, divídalo en archivos más pequeños, e intente reiniciar la presentación de diapositivas.”.	El tamaño del archivo supera la capacidad de transición al proyector. → Compruebe la capacidad libre de la memoria en la ventana Administrador de archivos, y disminuya la capacidad del archivo dividiéndolo en archivos más pequeños. → Haga clic en Option, después en Save en el menú Tool de PowerPoint, y elimine la marca de Save Fast.
No es posible iniciar el Explorador de Internet para el proyector.	El proyector no está conectado a la LAN. → Compruebe las configuraciones de la red y del entorno LAN inalámbrico (páginas 8 (ES) a 13 (ES)).
Aparece el mensaje “Contraseña definida para el archivo. Introduzca contraseña.”.	Hay una contraseña definida para el proyector o el archivo. → Introduzca la contraseña. Si no ha cambiado la dirección IP establecida en fábrica, introduzca “root” en el cuadro de texto Name para Administrator.
Aparece el mensaje “Puede haber introducido una contraseña incorrecta. Introdúzcala de nuevo.”.	La contraseña introducida es incorrecta. → Introduzca la contraseña correcta.

Inhalt

Einführung

Merkmale und Funktionen ..... 4 (DE)
Sicherheitsmaßnahmen ..... 5 (DE)
Zu dieser Bedienungsanleitung ..... 5 (DE)

Vorbereitungen

Vorbereitungen zum Arbeiten mit der Netzwerkfunktion ..... 6 (DE)
Systemkonfiguration ..... 6 (DE)
Verwenden einer PC-Karte ..... 7 (DE)
Einstellungen für die Netzwerkfunktion ..... 7 (DE)
Verwenden der Fernbedienung oder einer Maus und Tastatur ..... 7 (DE)
Konfigurieren des Projektors ..... 8 (DE)
Konfigurieren über den Projektor selbst ..... 8 (DE)
Konfigurieren von einem Computer aus ..... 12 (DE)
Flußdiagramme für die Grundfunktionen ..... 14 (DE)
Betrieb von einem Computer aus ..... 14 (DE)
Betrieb vom Projektor aus ..... 16 (DE)

Betrieb

Betrieb von einem Computer aus ..... 19 (DE)
Vorbereitungen ..... 19 (DE)
Ausführen einer Präsentation mit dem Folien-Viewer ..... 20 (DE)
Projizieren einer Excel-Datei mit dem Arbeitsblatt-Viewer ..... 23 (DE)
Projizieren eines Bildes mit dem Bild-Viewer ..... 23 (DE)
Der Datei-Manager ..... 26 (DE)
Steuern des Projektors von einem Computer aus ..... 27 (DE)
Überprüfen der Anzeigen am Projektor ..... 28 (DE)
Betrieb vom Projektor aus ..... 29 (DE)
Vorbereitungen ..... 29 (DE)
Ausführen einer Präsentation mit dem Folien-Viewer ..... 30 (DE)
Projizieren einer Excel-Datei mit dem Arbeitsblatt-Viewer ..... 31 (DE)
Ausführen einer Bildschirmpräsentation mit dem Bild-Viewer ..... 33 (DE)
Herstellen einer Verbindung zum Internet ..... 35 (DE)

Sonstiges

Störungsbehebung ..... 36 (DE)

DE

• Microsoft, Windows und PowerPoint sind eingetragene Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
• Netscape Navigator ist ein eingetragenes Warenzeichen der Netscape Communications Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
• Alle anderen in diesem Handbuch erwähnten Produkt- oder Firmennamen sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der jeweiligen Eigentümer.

Merkmale und Funktionen

In den Projektor ist Windows CE integriert, und er ist netzwerkfähig. Wenn Sie den Projektor an ein lokales Netzwerk (LAN) anschließen, können Sie eine Präsentation mit einer Datei ausführen, die auf einem Computer im selben LAN gespeichert ist. Sie können die Datei auf einem Computer öffnen, der sich weit entfernt vom Projektor befindet, oder auf einem im selben Konferenzraum. Allein mit dem Projektor können Sie auch eine Verbindung zum Internet herstellen.
Wenn Sie über den Web-Browser eines Computers auf den Projektor zugreifen können, können Sie den Projektor von diesem Computer aus steuern.

Anschluß an ein lokales Netz

Der Projektor ist mit dem Anschluß ETHER (VPL-PX15 und VPL-FX50) und einem PC-Karteneinschub ausgestattet, so daß Sie den Projektor über die LAN-Kabel oder die spezifizierte/empfohlene LAN-PC-Karte an ein LAN anschließen können. Wenn Sie eine drahtlose LAN-PC-Karte am PC-Karteneinschub installieren, ist eine drahtlose LAN-Verbindung möglich.

Integrierter PC-Karteneinschub

Der Projektor ist mit einem PC-Karteneinschub ausgestattet. Wenn Sie in diesen Einschub eine PC-Speicherkarte einsetzen, auf der Präsentationsdaten gespeichert sind, können Sie mühelos eine Präsentation ausführen, ohne dazu einen Computer zu benötigen.

Präsentations-Viewer

Der Projektor verfügt über einfache integrierte Microsoft PowerPoint- und Microsoft Excel-Anzeigefunktionen, nämlich den Folien-Viewer bzw. den Arbeitsblatt-Viewer. Dank dieser Funktionen können Sie ohne Konvertierung eine Bildschirmpräsentation mit einer PowerPoint-Datei ausführen oder eine Excel-Datei projizieren.

Bild-Viewer

Der Projektor verfügt über einen integrierten Bild-Viewer, mit dem Sie im JPEG-, BMP-, GIF- oder PNG-Format erstellte Bilder anzeigen, eine Bildschirmpräsentation konfigurieren und eine Bildschirmpräsentation mit den Bildern vorführen können.

Datei-Manager

Mit dem Web-Browser eines Computers können Sie auf dem Computer gespeicherte Dateien zum Projektor hinzufügen oder im Projektor gespeicherte Dateien über den Computer löschen.

Integrierter Web-Browser

Der Internet Explorer 4.0 und die entsprechende Sofware sind in den Projektor integriert. Damit können Sie eine Verbindung zum Internet herstellen.

Speicherfunktion

Auf dem Projektor können Sie eine Datei speichern, die von einem Computer oder einer Speicherkarte importiert wurde.
Beim Speichern der Datei können Sie ein Kennwort definieren, um zu verhindern, daß Unbefugte die Datei öffnen.

Sicherheitsmaßnahmen

Vorsicht

Bevor Sie den Projektor ausschalten oder mit der mitgelieferten Fernbedienung zurücksetzen, beenden Sie unbedingt jede geöffnete Anwendung. Andernfalls kann es zu einem Systemabsturz kommen, und der Projektor läßt sich möglicherweise nicht mehr starten.

- Für den Projektor gelten die folgenden empfohlenen Systemvoraussetzungen:
  – Microsoft Windows 98, Microsoft Windows 98 SE, Microsoft Windows 2000, Microsoft Windows Me
- Verwenden Sie als LAN-PC-Karte, drahtlose LAN-PC-Karte, PC-Speicherkarte und drahtlosen LAN-Zugriffspunkt unbedingt ausschließlich die spezifizierten/empfohlenen Geräte.
  Installieren Sie darüber hinaus die spezifizierte/empfohlene drahtlose LAN-PC-Karte in die angeschlossenen Computer.

  Einzelheiten zu den spezifizierten/empfohlenen Geräten finden Sie in der mitgelieferten Übersicht "Spezifizierte(r)/empfohlene(r) PC-Karte/drahtloser LAN-Zugriffspunkt".

- Erstellen Sie regelmäßig Sicherungskopien, um Datenverluste zu vermeiden. Unter keinen Umständen ist Sony für Datenverluste haftbar.
- Beachten Sie bitte, daß die Softwarespezifikationen unangekündigten Änderungen unterliegen.
- Einige der Abbildungen in dieser Anleitung können sich von der tatsächlichen Anwendungssoftware unterscheiden.

Zu dieser Bedienungsanleitung

In dieser Anleitung werden die Netzwerkfunktionen der LCD-Datenprojektoren VPL-PX15, VPL-FX50 und VPL-FE110M erläutert.
Online-Hilfedateien stehen dazu ebenfalls zur Verfügung. Wenn Sie mit dem Web-Server des Projektors arbeiten, erscheint auf dem Computer ein Satz mit Hilfeinformationen, wenn Sie den Mauszeiger auf ein Bildschirmelement stellen.
Im Windows CE-Fenster des Projektors können Sie die Hilfedatei aufrufen, indem Sie im Menü "Start" auf "Help" (Hilfe) klicken. Das Windows CE des Projektors unterstützt nicht alle Funktionen. Die Hilfedatei zum Folien-Viewer, Arbeitsblatt-Viewer oder zum Bild-Viewer rufen Sie auf, indem Sie in der Symbolleiste des jeweiligen Anwendungsfensters auf die Schaltfläche ? klicken.

In der Bedienungsanleitung zu diesem Modell finden Sie Informationen zu den übrigen Funktionen außer den Netzwerkfunktionen.

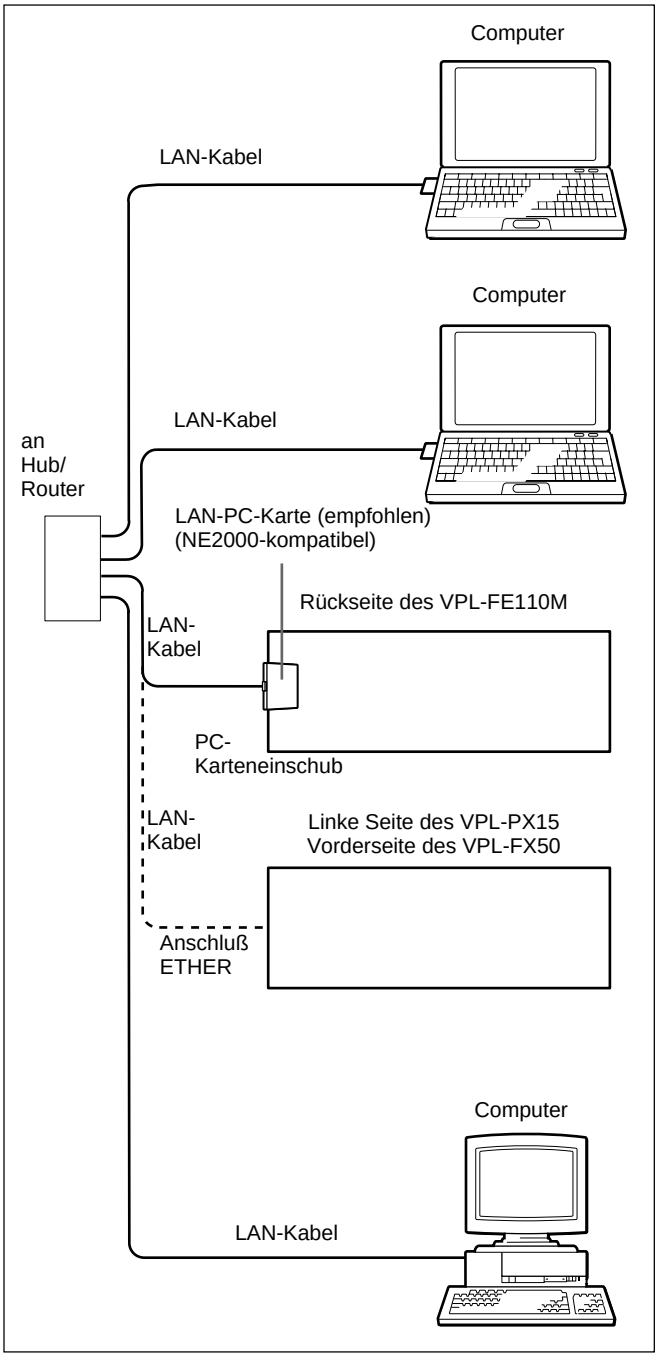
Vorbereitungen zum Arbeiten mit der Netzwerkfunktion

In diesem Abschnitt werden die Schritte erläutert, die zum Arbeiten mit der Netzwerkfunktion des Projektors erforderlich sind.

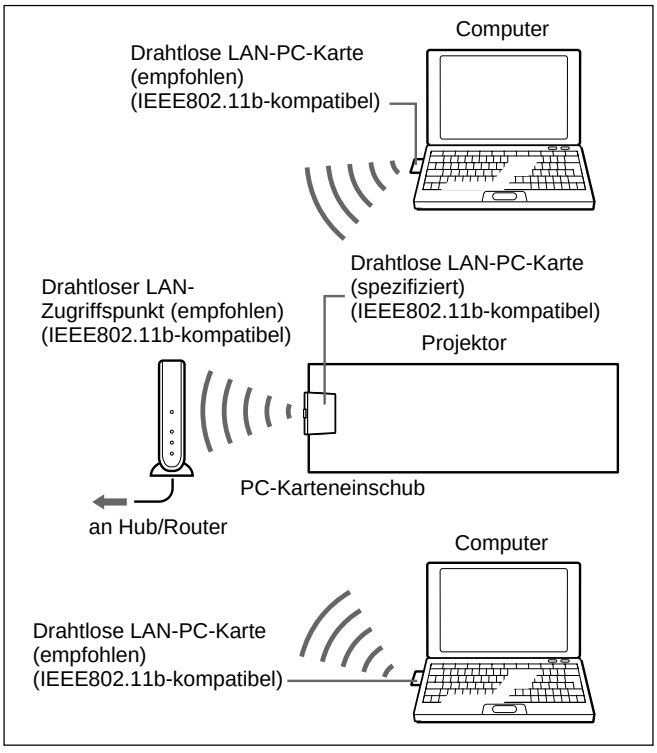
Systemkonfiguration

Einzelheiten zum Anschließen finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

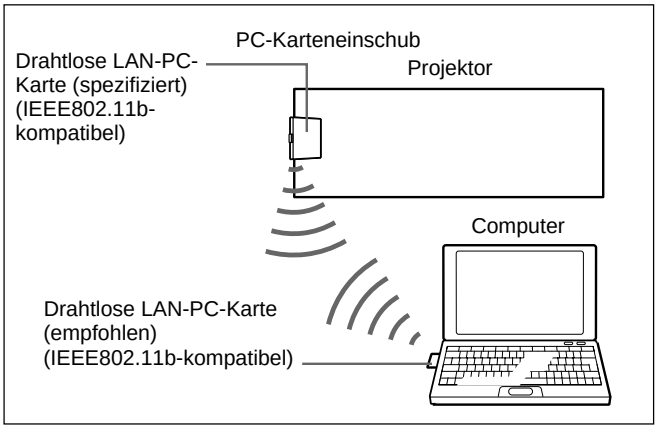
Anschließen an ein LAN über die LAN-Kabel oder die LAN-PC-Karte



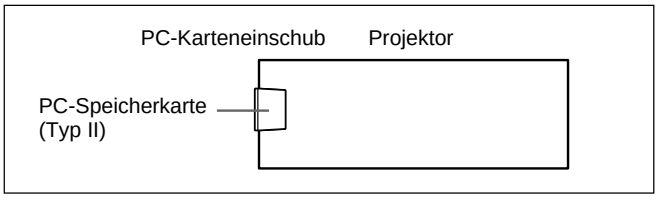
Anschließen an ein drahtloses LAN über einen drahtlosen LAN-Zugriffspunkt



Anschließen an ein drahtloses LAN ohne drahtlosen LAN-Zugriffspunkt (Peer-to-Peer-Modus)



Verwenden einer Speicherkarte



Verwenden einer PC-Karte

Der PC-Karteneinschub an INPUT B (VPL-PX15) oder INPUT C (VPL-FX50 und VPL-FE110M) am Projektor ist für eine PCMCIA-PC-Karte des Typs II geeignet. Zum Anschließen an ein LAN müssen Sie eine spezifizierte/empfohlene LAN-PC-Karte (nur VPL-FE110M) oder eine drahtlose LAN-PC-Karte in diesen Einschub einsetzen.
Sie können auch eine empfohlene PC-Speicherkarte in diesen Einschub einsetzen. Wenn Sie eine mit Microsoft PowerPoint oder Excel erstellte Datei oder eine Bilddatei auf einer Speicherkarte speichern, können Sie eine Präsentation auch ausführen, ohne den Projektor an einen Computer anschließen zu müssen.

Hinweise

- Schalten Sie den Projektor nicht aus, und starten Sie Windows CE auf dem Projektor nicht neu, während auf die PC-Karte geschrieben oder davon gelesen wird.
- Verwenden Sie unbedingt die spezifizierte/empfohlene LAN-PC-Karte, die drahtlose LAN-PC-Karte oder die PC-Speicherkarte. Einzelheiten zu den spezifizierten/empfohlenen Karten finden Sie in der mitgelieferten Übersicht “Spezifizierte(r)/empfohlene(r) PC-Karte/drahtloser LAN-Zugriffspunkt”.
- Die Treibersoftware für die spezifizierten/empfohlenen PC-Karten ist werkseitig im Projektor installiert. Es ist also nicht nötig und auch nicht möglich, eine andere Treibersoftware zu installieren.

Informationen zum Einsetzen und Herausnehmen der PC-Karte finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

Einstellungen für die Netzwerkfunktion

Zum Aktivieren der Netzwerkfunktion des Projektors nehmen Sie folgende Einstellungen vor.

■ Beim VPL-PX15
Setzen Sie FUNKT.INPUT-B im Menü ANFANGSWERTE auf EIN.

Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

■ Beim VPL-FX50
Setzen Sie FUNKT. INPUT-C im Menü ANFANGSWERTE auf EIN.

Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

■ Beim VPL-FE110M
Stellen Sie den Wählschalter INPUT C/RS-232C/RS-422A an der Rückseite auf INPUT C.

Verwenden der Fernbedienung oder einer Maus und Tastatur

■ Beim VPL-PX15 und VPL-FX50
Wenn Sie den Projektor zum Konfigurieren des Projektors, Ausführen einer Präsentation usw. bedienen wollen, verwenden Sie die mitgelieferte Fernbedienung. Stellen Sie den Wählschalter PJ/NETWORK auf der Fernbedienung vor dem Betrieb auf NETWORK.
Sie können keine Maus und keine Tastatur an den Projektor anschließen.

■ Beim VPL-FE110M
Wenn Sie den Projektor zum Konfigurieren des Projektors, Ausführen einer Präsentation usw. bedienen wollen, müssen Sie die Fernbedienung RM-PJM610 (nicht mitgeliefert) oder eine handelsübliche PS/2-Maus und Tastatur verwenden.

Hinweis

Schließen Sie Maus und Tastatur an den Projektor an, bevor Sie das Netzkabel des Projektors in die Netzsteckdose stecken.

Informationen zum Anschließen von Maus und Tastatur finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

Informationen zum Arbeiten mit der Fernbedienung RM-PJM610 (nicht mitgeliefert) finden Sie in der Bedienungsanleitung zur Fernbedienung.

Konfigurieren des Projektors

Für die Netzwerkfunktionen des Projektors sind grundlegende Konfigurationsschritte wie Einstellen der IP-Adresse und Einstellungen für das drahtlose LAN erforderlich. Diese Einstellungen können Sie über den Projektor oder einen an dasselbe LAN angeschlossenen Computer vornehmen.

Vor dem Konfigurieren

■ Beim VPL-PX15 und VPL-FX50

- Schalten Sie den Projektor mit der Taste I/⏻ auf der mitgelieferten Fernbedienung oder auf dem Bedienfeld des Projektors ein.
- Vergewissern Sie sich, daß FUNKT.INPUT-B (VPL-PX15) oder FUNKT.INPUT-C (VPL-FX50) im Menü ANFANGSWERTE auf EIN gesetzt wurde.
- Drücken Sie die Taste INPUT auf der mitgelieferten Fernbedienung oder dem Bedienfeld des Projektors, und wählen Sie INPUT B (VPL-PX15) oder INPUT C (VPL-FX50) aus. Das Fenster “Network Projector” wird angezeigt.
- Stellen Sie den Wählschalter PJ/NETWORK auf der Fernbedienung auf NETWORK.
- Wenn Sie die Konfiguration vom Projektor aus vornehmen, lassen Sie die Bildschirmtastatur am Projektor anzeigen, und arbeiten Sie mit der mitgelieferten Fernbedienung.
  Näheres zur Bildschirmtastatur finden Sie auf Seite 29 (DE).
- Schalten Sie den Computer ein, von dem aus Sie den Projektor konfigurieren wollen.

■ Beim VPL-FE110M

- Vergewissern Sie sich, daß der Wählschalter INPUT C/RS-232C/RS-422A auf INPUT C steht.
- Schalten Sie den Projektor mit der Taste ON auf der Fernbedienung RM-PJM610, auf der mitgelieferten Fernbedienung oder auf dem Bedienfeld des Projektors ein.
- Drücken Sie die Taste INPUT auf der RM-PJM610 bzw. die Taste INPUT SELECT auf der mitgelieferten Fernbedienung oder dem Bedienfeld des Projektors, und wählen Sie INPUT C aus. Das Fenster “Network Projector” wird angezeigt.
- Wenn Sie die Konfiguration vom Projektor aus vornehmen, lassen Sie die Bildschirmtastatur am Projektor anzeigen, und arbeiten Sie mit der angeschlossenen Maus und Tastatur oder mit der Fernbedienung RM-PJM610.
  Näheres zur Bildschirmtastatur finden Sie auf Seite 29 (DE).
- Schalten Sie den Computer ein, von dem aus Sie den Projektor konfigurieren wollen.

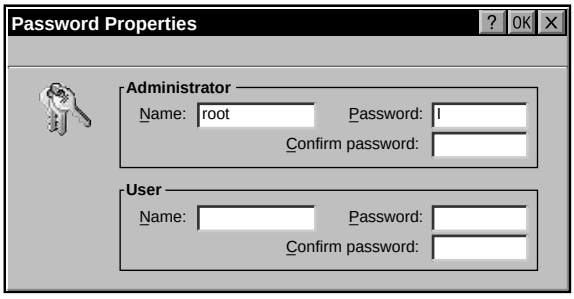
Konfigurieren über den Projektor selbst

Definieren eines Kennworts

Sie können zum Schutz vor Zugriff durch entfernte Netzwerkbenutzer ein Kennwort definieren.

1 Klicken Sie vom Menü “Start” aus auf “Control Panel” (Systemsteuerung) im Fenster “Network Projector”.

2 Doppelklicken Sie auf das Symbol “Password” (Kennwort).
Das Dialogfeld “Password Properties” (Kennworteigenschaften) erscheint.



3 Geben Sie das “Password” für den “Administrator” ein, und geben Sie dann dasselbe Kennwort nochmals in das Textfeld “Confirm password” (Kennwort bestätigen) ein.
Der “Name” für den “Administrator” ist werkseitig auf “root” eingestellt. Er läßt sich nicht ändern.

4 Geben Sie “Name” und “Password” für den “User” (Benutzer) ein, und geben Sie dann dasselbe Kennwort nochmals in das Textfeld “Confirm password” ein.

Wenn Sie den Projektor von einem Computer aus steuern und dazu aufgefordert werden, das Kennwort für den Administrator oder den Benutzer einzugeben, geben Sie den Namen und das Kennwort ein, den bzw. das Sie in Schritt **3** und **4** definiert haben.

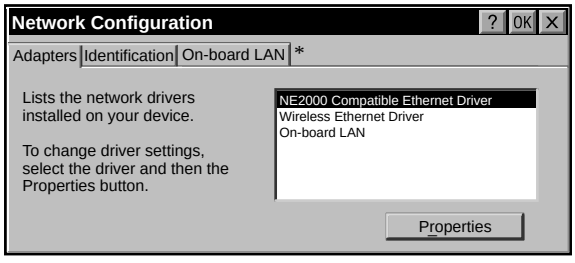
Einrichten der Netzwerkkonfiguration

Zum Herstellen einer LAN-Verbindung müssen Sie das Netzwerk konfigurieren, d. h. die IP-Adresse einstellen usw. Die IP-Adresse des Projektors wird auf der Task-Leiste des Fensters “Network Projector” des Projektors angezeigt.
Wenn die Verbindungsumgebung wechselt, müssen Sie die Netzwerkkonfiguration erneut vornehmen.

Weitere Informationen dazu erhalten Sie bei Ihrem Netzwerkadministrator.

1 Klicken Sie vom Menü “Start” aus auf “Control Panel” (Systemsteuerung) im Fenster “Network Projector”.

2 Doppelklicken Sie auf das Symbol “Network” (Netzwerk).
Das Dialogfeld “Network Configuration” (Netzwerkkonfiguration) wird angezeigt.


Network Configuration
? OK X
Adapters Identification On-board LAN *
Lists the network drivers installed on your device.
To change driver settings, select the driver and then the Properties button.
NE2000 Compatible Ethernet Driver
Wireless Ethernet Driver
On-board LAN
Properties

* Die Registerkarte “On-board LAN” wird beim VPL-PX15 und VPL-FX50 angezeigt.

3 Wählen Sie den Treibernamen je nach Netzwerkverbindungstyp aus.
Sie können einen der folgenden Treibernamen auswählen.

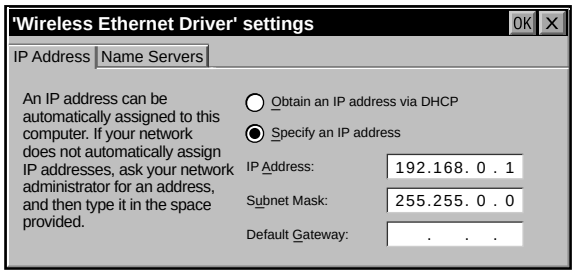
NE2000 Compatible Ethernet Driver: Bei Verwendung der empfohlenen NE2000-kompatiblen PC-LAN-Karte.

Wireless Ethernet Driver: Bei Verwendung der spezifizierten/empfohlenen drahtlosen LAN-PC-Karte.

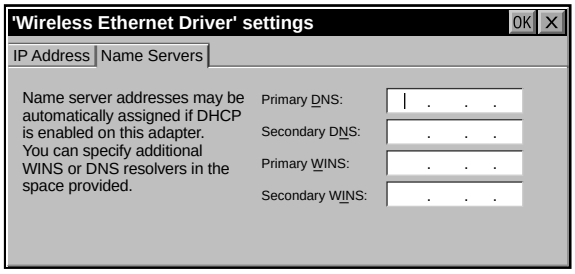
On-board LAN: Bei Verwendung des Anschlusses ETHER für die Verbindung zum LAN (wird beim VPL-PX15 und VPL-FX50 angezeigt)

Das Dialogfeld zum Einstellen des ausgewählten Treibers erscheint.

4 Vergewissern Sie sich, daß das Optionsfeld “Specify an IP Address” (IP-Adresse angeben) ausgewählt ist, und stellen Sie die erforderlichen Optionen ein.
“IP Address” (IP-Adresse) ist anfangs auf “192.168.0.1” gesetzt, und für “Subnet Mask” (Teilnetzmaske) ist werkseitig “255.255.0.0” eingestellt.

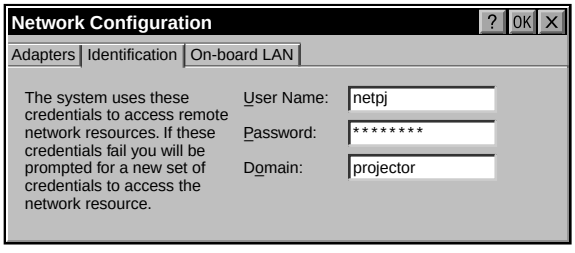

'Wireless Ethernet Driver' settings
OK X
IP Address Name Servers
An IP address can be automatically assigned to this computer. If your network does not automatically assign IP addresses, ask your network administrator for an address, and then type it in the space provided.
Obtain an IP address via DHCP
Specify an IP address
IP Address: 192.168. 0 . 1
Subnet Mask: 255.255. 0 . 0
Default Gateway: . . .

5 Klicken Sie auf die Registerkarte “Name Servers” (Namens-Server), um das Dialogfeld “Name Servers” aufzurufen, und stellen Sie die erforderlichen Optionen ein.


'Wireless Ethernet Driver' settings
OK X
IP Address Name Servers
Name server addresses may be automatically assigned if DHCP is enabled on this adapter. You can specify additional WINS or DNS resolvers in the space provided.
Primary DNS: . . .
Secondary DNS: . . .
Primary WINS: . . .
Secondary WINS: . . .

6 Klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Das Dialogfeld “Network Configuration” wird wieder angezeigt.

7 Klicken Sie, wenn nötig, auf die Registerkarte “Identification” (Identifikation), und stellen Sie die erforderlichen Optionen ein.


Network Configuration
? OK X
Adapters Identification On-board LAN
The system uses these credentials to access remote network resources. If these credentials fail you will be prompted for a new set of credentials to access the network resource.
User Name: netpj
Password: ********
Domain: projector

8 Klicken Sie auf die Schaltfläche OK.

Wenn Sie eine drahtlose LAN-PC-Karte mit dem VPL-PX15 oder VPL-FX50 verwenden

Wenn Sie in Schritt **3** “Wireless Ethernet Driver” auswählen, gehen Sie nach Schritt **6** wie in den Schritten unten erläutert vor.

1 Klicken Sie auf die Registerkarte “On-board LAN” (auf der Karte integriertes LAN).

2 Deaktivieren Sie das Kontrollkästchen “Enable On-board LAN” (On-board LAN aktivieren).

3 Klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Das Fenster in Schritt **2** wird wieder angezeigt.

(Fortsetzung)

Hinweis

Wenn das auf der Karte integrierte LAN deaktiviert ist, wird die Option nicht bei den Treibernamen im Dialogfeld “Network Configuration” angezeigt. Wenn Sie “On-board LAN” auswählen wollen, aktivieren Sie das Kontrollkästchen “Enable On-board LAN”, und gehen Sie nochmals wie ab Schritt **2** unter “Einrichten der Netzwerkkonfiguration” erläutert vor.

Konfigurieren einer drahtlosen LAN-Umgebung

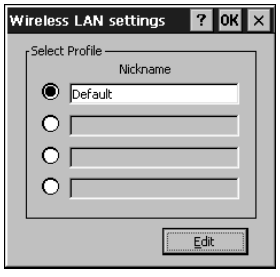
Konfigurieren Sie den Zugriffspunkt, an den der Projektor angeschlossen wird, folgendermaßen.

Verwenden eines drahtlosen LAN-Zugriffspunktes

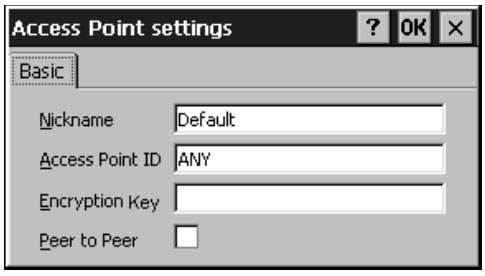
Konfigurieren Sie den Zugriffspunkt, an den der Projektor angeschlossen wird, folgendermaßen.

1 Klicken Sie vom Menü “Start” aus auf “Control Panel” (Systemsteuerung) im Fenster “Network Projector”.

2 Doppelklicken Sie auf das Symbol “Wireless LAN” (drahtloses LAN).
Das Dialogfeld “Wireless LAN settings” (Einstellungen für das drahtlose LAN) erscheint.



3 Klicken Sie auf die Schaltfläche “Edit” (Bearbeiten).
Das Dialogfeld “Access Point settings” (Einstellungen für den Zugriffspunkt) erscheint.



4 Geben Sie einen Spitznamen in das Feld “Nickname” (Spitzname) ein.
Mit dem Spitznamen wird der Zugriffspunkt identifiziert. Geben Sie bis zu 32 alphanumerische Zeichen und Symbole (ASCII-Zeichen) für den Spitznamen ein. Wenn mehrere Zugriffspunkte vorhanden sind, müssen Sie jedem einen anderen Namen zuweisen.

5 Geben Sie die Zugriffspunkt-ID in das Feld “Access Point ID” ein.
Geben Sie die ID ein, die für den Zugriffspunkt spezifiziert wurde, zu dem Sie eine Verbindung herstellen.

6 Geben Sie den Verschlüsselungsschlüssel in das Feld “Encryption Key” ein.
Geben Sie den Verschlüsselungsschlüssel ein, wenn er eingestellt und auf dem Zugriffspunkt aktiv ist.

7 Klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Das Dialogfeld “Wireless LAN settings” erscheint wieder.

8 Klicken Sie auf das Optionsfeld für den zu verwendenden Spitznamen, und klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Die Verbindung zum ausgewählten Zugriffspunkt wird hergestellt.

So stellen Sie eine Verbindung zu einem bereits konfigurierten Zugriffspunkt her

Wenn mehrere Zugriffspunkte vorhanden sind, können Sie diesen bis zu vier Spitznamen zuweisen. Wenn Sie eine Verbindung zu einem bereits konfigurierten Zugriffspunkt herstellen wollen, wählen Sie das Optionsfeld neben dem entsprechenden Spitznamen aus, und klicken dann im Fenster “Wireless LAN settings” auf die Schaltfläche OK. Die Verbindung zum ausgewählten Zugriffspunkt wird hergestellt.

Hinweis

Wenn die drahtlose LAN-Karte im Projektor und der drahtlose LAN-Zugriffspunkt nicht vom gleichen Hersteller stammen, muß der Verschlüsselungsschlüssel unter Umständen auf andere Art eingegeben werden. Wenn der Verschlüsselungsschlüssel in Form von Hexadezimalwerten angezeigt wird, geben Sie die Hexadezimalwerte in das Dialogfeld “Encryption key” ein.

Wenn zwischen dem Zugriffspunkt und dem Projektor keine Kommunikation stattfindet

Wenn der Kanal für den Zugriffspunkt auf 12 - 14 eingestellt ist, stellen Sie einen Kanal zwischen 1 und 11 ein.

Hinweise

- Wenden Sie sich an qualifiziertes Personal von Sony, falls beim Arbeiten mit der spezifizierten/empfohlenen drahtlosen LAN-PC-Karte von Sony Probleme auftreten.
- Wenn die drahtlose LAN-Karte und der drahtlose LAN-Zugriffspunkt nicht vom gleichen Hersteller stammen, ist keine ordnungsgemäße Kommunikation mit aktivierter Verschlüsselung möglich.

Peer-to-Peer-Modus (Ad-hoc-Modus)

Wenn Sie die Verbindung zwischen dem Projektor und den Computern über ein drahtloses LAN, aber ohne drahtlosen LAN-Zugriffspunkt herstellen wollen, gehen Sie am Projektor wie im folgenden erläutert vor.

1 Gehen Sie wie in Schritt **1** bis **4** unter “Verwenden eines drahtlosen LAN-Zugriffspunktes” erläutert vor. Geben Sie in das Dialogfeld “Access Point settings” (Einstellungen für den Zugriffspunkt) einen Spitznamen für diesen Modus ein.

2 Klicken Sie auf das Kontrollkästchen neben “Peer to Peer”.

3 Geben Sie wahlweise eine Zugriffspunkt-ID in das Feld “Access Point ID” ein.
Sie können bis zu 32 alphanumerische Zeichen für die ID eingeben.

4 Geben Sie den “Encryption Key” (Verschlüsselungsschlüssel) ein, wenn Sie ihn aktivieren wollen.

5 Klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Das Dialogfeld “Wireless LAN settings” (Einstellungen für das drahtlose LAN) erscheint wieder.

6 Klicken Sie auf das Optionsfeld für den Spitznamen, den Sie in Schritt **1** eingegeben haben.
Der Peer-to-Peer-Modus wird aktiviert.

Für die angeschlossenen Computer müssen Sie dieselbe “Access Point ID” (Zugriffspunkt-ID) und denselben “Encryption Key” (Verschlüsselungsschlüssel) eingeben wie in den Schritten oben sowie wahlweise einen “Nickname” (Spitznamen). Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zur drahtlosen LAN-PC-Karte, die in den Computern installiert ist.

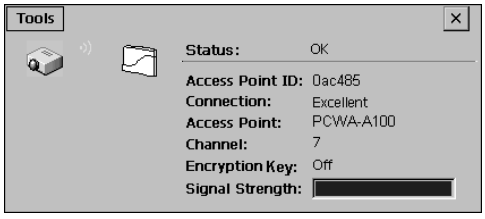
Hinweise

- Verwenden Sie für den Projektor und den Computer drahtlose LAN-PC-Karten desselben Herstellers.
- Wenn der Peer-to-Peer-Modus (Ad-hoc-Modus) auf einem der angeschlossenen Computer konfiguriert ist, gehen Sie wie in Schritt **1** sowie Schritt **3** bis **6** oben erläutert vor und geben dieselbe Zugriffspunkt-ID und denselben Verschlüsselungsschlüssel wie am Computer sowie wahlweise einen Spitznamen für den Projektor ein.
- Wählen Sie den Peer-to-Peer-Modus (Ad-hoc-Modus) nur für einen der Projektoren und Computer innerhalb eines LANs aus.
- Wenn Sie den Peer-to-Peer-Modus (Ad-hoc-Modus) verwenden, müssen Sie am Projektor und am Computer eine dedizierte IP-Adresse und Teilnetzmaske für diesen Modus definieren.

Überprüfen der Verbindung mit dem Zugriffspunkt

Sie können überprüfen, ob der Projektor korrekt an den Zugriffspunkt angeschlossen ist.

1 Doppelklicken Sie auf das Symbol (Empfangspegelanzeige) auf der Task-Leiste des Fensters “Network Projector”.
Das Fenster wird angezeigt, das den Verbindungsstatus zwischen dem Projektor und dem Zugriffspunkt angibt.



2 Überprüfen Sie bitte folgendes:
- Status: OK wird angezeigt, wenn der Projektor die drahtlose LAN-PC-Karte richtig erkennen kann.
- Access Point ID: Zugriffspunkt-ID
- Connection: Status der Verbindung mit dem Zugriffspunkt
- Access Point: Informationen zum angeschlossenen Zugriffspunkt
- Channel: Zugeordneter Kanal
- Encryption Key: Verschlüsselung am angeschlossenen Zugriffspunkt aktiviert oder deaktiviert
- Signal Strength: Signalpegel der Kommunikation zwischen dem Projektor und dem Zugriffspunkt

Wenn an der Zugriffspunkt-ID “searching” (Suche läuft) angezeigt wird

Überprüfen Sie, ob der Spitzname, die Zugriffspunkt-ID und der Verschlüsselungsschlüssel, die Sie eingegeben haben, im Fenster korrekt angezeigt werden.
Wenn Sie “Edit wireless Profiles...” im Menü “Tools” auswählen, wird das Fenster “Wireless LAN settings” aufgerufen. Wenn eine der Angaben nicht korrekt ist, korrigieren Sie sie wie in Schritt **3** bis **8** auf Seite 10 (DE) beschrieben.

Einstellen von Datum und Uhrzeit

Die Uhrzeit wird in der Task-Leiste des Fensters “Network Projector” angezeigt. Zum Einstellen von Datum und Uhrzeit gehen Sie wie in den Schritten unten erläutert vor.

1 Klicken Sie vom Menü “Start” aus auf “Control Panel” (Systemsteuerung) im Fenster “Network Projector”.

2 Doppelklicken Sie auf das Symbol “Date/Time” (Datum/Uhrzeit).

3 Stellen Sie Datum und Uhrzeit ein.

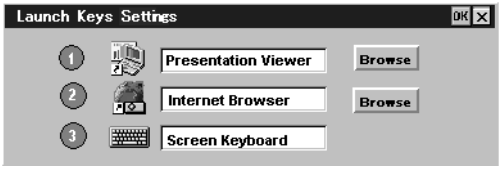
Zuweisen einer Anwendungssoftware zur Taste FUNCTION auf der Fernbedienung (beim VPL-PX15 und VPL-FX50)

Wenn Sie der Taste FUNCTION 1 oder 2 auf der mitgelieferten Fernbedienung eine Anwendung zuweisen, können Sie diese Anwendung mit einem Tastendruck starten. Der Taste FUNCTION 3 wurde werkseitig die Bildschirmtastatur zugewiesen, und Sie können diese Tastenbelegung nicht ändern oder deaktivieren.

Nähere Informationen zur Bildschirmtastatur finden Sie auf Seite 29 (DE).

1 Klicken Sie vom Menü “Start” aus auf “Control Panel” (Systemsteuerung) im Fenster “Network Projector”.

2 Doppelklicken Sie auf das Symbol “Launch Keys” (Starttasten).
Das Dialogfeld “Launch Keys settings” (Starttasten-Einstellungen) erscheint.



3 Klicken Sie für die Taste (1 oder 2), der Sie eine Anwendungssoftware zuweisen wollen, auf “Browse” (Durchsuchen), und klicken Sie dann in der Anwendungsliste auf die gewünschte Anwendung.

4 Gehen Sie nochmals wie in Schritt **3** erläutert vor, wenn Sie auch der anderen Taste eine Anwendung zuweisen wollen.

5 Klicken Sie auf die Schaltfläche OK.

Konfigurieren von einem Computer aus

Hinweise

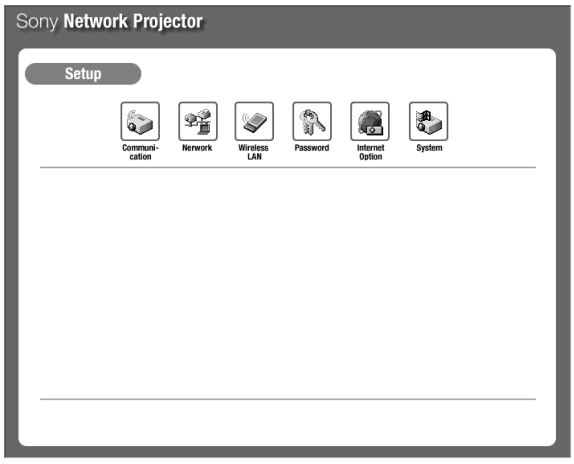
- Schließen Sie einen einzelnen Computer, den Sie zum Konfigurieren benutzen, an den Projektor an, wenn die IP-Adresse des Projektors unverändert auf den werkseitig vorgegebenen Wert eingestellt ist.
- Wenn für den Browser des Computers die Option “Internetzugang über Proxyserver aktivieren” eingestellt ist und Sie vom Computer aus Zugriff auf den Projektor haben, geben Sie die IP-Adresse des Projektors in das Feld “Internetzugang nicht über Proxyserver aktivieren” ein.
- Je nach Browser-Version akzeptiert der Computer das Kennwort für den Projektor unter Umständen nicht. Starten Sie in diesem Fall den Browser neu.

Öffnen des Konfigurationsfensters

1 Starten Sie die Browser-Software des Computers (Internet Explorer Version 4.0 oder höher oder Netscape Navigator Version 4.5x oder 4.7x).

2 Geben Sie “http://xxx.xxx.xxx.xxx (für die IP-Adresse des Projektors)/setup” ein.
Wenn die IP-Adresse unverändert auf den werkseitig vorgegebenen Wert eingestellt ist, geben Sie “http://192.168.0.1/setup” ein (bei Verwendung einer LAN-PC-Karte) oder “http://192.168.0.2/setup” (bei Verwendung des Anschlusses ETHER).
Wenn die Nummer der IP-Adresse mit 0 (Null) beginnt, geben Sie die Nummer ohne 0 ein.
Beispiel: 192.168.000.001 → 192.168.0.1
Das Dialogfeld “Password” (Kennwort) erscheint.

3 Geben Sie “Name” und “Password” für den “Administrator” ein.
Wenn sich eines Kennworts nicht von der werkseitig eingestellten unterscheidet, geben Sie “root” in das Textfeld “Name” ein.
Das Fenster “Setup” (Konfiguration) erscheint.



Definieren eines Kennworts

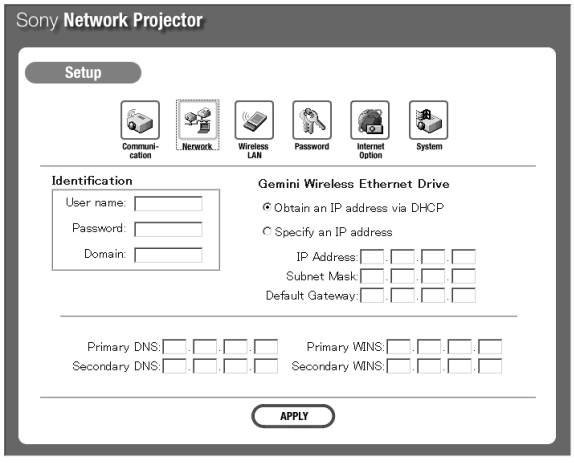
1 Klicken Sie im Fenster “Setup” (Konfiguration) auf das Symbol “Password” (Kennwort).
Das Dialogfeld zum Definieren des Kennworts erscheint.
Das Definieren erfolgt genau wie am Projektor auch.

Einzelheiten dazu finden Sie unter “Definieren eines Kennworts” auf Seite 8 (DE).

2 Klicken Sie auf die Schaltfläche “APPLY” (Anwenden).

Einrichten der Netzwerkkonfiguration

1 Klicken Sie im Fenster “Setup” (Konfiguration) auf das Symbol “Network” (Netzwerk).
Das Fenster “Network configuration” (Netzwerkkonfiguration) erscheint.



In diesem Fenster können Sie die in Schritt **4** bis **7** unter “Einrichten der Netzwerkkonfiguration” auf Seite 9 (DE) erläuterten Optionen einstellen.

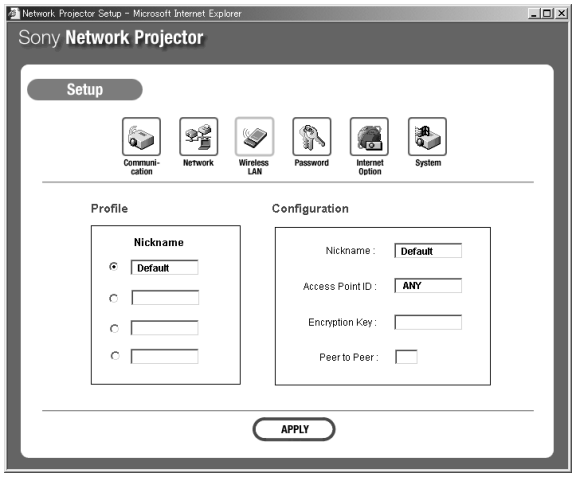
Näheres dazu finden Sie unter “Einrichten der Netzwerkkonfiguration” auf Seite 9 (DE).

2 Klicken Sie auf die Schaltfläche “APPLY” (Anwenden).
Das Fenster zum erneuten Starten erscheint.

3 Klicken Sie auf die Schaltfläche “RESTART” (Neustart).
Wenn der Projektor eingeschaltet und das Fenster “Network Projector” geöffnet ist, wird der Projektionsschirm etwa 10 Sekunden lang ausgeschaltet, und dann wird der Projektor neu gestartet.
Die Netzwerkeinstellung tritt erst in Kraft, wenn Sie den Projektor neu starten.

Konfigurieren einer drahtlosen LAN-Umgebung

1 Klicken Sie im Fenster “Setup” (Konfiguration) auf das Symbol “Wireless LAN” (drahtloses LAN). Das Dialogfeld zum Einstellen des “Nickname” (Spitznamens), der “Access Point ID” (Zugriffspunkt-ID), des “Encryption Key” (Verschlüsselungsschlüssels) und des “Peer to Peer” wird angezeigt. Die Konfiguration erfolgt genau wie am Projektor auch.



Nähere Einzelheiten finden Sie unter “Konfigurieren einer drahtlosen LAN-Umgebung – Verwenden eines drahtlosen LAN-Zugriffspunktes/Peer-to-Peer-Modus (Ad-hoc-Modus)” auf Seite 10 (DE) und 11 (DE).

2 Klicken Sie auf die Schaltfläche “APPLY” (Anwenden).

Flußdiagramme für die Grundfunktionen

In diesem Abschnitt wird das Flußdiagramm zum Arbeiten mit dem Projektor über ein Netzwerk bzw. zum Verwenden der integrierten Netzwerkfunktion des Projektors erläutert. Dabei gibt es zwei Typen von Flußdiagrammen: für das Arbeiten von einem Computer und vom Projektor aus. Näheres finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten.

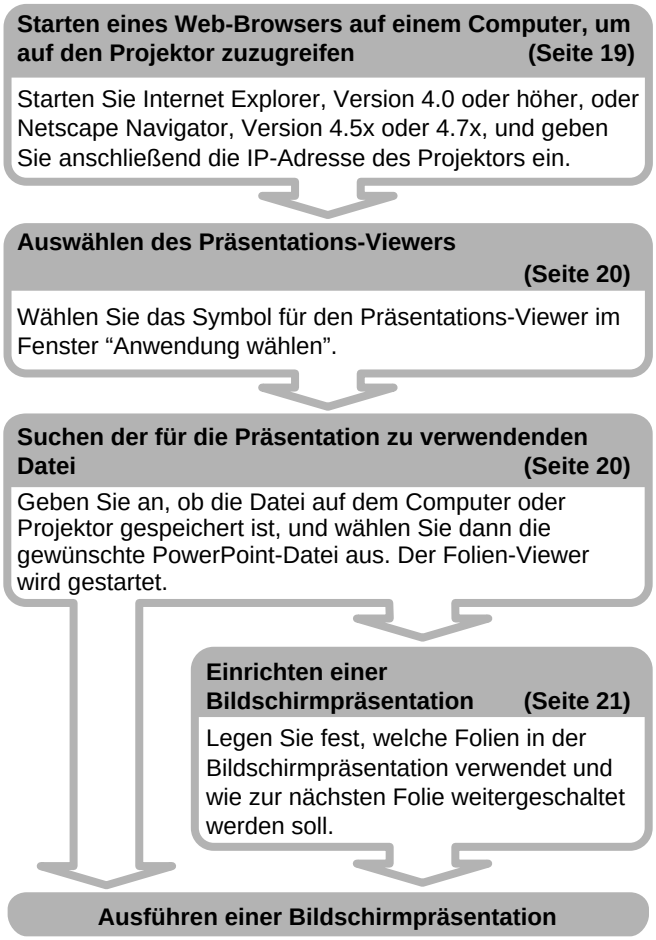
Voraussetzungen

- Der Projektor und der Computer sind an dasselbe lokale Netz (LAN) angeschlossen.
- Der Projektor und der Computer sind eingeschaltet.
- Die Option FUNKT.INPUT-B (VPL-PX15) oder FUNKT.INPUT-C (VPL-FX50) im Menü ANFANGSWERTE ist auf EIN gesetzt.
- Der Wählschalter INPUT C/RS-232C/RS-422A steht auf INPUT C (VPL-FE110M).
- Am Projektor ist der Eingang INPUT B (VPL-PX15) oder INPUT C (VPL-FX50 und VPL-FE110M) eingestellt.

Betrieb von einem Computer aus

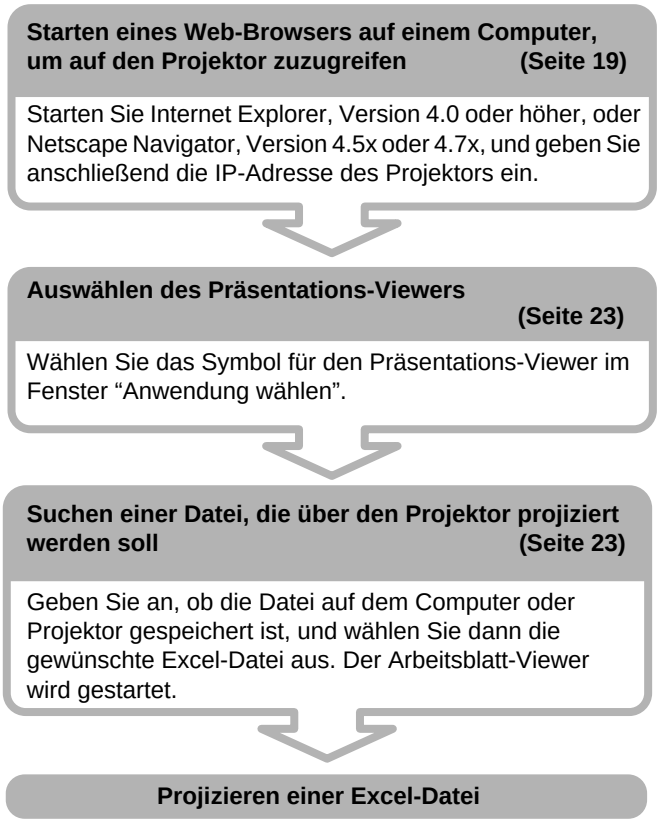
Ausführen einer Präsentation mit einer in PowerPoint erstellten Datei

Sie können eine Präsentation, bei der Sie eine mit PowerPoint erstellte Datei verwenden, von einem Computer aus steuern.


Starten eines Web-Browsers auf einem Computer, um auf den Projektor zuzugreifen (Seite 19)
Starten Sie Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, oder Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x, und geben Sie anschließend die IP-Adresse des Projektors ein.
Auswählen des Präsentations-Viewers (Seite 20)
Wählen Sie das Symbol für den Präsentations-Viewer im Fenster “Anwendung wählen”.
Suchen der für die Präsentation zu verwendenden Datei (Seite 20)
Geben Sie an, ob die Datei auf dem Computer oder Projektor gespeichert ist, und wählen Sie dann die gewünschte PowerPoint-Datei aus. Der Folien-Viewer wird gestartet.
Einrichten einer Bildschirmpräsentation (Seite 21)
Legen Sie fest, welche Folien in der Bildschirmpräsentation verwendet und wie zur nächsten Folie weitergeschaltet werden soll.
Ausführen einer Bildschirmpräsentation

Projizieren einer Excel-Datei mit dem Projektor

Sie können eine Excel-Datei computergesteuert über den Projektor projizieren.


Starten eines Web-Browsers auf einem Computer, um auf den Projektor zuzugreifen (Seite 19)
Starten Sie Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, oder Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x, und geben Sie anschließend die IP-Adresse des Projektors ein.
Auswählen des Präsentations-Viewers (Seite 23)
Wählen Sie das Symbol für den Präsentations-Viewer im Fenster “Anwendung wählen”.
Suchen einer Datei, die über den Projektor projiziert werden soll (Seite 23)
Geben Sie an, ob die Datei auf dem Computer oder Projektor gespeichert ist, und wählen Sie dann die gewünschte Excel-Datei aus. Der Arbeitsblatt-Viewer wird gestartet.
Projizieren einer Excel-Datei

Projizieren eines Bildes mit dem Projektor unter Verwendung einer auf dem Computer gespeicherten Datei

Sie können ein Bild vom Computer aus auf den Projektor übertragen und projizieren.

Starten eines Web-Browsers auf einem Computer, um auf den Projektor zuzugreifen (Seite 19)

Starten Sie Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, oder Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x, und geben Sie anschließend die IP-Adresse des Projektors ein.

Auswählen des Bild-Viewers des Projektors (Seite 23)

Wählen Sie das Symbol für den Bild-Viewer im Fenster “Anwendung wählen”.

Auswählen des Speicherorts der Datei (Seite 23)

Wählen Sie “Computer” im Fenster “Suchen in”. Der Bild-Viewer wird gestartet.

Suchen einer Datei, die mit dem Projektor projiziert werden soll (Seite 24)

Wählen Sie die gewünschte Bilddatei aus, indem Sie auf die Schaltfläche “Durchsuchen” klicken.

Projizieren eines Bildes

Projizieren eines Bildes oder Ausführen einer Bildschirmpräsentation mit dem Projektor unter Verwendung einer im Projektor gespeicherten Datei

Wenn Sie eine im Projektor oder auf einer PC-Speicherkarte gespeicherte Bilddatei verwenden, können Sie das Bild computergesteuert über den Projektor projizieren. Sie können zum Ausführen einer Bildschirmpräsentation auch eine im Projektor voreingestellte Einstellungsdatei für die Bildschirmpräsentation verwenden.

Starten eines Web-Browsers auf einem Computer, um auf den Projektor zuzugreifen (Seite 19)

Starten Sie Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, oder Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x, und geben Sie anschließend die IP-Adresse des Projektors ein.

Auswählen des Bild-Viewers des Projektors (Seite 25)

Wählen Sie das Symbol für den Bild-Viewer im Fenster “Anwendung wählen”.

Auswählen des Speicherorts der Datei (Seite 25)

Wählen Sie “Projektor” im Fenster “Suchen in”. Der Bild-Viewer wird gestartet.

Auswählen des Ordners mit den zu projizierenden Bildern (Seite 25)

Wählen Sie im Fenster “Ordner/.SHO-Datei wählen” einen Ordner aus.

Projizieren eines Bildes

Auswählen der Einstellungsdatei zum Ausführen der Bildschirmpräsentation (Seite 25)

Wählen Sie im Fenster “Ordner/.SHO-Datei wählen” die gewünschte .SHO-Datei aus.

Einrichten einer Bildschirmpräsentation (Seite 25)

Legen Sie fest, wie und wann während einer Bildschirmpräsentation die nächste Folie angezeigt wird.

Ausführen einer Bildschirmpräsentation

Verwalten von Dateien mit dem Datei-Manager

Sie können auf einem Computer gespeicherte Dateien in den Speicher des Projektors übertragen oder Dateien im Projektor löschen.

Starten eines Web-Browsers auf einem Computer, um auf den Projektor zuzugreifen (Seite 19)

Starten Sie Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, oder Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x, und geben Sie anschließend die IP-Adresse des Projektors ein.

Starten des Datei-Managers (Seite 26)

Wählen Sie das Symbol für den Datei-Manager im Fenster “Anwendung wählen”.

Hinzufügen von Dateien (Seite 26)

Wählen Sie eine Datei auf einem Computer aus, die im Speicher des Projektors abgelegt werden soll.

Hinzufügen einer Datei

Löschen von Dateien (Seite 26)

Wählen Sie im Projektor die Datei aus, die gelöscht werden soll.

Löschen einer Datei

Steuern des Projektors

Sie können verschiedene Einstellungen am Projektor von einem Computer aus vornehmen.

Starten eines Web-Browsers auf einem Computer, um auf den Projektor zuzugreifen (Seite 19)

Starten Sie Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, oder Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x, und geben Sie anschließend die IP-Adresse des Projektors ein.

Aufrufen des Steuerfensters (Seite 27)

Klicken Sie auf die Schaltfläche “MORE...”.

Einstellen des Projektors

Betrieb vom Projektor aus

Ausführen einer Präsentation mit einer auf dem Computer gespeicherten Datei

Unmittelbar nachdem Sie eine mit PowerPoint erstellte und auf einem Computer gespeicherte Datei aufgerufen haben, können Sie vom Projektor aus eine Präsentation starten.

Starten des Projektors über “My Projector” (Seite 31)

Doppelklicken Sie auf das Symbol “My Projector”.

Auswählen der für die Präsentation zu verwendenden Datei (Seite 31)

Geben Sie den Namen des Computers ein, auf dem die zu verwendende Datei gespeichert ist, und wählen Sie dann die PowerPoint-Datei aus. Der Folien-Viewer wird gestartet, und die ausgewählte Datei erscheint in der Folienansicht.

Einrichten einer Bildschirmpräsentation (Seite 31)

Legen Sie fest, welche Folien in der Bildschirmpräsentation verwendet und wie zur nächsten Folie weitergeschaltet werden soll.

Ausführen einer Bildschirmpräsentation

Ausführen einer Präsentation mit einer im Projektor oder auf einer PC-Speicherkarte gespeicherten Datei

Wenn Sie eine im Projektor oder auf einer PC-Speicherkarte gespeicherte PowerPoint-Datei verwenden, können Sie eine Präsentation ausführen, indem Sie nur den Projektor bedienen.

Starten des “Presentation Viewer” (Seite 31)

Doppelklicken Sie auf das Symbol für den “Presentation Viewer”.

Auswählen der für die Präsentation zu verwendenden Datei (Seite 31)

Wählen Sie die gewünschte PowerPoint-Datei im Dialgofeld “Open File” aus. Der Folien-Viewer wird gestartet, und die ausgewählte Datei erscheint in der Folienansicht.

Einrichten einer Bildschirmpräsentation (Seite 31)

Legen Sie fest, welche Folien in der Bildschirmpräsentation verwendet und wie zur nächsten Folie weitergeschaltet werden soll.

Ausführen einer Bildschirmpräsentation

Projizieren einer auf einem Computer gespeicherten Excel-Datei

Sie können eine auf einem Computer in demselben LAN gespeicherte Excel-Datei projizieren, indem Sie nur den Projektor bedienen.

Starten von “My Projector” (Projektor) (Seite 32)

Doppelklicken Sie auf das Symbol für “My Projector”.

Auswählen der Datei, die projiziert werden soll (Seite 32)

Geben Sie den Namen des Computers ein, auf dem die zu verwendende Datei gespeichert ist, und wählen Sie dann die Excel-Datei aus. Der Arbeitsblatt-Viewer wird gestartet, und die ausgewählte Datei wird mit dem Projektor projiziert.

Projizieren einer im Projektor oder auf einer Speicherkarte gespeicherten Excel-Datei

Sie können Excel-Arbeitsblätter anzeigen, die im Projektor oder auf einer im Projektor installierten Speicherkarte gespeichert sind.

Starten des “Presentation Viewer” (Seite 32)

Doppelklicken Sie auf das Symbol für den “Presentation Viewer”.

Auswählen der Datei, die projiziert werden soll (Seite 32)

Wählen Sie die Excel-Datei im Dialgofeld “Open File” aus. Der Arbeitsblatt-Viewer wird gestartet, und die ausgewählte Datei wird mit dem Projektor projiziert.

Ausführen einer Bildschirmpräsentation mit einer im Projektor oder auf der Speicherkarte gespeicherten Bilddatei

Sie können eine Bildschirmpräsentation mit einer im Projektor oder auf der Speicherkarte gespeicherten Bilddatei ausführen, indem Sie nur den Projektor bedienen.

Starten des Bild-Viewers **(Seite 33)**

Doppelklicken Sie auf das Symbol für den “Image Viewer”.

Auswählen der Dateien für die Bildschirmpräsentation **(Seite 34)**

Klicken Sie auf den Ordner, der die gewünschten Dateien enthält. Alle Folien im Ordner werden in Miniaturfenstern angezeigt.

Auswählen der Folien für die Bildschirmpräsentation **(Seite 34)**

Wählen Sie die gewünschten Folien aus. Wenn Sie alle Folien in den Miniaturfenstern auswählen wollen, klicken Sie auf "Select all" (Alle auswählen) im Menü "Slide Show" (Bildschirmpräsentation).

Bearbeiten eines Bildes **(Seite 34)**

Zoomen oder drehen Sie die Folie.

Ausführen einer Bildschirmpräsentation

Wählen Sie aus, wie zur nächsten Folie weitergeschaltet werden soll. Die Bildschirmpräsentation beginnt.

Herstellen einer Verbindung zum Internet

Starten des “Internet Browser” **(Seite 35)**

Doppelklicken Sie auf das Symbol für den “Internet Browser”.

Betrieb von einem Computer aus

Vorbereitungen

Erster Schritt

■ **Beim VPL-PX15**
Vergewissern Sie sich, daß FUNKT.INPUT-B im Menü ANFANGSWERTE auf EIN gesetzt wurde.

■ **Beim VPL-FX50**
Vergewissern Sie sich, daß FUNKT.INPUT-C im Menü ANFANGSWERTE auf EIN gesetzt wurde.

■ **Beim VPL-FE110M**
Vergewissern Sie sich, daß der Wählschalter INPUT C/RS-232C/RS-422A auf INPUT C steht.

Starten des Browsers, um auf den Projektor zuzugreifen

Um den Projektor von einem Computer aus steuern zu können, müssen Sie durch Starten des Browsers auf dem Computer auf den Projektor zugreifen. Geeignete Browser sind Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, und Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x.

1 Schalten Sie den Projektor ein.

2 Stellen Sie als Eingang für den Projektor INPUT B (VPL-PX15) oder INPUT C (VPL-FX50 und VPL-FE110M) ein.

3 Schalten Sie den Computer ein.

4 Starten Sie den Browser auf dem Computer.

5 Geben Sie die IP-Adresse des Projektors ein.
Geben Sie “http://xxx.xxx.xxx.xxx (für die IP-Adresse des Projektors)” ein.
Sie können die IP-Adresse verifizieren, da sie in der Task-Leiste im Fenster “Network Projector” angezeigt wird.
Das Fenster “Anwendung wählen” erscheint.
Wenn für den Projektor ein Kennwort definiert ist, erscheint das Dialogfeld zum Eingeben des Kennworts. Geben Sie “Name” und “Password” (Kennwort) für den “User” (Benutzer) ein.

Informationen zum Fenster “Anwendung wählen” finden Sie im Abschnitt “Bezeichnungen und Funktionen im Fenster “Anwendung wählen””.

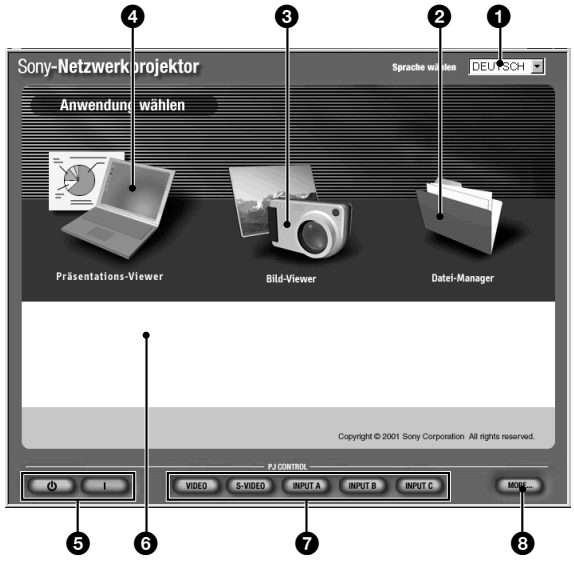
Wie Sie nach den Schritten oben vorgehen, ist auf den Seiten 20 (DE) bis 28 (DE) erläutert.

Hinweise

- Greifen Sie nicht von mehreren Computern gleichzeitig auf den Projektor zu.
- Wenn für den Browser des Computers die Option “Internetzugang über Proxyserver aktivieren” eingestellt ist und Sie vom Computer aus Zugriff auf den Projektor haben, geben Sie die IP-Adresse des Projektors in das Feld “Internetzugang nicht über Proxyserver aktivieren” ein.
- Je nach Browser-Version akzeptiert der Computer das Kennwort für den Projektor unter Umständen nicht. Starten Sie in diesem Fall den Browser neu.
- Wenn der Browser auf einem Computer beendet wird, ohne die Anwendung zu schließen, wird über den Projektor nach etwa 30 Sekunden automatisch wieder das ursprüngliche Fenster “Network Projector” angezeigt. Starten Sie in diesem Fall den Browser neu.

Bezeichnungen und Funktionen im Fenster “Anwendung wählen”

Wenn Sie auf den Projektor zugreifen können, wird das Fenster “Anwendung wählen” geöffnet. Im folgenden werden die Bezeichnungen und Funktionen der Symbole und Schaltflächen in diesem Fenster erläutert.



❶ Schaltfläche “Sprache wählen”
Wenn Sie auf ▼ klicken, wird die Dropdown-Liste zum Auswählen der Sprache geöffnet. In jedem Fenster werden Hilfeinformationen im unteren Bereich des Fensters angezeigt. Diese können Sie in Englisch, Französisch, Deutsch, Spanisch, Italienisch oder Japanisch anzeigen lassen.

❷ Symbol für Datei-Manager
Zum Aufrufen des Datei-Managers, mit dessen Hilfe Sie die im Projektor gespeicherten Dateien verwalten können.

(Fortsetzung)

❸ Symbol für Bild-Viewer
Öffnet das Konfigurationsfenster zum Projizieren von Bilddateien.

❹ Symbol für Präsentations-Viewer
Öffnet das Auswahlfenster zum Starten des PowerPoint-Viewers (Folien-Viewer) oder Excel-Viewers (Arbeitsblatt-Viewer).

❺ Schaltfläche I/⏻ (Ein/Bereitschaft)
Damit können Sie den Projektor ein- oder in den Bereitschaftsmodus schalten.

❻ Hilfeinformationen
Wenn Sie den Mauszeiger auf ein Element stellen, werden Informationen zu diesem Element angezeigt. Dies erleichtert Ihnen das Vorgehen in den einzelnen Fenstern.

❼ Schaltflächen für die Eingangswahl
Zum Auswählen des Eingangs am Projektor.
Die Schaltfläche INPUT C ist im Fenster für den VPL-PX15 nicht vorhanden.

❽ Schaltfläche MORE... (Mehr...)
Zum Öffnen des Steuerfensters für den Projektor.

Ausführen einer Präsentation mit dem Folien-Viewer

Wenn Sie eine Präsentation mit PowerPoint in einem Konferenzraum ausführen wollen, können Sie die Präsentation von einem Computer aus steuern, der sich im selben Raum oder weit entfernt vom Projektor befindet.

Folgende Funktionen stehen Ihnen mit dem Folien-Viewer zur Verfügung

Sie können
- mit der in PowerPoint erstellten Datei eine Bildschirmpräsentation vorführen.
- eine zielgruppenorientierte Bildschirmpräsentation vorführen, falls vorhanden.
- die Notiz eines Redners ein- oder ausblenden.
- eine Folie ein- oder ausblenden.
- Zeiten festlegen, wann während einer Bildschirmpräsentation die nächste Folie angezeigt wird. Sie können die Bildschirmpräsentation automatisch oder manuell ausführen.

Hinweise
- Je nach Netzwerkkonfiguration kann es eine Weile dauern, bis die Datei angezeigt wird.
- Da der Folien-Viewer eine grundlegende PowerPoint-Anzeigefunktion ist, werden einige der PowerPoint-Funktionen nicht unterstützt. Es empfiehlt sich, die Datei für die Präsentation vor dem Starten der Präsentation auf den Projektor zu übertragen.
- Die folgenden Schriften stehen für den Präsentations-Viewer zur Verfügung: Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman und Wingdings.

Ausführen einer Präsentation

1 Klicken Sie auf das Symbol für den Präsentations-Viewer im Fenster “Anwendung wählen”.
Das Fenster “Suchen in” erscheint.

2 Wählen Sie durch Klicken aus, wo nach der Datei gesucht werden soll, die Sie für die Präsentation verwenden wollen.
“Computer”: Zum Auswählen einer auf einem Computer gespeicherten Datei
“Projektor”: Zum Auswählen einer im Projektor gespeicherten Datei

Das Fenster “Dateiauswahl” erscheint.

3 Wählen Sie die für die Präsentation zu verwendende Datei aus.

Wenn Sie in Schritt 2 “Computer” auswählen
Wenn Sie auf “Durchsuchen” klicken, wird das Dateiauswahlfenster auf einem Computer geöffnet. Klicken Sie auf die gewünschte PowerPoint-Datei (.ppt- oder .pps-Datei).
Sie können zum Auswählen der Datei auch den Dateinamen in das Textfeld “Durchsuchen” eingeben. Der Name der ausgewählten Datei wird im Textfeld “Durchsuchen” angezeigt.

Schaltfläche “Zurück”
Klicken Sie auf diese Schaltfläche, um zum vorherigen Fenster zurückzuschalten.

Schaltfläche “Anfangsbildschirm”
Klicken Sie auf diese Schaltfläche, um zum Fenster “Anwendung wählen” zurückzuschalten.

Feld zum Definieren des Kennworts

So speichern Sie die ausgewählte Datei im Projektor

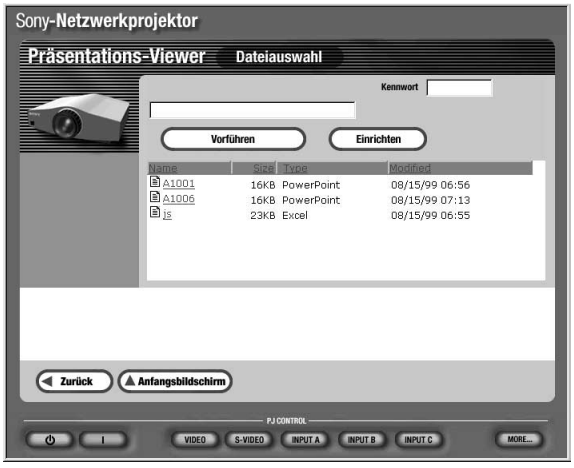
Aktivieren Sie durch Klicken das Kontrollkästchen “Im Projektor speichern”.
Falls erforderlich, können Sie ein Kennwort für die Datei definieren. Geben Sie das Kennwort in das Textfeld “Kennwort” ein. Damit kann die Datei nur noch geöffnet werden, wenn das Kennwort eingegeben wird.
Die Datei wird gespeichert, wenn Sie auf die Schaltfläche “Einrichten” oder “Vorführen” klicken.

Hinweis

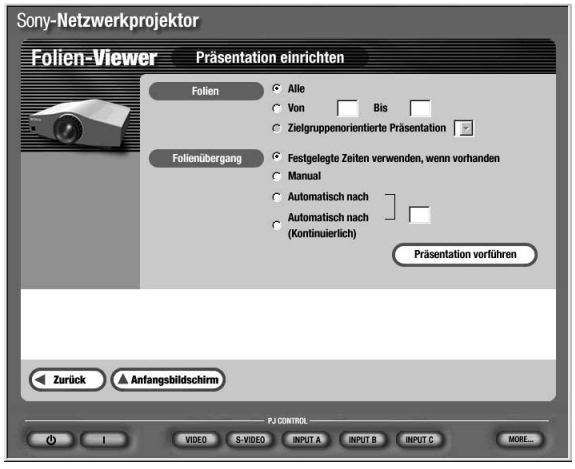
Wenn Sie mit dem Datei-Manager eine Datei löschen wollen, für die ein Kennwort definiert ist, brauchen Sie das Kennwort nicht einzugeben.

Wenn Sie in Schritt 2 “Projektor” auswählen

Die Dateiliste mit den im Projektor oder auf einer Speicherkarte (VPL-PX15 und VPL-FX50) gespeicherten Dateien erscheint. Klicken Sie auf die gewünschte PowerPoint-Datei. Der ausgewählte Dateiname wird im Textfeld angezeigt.



4 Richten Sie gegebenenfalls die Bildschirmpräsentation ein. Klicken Sie auf die Schaltfläche “Einrichten” im Fenster “Dateiauswahl”.
Das Fenster “Präsentation einrichten” erscheint. Sie können festlegen, welche Folien Sie in der Bildschirmpräsentation verwenden wollen und wie zur nächsten Folie geschaltet werden soll.
Wenn Sie den Mauszeiger auf eine Option stellen, werden Informationen dazu im unteren Bereich des Fensters angezeigt.



Hinweis

Wenn Sie eine Präsentation mit einer auf dem Computer gespeicherten Datei ausführen wollen, wird die Datei zum Projektor übertragen, wenn Sie auf die Schaltfläche “Einrichten” klicken. Es dauert etwas, bis das Fenster “Präsentation einrichten” auf dem Computerbildschirm erscheint. Die Dauer hängt von der Dateigröße ab. In dieser Zeit erscheint eine Meldung.

5 Klicken Sie im Fenster “Dateiauswahl” auf die Schaltfläche “Vorführen”, oder klicken Sie im Fenster “Präsentation einrichten” auf die Schaltfläche “Präsentation vorführen”.
Die Bildschirmpräsentation beginnt.

Hinweis

Wenn Sie eine Präsentation mit einer auf dem Computer gespeicherten Datei ausführen wollen, wird die Datei zum Projektor übertragen, wenn Sie auf die Schaltfläche “Vorführen” oder “Präsentation vorführen” klicken. Es dauert etwas, bis eine Bildschirmpräsentation auf dem Projektionsschirm erscheint. Die Dauer hängt von der Dateigröße ab. In dieser Zeit erscheint eine Meldung.

So beenden Sie die Bildschirmpräsentation

Klicken Sie auf die Schaltfläche “Präsentation beenden”. Siehe Seite 22 (DE).
Das Fenster “Dateiauswahl” wird wieder angezeigt.

(Fortsetzung)

Hinweis

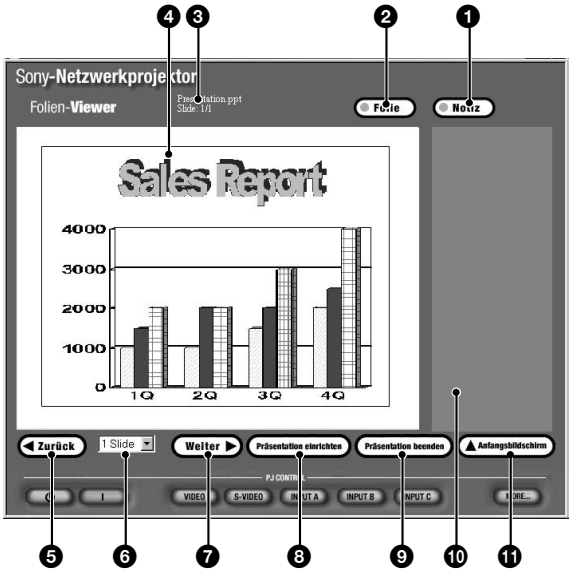
Wenn Sie auf die Schaltfläche “Vorführen” oder “Einrichten” klicken und die Meldung “Projektorspeicher ist voll.” erscheint, löschen Sie nicht benötigte Dateien im Projektor mit dem Datei-Manager (Seite 26 (DE)). Versuchen Sie anschließend erneut, die Bildschirmpräsentation auszuführen. Wenn die Meldung “Datei ist zu groß.” erscheint, verringern Sie die Dateigröße. Versuchen Sie anschließend erneut, die Bildschirmpräsentation auszuführen.

Tips:

Sie können die Dateigröße verringern, indem Sie “Optionen” aus dem Menü “Extras” wählen, dann auf “Speichern” klicken und “Schnellspeicherung zulassen” in der PowerPoint-Anwendung deaktivieren.

Informationen zum Fenster, das während der Präsentation angezeigt wird

Das folgende Fenster wird während einer Präsentation angezeigt.



❶ Schaltfläche “Notiz”

Zum Ein-/Ausblenden der Notiz eines Redners.

❷ Schaltfläche “Folie”

Zum Ein-/Ausblenden einer Bildschirmpräsentation auf einem Computerbildschirm.

❸ Dateiname/Foliennummer

Zeigt den Namen der Datei und die Nummer der angezeigten Folie an.

❹ Folie

Gibt die momentan angezeigte Folie in der Bildschirmpräsentation an. Auf dem Projektionsschirm wird nur diese Folie angezeigt.

❺ Schaltfläche “Zurück”

Schaltet während der Bildschirmpräsentation zur vorherigen Folie oder Animationseinstellung zurück.

❻ Feld für Folienname

Wenn Sie auf ▼ klicken, wird die Dropdown-Liste mit den Foliennamen geöffnet. Wenn Sie in dieser Liste eine bestimmte Folie auswählen, wird diese angezeigt.

❼ Schaltfläche “Weiter”

Schaltet sofort weiter zur nächsten Folie oder Animationseinstellung.

❽ Schaltfläche “Präsentation einrichten”

Das Fenster “Präsentation einrichten” wird wieder angezeigt.

❾ Schaltfläche “Präsentation beenden”

Zum Beenden oder Unterbrechen der Bildschirmpräsentation und Anzeigen des Fensters “Dateiauswahl”.

❿ Notiz

Zeigt eine Rednernotiz an. Diese ist auf dem Projektionsschirm nicht zu sehen.

⓫ Schaltfläche “Anfangsbildschirm”

Schaltet zum Fenster “Anwendung wählen” zurück.

Projizieren einer Excel-Datei mit dem Arbeitsblatt-Viewer

Sie können eine Excel-Datei computergesteuert über den Projektor projizieren.

Folgende Funktionen stehen Ihnen mit dem Arbeitsblatt-Viewer zur Verfügung:

Funktionen

- Anzeigen von Excel-Arbeitsblättern, so daß sie den gesamten Projektionsschirm ausfüllen.
- Ändern des Arbeitsblattbereichs, der auf dem Projektionsschirm zu sehen ist.
- Vergrößern und Verkleinern eines projizierten Arbeitsblatts mit Hilfe der Zoom-Funktion.

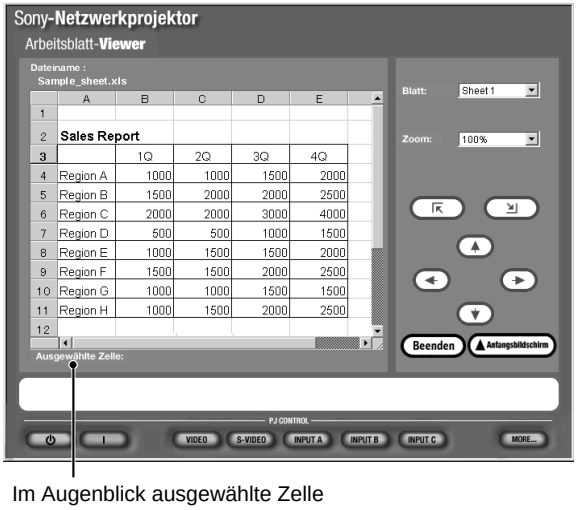
Hinweis

Beim Arbeitsblatt-Viewer handelt es sich um eine einfache Anzeigefunktion für Excel-Dateien, die bestimmte Excel-Funktionen, wie zum Beispiel die geteilte Ansicht, nicht unterstützt.

Projizieren einer Excel-Datei

1 Gehen Sie wie in Schritt **1** bis **3** unter “Ausführen einer Präsentation mit dem Folien-Viewer - Ausführen einer Präsentation” auf Seite 20 (DE) erläutert vor. Wählen Sie in Schritt **3** unbedingt eine Excel-Datei (.xls-Datei) aus.

2 Klicken Sie auf die Schaltfläche “Vorführen”.
Der Arbeitsblatt-Viewer wird gestartet.
Ein Arbeitsblatt der ausgewählten Datei wird auf dem Projektionsschirm angezeigt.



Im Augenblick ausgewählte Zelle

Mit den Schaltflächen im Fenster rechts können Sie das auf dem Projektionsschirm angezeigte Arbeitsblatt mit der Zoom-Funktion vergrößern und verkleinern sowie den Bereich des Arbeitsblatts, der auf dem Projektionsschirm zu sehen ist, ändern.
Wenn Sie den Mauszeiger auf eine Schaltfläche oder Option stellen, wird im unteren Fensterbereich eine Erläuterung dazu angezeigt.

Hinweise

- Der Anzeigebereich eines Arbeitsblattes auf einem Computer und der mit dem Projektor projizierte Bereich stimmen nicht überein.
- Wenn Sie am Computer auf eine Zelle klicken, wird die Zelle aktiv, wenn die ausgewählte Zelle sich in dem mit dem Projektor angezeigten Bereich befindet. Wenn sich die ausgewählte Zelle außerhalb des angezeigten Bereichs befindet, wird mit dem Projektor der Bereich mit der ausgewählten Zelle in der Mitte angezeigt.

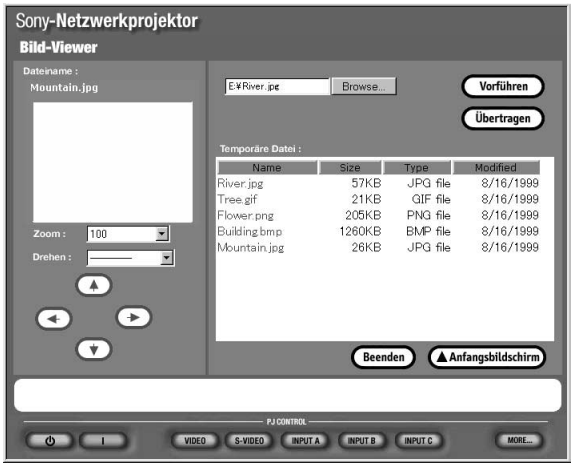
Projizieren eines Bildes mit dem Bild-Viewer

Sie können eine Bilddatei projizieren, die auf einem beliebigen Computer im selben LAN oder im Projektor oder auf der im Projektor installierten Speicherkarte gespeichert ist. Sie können zum Ausführen einer Bildschirmpräsentation auch eine im Projektor voreingestellte Einstellungsdatei (.SHO-Datei) für die Bildschirmpräsentation verwenden.

Projizieren eines auf einem Computer gespeicherten Bildes über den Projektor

1 Klicken Sie auf das Symbol für den Bild-Viewer im Fenster “Anwendung wählen”.
Das Fenster “Suchen in” erscheint.

2 Klicken Sie auf COMPUTER.
Der Bild-Viewer des Projektors wird gestartet, und das Fenster “Bild-Viewer” wird geöffnet.



(Fortsetzung)

Wenn Sie den Mauszeiger auf eine Option stellen, werden Informationen dazu im unteren Bereich des Fensters angezeigt.

3 Wählen Sie die anzuzeigende Bilddatei aus.
Wenn Sie auf “Durchsuchen” klicken, wird das Dateiauswahlfenster auf einem Computer geöffnet. Doppelklicken Sie auf die gewünschte Datei. Der Name der ausgewählten Datei wird im Textfeld “Durchsuchen” angezeigt.

4 Klicken Sie auf die Schaltfläche “Vorführen”.
Das Bild der ausgewählten Datei wird in voller Größe auf dem Projektionsschirm angezeigt.

Hinweis

Wenn Sie eine sehr große Bilddatei projizieren wollen, z. B. eine im UXGA-Format, läßt sich die Datei aufgrund von Speichermangel möglicherweise nicht öffnen. Verkleinern Sie in diesem Fall das Bild, damit die Dateigröße verringert wird.

So sparen Sie Zeit beim Übertragen von Daten

Wenn Sie auf die Schaltfläche “Vorführen” klicken, wird die Datei zum Projektor übertragen. Es dauert etwas, bis das Bild auf dem Projektionsschirm erscheint. Wenn das Bild sofort angezeigt werden soll, übertragen Sie alle zu verwendenden Dateien auf den Projektor, bevor Sie die Präsentation starten.

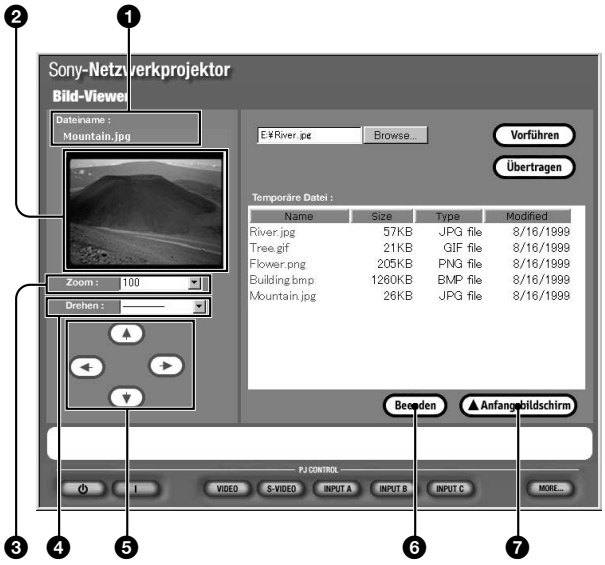
1 Klicken Sie nach Schritt **3** unter “Projizieren eines auf einem Computer gespeicherten Bildes über den Projektor” auf die Schaltfläche “Übertragen”.
Der ausgewählte Dateiname erscheint in der Liste “Temporäre Datei”, und die Datei wird zum Projektor übertragen.
Gehen Sie genauso vor, bis alle gewünschten Dateien im Dialogfeld “Temporäre Datei” angezeigt werden.

2 Doppelklicken Sie auf den Dateinamen, der im Dialogfeld “Temporäre Datei” aufgelistet ist.
Das Bild der ausgewählten Datei wird in voller Größe auf dem Projektionsschirm angezeigt.

Hinweis

Wenn der Speicher für die Liste “Temporäre Datei” voll ist, werden zuvor übertragene Daten gelöscht.

Das Fenster, das angezeigt wird, während der Bild-Viewer läuft



❶ Dateiname

Zeigt den Dateinamen des gerade angezeigten Bildes an.

❷ Folie

Zeigt das gerade auf dem Projektionsschirm angezeigte Bild an.

❸ Textfeld “Zoom”

Wenn Sie auf ▼ klicken, wird die Dropdown-Liste geöffnet, in der Sie den Vergrößerungs- bzw. Verkleinerungsfaktor für das Bild auswählen können.

❹ Textfeld “Drehen”

Wenn Sie auf ▼ klicken, wird die Dropdown-Liste geöffnet, in der Sie den Drehwinkel für das Bild auswählen können.

Hinweis

Wenn Sie eine sehr große Bilddatei projizieren wollen, z. B. eine im UXGA-Format, läßt sich die Datei aufgrund von Speichermangel möglicherweise nicht drehen. Verkleinern Sie in diesem Fall das Bild, damit die Dateigröße verringert wird.

❺ Bildlaufschaltflächen

Wenn Sie auf die Pfeile klicken, wird der Anzeigebereich des Bildes auf dem Bildschirm verschoben, wenn das vergrößerte Bild nicht auf den Bildschirm paßt.

❻ Schaltfläche “Beenden”

Zum Beenden oder Unterbrechen der Bildanzeige in voller Größe und Anzeigen des Fensters “Anwendung wählen”.

❼ Schaltfläche “Anfangsbildschirm”

Schaltet zum Fenster “Anwendung wählen” zurück.

Hinweis

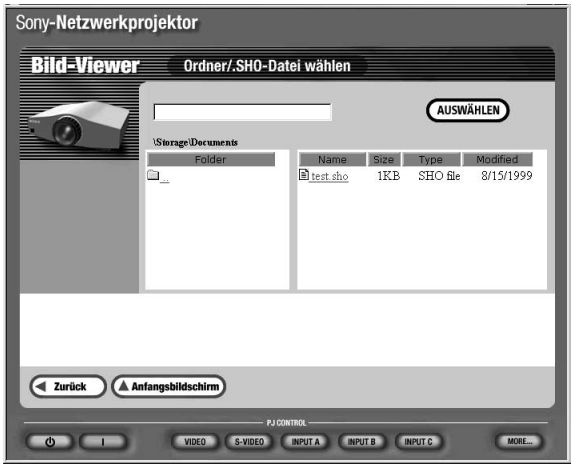
Wenn Sie das Fenster “Bild-Viewer” schließen, indem Sie auf die Schaltfläche “Beenden” oder “Anfangsbildschirm” klicken, werden die Dateien in der Liste “Temporäre Datei” automatisch gelöscht. Zum Speichern der Dateien kopieren Sie sie mit der Funktion “Datei-Manager” auf den Projektor.

Einzelheiten dazu finden Sie unter “Der Datei-Manager”auf Seite 26 (DE).

Ausführen einer Präsentation mit einer im Projektor gespeicherten Bilddatei

1 Klicken Sie auf das Symbol für den Bild-Viewer im Fenster “Anwendung wählen”.
Das Fenster “Suchen in” erscheint.

2 Klicken Sie auf “PROJEKTOR”.
Der Bild-Viewer des Projektors wird gestartet, und das Fenster “Ordner/.SHO-Datei wählen” wird geöffnet.



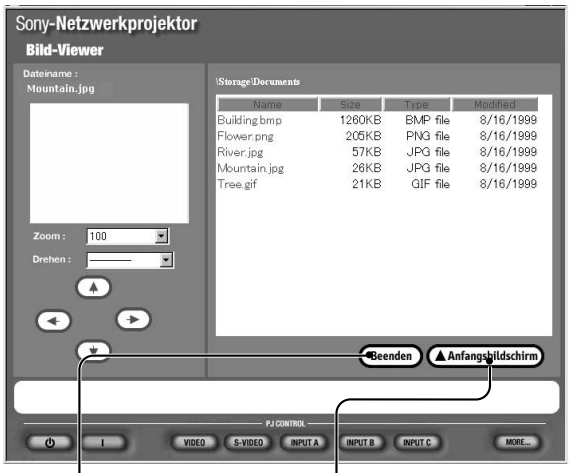
3 Klicken Sie in der Liste “Folder” (Ordner) links im Fenster auf den gewünschten Ordner oder auf den Ordner, der die Einstellungsdatei für die Bildschirmpräsentation (.SHO-Datei) enthält.
Der Inhalt des ausgewählten Ordners wird rechts im Fenster aufgelistet.

Einzelheiten zu .SHO-Dateien finden Sie unter “Speichern der Einstellungen einer Bildschirmpräsentation” auf Seite 34 (DE).

4 Wählen Sie den gewünschten Ordner bzw. die gewünschte .SHO-Datei aus, und klicken Sie auf die Schaltfläche AUSWÄHLEN.
Das Fenster “Bild-Viewer” erscheint.

5 Wählen Sie die Bilddatei aus, die über den Projektor projiziert werden soll.

Wenn Sie in Schritt 4 einen Ordner wählen
Die im ausgewählten Ordner enthaltenen Bilddateien werden rechts im Fenster aufgelistet.



Schaltfläche “Beenden”
Zum Beenden oder Unterbrechen der Anzeige und Anzeigen des Fensters “Dateiauswahl”.

Schaltfläche “Anfangsbildschirm”
Schaltet zum Fenster “Anwendung wählen” zurück.

Klicken Sie auf die gewünschte Datei.
Das Bild der ausgewählten Datei wird in voller Größe auf den Projektionsschirm projiziert. Wenn Sie den Mauszeiger auf eine Option links im Fenster stellen, werden Erläuterungen dazu im unteren Bereich des Fensters angezeigt.

Wenn Sie in Schritt 4 eine .SHO-Datei wählen
Die ausgewählte .SHO-Datei wird rechts im Fenster angezeigt.

Wählen Sie aus, wie zur nächsten Folie weitergeschaltet werden soll, und klicken Sie auf die Schaltfläche “Vorführen”. Die Bildschirmpräsentation beginnt.
Wenn Sie den Mauszeiger auf ein Element im Fenster stellen, werden Erläuterungen dazu im unteren Bereich des Fensters angezeigt.

Das Fenster, das angezeigt wird, während der Bild-Viewer läuft

Es wird dasselbe Fenster wie unter “Das Fenster, das angezeigt wird, während der Bild-Viewer läuft” auf Seite 24 (DE) angezeigt.
Die Schaltfläche “Weiter” im .SHO-Dateiauswahlfenster dient zum sofortigen Weiterschalten zur nächsten Folie während einer Bildschirmpräsentation. Mit der Schaltfläche “Zurück” können Sie zur vorherigen Folie zurückschalten.

Der Datei-Manager

Sie können die im Projektor gespeicherten Dateien problemlos von einem Computer aus verwalten. Mit dem Datei-Manager können Sie nicht benötigte Dateien im Projektor löschen oder auf einem Computer gespeicherte Dateien in den Speicher des Projektors übertragen.
Überprüfen Sie beim Arbeiten mit dem Datei-Manager den momentan gebrauchten Speicher und den größten nicht verwendeten Speicher des Projektors im Fenster “Datei-Manager”.

Hinzufügen von Dateien zum Projektor mit dem Datei-Manager

1 Klicken Sie auf das Symbol für den Datei-Manager im Fenster “Anwendung wählen”.
Das Fenster “Datei-Manager” erscheint.

2 Suchen Sie die auf einem Computer gespeicherte Datei, die zum Projektor übertragen werden soll. Klicken Sie auf die Schaltfläche “Durchsuchen” im Bereich “Datei hinzufügen”, um das Dateiauswahlfenster des Computers zu öffnen. Wählen Sie die gewünschte Datei aus. Sie können zum Auswählen der Datei auch den Dateinamen in das Textfeld “Durchsuchen” eingeben.

Dabei können Sie auch ein Kennwort für die ausgewählte Datei definieren. Geben Sie das Kennwort in das Textfeld “Kennwort” ein. Damit kann die Datei nur noch geöffnet werden, wenn das Kennwort eingegeben wird.

3 Klicken Sie auf die Schaltfläche “Hinzufügen”.
Die ausgewählte Datei wird im Projektor gespeichert.

Löschen von Dateien auf dem Projektor mit dem Datei-Manager

1 Klicken Sie auf das Symbol für den Datei-Manager im Fenster “Anwendung wählen”.
Das Fenster “Datei-Manager” erscheint, und die Liste der im Projektor gespeicherten Dateien wird angezeigt.

2 Wählen Sie die zu löschende Datei aus.
Sie können alle zu löschenden Dateien gleichzeitig markieren.

3 Klicken Sie auf die Schaltfläche “Löschen”.
Alle markierten Dateien werden aus der Dateiliste entfernt.

Hinweis

Sie können eine Datei löschen, auch wenn ein Kennwort für die Datei definiert wurde.

Steuern des Projektors von einem Computer aus

Sie können verschiedene Einstellungen am Projektor von einem Computerbildschirm aus vornehmen. Drei Fenster mit unterschiedlichen Steuerfunktionen stehen zur Verfügung: GENERAL (Allgemeines), PICTURE CTRL (Bildeinstellungen) und SETTINGS (Einstellungen).
Die Schaltflächen in den Fenstern haben die gleiche Funktion wie die Tasten auf der mit dem Projektor gelieferten Fernbedienung.

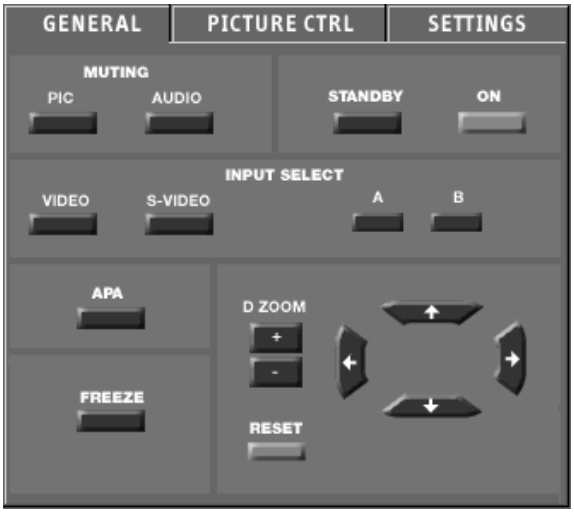
Einzelheiten zu den Tasten finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

Die Abbildungen in den folgenden Schritten gelten für den VPL-PX15.

1 Klicken Sie auf die Schaltfläche MORE... (Mehr...) im Bereich PJ CONTROL (Projektorsteuerung). Das Fenster GENERAL erscheint.

2 Klicken Sie auf die entsprechende Registerkarte, um das gewünschte Fenster auszuwählen.

Fenster GENERAL

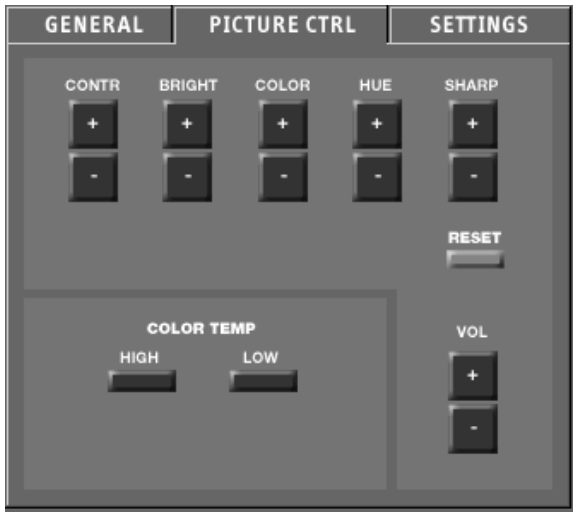


(VPL-PX15)

■ Beim VPL-FE110M

Geben Sie über die Schaltfläche SWITCHER die Umschaltgerätenummer ein. Geben Sie mit der Schaltfläche GROUP die Gruppenindexnummern und mit der Schaltfläche INDEX die Geräteindexnummern an. Klicken Sie auf ▼, um die Dropdown-Liste zu öffnen, und wählen Sie dann die Nummer aus.

Fenster PICTURE CTRL



(VPL-PX15)

■ Beim VPL-PX15

Die Schaltfläche COLOR TEMP (HIGH, LOW) haben dieselbe Funktion wie die Einstellungen in den Menüs.

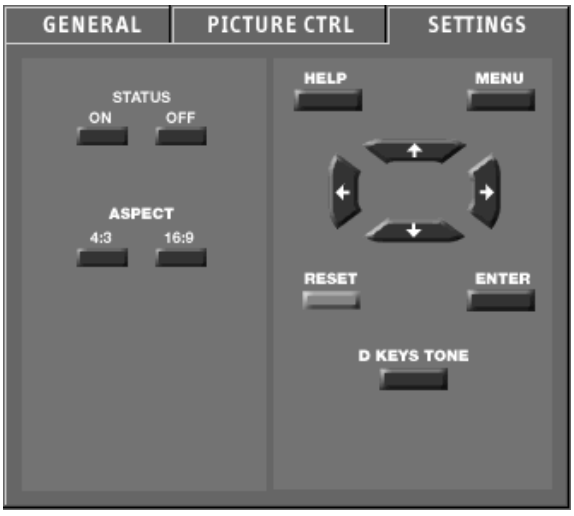
■ Beim VPL-FX50

Die Schaltfläche DDE (OFF, PROGRESSIVE, FILM) und RGB ENHANCER +/– haben dieselbe Funktion wie die Einstellungen in den Menüs.

Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

(Fortsetzung)

Fenster SETTINGS



(VPL-PX15)

■ Beim VPL-PX15
Die Schaltfläche ASPECT (4:3, 16:9) und STATUS (ON, OFF) haben dieselbe Funktion wie die Einstellungen in den Menüs.

■ Beim VPL-FX50
Die Schaltfläche ASPECT (4:3, 16:9) und LAMP MODE (STANDARD, LOW) haben dieselbe Funktion wie die Einstellungen in den Menüs.

Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Projektor.

3 Klicken Sie auf die einzustellende Option.

Überprüfen der Anzeigen am Projektor

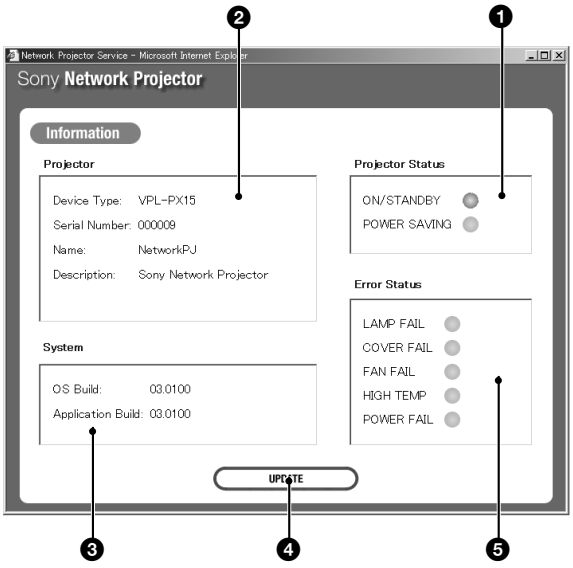
Sie können den aktuellen Status der Anzeigen auf dem Bedienfeld des Projektors auf einem Computerbildschirm anzeigen lassen.

1 Starten Sie Internet Explorer, Version 4.0 oder höher, oder Netscape Navigator, Version 4.5x oder 4.7x, auf dem Computer.

2 Geben Sie “http://xxx.xxx.xxx.xxx (für die IP-Adresse des Projektors)/info” als URL ein.
Wenn Sie die werkseitige IP-Adresse nicht geändert haben, geben Sie “http://192.168.0.1/info” ein (bei Verwendung einer LAN-PC-Karte) oder “http://192.168.0.2/info” (bei Verwendung des Anschlusses ETHER).
Wenn ein Kennwort definiert ist, erscheint das Dialogfeld zum Eingeben des Kennworts.

3 Geben Sie Name und Kennwort für “Administrator” ein.
Das Fenster “Information” (Informationen) erscheint.

Die Abbildung unten gilt für den VPL-PX15.



❶ Projector Status (Projektorstatus)
Zeigt den aktuellen Status des Projektors an.

❷ Projector (Projektor)
Zeigt Informationen zum Projektor an.

❸ System
Zeigt die Version von Windows CE und der gerade verwendeten Anwendung an.

❹ Schaltfläche UPDATE (Aktualisieren)
Klicken Sie hier, um die Angaben zu aktualisieren.

❺ Error Status (Fehlerstatus)
Zeigt den aktuellen Status der Anzeigen auf dem Bedienfeld des Projektors an.

Weitere Informationen zu den Anzeigen finden Sie in der Bedienungsanleitung.

Vorbereitungen

Erste Schritte

■ Beim VPL-PX15 und VPL-FX50

- Vergewissern Sie sich, daß FUNKT.INPUT-B (VPL-PX15) oder FUNKT. INPUT-C (VPL-FX50) im Menü ANFANGSWERTE auf EIN gesetzt wurde.
- Stellen Sie den Wählschalter PJ/NETWORK auf NETWORK.

■ Beim VPL-FE110M

- Vergewissern Sie sich, ob der Wählschalter INPUT C/RS-232C/RS-422A an der Rückseite des Projektors auf INPUT C steht.
- Zum Bedienen des Projektors verwenden Sie die Fernbedienung RM-PJM610 oder Maus und Tastatur (nicht mitgeliefert). Schließen Sie Maus und Tastatur an den Projektor an, bevor Sie das Netzkabel des Projektors in die Netzsteckdose stecken.

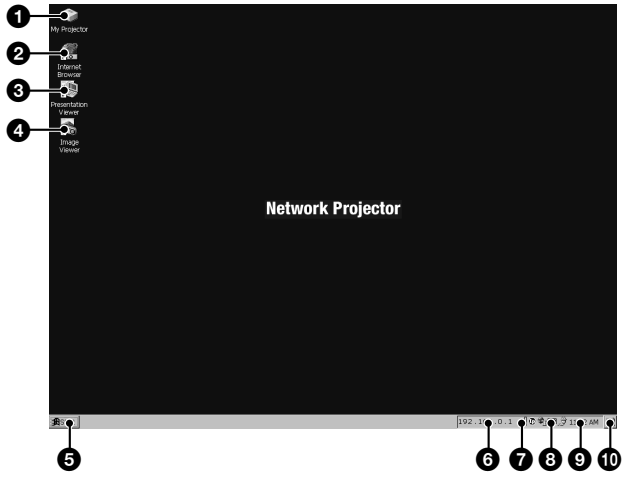
Aufrufen des Fensters “Network Projector”

Zum Ausführen von Netzwerkfunktionen, ohne den Projektor an einen Computer anzuschließen, rufen Sie das Fenster “Network Projector” am Projektor auf.

1 Schalten Sie den Projektor ein.

2 Stellen Sie als Eingang für den Projektor INPUT B (VPL-PX15) oder INPUT C (VPL-FX50 und VPL-FE110M) ein.
Das Fenster “Network Projector” wird angezeigt.

Optionen und Funktionen im Fenster “Network Projector”



❶ Symbol “My Projector” (Projektor)
Dient zum Durchsuchen der Ordner im Projektor. Wenn Sie auf das Symbol doppelklicken, werden die Speicherkartensymbole usw. angezeigt.

❷ Symbol “Internet Browser” (Internet-Browser)
Wenn Sie auf das Symbol doppelklicken, wird eine Verbindung zum Internet hergestellt.

❸ Symbol “Presentation Viewer” (Präsentations-Viewer)
Wählen Sie dieses Symbol, wenn Sie mit einer mit PowerPoint erstellten Datei eine Präsentation ausführen oder über den Projektor eine Excel-Datei projizieren wollen.

❹ Symbol “Image Viewer” (Bild-Viewer)
Wenn Sie auf das Symbol doppelklicken, wird der Bild-Viewer gestartet. Damit können Sie eine Bildschirmpräsentation mit Bilddateien ausführen, die im Projektor oder auf einer Speicherkarte gespeichert sind.

❺ Menü “Start”

❻ IP-Adresse
Gibt die IP-Adresse des Projektors an. Sie können sie überprüfen, wenn Sie von einem Computer aus auf den Projektor zugreifen.

❼ Symbol für die Empfangspegelanzeige
Wenn der Projektor die drahtlose LAN-PC-Karte, die Sie in den PC-Karteneinschub einsetzen, korrekt erkennt, erscheint dieses Symbol in der Task-Leiste. Durch Doppelklicken auf dieses Symbol öffnen Sie das Fenster, in dem der Status der Verbindung zwischen dem Projektor und dem Zugriffspunkt angezeigt wird.

❽ Symbol für Bildschirmtastatur
Wenn Sie auf das Symbol klicken, wird die Bildschirmtastatur auf dem Projektionsschirm angezeigt. Sie können mit der mitgelieferten Fernbedienung (beim VPL-PX15 und VPL-FX50) bzw. der Fernbedienung RM-PJM610 (nicht mitgeliefert, beim VPL-FE110M) den Projektor konfigurieren oder einen URL eingeben. Es gibt zwei Seiten mit Bildschirmtastatur. Zum Wechseln der Seite klicken Sie auf die Umschalttaste.

(Fortsetzung)

■ **Beim VPL-PX15 und VPL-FX50**

- Wenn der Wählschalter PJ/NETWORK auf der mitgelieferten Fernbedienung auf NETWORK steht, haben die Tasten TAB, ESCAPE, ENTER und die Pfeiltasten auf der Fernbedienung dieselbe Funktion wie die entsprechenden Tasten auf der Tastatur.
- Wenn Sie die Taste R CLICK auf der mitgelieferten Fernbedienung drücken oder auf das Softwaresymbol für die Bildschirmtastatur klicken, wird das Untermenü aufgerufen. Wenn Sie auf “Remote” (Fernbedienung) und dann “On” klicken, können Sie die Pfeiltasten auf der Fernbedienung wie die auf der Bildschirmtastatur verwenden und die Tasten auswählen.

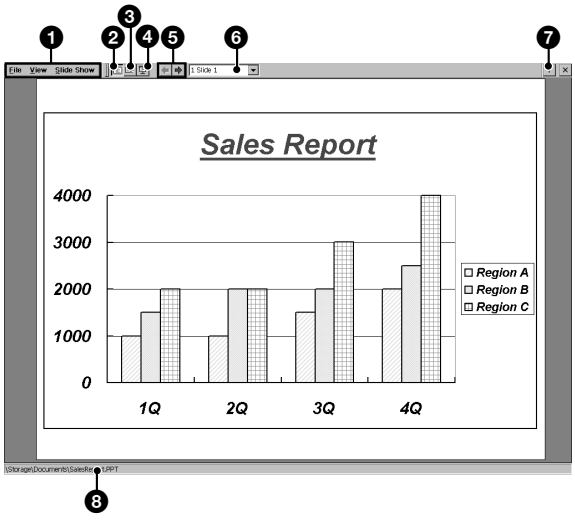
❾ Uhrzeit

❿ Desktop-Symbol

Ausführen einer Präsentation mit dem Folien-Viewer

Sie können eine Präsentation mit einer PowerPoint-Datei ausführen, die auf einem Computer im selben Konferenzraum oder weit entfernt vom Projektor gespeichert ist.
Auch wenn kein Computer an den Projektor angeschlossen ist, können Sie die Präsentation starten, und zwar mit einer Datei im Projektor oder auf der Speicherkarte, die in den PC-Karteneinschub eingesetzt ist.

Das Fenster “Slide Viewer” (Folien-Viewer)



❶ Menüleiste

Menü	Menüoption	Funktion
File (Datei)	Open (Öffnen)	Öffnen der im Projektor gespeicherten Dateien.
	Recent Files (Letzte Dateien)	Öffnen der zuletzt verwendeten Dateien, die im Untermenü angezeigt werden.
	Close (Schließen)	Schließen der gerade angezeigten Datei.
	Version	Anzeigen von Versionsinformationen zum Programm.
View (Ansicht)	Slide View (Folienansicht)	Anzeigen einer Folie in der Folienansicht.
	Note View (Notizansicht)	Anzeigen einer Folie in der Notizansicht.
	Slide Show (Bildschirm-präsentation)	Ausführen einer Bildschirmpräsentation.
View Show (Präsentation vorführen)	Run (Ausführen)	Ausführen einer Bildschirmpräsentation.
	Set Up Show (Präsentation einrichten)	Konfigurieren einer Bildschirmpräsentation.

❷ Schaltfläche (Folienansicht)
Zum Anzeigen einer Folie.

❸ Schaltfläche (Notizansicht)
Zum Anzeigen von Folie und Rednernotiz.

❹ Schaltfläche (Bildschirmpräsentation)
Zum Ausführen einer Bildschirmpräsentation.

❺ Schaltflächen für Folienübergang
Klicken Sie auf die Schaltfläche , um die vorherige Folie anzuzeigen.
Klicken Sie auf die Schaltfläche , um die nächste Folie anzuzeigen.

❻ Folienlistenfeld
Klicken Sie auf , um die Dropdown-Liste zu öffnen und die Nummer der anzuzeigenden Folie auszuwählen.

❼ Schaltfläche (Hilfe)
Klicken Sie hier, um das Hilfethema zum Folien-Viewer aufzurufen.

❽ Dateiname
Der Name einer Datei wird angezeigt.

Ausführen einer Präsentation

Verwenden einer Datei auf einem Computer im LAN

1 Doppelklicken Sie auf das Symbol “My Projector” (Projektor) im Fenster “Network Projector”.

2 Geben Sie in die Adreßspalte “\\ xxxx” (Name des Computers, auf den Sie zugreifen wollen) ein, und klicken Sie dann auf die Eingabetaste.
Die gemeinsam genutzten Ordner für den Computer werden angezeigt.

Hinweis

Sie müssen im Dialogfeld “Network Configuration” (Netzwerkkonfiguration) (Seite 9 (DE)) die Optionen unter “Identification” (Identifikation) einstellen und auf dem Computer, auf den Sie zugreifen wollen, die Dateien für die gemeinsame Nutzung freigeben.

3 Wählen Sie den Ordner mit der PowerPoint-Datei (.ppt- oder .pps-Datei) aus, die Sie für die Präsentation verwenden wollen, und doppelklicken Sie dann auf diese Datei.
Wenn für den ausgewählten Computer ein Kennwort definiert ist, geben Sie das Kennwort ein.
Der Folien-Viewer wird gestartet.

4 Wenn Sie die Bildschirmpräsentation konfigurieren wollen, klicken Sie auf “Set Up Show” (Präsentation einrichten) im Menü “View Show” (Präsentation vorführen).
Das Dialogfeld “Set Up Show” wird aufgerufen. Einzelheiten dazu finden Sie unter “Help” (Hilfe) für den Folien-Viewer.

5 Klicken Sie auf “Run” (Ausführen) im Menü “View Show”, um die Bildschirmpräsentation auszuführen.

Verwenden einer Datei im Projektor oder auf einer Speicherkarte

1 Doppelklicken Sie auf das Symbol “Presentation Viewer” (Präsentations-Viewer) im Fenster “Network Projector”.
Der Präsentations-Viewer wird gestartet, und das Dialogfeld “Open File” erscheint.

2 Wählen Sie die gewünschte PowerPoint-Datei aus, und klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Der Folien-Viewer wird gestartet, und die ausgewählte Datei erscheint in der Folienansicht.

3 Gehen Sie wie in Schritt **4** und **5** unter “Verwenden einer Datei auf einem Computer im LAN” beschrieben vor.

Wechseln des Modus für die Folienansicht

Der Folien-Viewer verfügt über drei Anzeigemodi: “Slide Show” (Bildschirmpräsentation), “Slide View” (Folienansicht) und “Note View” (Notizansicht). Damit können Sie eine Folie auf unterschiedliche Weise anzeigen lassen. Wählen Sie eine Ansicht aus, indem Sie die entsprechende Option im Menü “View” (Ansicht) auswählen. Wenn Sie auf die entsprechende Schaltfläche in der Symbolleiste klicken, wird die Ansicht ebenfalls gewechselt.

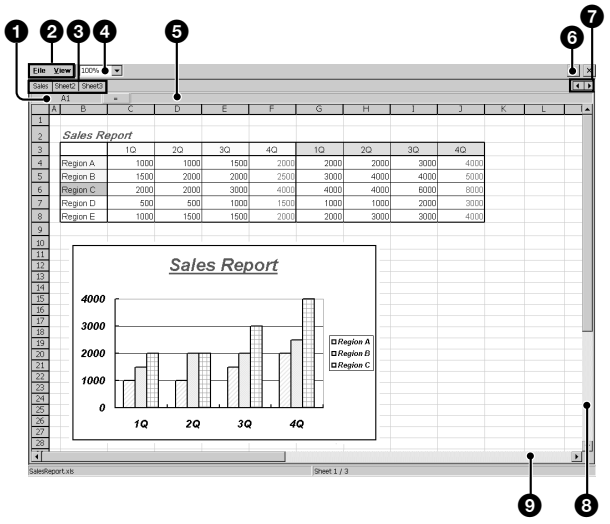
Die Hilfe für den Folien-Viewer

Näheres zum Arbeiten mit dem Folien-Viewer finden Sie in der Hilfe. Wenn Sie auf die Schaltfläche ? in der Symbolleiste klicken, wird das Hilfethema aufgerufen.

Projizieren einer Excel-Datei mit dem Arbeitsblatt-Viewer

Sie können auf einem Computer in demselben LAN gespeicherte Excel-Dateien projizieren. Außerdem können Sie im Projektor oder auf einer Speicherkarte gespeicherte Dateien projizieren, ohne eine Verbindung zu einem Computer herzustellen.

Das Fenster “Arbeitsblatt-Viewer”



(Fortsetzung)

❶ Namensfeld
Hier wird der Name der gerade ausgewählten Zelle angezeigt.

❷ Menüleiste

Menu (Menü)	Befehl	Funktion
File (Datei)	Open (Öffnen)	Öffnen der im Projektor gespeicherten Dateien.
	Close (Schließen)	Schließen der gerade angezeigten Datei.
	About (Info)	Anzeigen von Versionsinformationen zum Programm.
View (Ansicht)	Zoom (Zoom-feld)	Aufrufen des Dialogfeldes “Zoom” zum Vergrößern oder Verkleinern der Anzeige.

❸ Registerkarten für Arbeitsblätter
Hier werden die Namen der Arbeitsblätter angezeigt. Klicken Sie auf eine Registerkarte, um das jeweilige Arbeitsblatt auszuwählen.

❹ Zoomfeld
Klicken Sie auf ▼, um den Faktor auszuwählen, um den das aktive Arbeitsblatt in der Anzeige vergrößert bzw. verkleinert werden soll.

❺ Leiste für Zelleninhalt
Hier wird das Ergebnis oder der konstante Wert der aktiven Zelle angezeigt.

❻ Schaltfläche ? (Hilfe)
Hiermit können Sie das Hilfethema zum Arbeitsblatt-Viewer aufrufen.

❼ Schaltflächen ◀/▶
Hiermit können Sie zwischen den Registerkarten für die Arbeitsblätter wechseln. Klicken Sie auf den Pfeil in die Richtung, in der Sie weiterschalten wollen.

❽ Bildlaufpfeil ▲/▼ (auf/ab)
Hiermit können Sie in der Anzeige nach oben bzw. unten blättern. Ziehen Sie dazu das Bildlauffeld, oder klicken Sie auf einen der Bildlaufpfeile.

❾ Bildlaufpfeil ◀/▶ (links/rechts)
Hiermit können Sie in der Anzeige nach links bzw. rechts blättern. Ziehen Sie dazu das Bildlauffeld, oder klicken Sie auf einen der Bildlaufpfeile.

Projizieren einer Excel-Datei

Verwenden einer Datei auf einem Computer im LAN

1 Gehen Sie wie in Schritt **1** und **2** unter “Ausführen einer Präsentation - Verwenden einer Datei auf einem Computer im LAN” auf Seite 31 (DE) erläutert vor.

2 Wählen Sie den Ordner mit der Excel-Datei (.xls-Datei) aus, die Sie über den Projektor projizieren wollen, und doppelklicken Sie auf die Datei.
Wenn für den ausgewählten Computer ein Kennwort definiert ist, geben Sie das Kennwort ein.
Der Arbeitsblatt-Viewer wird gestartet, und ein Arbeitsblatt der ausgewählten Excel-Datei erscheint auf dem Projektionsschirm.

Verwenden einer Datei im Projektor oder auf einer Speicherkarte

1 Doppelklicken Sie auf das Symbol für den “Presentation Viewer” im Fenster “Network Projector”.
Der Präsentations-Viewer wird gestartet, und das Dialogfeld “Open File” erscheint.

2 Wählen Sie die zu projizierende Excel-Datei aus, und klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Der Arbeitsblatt-Viewer wird gestartet, und ein Arbeitsblatt der ausgewählten Datei erscheint auf dem Projektionsschirm.

Ändern der Größe oder des Anzeigebereichs des projizierten Arbeitsblattes
Wenn Sie das Arbeitsblatt mit der Zoom-Funktion vergrößern oder verkleinern oder den Bereich des Arbeitsblatts, der auf dem Projektionsschirm zu sehen ist, ändern wollen, lesen Sie in der Hilfe zum Arbeitsblatt-Viewer nach.

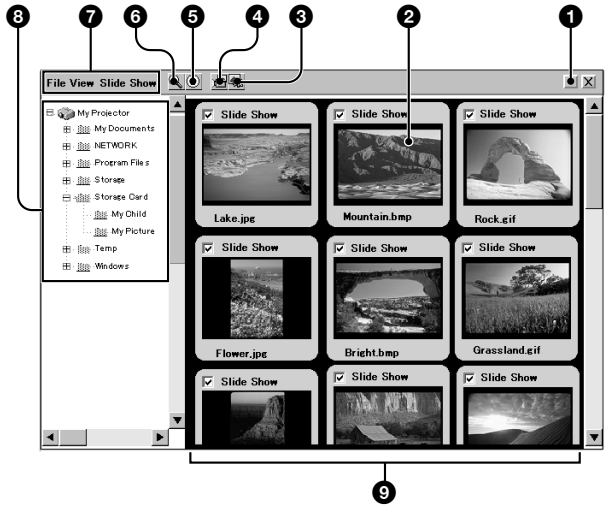
Die Hilfe zum Arbeitsblatt-Viewer

Näheres zum Arbeiten mit dem Arbeitsblatt-Viewer finden Sie in der Hilfe. Wenn Sie auf die Schaltfläche ? in der Symbolleiste klicken, wird das Hilfethema aufgerufen.

Ausführen einer Bildschirmpräsentation mit dem Bild-Viewer

Sie können Miniaturbilder der Dateien anzeigen, die im Projektor oder auf einer im Projektor installierten Speicherkarte gespeichert sind, und dann eine Bildschirmpräsentation ausführen, indem Sie die gewünschten Bilder auswählen.
Wenn Sie den Bild-Viewer des Projektors starten und den Ordner mit den gewünschten Dateien auswählen, wird das Hauptfenster geöffnet.

Informationen zum Hauptfenster des Bild-Viewers



❶ Schaltfläche (Hilfe)
Klicken Sie hier, um das Hilfethema zum Bild-Viewer aufzurufen.

❷ Folie
Wenn Sie auf eine Folie klicken, wird ein grüner Rahmen um die Folie angezeigt. Damit wird angezeigt, daß die Folie ausgewählt ist.

❸ Schaltfläche (Einstellungen für Bildschirmpräsentation)
Zum Aufrufen des Dialogfeldes “Setup slide show” zum Zoomen, Drehen usw.

❹ Schaltfläche (Präsentation vorführen)
Wenn Sie auf die Schaltfläche klicken, wird das Untermenü zum Weiterschalten zur nächsten Folie geöffnet.

❺ Schaltfläche (Informationen)
Zum Aufrufen des Informationsdialogfeldes zur ausgewählten Folie.

❻ Schaltfläche (volle Bildschirmgröße)
Zum Anzeigen einer ausgewählten Folie in voller Bildschirmgröße.

❼ Menüleiste

Menü	Menüoption	Funktion
File (Datei)	Close (Schließen)	Schließen der gerade angezeigten Datei.
	About (Info)	Anzeigen von Versionsinformationen zum Programm.
View (Ansicht)	Full Screen (volle Bildschirmgröße)	Anzeigen eines ausgewählten Bildes in voller Bildschirmgröße.
	Information (Informationen)	Aufrufen des Informationsdialogfeldes zum ausgewählten Bild.
	Sort slides (Folien sortieren)	Sortiert die Folien in einem Ordner in der angegebenen Reihenfolge.
Slide Show (Bildschirm-präsentation)	View Show (Präsentation vorführen)	Ausführen einer Bildschirmpräsentation durch Auswählen einer Option im Untermenü für das Weiterschalten der Folien.
	Slide Show Setting (Einstellungen für Bildschirmpräsentation)	Konfigurieren der Bildschirmpräsentation im Detail.
	Select all (Alle auswählen)	Auswählen aller Folien in den Miniaturfenstern.
	Clear all (Alle löschen)	Hebt die Auswahl von Folien in Miniaturbildern auf.
	Load... (Einlesen)	Liest die gespeicherten Einstellungsdateien für die Bildschirmpräsentation ein.
	Save... (Speichern)	Speichert die aktuellen Bildschirmpräsentationseinstellungen in einer Einstellungsdatei (die Erweiterung ist “.SHO”).

❽ Ordnerdialogfeld
Zum Durchsuchen der Ordner, die im Projektor oder auf einer im Projektor installierten Speicherkarte gespeichert sind.

❾ Folienanzeigebereich
Zeigt Miniaturbilder der Folien im ausgewählten Ordner an.

Anzeigen eines Bildes in voller Bildschirmgröße

Sie können ein Miniaturbild, das Sie vom Hauptfenster aus ausgewählt haben, auf dem gesamten Bildschirm anzeigen lassen.

1 Doppelklicken Sie auf den Bild-Viewer im Fenster “Network Projector”.
Der Bild-Viewer wird gestartet.

(Fortsetzung)

2 Wählen Sie den Ordner mit den anzuzeigenden Bilddateien aus dem Ordnerdialogfeld aus.
Sie können einen Ordner wählen, der im Projektor oder auf einer im Projektor installierten Speicherkarte gespeichert ist.
Das Hauptfenster wird geöffnet und enthält Miniaturbilder der Folien im ausgewählten Ordner.

3 Wählen Sie eine Folie, die Sie anzeigen wollen, durch Klicken auf die Miniaturansicht aus.
Ein grüner Rahmen erscheint um die ausgewählte Folie.

4 Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf die Folie, um “Full Screen” auszuwählen, klicken Sie auf “Full Screen” im Menü ”View”, oder klicken Sie auf die Schaltfläche in der Symbolleiste.
Die Folie wird so angezeigt, daß sie den ganzen Projektionsschirm füllt.

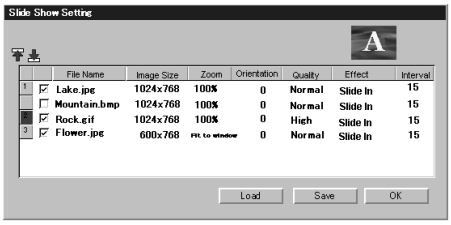
Ausführen einer Bildschirmpräsentation

1 Gehen Sie wie in Schritt **1** bis **2** unter “Anzeigen eines Bildes in voller Bildschirmgröße” erläutert vor.

2 Wählen Sie die Folien aus, die Sie für Ihre Bildschirmpräsentation verwenden wollen.
- Aktivieren Sie das Kontrollkästchen “Slide Show” (Bildschirmpräsentation) an jeder Folie, die Sie verwenden wollen. Überprüfen Sie alle zu verwendenden Folien.
- Wenn Sie alle Folien im ausgewählten Ordner verwenden wollen, klicken Sie auf “Select all” (Alle auswählen) im Menü “Slide Show”.
- Wenn Sie die Einstellungsdateien für die Bildschirmpräsentation bereits gespeichert haben, klicken Sie auf “Load...” (Einlesen) im Menü “Slide Show”, um das Dialogfeld “Load Slide show setting file” (Einlesen der Einstellungsdatei für Bildschirmpräsentation) aufzurufen. Wählen Sie die gewünschte Datei aus.

  Einzelheiten zu den Einstellungsdateien für die Bildschirmpräsentation finden Sie unter “Speichern der Einstellungen einer Bildschirmpräsentation”.

3 Wenn Sie die Folie einrichten, also ein Bild beispielsweise zoomen oder drehen wollen, klicken Sie auf “Slide Show Setting” (Einstellungen für Bildschirmpräsentation) im Menü “Slide Show” (Bildschirmpräsentation), oder klicken Sie auf die Schaltfläche auf der Symbolleiste.
Das Dialogfeld “Slide Show Setting” erscheint.



Ändern Sie die Einstellungen, und klicken Sie auf die Schaltfläche OK oder “Save”.

Hinweis

Wenn Sie eine sehr große Bilddatei projizieren wollen, z. B. eine im UXGA-Format, läßt sich die Datei aufgrund von Speichermangel möglicherweise nicht öffnen oder drehen. Verkleinern Sie in diesem Fall das Bild, damit die Dateigröße verringert wird.

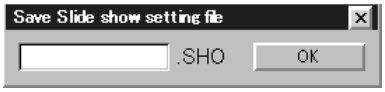
4 Klicken Sie auf “View Show” im Menü “Slide Show”, oder klicken Sie auf die Schaltfläche auf der Symbolleiste.
Das Untermenü zum Auswählen, wie zur nächsten Folie geschaltet werden soll, wird geöffnet.
Klicken Sie auf eine der Optionen, und die Bildschirmpräsentation wird gestartet.

Speichern der Einstellungen einer Bildschirmpräsentation

Sie können dieselbe Bildschirmpräsentation mit den als Einstellungsdateien für die Bildschirmpräsentation gespeicherten Dateien mehrmals ausführen (.SHO-Dateien). Sie können auch die Einstellungen der gespeicherten Einstellungsdateien ändern.

So speichern Sie die Dateien

1 Klicken Sie auf “Save...” (Speichern) im Menü “Slide Show”.
Das Dialogfeld “Save Slide show setting file” (Speichern der Einstellungsdatei für Bildschirmpräsentation) wird geöffnet.



2 Geben Sie den Dateinamen ein, und klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Die gespeicherten Dateien werden im Dialogfeld “Load Slide show setting file” (Einlesen der Einstellungsdatei für Bildschirmpräsentation) angezeigt.

So speichern Sie geänderte Einstellungen

Klicken Sie auf “Slide Show Setting” im Menü “Slide Show”, um das Dialogfeld “Slide Show Setting” aufzurufen, und ändern Sie die Einstellungen. Klicken Sie auf die Schaltfläche “Save”, um das Dialogfeld “Save Slide show setting file” zu öffnen. Gehen Sie wie in Schritt **2** erläutert vor.

So ändern Sie gespeicherte Einstellungen

1 Klicken Sie auf “Slide Show Setting” im Menü “Slide Show”.
Das Dialogfeld “Slide Show Setting” wird geöffnet.

2 Klicken Sie auf “Load”.
Das Dialogfeld “Load Slide show setting file” wird geöffnet.

3 Wählen Sie die Datei, für die Sie Einstellungen ändern wollen, und klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Das Dialogfeld “Slide Show Setting” wird geöffnet.

4 Ändern Sie die Einstellungen, und klicken Sie dann auf die Schaltfläche “Save”.

So ändern Sie die Einstellung im Hauptfenster

1 Klicken Sie auf “Load...” im Menü “Slide Show”.
Das Dialogfeld “Load Slide show setting file” wird geöffnet.

2 Wählen Sie die zu ändernde Datei aus, und klicken Sie auf die Schaltfläche OK.
Das Hauptfenster wird geöffnet.

3 Ändern Sie die Markierungen in den Kontrollkästchen “Slide Show" für die einzelnen Folien.

Die Hilfe für den Bild-Viewer

Näheres zum Arbeiten mit dem Bild-Viewer finden Sie in der Hilfe. Wenn Sie auf die Schaltfläche ? in der Symbolleiste klicken, wird das Hilfethema aufgerufen.

Herstellen einer Verbindung zum Internet

1 Doppelklicken Sie auf das Symbol für den Internet-Browser im Fenster “Network Projector”.
Das Fenster mit dem Internet-Browser erscheint.

2 Klicken Sie auf das Symbol für die Bildschirmtastatur auf der Task-Leiste, um die Bildschirmtastatur aufzurufen, und geben Sie dann die Adresse der gewünschten Homepage ein.

Störungsbehebung

Wenn am Projektor Probleme auftreten, versuchen Sie bitte anhand der folgenden Tabelle, das Problem einzugrenzen und zu beheben. Wenn das Problem bestehen bleibt, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.

Symptom	Ursachen und Abhilfemaßnahmen
Eine Verbindung zum Netzwerk kann nicht hergestellt werden.	• Die PC-Karte ist nicht richtig in den PC-Karteneinschub eingesetzt. → Überprüfen Sie, ob die Karte richtig herum liegt, und schieben Sie sie dann so weit in den Einschub, bis sie fest sitzt. • Das Kabel ist nicht richtig an den Anschluß ETHER angeschlossen (VPL-PX15, VPL-FX50). → Stecken Sie den Stecker des Kabels fest in den Anschluß. • Die LAN-PC-Karte, die drahtlose LAN-PC-Karte und der drahtlose LAN-Zugriffspunkt, die Sie verwenden, sind nicht spezifizierte/empfohlene Geräte. → Verwenden Sie die spezifizierten/empfohlenen Geräte. Bei nicht spezifizierten/empfohlenen Geräten kann es zu Fehlfunktionen kommen. Einzelheiten zu den spezifizierten/empfohlenen Karten usw. finden Sie in der beigelegten Übersicht “Spezifizierte(r)/empfohlene(r) PC-Karte/ drahtloser LAN-Zugriffspunkt”. • Die Netzwerkumgebung ist nicht richtig konfiguriert. → Überprüfen Sie die Einstellungen für die Netzwerkkonfiguration am Projektor (Seite 9 (DE) und 13 (DE)). → Wenn Sie den Projektor über den Web-Browser des Computers steuern, überprüfen Sie auch die Netzwerkeinstellungen am Computer. • Sie verwenden eine drahtlose LAN-PC-Karte, und “Enable On-board LAN” ist ausgewählt (VPL-PX15, VPL-FX50). → Deaktivieren Sie das Kontrollkästchen “Enable On-board LAN”. • Sie verwenden eine drahtlose LAN-PC-Karte, und das drahtlose LAN ist nicht richtig konfiguriert. → Vergewissern Sie sich, daß für die “Access Point ID” (Zugriffspunkt-ID) und den “Encryption key” (Verschlüsselungsschlüssel) im Dialogfeld “Wireless LAN Settings” (Einstellen des drahtlosen LAN) dieselben Nummern eingestellt sind wie am angeschlossenen Zugriffspunkt (Seite 11 (DE)). • Sie verwenden eine drahtlose LAN-PC-Karte, und der Peer-to-Peer-Modus ist nicht richtig konfiguriert. → Wählen Sie “Peer to Peer” nur auf einem Gerät, das an dasselbe drahtlose LAN angeschlossen ist (Seite 11 (DE)). • Der Kanal des Zugriffspunkts ist auf 12–14 eingestellt. → Stellen Sie den Kanal des Zugriffspunkts auf 1–11 ein. • Die LAN-PC-Karte, die drahtlose LAN-PC-Karte, die Speicherkarte und der Zugriffspunkt funktionieren auch nach dem Durchführen der obigen Maßnahmen nicht richtig. → Wenden Sie sich an den Hersteller der Karte bzw. des Zugriffspunktes, die Sie verwenden. Wenn Sie die spezifizierte drahtlose LAN-PC-Karte von Sony verwenden, wenden Sie sich an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.
Der Computer kann nicht auf den Projektor zugreifen.	• Die Option FUNKT.INPUT-B (VPL-PX15) oder FUNKT.INPUT-C (VPL-FX50) im Menü ANFANGSWERTE ist nicht richtig eingestellt. → Setzen Sie die Option auf EIN. • Der Wählschalter INPUT C/RS-232C/RS-422A ist nicht korrekt eingestellt (VPL-FE110M). → Stellen Sie den Wählschalter auf INPUT C. • Für den Browser des Computers ist die Option “Internetzugang über Proxyserver aktivieren” eingestellt. → Geben Sie die IP-Adresse des Projektors in das Feld “Internetzugang nicht über Proxyserver aktivieren” ein. • Die eingegebene IP-Adresse des Projektors fängt mit einer 0 (Null) an. → Geben Sie nicht 0 am Anfang der Nummer ein. Beispiel: 192.168.000.001 →192.168.0.1

Symptom	Ursachen und Abhilfemaßnahmen
Das Bild auf dem Projektionsschirm wird angehalten.	Die Windows CE-Software reagiert nicht mehr. → Setzen Sie FUNKT.INPUT-B (VPL-PX15) oder FUNKT.INPUT-C (VPL-FX50) im Menü ANFANGSWERTE auf AUS und dann wieder auf EIN. → Starten Sie Windows CE neu, indem Sie die Taste RESET innerhalb von 5 Sekunden nach dem Drücken der Taste FUNCTION auf der mitgelieferten Fernbedienung RM-PJ1001 drücken (VPL-FE110M).
Schriftarten oder -typen wechseln in einer PowerPoint- oder Excel-Datei.	Für den Text der Datei werden Schriftarten und -typen verwendet, die vom Folien-Viewer oder Arbeitsblatt-Viewer nicht unterstützt werden. → Nur die folgenden Schriftarten stehen beim Folien-Viewer zur Verfügung. Andere Schriftarten werden durch diese Schriftarten ersetzt. Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman, Wingdings. Wenn die Schriftarten ersetzt werden, kann sich ein Absatzendezeichen je nach Tabulator- oder Absatzeinstellungen ändern. Vom Folien-Viewer nicht unterstützte Schrifttypen werden durch unterstützte Schrifttypen ersetzt.
Einige Zeichen werden in einer PowerPoint- oder Excel-Datei nicht angezeigt.	Sie können keine Zeichen anzeigen lassen, die der Folien- oder der Arbeitsblatt-Viewer nicht unterstützt, z. B. chinesische. → Verwenden Sie eine in Englisch, Französisch, Spanisch, Deutsch oder Italienisch erstellte Datei. Die Zeichen dieser Sprachen werden vom Folien-Viewer unterstützt.
Einige Funktionen einer PowerPoint- oder Excel-Datei werden nicht richtig oder überhaupt nicht als Effekt angezeigt.	Die Datei verwendet Funktionen, die vom Folien-Viewer oder Arbeitsblatt-Viewer des Projektors nicht unterstützt werden. → Die Funktionen werden durch solche, die unterstützt werden, ersetzt. Verwenden Sie unterstützte Effekte, wenn keine Anzeige erscheint.
Es kann keine Bildschirmpräsentation ausgeführt werden. Die Meldung “Projektorspeicher ist voll. Ordnen Sie mit dem Datei-Manager die im Projektor gespeicherten Dateien, und versuchen Sie erneut, die Bildschirmpräsentation zu starten.” erscheint.	Der Speicher des Projektors ist voll. → Löschen Sie mit dem Datei-Manager nicht benötigte Dateien im Projektor, um die Speicherkapazität zu erhöhen.
Es kann keine Bildschirmpräsentation ausgeführt werden. Die Meldung “Datei ist zu groß. Verringern Sie die Dateigröße, z. B. durch Aufteilen der Datei in kleinere Dateien, und versuchen Sie dann erneut, die Bildschirmpräsentation zu starten.” erscheint.	Die Datei ist zu groß, um zum Projektor übertragen zu werden. → Überprüfen Sie im Fenster “Datei-Manager” den freien Speicherplatz, und verringern Sie die Dateigröße, indem Sie die Datei in kleinere Dateien unterteilen. → Klicken Sie im Menü “Extras” von PowerPoint auf “Optionen”, klicken Sie dann auf “Speichern”, und deaktivieren Sie die Option “Schnellspeicherung zulassen”.
Der Internet-Browser für den Projektor läßt sich nicht starten.	Der Projektor ist nicht an das LAN angeschlossen. → Überprüfen Sie die Einstellungen für die Netzwerkkonfiguration und die drahtlose LAN-Umgebung (Seite 9 (DE) – 13 (DE)).
Die Meldung “Für die Datei wurde ein Kennwort definiert. Kennwort eingeben.” erscheint.	Für den Projektor oder die Datei wurde ein Kennwort definiert. → Geben Sie das Kennwort ein. Wenn sich die IP-Adresse nicht von der werkseitig eingestellten unterscheidet, geben Sie “root” in das Textfeld “Name” für den Administrator ein.
Die Meldung “Sie haben möglicherweise das falsche Kennwort eingegeben. Geben Sie das Kennwort erneut ein.” erscheint.	Das eingegebene Kennwort ist nicht korrekt. → Geben Sie das korrekte Kennwort ein.

Indice

Operazioni preliminari

Caratteristiche ..... 4 (IT)
Precauzioni ..... 5 (IT)
Informazioni sul presente manuale ..... 5 (IT)

Preparazione

Preparazioni per l'utilizzo della funzione Networking ..... 6 (IT)
Configurazione di sistema ..... 6 (IT)
Utilizzo della scheda PC ..... 7 (IT)
Impostazione per la funzione Networking ..... 7 (IT)
Utilizzo del telecomando o di un mouse e una tastiera ... 7 (IT)
Configurazione del proiettore ..... 8 (IT)
Configurazione tramite il proiettore ..... 8 (IT)
Configurazione tramite computer ..... 12 (IT)
Diagrammi di funzionamento di base ..... 14 (IT)
Funzionamento tramite computer ..... 14 (IT)
Funzionamento tramite proiettore ..... 16 (IT)

Funzionamento

Funzionamento tramite computer ..... 19 (IT)
Preparazioni ..... 19 (IT)
Esecuzione di una presentazione tramite la funzione Visualizzatore diapositive ..... 20 (IT)
Proiezione di un file Excel utilizzando il Visualizzatore foglio di lavoro ..... 23 (IT)
Proiezione di un'immagine utilizzando la funzione Visualizzatore immagine ..... 23 (IT)
Utilizzo della funzione Gestione file ..... 26 (IT)
Controllo del proiettore da un computer ..... 27 (IT)
Controllo degli indicatori del proiettore ..... 28 (IT)
Funzionamento tramite proiettore ..... 29 (IT)
Preparazioni ..... 29 (IT)
Esecuzione di una presentazione utilizzando la funzione Visualizzatore diapositive ..... 30 (IT)
Proiezione di un file Excel utilizzando il Visualizzatore foglio di lavoro ..... 31 (IT)
Esecuzione di una presentazione diapositive utilizzando la funzione Visualizzatore immagine ..... 33 (IT)
Collegamento a Internet ..... 35 (IT)

Altro

Guida alla soluzione dei problemi ..... 36 (IT)

- Microsoft, Windows e PowerPoint sono marchi di fabbrica registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti e/o in altri paesi.
- Netscape Navigator è un marchio di fabbrica di Netscape Communications Corporation negli Stati Uniti e/o in altri paesi.
- Tutti gli altri nomi di prodotti o aziende citati nel presente manuale sono marchi di fabbrica o marchi di fabbrica registrati dei rispettivi proprietari.

Caratteristiche

Il proiettore è dotato del sistema Windows CE ed è dunque possibile collegarlo alla rete. Effettuando il collegamento ad una LAN (Local Area Network), è possibile eseguire presentazioni utilizzando file memorizzati in un computer collegato mediante la stessa LAN. È possibile aprire un file da un computer collocato a distanza rispetto al proiettore così come da un computer collocato nella stessa sala conferenze. È inoltre possibile effettuare il collegamento ad Internet solo con il proiettore.
Infine, se si ha accesso al proiettore mediante il browser Web di un computer, tramite quest'ultimo è possibile controllare il proiettore stesso.

Collegamento ad una LAN

Il proiettore è dotato di un connettore ETHER (VPL-PX15, VPL-FX50) e di uno slot per scheda PC, che consente di collegare il proiettore ad una LAN (Local Area Network) utilizzando i cavi LAN o la scheda PC LAN specificata/consigliata. L'installazione di una scheda PC LAN senza fili nello slot per scheda PC consente di ottenere un collegamento LAN senza fili.

Slot scheda PC incorporato

Il proiettore è dotato di uno slot per scheda PC. Inserendovi la scheda memoria PC in cui sono memorizzati i dati, è possibile eseguire una presentazione in modo semplice, senza utilizzare un computer.

Funzione Visualizzatore presentazioni

Il proiettore è dotato di funzioni incorporate di visualizzazione di Microsoft PowerPoint e Microsoft Excel di semplice utilizzo, chiamate rispettivamente Visualizzatore diapositive e Visualizzatore foglio di lavoro. Tali funzioni consentono di eseguire una presentazione di diapositive tramite un file di PowerPoint o di proiettare un file di Excel senza dover effettuare alcuna conversione.

Funzione Visualizzatore immagine

Il proiettore dispone di una funzione di visualizzazione di immagini incorporata, che consente di vedere le immagini create nei formati JPEG, BMP, GIF o PNG, di creare una presentazione diapositive e di eseguire una presentazione diapositive utilizzando le immagini.

Funzione Gestione file

Utilizzando il browser Web di un computer è possibile aggiungere nel proiettore file memorizzati nel computer oppure, tramite il computer, eliminare file memorizzati nel proiettore.

Browser Web incorporato

Il proiettore è dotato di browser Internet Explorer 4.0 ed equivalenti incorporati, è dunque possibile effettuare il collegamento ad Internet.

Funzione di memorizzazione

Il proiettore è in grado di memorizzare i file importati da un computer o da una scheda memoria.
Quando i file vengono memorizzati, è possibile creare una password per impedire l'apertura non autorizzata dei file.

Precauzioni

Avvertenza

Prima di spegnere il proiettore o di reimpostarlo utilizzando il telecomando in dotazione, assicurarsi di chiudere tutti programmi applicativi aperti. Diversamente, il sistema potrebbe bloccarsi e potrebbe non essere possibile riavviare il proiettore.

- Di seguito sono riportati i requisiti di sistema consigliati per il proiettore:
  – Microsoft Windows 98, Microsoft Windows 98 SE, Microsoft Windows 2000, Microsoft Windows Me
- Assicurarsi di utilizzare la scheda PC LAN, la scheda PC LAN senza fili, la scheda memoria PC e il punto di accesso alla LAN senza fili specificati/consigliati. Per l'installazione sui computer collegati, utilizzare inoltre la scheda PC LAN senza fili specificata/consigliata.
  L'utilizzo di dispositivi non specificati/consigliati potrebbe causare un funzionamento errato.

Per i dispositivi specificati/consigliati, consultare l'allegato "Scheda PC/punto di accesso alla LAN senza fili specificati/consigliati" in dotazione.

- Per evitare perdite di dati, effettuare frequentemente copie di riserva. Sony non potrà essere ritenuta responsabile per eventuali perdite di dati.
- Si noti che le caratteristiche tecniche del software sono soggette a modifiche senza preavviso.
- Alcune illustrazioni riportate nel presente manuale potrebbero non corrispondere al software applicativo in questione.

Informazioni sul presente manuale

Il presente manuale spiega come effettuare le operazioni per l'utilizzo in rete del proiettore di dati LCD VPL-PX15, VPL-FX50 e VPL-FE110M.
Sono inoltre disponibili file della Guida in linea. Quando si accede al server Web del proiettore, sul computer appare un messaggio della Guida se il puntatore viene soffermato su ciascuna voce.
Nella finestra di Windows CE del proiettore è possibile aprire il file di guida selezionando Help (Guida) dal menu Start (Avvio). Windows CE del proiettore non supporta alcune funzioni. Facendo clic sul pulsante ? della barra degli strumenti della relativa finestra, si apre il file di Guida delle funzioni Visualizzatore diapositive, Visualizzatore foglio di lavoro e Visualizzatore immagine.

Per le istruzioni non relative all'utilizzo in rete, fare riferimento alle istruzioni per l'uso di questo modello.

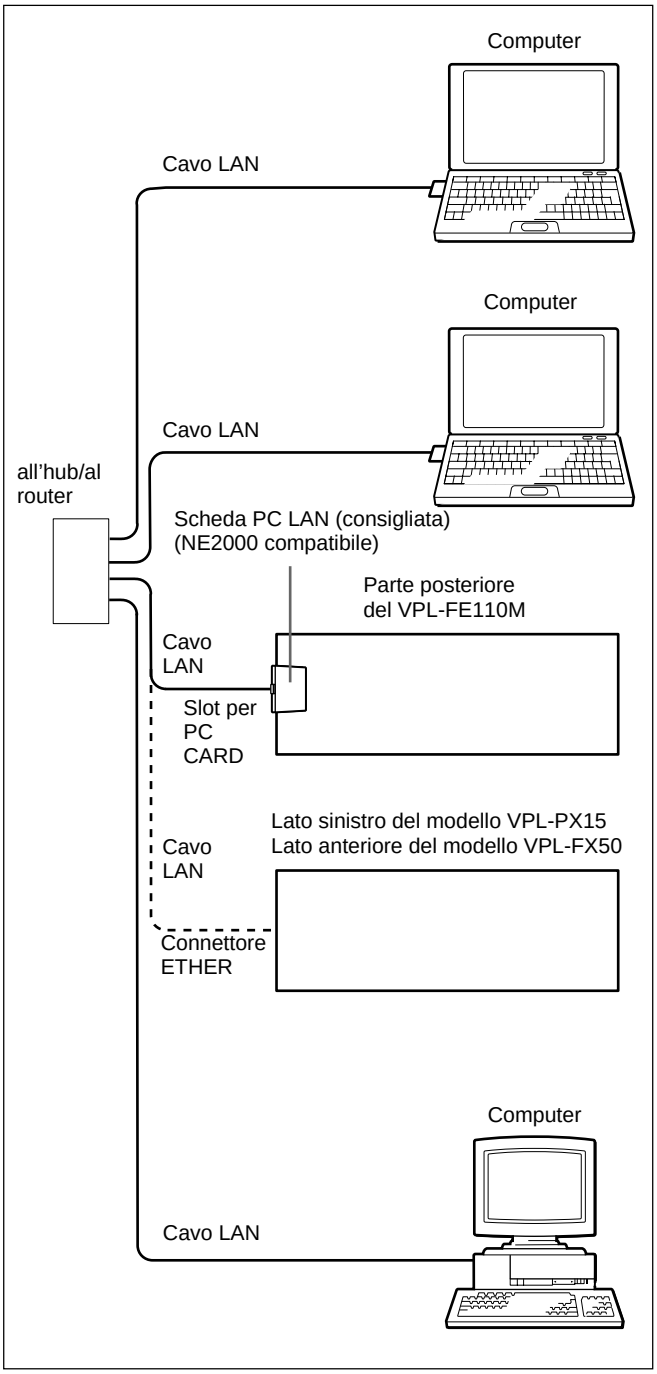
Preparazioni per l’utilizzo della funzione Networking

Questa sezione descrive i punti necessari da eseguire per poter utilizzare la funzione Networking del proiettore.

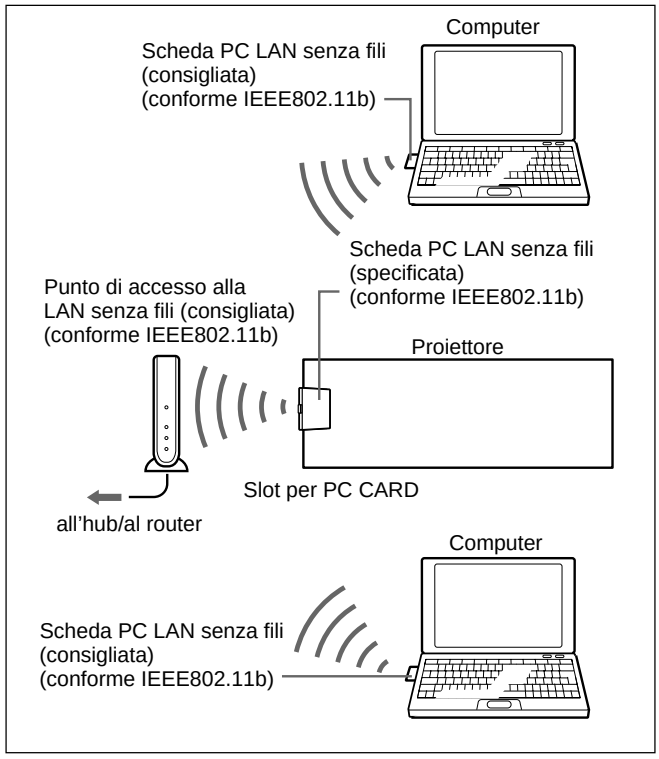
Configurazione di sistema

Per ulteriori informazioni sui collegamenti, fare riferimento alle istruzioni per l’uso del proiettore.

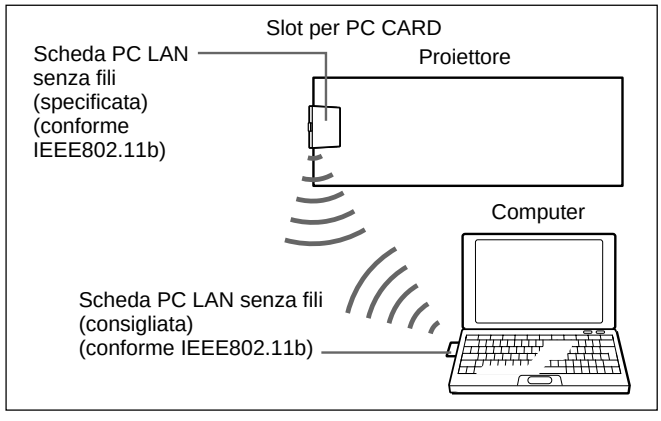
Collegamento alla rete LAN mediante i cavi LAN o la scheda PC LAN



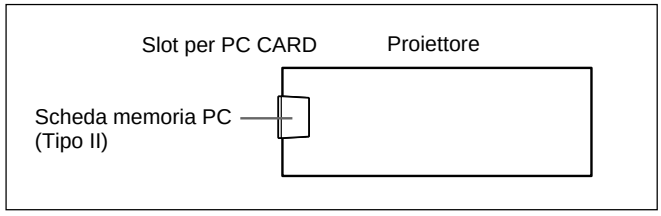
Collegamento alla rete LAN senza fili mediante il punto di accesso alla LAN senza fili



Collegamento alla rete LAN senza fili senza l’utilizzo del punto di accesso alla LAN senza fili (modo peer to peer)



Utilizzo della scheda memoria



Utilizzo della scheda PC

Lo slot per PC CARD INPUT B (VPL-PX15) o INPUT C (VPL-FX50 e VPL-FE110M) accetta schede PC Tipo II PCMCIA. Per collegarsi alla rete LAN, è necessario inserire in questo slot la scheda PC LAN specificata/consigliata (solo VPL-FE110M) o la scheda PC LAN senza fili.
Nello slot è inoltre possibile inserire la scheda memoria PC consigliata. Memorizzando in una scheda memoria un file creato con Microsoft PowerPoint o Excel, o un file di immagini è possibile eseguire una presentazione o proiettare un file senza doversi collegare a un computer.

Note

- Non spegnere il proiettore né riavviare Windows CE del proiettore durante le fasi di scrittura o lettura della scheda PC.
- Assicurarsi di utilizzare la scheda PC LAN, la scheda PC LAN senza fili o la scheda memoria specificate/consigliate. Per informazioni sulle schede specificate/consigliate, consultare l'allegato "Scheda PC/punto di accesso alla LAN senza fili specificati/consigliati" in dotazione.
- Il software del driver per le schede PC specificate/consigliate è già installato nel proiettore. L'installazione di altri software del driver non è richiesta e non è possibile.

Per le operazioni di inserimento e di rimozione della scheda PC, fare riferimento alle istruzioni per l'uso del proiettore.

Impostazione per la funzione Networking

Per attivare la funzione Networking del proiettore, eseguire la seguente impostazione.

■ Per il modello VPL-PX15
Impostare FUNZ. INGR. B nel menu IMPOST. INST. su INSER.

Per ulteriori informazioni, consultare le istruzioni per l'uso del proiettore.

■ Per il modello VPL-FX50
Impostare FUNZ. INGR. C nel menu IMPOST. INST. su INSER.

Per informazioni più dettagliate, consultare le istruzioni per l'uso del proiettore.

■ Per il modello VPL-FE110M
Impostare l'interruttore di selezione INPUT C/RS-232C/RS-422A situato sul pannello posteriore su INPUT C.

Utilizzo del telecomando o di un mouse e una tastiera

■ Per il modello VPL-PX15 e VPL-FX50
Quando il proiettore viene utilizzato per effettuarne la configurazione, eseguire una presentazione diapositive, o per altre operazioni, utilizzare il telecomando in dotazione. Prima del funzionamento, impostare su NETWORK l'interruttore di selezione PJ/NETWORK sul telecomando.
Non è possibile collegare un mouse e una tastiera al proiettore.

■ Per il modello VPL-FE110M
Quando il proiettore viene utilizzato per effettuarne la configurazione, eseguire le presentazioni e così via, è necessario utilizzare il telecomando RM-PJM610 (non in dotazione) o un mouse e una tastiera PS/2 disponibili in commercio.

Nota

Collegare il mouse e la tastiera al proiettore prima di effettuare il collegamento del cavo di alimentazione alla presa di rete CA.

Per informazioni sul collegamento del mouse e della tastiera, fare riferimento alle istruzioni per l'uso del proiettore.

Per informazioni sul funzionamento del telecomando RM-PJM610 (non in dotazione), fare riferimento alle relative istruzioni per l'uso.

Configurazione del proiettore

Per l'utilizzo in rete del proiettore sono necessarie alcune operazioni di base per la configurazione quali ad esempio l'impostazione dell'indirizzo IP e della LAN senza fili. Tali impostazioni possono essere effettuate mediante il proiettore o un computer collegato alla stessa LAN.

Prima della configurazione

■ Per il modello VPL-PX15 e VPL-FX50

- Accendere il proiettore mediante il tasto I/⏻ sul telecomando in dotazione o sul pannello di controllo del proiettore.
- Assicurarsi che FUNZ. INGR. B (VPL-PX15) o FUNZ. INGR. C (VPL-FX50) nel menu IMPOST. INST. sia impostato su INSER.
- Premere il tasto INPUT sul telecomando in dotazione o sul pannello di controllo del proiettore per selezionare INPUT B (VPL-PX15) o INPUT C (VPL-FX50). La finestra Network Projector si apre.
- Impostare su NETWORK l'interruttore di selezione PJ/NETWORK sul telecomando.
- Quando si esegue la configurazione dal proiettore, visualizzare la tastiera a schermo sul proiettore ed eseguire le operazioni mediante il telecomando in dotazione.
  Per ulteriori informazioni sulla tastiera a schermo, vedere a pagina 29 (IT).
- Avviare il computer da cui viene configurato il proiettore.

■ Per il modello VPL-FE110M

- Assicurarsi che il selettore INPUT C/RS-232C/RS-422A sia impostato su INPUT C.
- Accendere il proiettore tramite il tasto ON del telecomando RM-PJM610, del telecomando in dotazione o del pannello di controllo del proiettore.
- Premere il tasto INPUT del telecomando RM-PJM610 oppure il tasto INPUT SELECT del telecomando in dotazione o del pannello di controllo del proiettore per selezionare INPUT C. La finestra Network Projector si apre.
- Quando si esegue la configurazione dal proiettore, visualizzare la tastiera a schermo sul proiettore ed utilizzare il mouse e la tastiera collegati o il telecomando RM-PJM610.
  Per ulteriori informazioni sulla tastiera a schermo, vedere a pagina 29 (IT).
- Avviare il computer da cui viene configurato il proiettore.

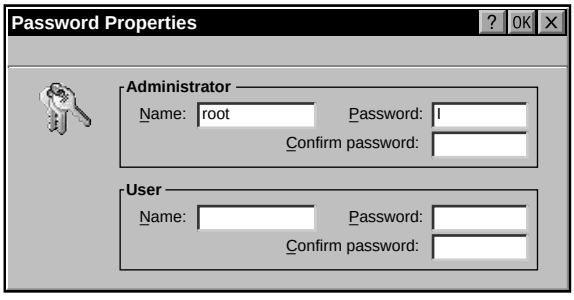
Configurazione tramite il proiettore

Creazione di una password

È possibile impostare una password in modo da impedire l'accesso da parte di utenti appartenenti a reti remote.

1 Dal menu Start (Avvio), fare clic su Control Panel (Pannello di controllo) nella finestra Network Projector.

2 Fare doppio clic sull'icona Password.
Viene visualizzata la finestra di dialogo Password Properties (Proprietà password).



3 Specificare la password nella casella di testo Password per l'area Administrator (Amministratore), quindi immettere di nuovo la stessa password nella casella di testo Confirm password (Conferma password).
Il Name (Nome) di Administrator è predefinito come "root" e non può essere modificato.

4 Specificare il nome nella casella di testo Name e la password nella casella di testo Password per l'area User (Utente), quindi immettere la stessa password nella casella di testo Confirm password.

Se viene richiesto di immettere la password nell'area Administrator o User durante l'utilizzo del proiettore da un computer, immettere il nome e la password impostati ai punti **3** e **4**.

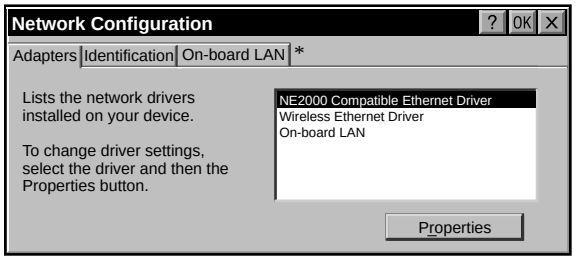
Configurazione della rete

Per effettuare un collegamento LAN, è necessario eseguire operazioni di configurazione della rete quali ad esempio l'impostazione dell'indirizzo IP.
L'indirizzo IP del proiettore verrà visualizzato nella barra delle applicazioni della finestra Network Projector del proiettore.
Se il tipo di connessione è stato modificato, è necessario effettuare di nuovo la configurazione della rete.

Per ulteriori informazioni, contattare il proprio amministratore di rete.

1 Dal menu Start (Avvio), fare clic su Control Panel (Pannello di controllo) nella finestra Network Projector.

2 Fare doppio clic sull'icona Network (Rete).
Viene visualizzata la finestra di dialogo Network Configuration (Configurazione rete).



* La scheda On-board LAN viene visualizzata per il modello VPL-PX15 e VPL-FX50.

3 Selezionare il nome del driver in funzione del tipo di collegamento della rete.
È possibile selezionare uno dei seguenti nomi di driver.

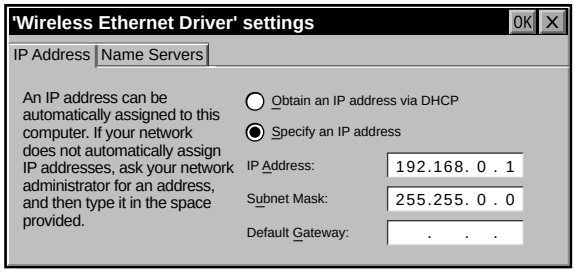
NE2000 Compatible Ethernet Driver: se viene utilizzata la scheda PC LAN NE2000 compatibile consigliata.

Wireless Ethernet Driver: se viene utilizzata la scheda PC LAN senza fili specificata.

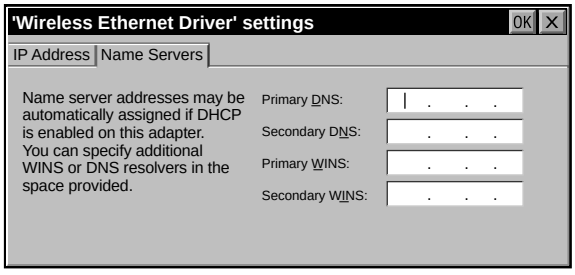
On-board LAN: se viene utilizzato il connettore ETHER per collegarsi alla rete LAN (visualizzato solo per il modello VPL-PX15 e VPL-FX50)

Viene visualizzata la finestra di dialogo di impostazione del driver selezionato.

4 Assicurarsi di avere selezionato il pulsante di opzione "Specify an IP address" (Specificare un indirizzo IP), quindi impostare le voci necessarie.
L'impostazione predefinita dell'IP Address (indirizzo IP) è "192.168.0.1" e quella della Subnet Mask è "255.255.0.0".

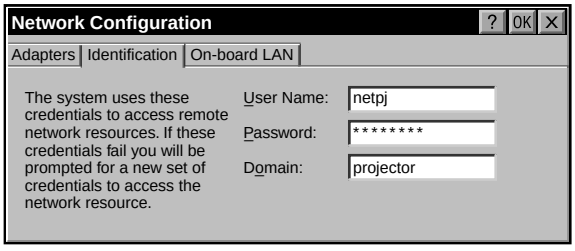

'Wireless Ethernet Driver' settings
OK
IP Address
Name Servers
An IP address can be automatically assigned to this computer. If your network does not automatically assign IP addresses, ask your network administrator for an address, and then type it in the space provided.
Obtain an IP address via DHCP
Specify an IP address
IP Address:
192.168. 0 . 1
Subnet Mask:
255.255. 0 . 0
Default Gateway:

5 Fare clic sulla scheda Name Servers (Server dei nomi) per visualizzare la finestra di dialogo Name Servers, quindi impostare le voci necessarie.


'Wireless Ethernet Driver' settings
OK
IP Address
Name Servers
Name server addresses may be automatically assigned if DHCP is enabled on this adapter. You can specify additional WINS or DNS resolvers in the space provided.
Primary DNS:
Secondary DNS:
Primary WINS:
Secondary WINS:

6 Fare clic sul pulsante OK.
Viene visualizzata di nuovo la finestra di dialogo Network Configuration.

7 In base ai requisiti del sistema, fare clic sulla scheda Identification (Identificazione), quindi impostare le voci necessarie.



8 Fare clic sul pulsante OK.

Quando si utilizza una scheda PC LAN senza fili con il modello VPL-PX15 o VPL-FX50

Quando si seleziona il nome di driver Wireless Ethernet Driver al punto **3**, seguire la procedura indicata di seguito dopo avere eseguito il punto **6**.

1 Fare clic sulla scheda On-board LAN.

2 Deselezionare la casella di controllo "Enable On-board LAN" (Abilita On-board LAN).

3 Fare clic sul pulsante OK.
Appare nuovamente la finestra del punto **2**.

Nota

Quando On-board LAN viene disattivata, ciò non viene indicato nel nome del driver della finestra di dialogo Network Configuration (Configurazione rete). Se si desidera selezionare On-board LAN, selezionare la casella di controllo Enable On-board LAN, quindi ripetere la procedura partendo dal punto **2** della sezione relativa all'impostazione della configurazione di rete.

Configurazione dell’ambiente LAN senza fili

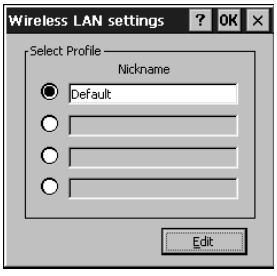
Durante l’utilizzo di una scheda PC LAN senza fili, occorre impostare il proiettore seguendo i punti descritti nella procedura riportata di seguito.

Utilizzo del punto di accesso alla LAN senza fili

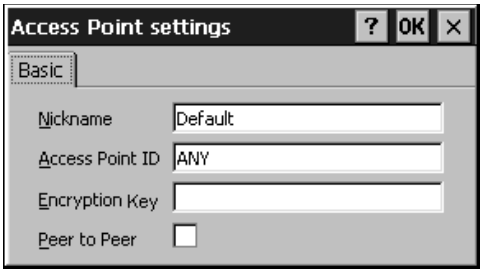
Configurare il punto di accesso al quale si sta effettuando la connessione come descritto di seguito.

1 Dal menu Start (Avvio), fare clic su Control Panel (Pannello di controllo) nella finestra Network Projector (Proiettore di rete).

2 Fare doppio clic sull’icona Wireless LAN (LAN senza fili).
Viene visualizzata la finestra di dialogo Wireless LAN settings (Impostazioni LAN senza fili).



3 Fare clic sul pulsante Edit (Modifica).
Viene visualizzata la finestra di dialogo Access Point settings (Impostazioni punto di accesso).



4 Immettere un valore nel campo Nickname (Alias).
L’alias identifica il punto di accesso. In questo campo, immettere un massimo di 32 caratteri utilizzando caratteri e simboli alfanumerici (caratteri ASCII). Se esistono più punti d’accesso, accertarsi di assegnare un nome diverso a ciascun punto.

5 Immettere un valore nel campo Access Point ID (ID del punto di accesso).
Digitare l’ID specificato per il punto di accesso a cui si sta effettuando la connessione.

6 Immettere un valore nel campo Encryption (Chiave di cifratura).
Digitare la chiave di cifratura, se questa è stata impostata ed è attiva sul punto di accesso.

7 Fare clic sul pulsante OK.
Viene nuovamente visualizzata la finestra di dialogo Wireless LAN settings.

8 Fare clic sul pulsante di opzione corrispondente all’alias che si desidera utilizzare, quindi fare clic sul pulsante OK.
Viene effettuata la connessione al punto di accesso selezionato.

Collegamento ad un punto di accesso già configurato

Se esistono più punti di accesso, è possibile assegnare fino a quattro alias per ciascun punto. Se si desidera effettuare il collegamento ad un punto di accesso già configurato, selezionare il pulsante di opzione corrispondente all’alias desiderato, quindi premere il pulsante OK nella finestra Wireless LAN settings. Viene effettuata la connessione al punto di accesso selezionato.

Nota

Se la casa produttrice della scheda LAN senza fili inserita nel proiettore e quella del punto di accesso LAN senza fili non corrispondono, le modalità di immissione della chiave di cifratura potrebbero essere differenti. Se la chiave di cifratura appare in valori esadecimali, immettere tali valori nella finestra di dialogo Encryption.

Se non sono in corso comunicazioni tra il punto di accesso ed il proiettore

Se il canale relativo al punto di accesso è impostato su un valore da 12 a 14, modificare tale valore utilizzandone uno qualsiasi compreso tra 1 e 11.

Note

- In caso di problemi durante l’utilizzo della scheda PC LAN senza fili Sony specificata/consigliata, contattare il personale Sony qualificato.
- Se la casa produttrice della scheda LAN senza fili e quella del punto di accesso alla LAN senza fili non corrispondono, la comunicazione tramite cifratura abilitata non avviene correttamente.

Modo peer to peer (Ad-hoc)

Per effettuare il collegamento alla LAN senza fili tra il proiettore e i computer senza utilizzare il punto di accesso alla LAN senza fili, attenersi alla procedura riportata di seguito utilizzando unicamente il proiettore.

1 Seguire i punti da **1** a **4** descritti nella sezione relativa all'utilizzo del punto di accesso alla LAN senza fili. Nella finestra di dialogo Access Point settings (Impostazioni punto di accesso), impostare un alias relativo a questa modalità.

2 Selezionare la casella di controllo vicina a Peer to Peer.

3 Immettere un valore opzionale nel campo Access Point ID (ID del punto di accesso).
Per digitare l'ID, è possibile utilizzare fino a un massimo di 32 caratteri alfanumerici.

4 Se si desidera rendere attiva la chiave di cifratura, immettere un valore nel campo Encryption Key (Chiave di cifratura).

5 Fare clic sul pulsante OK.
Viene nuovamente visualizzata la finestra di dialogo Wireless LAN settings (Impostazioni LAN senza fili).

6 Fare clic sul pulsante di opzione in corrispondenza del valore Nickname (Alias) immesso al punto **1**.
Viene attivato il modo peer to peer.

Per i computer collegati, è necessario immettere gli stessi valori dei campi Access Point ID e Encryption Key di quelli immessi nella procedura sopra descritta, nonché un valore Nickname opzionale. Per ulteriori informazioni, fare riferimento alle istruzioni per l'uso della scheda PC LAN senza fili installata sui computer.

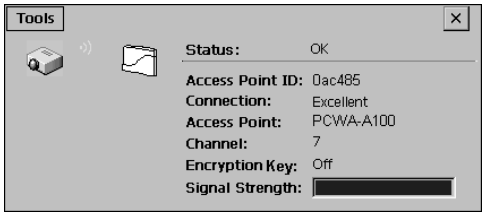
Note

- Per il proiettore e il computer, utilizzare schede PC LAN senza fili della stessa casa produttrice.
- Se il modo peer to peer (Ad-hoc) viene configurato in uno dei computer collegati, eseguire la procedura descritta al punto **1**, quindi la procedura descritta ai punti da **3** a **6** riportata in precedenza in modo da immettere gli stessi valori dei campi Access Point ID e Encryption Key di quelli immessi per il computer, nonché un valore Nickname opzionale sul proiettore.
- Selezionare Peer to Peer (Ad-hoc) solo per uno dei proiettori e dei computer facenti parte della stessa LAN.
- Se viene utilizzato il modo peer to peer (Ad-hoc), sul proiettore e sul computer è necessario impostare un indirizzo IP e una Subnet Mask appositamente per questo modo.

Verifica della connessione con il punto di accesso

È possibile verificare se la connessione tra il proiettore e il punto di accesso è stata effettuata correttamente.

1 Fare doppio clic sull'icona (indicatore del livello di ricezione) sulla barra delle applicazioni della finestra Network Projector.
Viene visualizzata la finestra che indica lo stato della connessione tra il proiettore e il punto di accesso.



2 Verificare quanto segue.
- Status: l'indicazione OK significa che il proiettore riconosce correttamente la scheda PC LAN senza fili.
- Access Point ID: ID del punto di accesso
- Connection: stato della connessione con il punto di accesso
- Access Point: informazioni relative al punto di accesso connesso
- Channel: canale assegnato
- Encryption Key: cifratura abilitata o meno sul punto di accesso connesso
- Signal Strength: livello del segnale per le comunicazioni tra il proiettore e il punto di accesso

Se l'ID del punto di accesso indica "searching" (ricerca in corso)

Verificare che l'alias, l'ID del punto di accesso, e la chiave di cifratura siano visualizzati correttamente nella finestra.
Selezionando Edit wireless Profiles... (Modifica profili senza fili) dal menu Tools (Strumenti) viene visualizzata la finestra Wireless LAN settings (Impostazioni LAN senza fili). Correggere le voci errate attenendosi ai punti da **3** a **8** descritti a pagina 10 (IT).

Impostazione di data e ora

L'orologio viene visualizzato nella barra delle applicazioni della finestra Network Projector. Per impostare la data e l'ora, eseguire le procedure descritte di seguito.

1 Dal menu Start (Avvio) della finestra Network Projector, fare clic su Control Panel (Pannello di controllo).

2 Fare doppio clic sull'icona Date/Time (Data/ora).

3 Impostare la data e l'ora.

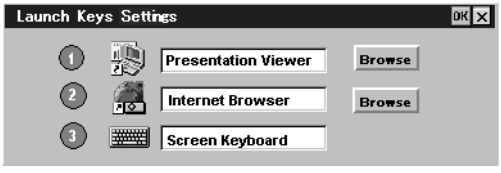
Assegnazione di un programma applicativo al tasto FUNCTION sul telecomando (per VPL-PX15 e VPL-FX50)

Se è stata assegnata un'applicazione al tasto FUNCTION 1 o 2 sul telecomando in dotazione, basterà toccare il tasto per avviare tale applicazione. La tastiera a schermo è assegnata in fabbrica al tasto FUNCTION 3, pertanto non è possibile assegnare di nuovo o cancellare tale attribuzione.

Per informazioni più dettagliate sulla tastiera a schermo, vedere a pagina 29 (IT).

1 Dal menu Start (Avvio) della finestra Network Projector, fare clic su Control Panel (Pannello di controllo).

2 Fare doppio clic sull'icona Launch Keys (Pulsanti di lancio).
Viene visualizzata la finestra di dialogo Launch Keys Settings (Impostazioni dei pulsante di lancio).



3 Fare clic su Browse (Sfoglia) per il pulsante (1 o 2) cui si desidera assegnare un programma applicativo, quindi fare clic sull'applicazione desiderata nella lista delle applicazioni.

4 Se si desidera assegnare un'applicazione a un altro pulsante, ripetere il punto **3**.

5 Fare clic sul pulsante OK.

Configurazione tramite computer

Note

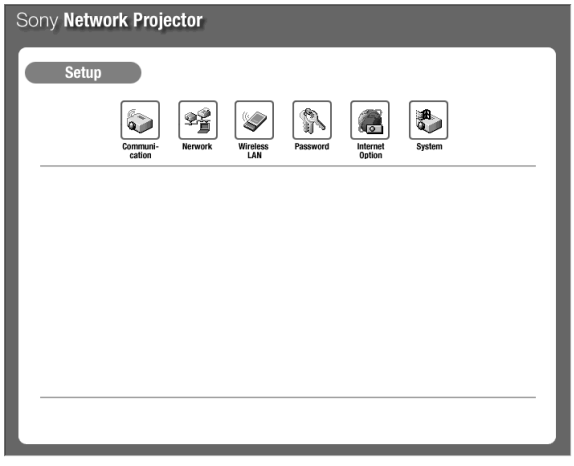
- Se l'indirizzo IP predefinito del proiettore non è stato modificato, collegare al proiettore un singolo computer che si sta utilizzando per le configurazioni.
- Se il browser sul computer è impostato su "Accesso a Internet tramite server proxy", inserire l'indirizzo IP del proiettore nella casella "Accesso a Internet senza server proxy" quando si accede al proiettore dal computer.
- Il computer potrebbe non accettare la password per il proiettore, a seconda della versione del browser. In questo caso, riavviare il browser.

Apertura della finestra di configurazione

1 Avviare il programma browser del computer (Internet Explorer versione 4.0 o successiva o Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x).

2 Digitare "http://xxx.xxx.xxx.xxx (per l'indirizzo IP del proiettore)/setup".
Se l'indirizzo IP predefinito non è stato modificato, digitare "http://192.168.0.1/setup" (se si utilizza una scheda PC LAN) oppure "http://192.168.0.2/setup" (se si utilizza il connettore ETHER).
Se il numero dell'indirizzo IP inizia con 0 (zero), inserire il numero senza lo 0.
Esempio: 192.168.000.001 ➔ 192.168.0.1
Viene visualizzata la finestra di dialogo Password.

3 Inserire il nome e la password rispettivamente nelle caselle di testo Name (Nome) e Password per l'area Administrator (Amministratore).
Se la password predefinito non viene modificato, inserire "root" nella casella di testo Name.
Viene visualizzata la finestra Setup (Installazione).



Creazione di una password

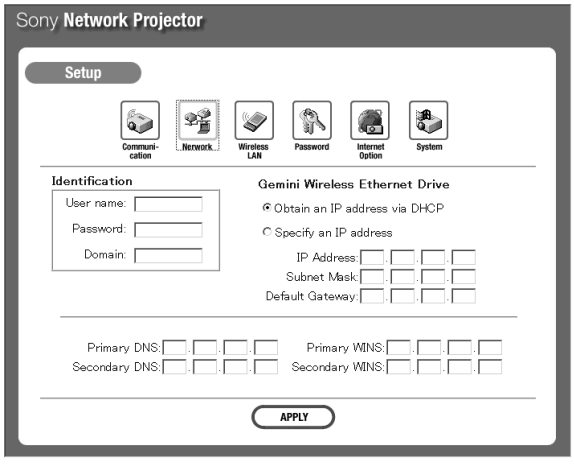
1 Fare clic sull'icona Password nella finestra Setup (Installazione).
Viene visualizzata la finestra di dialogo per la password.
La procedura di configurazione è la stessa di quella effettuata tramite il proiettore.

Per ulteriori informazioni, vedere la sezione "Creazione di una password" a pagina 8 (IT).

2 Fare clic sul pulsante APPLY (Applica).

Configurazione della rete

1 Fare clic sull'icona Network (Rete) nella finestra Setup (Installazione).
Viene visualizzata la finestra Network configuration (Configurazione della rete).



All'interno di questa finestra è possibile impostare le voci descritte nei punti da **4** a **7** della sezione "Configurazione della rete" a pagina 9 (IT).

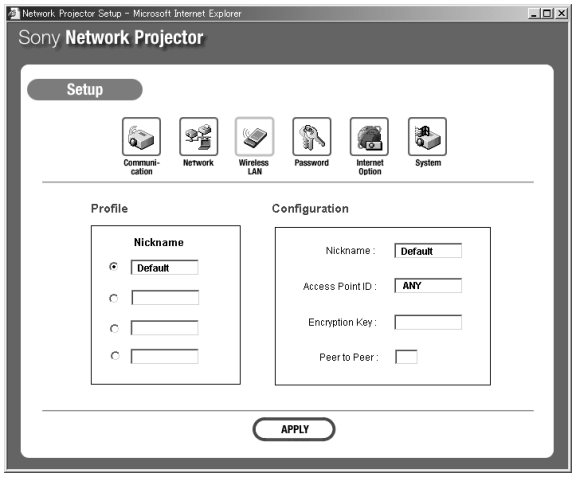
Per ulteriori informazioni, vedere la sezione "Configurazione della rete" a pagina 9 (IT).

2 Fare clic sul pulsante APPLY (Applica).
Viene visualizzata la finestra di riavvio.

3 Fare clic sul pulsante RESTART (Riavvia).
Se il proiettore viene acceso e si apre la finestra Network Projector, lo schermo del proiettore si spegne per circa 10 secondi, dopodiché il proiettore viene riavviato.
L'impostazione di rete non viene attivata fino a che non viene riavviato il proiettore.

Configurazione dell'ambiente LAN senza fili

1 Fare clic sull'icona Wireless LAN (LAN senza fili) nella finestra Setup (Installazione).
Viene visualizzata la finestra di dialogo di impostazione di Nickname (Alias), Access Point ID (ID del punto di accesso), Encryption KEY (Chiave di cifratura) e Peer to Peer.
La procedura di impostazione è la stessa di quella del proiettore.



Per ulteriori informazioni, consultare la sezione relativa alla configurazione dell'ambiente LAN senza fili utilizzando un punto di accesso LAN o meno (modo peer to peer) alle pagine 10 (IT) e 11 (IT).

2 Fare clic sul pulsante APPLY (Applica).

Diagrammi di funzionamento di base

Questa sezione descrive i diagrammi di funzionamento per l'utilizzo del proiettore in rete o per l'utilizzo della funzione di rete di cui è dotato il proiettore. Esistono due tipi di diagrammi: per il funzionamento tramite computer e per il funzionamento tramite il proiettore. Per ulteriori informazioni, vedere le pagine tra parentesi.

Condizioni necessarie

- Il proiettore e il computer devono essere collegati alla stessa LAN.
- Il proiettore e il computer devono essere attivati.
- FUNZ. INGR. B (VPL-PX15) o FUNZ. INGR. C (VPL-FX50) deve essere impostato su INSER nel menu IMPOST. INST.
- Il selettore INPUT C/RS-232C/RS-422A deve essere impostato su INPUT C (VPL-FE110M).
- L'ingresso del proiettore deve essere impostato su INPUT B (VPL-PX15) o INPUT C (VPL-FX50 e VPL-FE110M).

Funzionamento tramite computer

Esecuzione di una presentazione utilizzando un file creato in PowerPoint

Utilizzando un file creato in PowerPoint è possibile controllare una presentazione da un computer.

Avvio di un browser Web di un computer per accedere al proiettore (pagina 19)

Avviare Internet Explorer versione 4.0 o successiva o Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x, quindi immettere l'indirizzo IP del proiettore.

↓

Selezione del Visualizzatore presentazioni (pagina 20)

Selezionare l'icona Visualizzatore presentazioni nella finestra Seleziona applicazione.

↓

Ricerca di un file che si desidera utilizzare per una presentazione (pagina 20)

Selezionare la collocazione del file, computer o proiettore, quindi il file PowerPoint desiderato. Il Visualizzatore diapositive viene avviato.

↓

Configurazione di una presentazione diapositive (pagina 21)

Determinare quali diapositive utilizzare e il relativo modo di avanzamento in una presentazione.

↓

Esecuzione di una presentazione diapositive

Proiezione di un file Excel sul proiettore

È possibile proiettare un file Excel utilizzando il proiettore mediante un computer.

Avvio di un browser Web di un computer per accedere al proiettore (pagina 19)

Avviare Internet Explorer versione 4.0 o successiva o Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x, quindi immettere l'indirizzo IP del proiettore.

↓

Selezione del Visualizzatore presentazioni (pagina 23)

Selezionare l'icona Visualizzatore presentazioni nella finestra Seleziona applicazione.

↓

Individuazione di un file che si desidera proiettare sul proiettore (pagina 23)

Selezionare la collocazione del file, computer o proiettore, quindi il file Excel desiderato. Il Visualizzatore foglio di lavoro viene avviato.

↓

Proiezione di un file Excel

Proiezione di un’immagine sul proiettore utilizzando un file memorizzato in un computer

È possibile proiettare un’immagine sul proiettore utilizzando un computer.

Avvio del browser Web di un computer per accedere al proiettore (pagina 19)

Avviare Internet Explorer versione 4.0 o successiva o Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x, quindi immettere l’indirizzo IP del proiettore.

Avvio della funzione Visualizzatore immagine del proiettore (pagina 23)

Selezionare l'icona Visualizzatore immagine nella finestra Seleziona Applicazioni.

Selezione della collocazione del file (pagina 23)

Selezionare Computer nella finestra Cerca in. Il Visualizzatore immagine viene avviato.

Individuazione di un file da proiettare sul proiettore (pagina 24)

Selezionare il file di immagini desiderato facendo clic sul pulsante Sfoglia.

Proiezione di un’immagine

Proiezione di un’immagine o esecuzione di una presentazione diapositive sul proiettore utilizzando un file memorizzato nel proiettore

È possibile proiettare tramite un computer un file di immagini memorizzato nel proiettore o nella scheda di memoria PC. È inoltre possibile eseguire una presentazione diapositive utilizzando il relativo file di impostazione preimpostato nel proiettore.

Avvio del browser Web di un computer per accedere al proiettore (pagina 19)

Avviare Internet Explorer versione 4.0 o successiva o Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x, quindi immettere l’indirizzo IP del proiettore.

Selezione del Visualizzatore immagine del proiettore (pagina 25)

Selezionare l’icona Visualizzatore immagine nella finestra Seleziona applicazione.

Selezione della collocazione del file (pagina 25)

Selezionare Proiettore nella finestra Cerca in. Il Visualizzatore immagine viene avviato.

Selezione di una cartella da proiettare (pagina 25)

Selezionare la cartella desiderata nella finestra Seleziona cartella/file .SHO.

Proiezione di un’immagine

Selezione del file di impostazione per l’esecuzione di una presentazione diapositive (pagina 25)

Selezionare il file .SHO desiderato nella finestra Seleziona cartella/file .SHO.

Configurazione di una presentazione diapositive (pagina 25)

Impostare il modo di avanzamento delle diapositive nella relativa presentazione.

Esecuzione di una presentazione diapositive

Gestione dei file tramite la funzione Gestione file

Tramite questa funzione è possibile aggiungere nella memoria del proiettore i file memorizzati in un computer o eliminare i file memorizzati nel proiettore.

Avvio del browser Web di un computer per accedere al proiettore (pagina 19)

Avviare Internet Explorer versione 4.0 o successiva o Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x, quindi immettere l'indirizzo IP del proiettore.

Avvio della funzione Gestione file (pagina 26)

Selezionare l'icona Gestione file nella finestra Seleziona applicazione.

Aggiunta di file (pagina 26)

Selezionare un file memorizzato in un computer che si desidera aggiungere alla memoria del proiettore.

Eliminazione di file (pagina 26)

Selezionare un file che si desidera eliminare contenuto nella memoria del proiettore.

Esecuzione di aggiunta

Esecuzione di un'eliminazione

Controllo del proiettore

Tramite il computer è possibile effettuare varie regolazioni e impostazioni.

Avvio del browser Web di un computer per accedere al proiettore (pagina 19)

Avviare Internet Explorer versione 4.0 o successiva o Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x, quindi immettere l'indirizzo IP del proiettore.

Visualizzazione della finestra di controllo (pagina 27)

Fare clic sul pulsante MORE... .

Regolazione o impostazione del proiettore

Funzionamento tramite proiettore

Esecuzione di una presentazione utilizzando un file memorizzato nel computer

Subito dopo avere aperto un file creato con PowerPoint memorizzato nel computer, è possibile avviare una presentazione utilizzando il proiettore.

Avvio di My Projector (Risorse proiettore) (pagina 31)

Fare doppio clic sull'icona My Projector.

Selezione di un file che si desidera utilizzare per la presentazione (pagina 31)

Immettere il nome del computer in cui è memorizzato il file da utilizzare, quindi selezionare il file PowerPoint. Il Visualizzatore diapositive viene avviato, quindi il file selezionato appare come diapositiva.

Impostazione di una presentazione diapositive (pagina 31)

Determinare quali diapositive utilizzare e il relativo modo di avanzamento in una presentazione.

Esecuzione di una presentazione diapositive

Esecuzione di una presentazione utilizzando un file memorizzato nel proiettore o nella scheda memoria

Utilizzando un file memorizzato nel proiettore o nella scheda memoria PC è possibile eseguire una presentazione utilizzando solo il proiettore.

Avvio della funzione Visualizzatore presentazioni (pagina 31)

Fare doppio clic sull'icona Presentation Viewer.

Selezione di un file che si desidera utilizzare per la presentazione (pagina 31)

Dalla finestra di dialogo Open File (Apri file), selezionare il file PowerPoint desiderato. Viene avviato il Visualizzatore diapositive e il file selezionato appare come diapositiva.

Impostazione di una presentazione (pagina 31)

Determinare quali diapositive utilizzare e il relativo modo di avanzamento in una presentazione.

Esecuzione di una presentazione

Proiezione di un file Excel memorizzato in un computer

È possibile proiettare un file Excel memorizzato in un computer sulla stessa rete LAN utilizzando il proiettore.

Avvio di My Projector (Risorse proiettore) (pagina 32)

Fare doppio clic sull'icona My Projector.

Selezione di un file che si desidera proiettare (pagina 32)

Immettere il nome del computer in cui è memorizzato il file da utilizzare, quindi selezionare un file Excel. Il Visualizzatore foglio di lavoro viene avviato, quindi il file selezionato viene visualizzato sul proiettore.

Proiezione di un file Excel memorizzato in un proiettore o in una scheda memoria

È possibile visualizzare sul proiettore fogli di lavoro Excel memorizzati nel proiettore o in una scheda memoria.

Avvio della funzione Visualizzatore presentazioni (pagina 32)

Fare doppio clic sull'icona Presentation Viewer.

Selezione di un file che si desidera proiettare (pagina 32)

Dalla finestra di dialogo Open File (Apri file) selezionare il file Excel. Viene avviato il Visualizzatore foglio di lavoro, quindi il file selezionato viene visualizzato sul proiettore.

Esecuzione di una presentazione diapositive utilizzando un file di immagini memorizzato nel proiettore o nella scheda memoria

È possibile eseguire una presentazione diapositive utilizzando un file di immagini memorizzato nel proiettore o nella scheda memoria utilizzando solo il proiettore.

Esecuzione della funzione Visualizzatore immagine **(pagina 33)**

Fare doppio clic sull'icona Image Viewer.

Selezione dei file da utilizzare per la presentazione diapositive **(pagina 33)**

Fare clic sulla cartella contenente i file desiderati. Tutte le diapositive contenute nella cartella vengono visualizzate in finestre in miniatura.

Selezione delle diapositive da utilizzare per la presentazione diapositive **(pagina 34)**

Determinare quali diapositive utilizzare. Se si vogliono selezionare tutte le diapositive visualizzate nelle finestre in miniatura, fare clic su Select All (Seleziona tutto) per selezionare tutto nel menu Slide Show (Presentazione diapositive).

Configurazione di un'immagine **(pagina 34)**

Come zoomare o ruotare una diapositiva.

Esecuzione di una presentazione diapositive

Determinare il modo di avanzamento di una diapositiva. La presentazione diapositive ha inizio.

Collegamento a Internet

Avvio di Internet Browser **(pagina 35)**

Fare doppio clic sull'icona Internet Browser.

Preparazioni

Operazioni preliminari

■ **Per il modello VPL-PX15**
Assicurarsi che FUNZ. INGR. B sia impostato su INSER nel menu IMPOST. INST.

■ **Per il modello VPL-FX50**
Assicurarsi che FUNZ. INGR. C sia impostato su INSER nel menu IMPOST. INST.

■ **Per il modello VPL-FE110M**
Assicurarsi che il selettore INPUT C/RS-232C/RS-422A sia impostato su INPUT C.

Avvio del browser per accedere al proiettore

Per controllare il proiettore da un computer, è necessario accedere al proiettore avviando il browser del computer. I browser consigliati sono Internet Explorer versione 4.0 o successive e Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x.

1 Accendere il proiettore.

2 Impostare l'ingresso del proiettore su INPUT B (VPL-PX15) o su INPUT C (VPL-FX50 e VPL-FE110M)

3 Avviare il computer.

4 Avviare il browser del computer.

5 Immettere l'indirizzo IP del proiettore.
Digitare "http://xxx.xxx.xxx.xxx (per l'indirizzo IP del proiettore)".
È possibile controllare l'indirizzo IP in quanto viene visualizzato sulla barra delle applicazioni nella finestra Network Projector.
Viene visualizzata la finestra Seleziona applicazione.

Se per il proiettore è impostata la password, viene visualizzata la finestra di dialogo di impostazione della password. Immettere il nome e la password nelle relative caselle di testo Name (Nome) e Password per l'area User (Utente).

Per ulteriori informazioni sulla finestra Seleziona applicazione, vedere "Nomi e funzioni della finestra Seleziona applicazione".

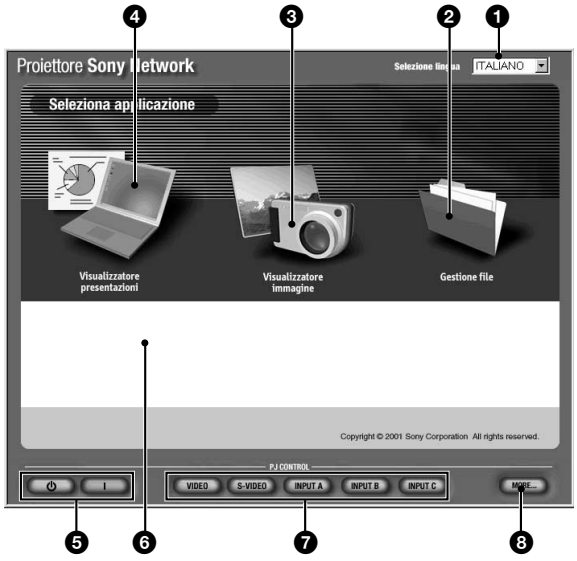
Le operazioni successive ai punti sopra elencati sono indicate alle pagine da 20 (IT) a 28 (IT).

Note

- Non è possibile ottenere l'accesso al proiettore da due o più computer contemporaneamente.
- Se il browser sul computer è impostato su "Accesso a Internet tramite server proxy", inserire l'indirizzo IP del proiettore nella casella "Accesso a Internet senza server proxy" quando si accede al proiettore dal computer.
- Il computer potrebbe non accettare la password per il proiettore, a seconda della versione del browser. In questo caso, riavviare il browser.
- Se il browser di un computer si interrompe senza che l'applicazione venga chiusa, dopo circa 30 secondi il proiettore torna automaticamente alla finestra iniziale Network Projector. In tal caso, riavviare il browser.

Nomi e funzioni della finestra Seleziona applicazione

Accedendo al proiettore viene visualizzata la finestra Seleziona applicazione. Di seguito vengono descritti i nomi e le funzioni delle icone e dei pulsanti della finestra.



❶ Pulsante Selezione lingua

Facendo clic su ▼ si apre l'elenco a discesa per la selezione della lingua. Ogni finestra è dotata di messaggi della Guida che appaiono nella parte inferiore. È possibile visualizzare tali messaggi in inglese, francese, tedesco, spagnolo, italiano o giapponese.

❷ Icona Gestione file

Avvia la funzione Gestione file per la gestione dei file memorizzati nel proiettore.

❸ Icona Visualizzatore immagine

Apre la finestra di impostazione per la proiezione di file di immagine.

(continua)

❹ Icona Visualizzatore presentazioni
Apre la finestra di selezione per l'avvio del visualizzatore di PowerPoint (Visualizzatore diapositive) o di Excel (Visualizzatore foglio di lavoro).

❺ Pulsante I/⏻ (avvio/attesa)
Attiva il proiettore o lo imposta sul modo di attesa.

❻ Guida
Soffermando il puntatore su ciascuna voce vengono visualizzate le relative istruzioni. In questo modo le operazioni di ciascuna finestra risulteranno più semplici.

❼ Pulsanti di selezione dell'ingresso
Selezionano l'ingresso del proiettore.
Il pulsante INPUT C non è presente nella finestra per il modello VPL-PX15.

❽ Pulsante MORE... (Continua)
Apre la finestra di comando del proiettore.

Esecuzione di una presentazione tramite la funzione Visualizzatore diapositive

Quando si desidera eseguire una presentazione con PowerPoint in una sala conferenze, è possibile controllare la presentazione utilizzando un computer collocato nella stessa sala oppure un computer collocato in un'altra sala.

Informazioni sulla funzione Visualizzatore diapositive

Tramite tale funzione è possibile:
- eseguire una presentazione utilizzando un file creato in PowerPoint.
- eseguire una presentazione personalizzata, se creata.
- mostrare o nascondere una nota del relatore.
- mostrare o nascondere una diapositiva.
- impostare intervalli di avanzamento delle diapositive durante una presentazione. È possibile selezionare una presentazione automatica o manuale.

Note

- A seconda della configurazione di rete, potrebbe essere necessario attendere qualche minuto prima che il file venga visualizzato.
- Poiché la funzione Visualizzatore diapositive costituisce una funzione di visualizzazione semplice di PowerPoint, non supporta alcune delle funzioni di PowerPoint. Si raccomanda di proiettare il file che si sta utilizzando per la presentazione sul proiettore prima di iniziare la presentazione.
- Di seguito sono riportati i caratteri disponibili per Visualizzatore presentazioni: Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman e Wingdings.

Esecuzione di una presentazione

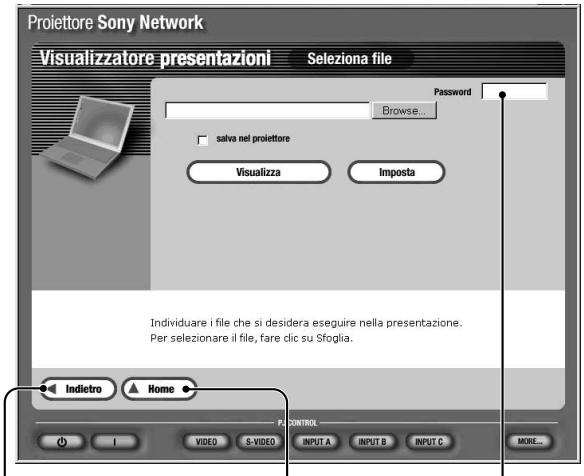
1 Fare clic sull'icona Visualizzatore presentazioni della finestra Seleziona applicazione.
Viene visualizzata la finestra Cerca In.

2 Fare clic per selezionare la collocazione del file che si desidera utilizzare per la presentazione.
Computer: per selezionare un file memorizzato in un computer
Proiettore: per selezionare un file memorizzato nel proiettore

Viene visualizzata la finestra Seleziona file.

3 Selezionare il file che si desidera utilizzare per la presentazione.

Se al punto 2 è stato selezionato Computer
Facendo clic su Sfoglia viene visualizzata la finestra di selezione dei file di un computer. Fare clic sul file PowerPoint (file .ppt o .pps) desiderato. È inoltre possibile selezionare il file immettendo il relativo nome nella casella di testo Sfoglia. Il nome del file selezionato viene visualizzato nella casella di testo Sfoglia.



Pulsante Indietro
Facendo clic su questo pulsante viene visualizzata la finestra precedente.

Pulsante Home
Facendo clic su questo pulsante viene visualizzata di nuovo la finestra Seleziona applicazione.

Casella di impostazione della password

Per memorizzare nel proiettore il file selezionato

Fare clic per selezionare la casella di controllo “salva nel proiettore”.

Se necessario, è possibile impostare una password per il file. Specificare la password nella casella di testo Password. In questo modo, a partire da questo momento il file potrà essere aperto solo inserendo la password.

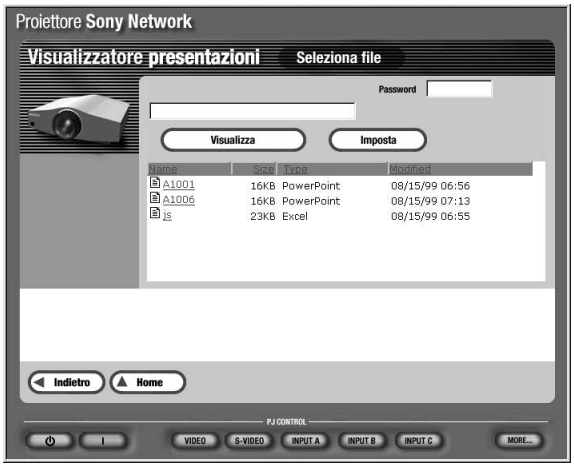
Il file viene memorizzato facendo clic sul pulsante Imposta o su Visualizza.

Nota

Se un file viene eliminato utilizzando la funzione Gestione file, non è necessario immettere la password, nonostante per il file sia stata impostata la password.

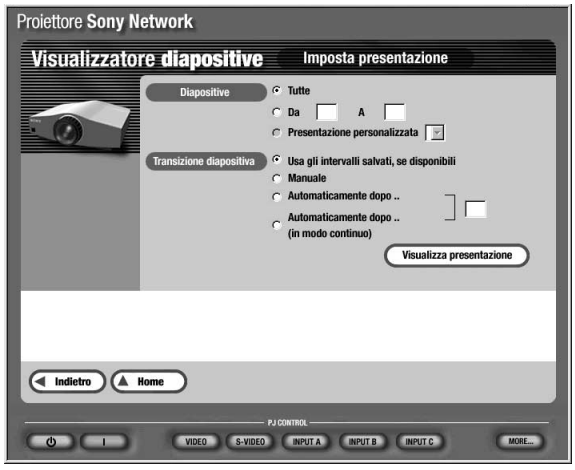
Se al punto 2 è stato selezionato Proiettore

Viene visualizzata la lista di file contenente i file memorizzati nel proiettore o nella scheda memoria (VPL-PX15 e VPL-FX50). Fare clic sul file PowerPoint desiderato. Il nome del file selezionato viene visualizzato nella casella di testo.



4 Se necessario, impostare la presentazione diapositive. Fare clic sul pulsante Imposta nella finestra Seleziona file.

Viene visualizzata la finestra Imposta presentazione. È possibile specificare le diapositive che si desidera utilizzare per la presentazione diapositive e impostarne il modo di avanzamento. Soffermando il puntatore del mouse su ciascuna voce, nella parte inferiore della finestra vengono visualizzate le relative istruzioni.



Nota

Se si esegue una presentazione utilizzando il file memorizzato in un computer, il file viene trasferito nel proiettore quando si fa clic su Imposta. La finestra Imposta presentazione non verrà visualizzata immediatamente sul computer; l’intervallo di tempo dipende dalle dimensioni del file. Durante questo intervallo viene visualizzato un messaggio.

5 Fare clic sul pulsante Visualizza nella finestra di selezione dei file o fare clic sul pulsante Visualizza presentazione nella finestra Imposta presentazione. La presentazione diapositive viene avviata.

Nota

Se si esegue una presentazione utilizzando il file memorizzato in un computer, il file viene trasferito nel proiettore quando si fa clic sul pulsante Visualizza o Visualizza presentazione. La presentazione diapositive non verrà visualizzata immediatamente sullo schermo del proiettore; l’intervallo di tempo dipende dalle dimensioni del file. Durante questo intervallo viene visualizzato un messaggio.

Per terminare la presentazione diapositive

Fare clic sul pulsante Fine presentazione.

Vedere pagina 22 (IT).

Viene visualizzata di nuovo la finestra Seleziona file.

(continua)

Nota

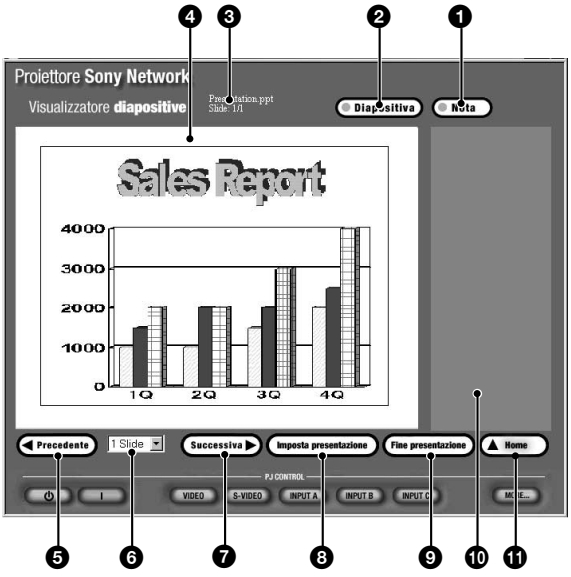
Se facendo clic sul pulsante Visualizza o Imposta presentazione appare il messaggio “Memoria del proiettore piena”, cancellare i file non necessari memorizzati nel proiettore utilizzando la funzione Gestione file (pagina 26 (IT)), quindi provare di nuovo ad eseguire la presentazione. Se viene visualizzato il messaggio “Le dimensioni del file sono troppo grandi.”, ridurre le dimensioni del file, quindi avviare di nuovo la presentazione diapositive.

Suggerimenti:

Per ridurre la dimensione fare clic su Opzioni, quindi su Salva dal menu Strumenti, infine deselezionare la casella di opzione di salvataggio veloce in PowerPoint.

Informazioni sulla finestra visualizzata durante l’esecuzione della presentazione

La seguente finestra viene visualizzata durante le presentazioni.



❶ Pulsante Nota

Seleziona se visualizzare o meno la nota del relatore.

❷ Pulsante Diapositiva

Seleziona se visualizzare o meno una presentazione diapositive sul display di un computer.

❸ Nome file/numero diapositiva

Indica il nome di un file e il numero della diapositiva visualizzata.

❹ Diapositiva

Diapositiva correntemente visualizzata nella presentazione diapositive. Sullo schermo del proiettore viene visualizzata solo questa diapositiva.

❺ Pulsante Precedente

Per tornare alla diapositiva precedente o all’impostazione dell’animazione durante la presentazione diapositive.

❻ Casella di testo Diapositiva

Facendo clic su ▼ viene visualizzato l’elenco a discesa contenente i nomi delle diapositive.
Se si seleziona una determinata diapositiva dall’elenco, questa verrà visualizzata.

❼ Pulsante Successiva

Per passare immediatamente alla diapositiva successiva o all’impostazione dell’animazione.

❽ Pulsante Imposta presentazione

Per tornare alla finestra Imposta presentazione.

❾ Pulsante Fine presentazione

Per terminare o sospendere la presentazione diapositive in modo da tornare alla finestra Seleziona file.

❿ Nota

Per visualizzare una nota del relatore. La nota non viene visualizzata sullo schermo del proiettore.

⓫ Pulsante Home

Per tornare alla finestra Seleziona applicazione.

Proiezione di un file Excel utilizzando il Visualizzatore foglio di lavoro

È possibile proiettare un file Excel sul proiettore utilizzando un computer.

Operazioni possibili con il Visualizzatore foglio di lavoro

È possibile
- visualizzare fogli di lavoro Excel in modo che riempiano lo schermo del proiettore.
- modificare l'area di un foglio di lavoro visualizzato sullo schermo del proiettore.
- ingrandire o ridurre la visualizzazione del foglio di lavoro proiettato.

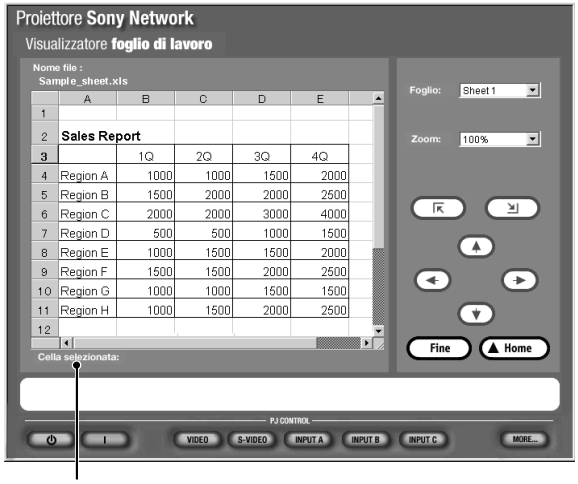
Nota

Poiché il Visualizzatore foglio di lavoro rappresenta una funzione di visualizzazione Excel semplice, questa non supporta alcune funzionalità di Excel quale ad esempio la funzione di divisione.

Proiezione di un file Excel

1 Eseguire le procedure descritte ai punti da **1** a **3** della sezione relativa all'esecuzione di una presentazione mediante il Visualizzatore diapositive, esecuzione di una presentazione, a pagina 20 (IT). Al punto **3**, assicurarsi di selezionare un file Excel (file .xls).

2 Fare clic sul pulsante Visualizza.
Il Visualizzatore foglio di lavoro viene avviato. Sul proiettore viene visualizzato un foglio di lavoro del file selezionato.



Cella correntemente selezionata

Utilizzando i pulsanti nella finestra a destra, è possibile ingrandire o ridurre la visualizzazione del foglio di lavoro proiettato sullo schermo, nonché modificare l'area del foglio di lavoro visualizzato sul proiettore.
Se il puntatore del mouse viene lasciato su ciascun pulsante o voce, le relative istruzioni vengono visualizzate nella parte inferiore della finestra.

Note

- Il foglio di lavoro visualizzato su un computer non corrisponde a quello visualizzato sul proiettore.
- Se viene selezionata una cella dal computer, questa diviene attiva se si trova nell'area visualizzata tramite il proiettore. Se tuttavia, la cella selezionata si trova al di fuori dell'area visualizzata, sul proiettore viene visualizzata l'area al cui centro si trova la cella selezionata.

Proiezione di un'immagine utilizzando la funzione Visualizzatore immagine

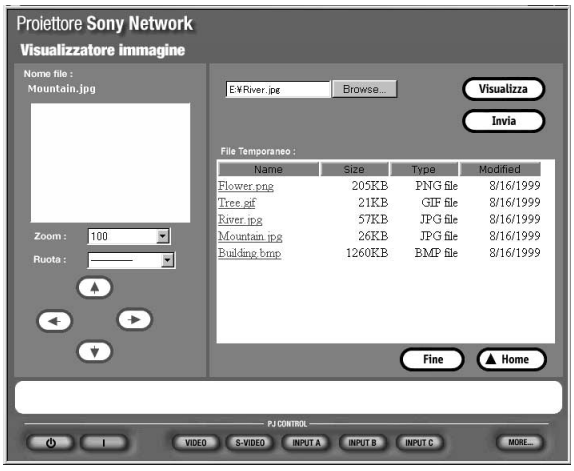
È possibile proiettare un file di immagini memorizzato in qualsiasi computer presente nella stessa LAN o registrato nella memoria del proiettore o nella scheda memoria installata nel proiettore. Inoltre, è possibile eseguire una presentazione diapositive mediante il file di impostazione della presentazione diapositive preimpostato nel proiettore (file.SHO).

Proiezione sul proiettore di un'immagine memorizzata in un computer

1 Fare clic sull'icona Visualizzatore immagine nella finestra Seleziona applicazione.
Viene visualizzata la finestra Cerca in.

(continua)

2 Fare clic su Computer.
Il Visualizzatore immagine del proiettore viene avviato, quindi la relativa finestra si apre.



Posizionando il puntatore del mouse su una voce, le relative istruzioni vengono visualizzate sulla parte inferiore della finestra.

3 Selezionare un file di immagini da visualizzare.
Fare clic su Sfoglia per aprire la finestra di selezione del file sul computer. Fare doppio clic sul file desiderato.
Il nome del file selezionato viene visualizzato nella casella di testo Sfoglia.

4 Fare clic sul pulsante Visualizza.
Sul proiettore viene visualizzata un'immagine a schermo intero del file selezionato.

Nota

Durante la proiezione di un file di immagini di grandi dimensioni, ad esempio un file in formato UXGA, non sarà possibile aprire il file per insufficienza di memoria. In tal caso, ridurre l'immagine per ottenere un file di dimensioni inferiori.

Per risparmiare tempo nel trasferimento dei dati

Facendo clic sul pulsante Visualizza, il file viene trasferito sul proiettore. È necessario un po' di tempo prima che l'immagine venga visualizzata sullo schermo del proiettore. Per visualizzare l'immagine immediatamente, trasferire sul proiettore tutti i file che si vogliono utilizzare prima di iniziare la presentazione.

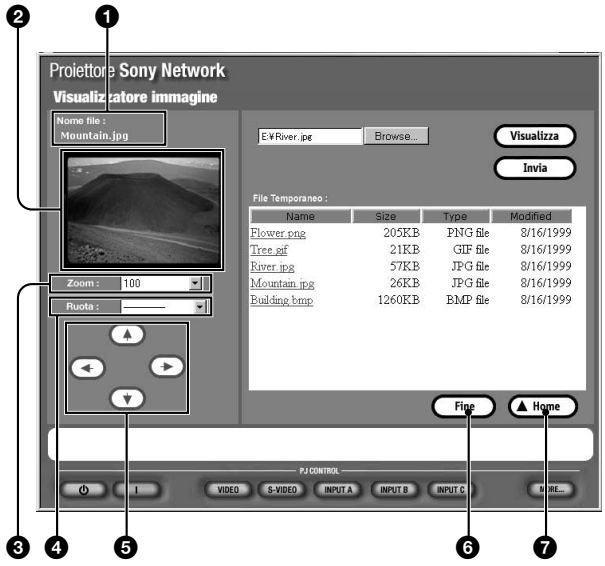
1 Dopo il punto **3** della sezione "Proiezione di un'immagine sul proiettore", fare clic sul pulsante Invia.
Il nome del file selezionato viene visualizzato nella lista dei file temporanei ed il file viene trasferito sul proiettore. Ripetere questo punto finché tutti i file desiderati non siano presenti nella finestra di dialogo dei file temporanei.

2 Fare doppio clic sul nome del file visualizzato nella finestra di dialogo dei file temporanei.
Sul proiettore viene visualizzata un'immagine a schermo intero del file selezionato.

Nota

Se la memoria della lista dei file temporanei è piena, i dati trasferiti precedentemente verranno cancellati.

Informazioni sulla finestra visualizzata durante l'esecuzione Visualizzatore immagine



❶ Nome file

Mostra il nome file dell'immagine attualmente visualizzata.

❷ Diapositiva

Mostra l'immagine attualmente visualizzata sullo schermo del proiettore.

❸ Casella di testo Zoom

Facendo clic su ▼ si apre l'elenco a discesa per la selezione del valore di ingrandimento o riduzione dell'immagine.

❹ Casella di testo Ruota

Facendo clic su ▼ si apre l'elenco a discesa per la selezione dell'angolo di rotazione dell'immagine.

Nota

Durante la proiezione di un file di immagini di ampie dimensioni, ad esempio file in formato UXGA, non sarà possibile ruotare l'immagine a causa di insufficienza di memoria. In tal caso, ridurre l'immagine per ottenere un file di dimensioni inferiori.

❺ Pulsanti di scorrimento

Facendo clic sulle frecce è possibile modificare l'area di visualizzazione dell'immagine a schermo, qualora l'immagine ingrandita non rientrasse nello schermo.

❻ Pulsante Fine
Pone fine o sospende la visualizzazione a schermo intero e ripristina la finestra Seleziona applicazione.

❼ Pulsante Home
Ripristina la finestra Seleziona applicazione.

Nota

Quando si esce dalla finestra della funzione Visualizzatore immagine facendo clic sul pulsante Fine o Home, i file elencati nel File temporaneo vengono cancellati automaticamente. Per memorizzare i file, aggiungerli al proiettore utilizzando la funzione Gestione file.

Per i dettagli, vedere "Utilizzo della funzione Gestione file" a pagina 26 (IT).

Esecuzione di una presentazione utilizzando un file di immagini memorizzato nel proiettore

1 Fare clic sull'icona Visualizzatore immagine nella finestra Seleziona applicazione.
Viene visualizzata la finestra Cerca in.

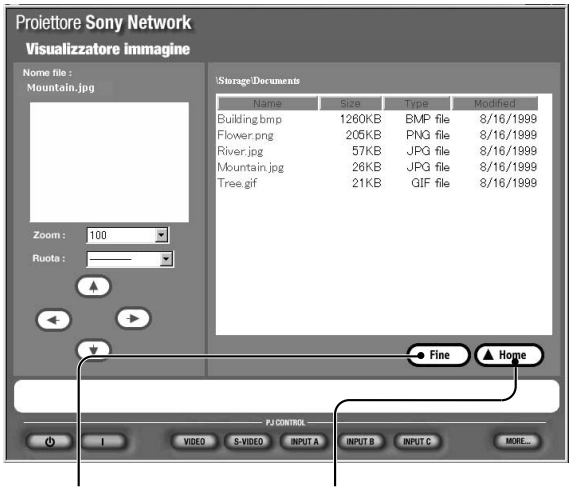
2 Fare clic su Proiettore.
Il Visualizzatore immagine del proiettore viene avviato, quindi la finestra Seleziona cartella/file .SHO si apre.

3 Dall'elenco delle cartelle nella parte sinistra della finestra, fare clic sulla cartella desiderata o sulla cartella contenente il file di impostazione della presentazione diapositive (file .SHO).
Nella parte destra viene visualizzato il contenuto della cartella selezionata.
Per informazioni relative ai file .SHO, vedere la sezione "Salvataggio dell'impostazione della presentazione diapositive" a pagina 34 (IT).

4 Selezionare una cartella o un file .SHO che si desidera utilizzare, quindi fare clic sul pulsante SELEZIONA.
Viene visualizzata la finestra Visualizzatore immagine.

5 Selezionare un file di immagini che si desidera proiettare sul proiettore.

Se al punto 4 viene selezionata una cartella
Nella parte destra vengono elencati i file di immagini contenuti nella cartella selezionata.

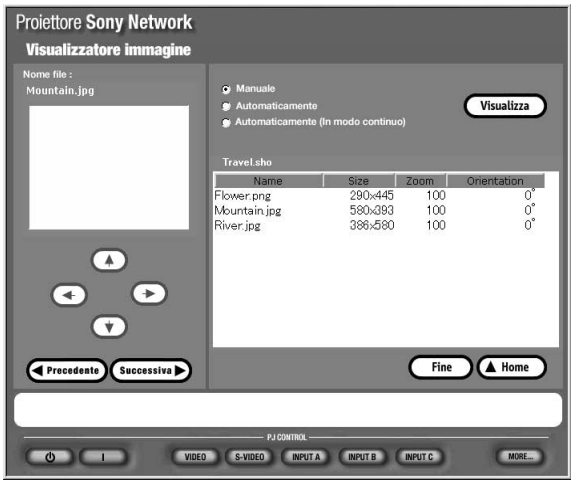


Pulsante Fine
Termina o interrompe la visualizzazione per tornare alla finestra Seleziona file.

Pulsante Home
Torna alla finestra Seleziona applicazione.

Fare clic sul file desiderato.
Sul proiettore viene proiettata un'immagine aschermo pieno del file selezionato.
Se il puntatore del mouse viene lasciato su ciascuna voce nella parte sinistra della finestra, le relative istruzioni vengono visualizzate nella parte inferiore.

Se al punto 4 viene selezionato un file .SHO
Nella parte destra viene visualizzato il file .SHO selezionato.



Selezionare il modo di avanzamento delle diapositive, quindi fare clic sul pulsante Visualizza. La presentazione diapositive viene avviata.
Se il puntatore del mouse viene lasciato su ciascuna voce nella finestra, nella parte inferiore vengono visualizzate le relative istruzioni.

Informazioni relative alla finestra visualizzata durante l’esecuzione del Visualizzatore immagine

Viene visualizzata la stessa finestra che appare nella sezione relativa alle informazioni sulla finestra visualizzata durante l’esecuzione del Visualizzatore immagine a pagina 24 (IT).
Il pulsante Successiva nella finestra di selezione del file .SHO consente di passare immediatamente alla diapositiva successiva durante la presentazione diapositive. Il pulsante Precedente consente di tornare alla diapositiva precedente.

Utilizzo della funzione Gestione file

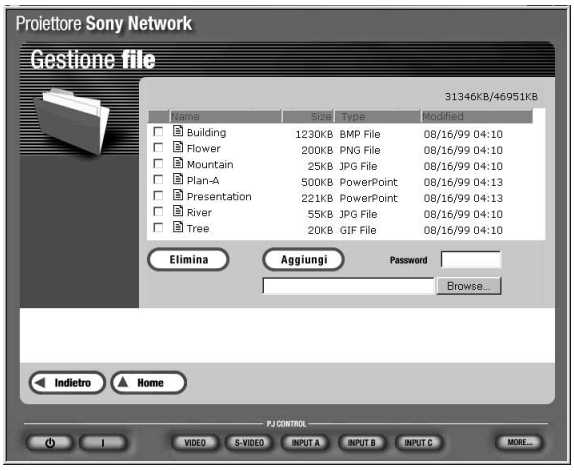
È possibile effettuare la gestione dei file memorizzati nel proiettore da un computer mediante una semplice operazione. La funzione Gestione file permette di eliminare i file non necessari memorizzati nel proiettore o di aggiungere nella memoria del proiettore i file memorizzati in un computer.
Utilizzare la funzione Gestione file durante il controllo della memoria correntemente utilizzata e della memoria più ampia non in uso del proiettore visualizzata nella finestra Gestione file.

Aggiunta di file alla memoria del proiettore utilizzando la funzione Gestione file

1 Fare clic sull’icona Gestione file nella finestra Seleziona applicazione.
Viene visualizzata la finestra Gestione file.

2 Ricercare il file memorizzato in un computer che si desidera aggiungere nella memoria del proiettore. Fare clic sul pulsante Sfoglia nell’area Aggiungi file per aprire la finestra di selezione dei file del computer. Selezionare il file desiderato. È inoltre possibile selezionare il file immettendo il relativo nome nella casella di testo Sfoglia.

A questo punto è possibile impostare una password per il file selezionato. Specificare la password nella casella di testo Password. In questo modo, a partire da questo momento il file potrà essere aperto solo inserendo la password.



3 Fare clic sul pulsante Aggiungi.
Il file selezionato viene aggiunto alla memoria del proiettore.

Eliminazione di file dalla memoria del proiettore utilizzando la funzione Gestione file

1 Fare clic sull’icona Gestione file nella finestra Seleziona applicazione.
Viene visualizzata la finestra Gestione file e l’elenco dei file contenuti nella memoria del proiettore.

2 Selezionare il file che si desidera eliminare.
È possibile selezionare tutti i file che si desidera eliminare.

3 Fare clic sul pulsante Elimina.
Tutti i file selezionati vengono rimossi dall’elenco dei file.

Nota

È possibile eliminare i file anche se dotati di password.

Controllo del proiettore da un computer

Tramite il display di un computer è possibile effettuare varie regolazioni e impostazioni per il proiettore. Sono disponibili tre finestre di controllo: GENERAL (Generale), PICTURE CTRL (Controllo immagine) e SETTINGS (Impostazioni), ciascuna dotata di funzioni diverse.
Le funzioni dei pulsanti delle finestre sono uguali a quelle dei tasti del telecomando in dotazione con il proiettore.

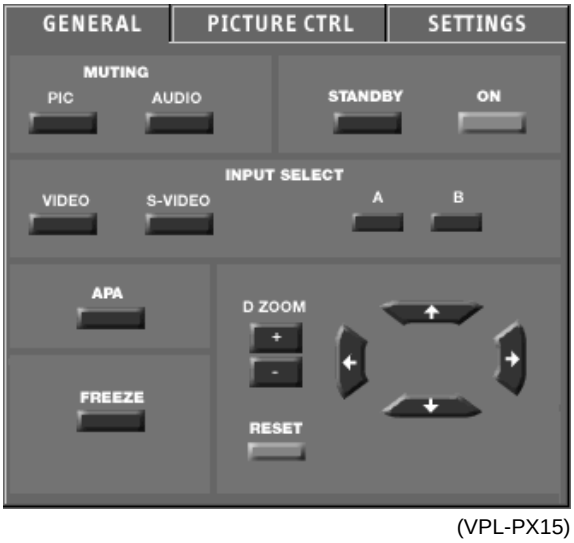
Per ulteriori informazioni sui pulsanti, consultare le istruzioni per l'uso del proiettore.

Le figure della seguente procedura si riferiscono al modello VPL-PX15.

1 Fare clic sul pulsante MORE... (Continua) nell'area PJ CONTROL (Comando proiettore). Viene visualizzata la finestra GENERAL.

2 Fare clic sulla scheda relativa alla finestra desiderata.

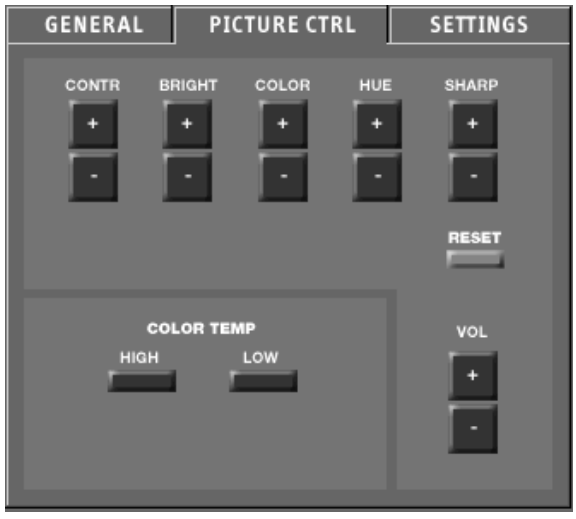
Finestra GENERAL



(VPL-PX15)

■ Per il modello VPL-FE110M
Specificare il numero di commutatore con il pulsante SWITCHER. Utilizzare il pulsante GROUP per specificare il numero indice di gruppo e il pulsante INDEX per specificare il numero indice di dispositivo. Fare clic su ▼ per visualizzare l'elenco a discesa, quindi selezionare il numero.

Finestra PICTURE CTRL



(VPL-PX15)

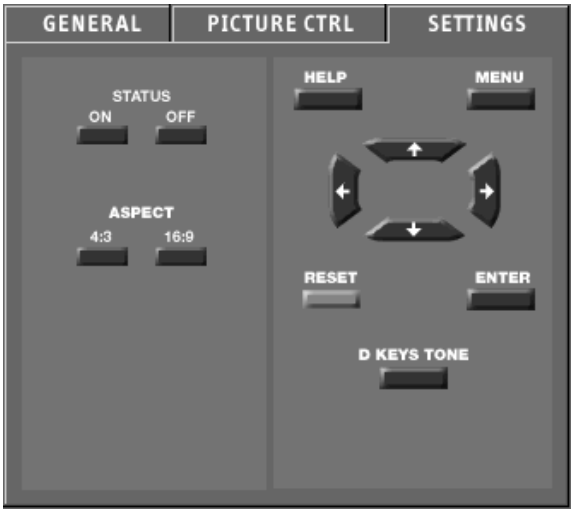
■ Per il modello VPL-PX15
I pulsanti COLOR TEMP (HIGH, LOW) hanno la stessa funzione delle relative impostazioni del menu.

■ Per il modello VPL-FX50
I pulsanti DDE (OFF, PROGRESSIVE, FILM) e RGB ENHANCER +/– hanno funzioni identiche alle impostazioni nei menu.

Per i dettagli, vedere le istruzioni per l'uso del proiettore.

(continua)

Finestra SETTINGS



(VPL-PX15)

■ Per il modello VPL-PX15
I pulsanti ASPECT (4:3, 16:9) e STATUS (ON, OFF) hanno la stessa funzione delle relative impostazioni del menu.

■ Per il modello VPL-FX50
I pulsanti ASPECT (4:3, 16:9) e LAMP MODE (STANDARD, LOW) hanno funzioni identiche alle impostazioni nei menu.

Per i dettagli, vedere le istruzioni per l'uso del proiettore.

3 Fare clic sul pulsante per effettuare la regolazione o l'impostazione.

Controllo degli indicatori del proiettore

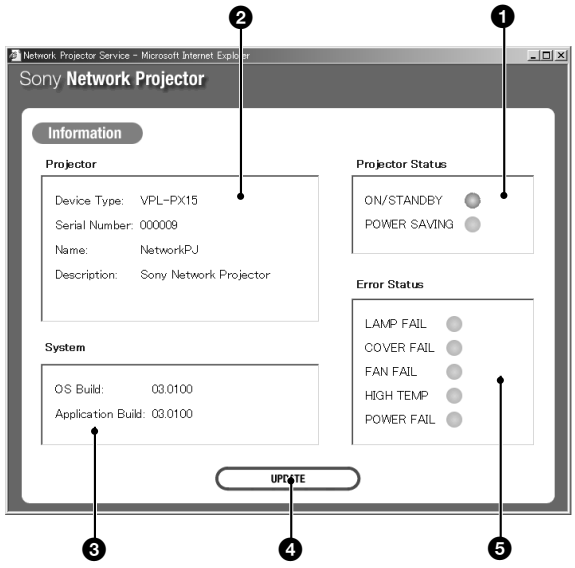
È possibile controllare sul display di un computer lo stato corrente degli indicatori del pannello di controllo del proiettore.

1 Avviare Internet Explorer versione 4.0 o successive oppure Netscape Navigator versione 4.5x o 4.7x sul computer.

2 Digitare "http://xxx.xxx.xxx.xxx (per l'indirizzo IP del proiettore)/info" come URL.
Se l'indirizzo IP predefinito non viene modificato, digitare "http://192.168.0.1/info" (se si utilizza una scheda PC LAN) oppure "http://192.168.0.2/info" (se si utilizza il connettore ETHER).
Se la password è impostata, viene visualizzata la finestra di dialogo di impostazione della password.

3 Immettere il nome e la password nell'area Administrator (Amministratore).
Viene visualizzata la finestra Information (Informazioni).

La figura riportata di seguito si riferisce al modello VPL-PX15.



❶ Projector status (Stato proiettore)
Indica le condizioni correnti del proiettore.

❷ Projector (Proiettore)
Visualizza le informazioni sul proiettore.

❸ System (Sistema)
Visualizza le versioni di Windows CE e dell'applicazione utilizzata attualmente.

❹ Pulsante UPDATE (Aggiorna)
Fare clic per aggiornare con le informazioni più recenti.

❺ Error Status (Stato indicatori)
Indica lo stato corrente degli indicatori del pannello di controllo del proiettore.

Per ulteriori informazioni sugli indicatori, consultare le istruzioni per l'uso.

Preparazioni

Operazioni preliminari

■ Per il modello VPL-PX15 e VPL-FX50

- Confermare che FUNZ. INGR. B (VPL-PX15) e FUNZ. INGR. C (VPL-FX50) nel menu IMPOST. INST. sia impostato su INSER.
- Impostare l'interruttore di selezione PJ/NETWORK su NETWORK.

■ Per il modello VPL-FE110M

- Assicurarsi che il selettore INPUT C/RS-232C/RS-422A nella parte posteriore del proiettore sia impostato su INPUT C.
- Per controllare il proiettore, utilizzare il telecomando RM-PJM610 o il mouse e la tastiera (non in dotazione). Collegare il mouse e la tastiera al proiettore prima di collegare il cavo di alimentazione del proiettore alla presa di rete CA.

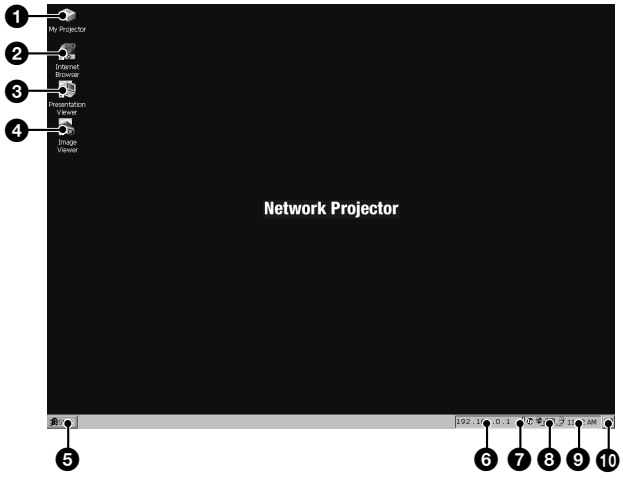
Apertura della finestra Network Projector

Per eseguire operazioni di rete senza collegarsi ad un computer, visualizzare sul proiettore la finestra Network Projector.

1 Accendere il proiettore.

2 Impostare l'ingresso del proiettore su INPUT B (VPL-PX15) o INPUT C (VPL-FX50 e VPL-FE110M).
Viene visualizzata la finestra Network Projector.

Nomi e funzioni della finestra Network Projector



❶ Icona My Projector (Risorse proiettore)
Per ricercare le cartelle del proiettore.
Facendo doppio clic su questa icona, vengono visualizzate le icone Memory card (Scheda memoria) e così via.

❷ Icona Internet Browser (Browser Internet)
Facendo doppio clic su questa icona è possibile effettuare il collegamento a Internet.

❸ Icona Presentation Viewer (Visualizzatore presentazioni)
Selezionare per eseguire una presentazione utilizzando il file creato in PowerPoint o per visualizzare tramite il proiettore un file Excel.

❹ Icona Visualizzatore immagine
Facendo doppio clic sull'icona si avvia la funzione Visualizzatore immagine per l'esecuzione della presentazione diapositive utilizzando i file di immagini memorizzati nel proiettore o nella scheda memoria.

❺ Menu Start (Avvio)

❻ Indirizzo IP
Visualizza l'indirizzo IP del proiettore. È possibile controllarlo all'accesso del proiettore mediante un computer.

❼ Icona dell'indicatore del livello di ricezione
Se il proiettore riconosce in modo corretto la scheda PC LAN senza fili inserita nello slot per PC CARD, l'icona viene visualizzata sulla barra delle applicazioni. Facendo doppio clic su tale icona viene visualizzata la finestra che indica lo stato della connessione tra il proiettore e il punto di accesso.

❽ Icona tastiera a schermo
Facendo clic sull'icona viene visualizzata la tastiera a schermo sullo schermo del proiettore. Utilizzando il telecomando in dotazione (per il modello VPL-PX15 e VPL-FX50) o il telecomando RM-PJM610 (non in dotazione, per il modello VPL-FE110M) è possibile utilizzare il proiettore per la configurazione o per la digitazione di un URL. La tastiera a schermo dispone di due pagine. Per cambiare pagina, fare clic sul tasto Maiusc.

(continua)

■ Per VPL-PX15 e VPL-FX50

- Quando l'interruttore di selezione PJ/NETWORK sul telecomando in dotazione è impostato su NETWORK, i pulsanti TAB, ESCAPE, ENTER e i tasti direzionali sul telecomando funzionano allo stesso modo dei pulsanti sulla tastiera.
- Premendo il pulsante R CLICK sul telecomando in dotazione sull'icona della tastiera a schermo, si apre il sottomenu. Facendo clic su Remote (Telecomando), quindi su On, è possibile utilizzare i pulsanti direzionali sul telecomando allo stesso modo di quelli sulla tastiera a schermo.

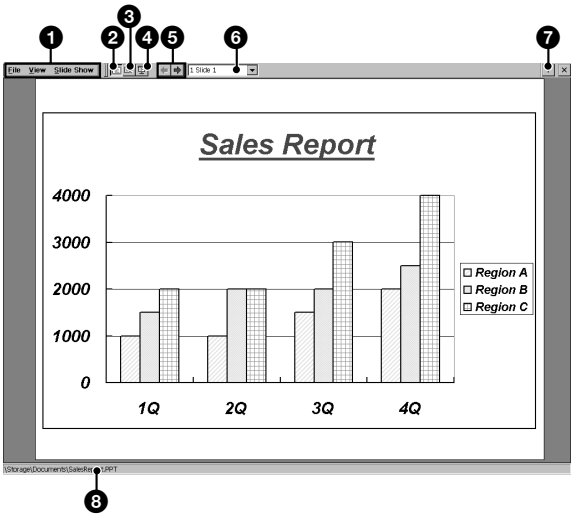
❾ Orologio

❿ Icona del desktop

Esecuzione di una presentazione utilizzando la funzione Visualizzatore diapositive

È possibile eseguire una presentazione utilizzando un file creato in PowerPoint e memorizzato in un computer collocato nella stessa sala conferenze in cui si trova il proiettore o in un'altra sala.
Anche se al proiettore non è collegato un computer, è possibile avviare la presentazione utilizzando un file memorizzato nel proiettore o nella scheda memoria inserita nello slot per PC CARD.

Informazioni sulla finestra Slide Viewer (visualizzatore diapositive)



❶ Barra dei menu

Menu	Comando	Funzione
File	Open (Apri)	Apre i file memorizzati nel proiettore.
	Recent Files (File recenti)	Apre i file impiegati di recente mostrati nel sottomenu.
	Close (Chiudi)	Chiude il file visualizzato.
	Version (Versione)	Indica le informazioni relative alla versione del programma.
View (Visualizza)	Slide View (Visualizza diapositiva)	Mostra una diapositiva nel modo Visualizza diapositiva.
	Note View (Visualizza nota)	Mostra una diapositiva nel modo Visualizza nota.
	Slide Show (Presentazione diapositive)	Esegue una presentazione diapositive.
View Show (Visualizza presenta-zione)	Run (Esegui)	Esegue una presentazione diapositive.
	Set Up Show (Imposta presentazione)	Imposta la presentazione diapositive.

❷ Pulsante (Slide View) (Visualizza diapositiva)

Visualizza una diapositiva.

❸ Pulsante (Note View) (Visualizza nota)

Visualizza una diapositiva e la nota del relatore.

❹ Pulsante (Slide Show) (Presentazione diapositive)

Esegue una presentazione diapositive.

❺ Pulsanti di transizione diapositiva

Fare clic sul pulsante per visualizzare la diapositiva precedente.
Fare clic sul pulsante per visualizzare la diapositiva successiva.

❻ Casella dell'elenco di diapositive

Fare clic su per visualizzare l'elenco a discesa, quindi selezionare il numero della diapositiva che si desidera visualizzare.

❼ Pulsante (Guida)

Fare clic per visualizzare l'argomento della guida relativo alla funzione Visualizzatore diapositive.

❽ Nome file

Viene visualizzato il nome del file.

Esecuzione di una presentazione

Utilizzo di un file memorizzato in un computer collegato alla LAN

1 Fare doppio clic sull'icona My Projector (Risorse proiettore) nella finestra Network Projector.

2 Immettere "\\ xxxx (nome del computer a cui si desidera accedere)" nella colonna dell'indirizzo, quindi fare clic sul pulsante Enter (Invio).
Vengono visualizzate le cartelle condivise del computer.

Nota

È necessario impostare le voci per la finestra di dialogo di identificazione nella configurazione della rete (pagina 9 (IT)), nonché impostare i file di condivisione mediante un computer al quale si desidera accedere.

3 Selezionare la cartella che contiene il file PowerPoint (file .ppt o .pps) per il quale si desidera eseguire la presentazione, quindi fare doppio clic sul file.
Se per il computer selezionato è stata impostata la password, immettere la password.
Viene avviata la funzione Visualizzatore diapositive.

4 Se si desidera impostare la presentazione diapositive, fare clic sul pulsante Set up Show (Imposta presentazione) dal menu View Show (Visualizza presentazione).
Viene visualizzata la finestra di dialogo Set up Show.
Per ulteriori informazioni, vedere l'Help (Guida) di Slide Viewer (Visualizzatore diapositive).

5 Fare clic su Run (Esegui) dal menu View Show per eseguire una presentazione diapositive.

Utilizzo di un file memorizzato nel proiettore o nella scheda memoria

1 Fare doppio clic sull'icona Presentation Viewer (Visualizzatore presentazioni) nella finestra Network Projector.
Viene avviato il Visualizzatore presentazioni, quindi viene visualizzata la finestra di dialogo Open File (Apri file).

2 Selezionare il file PowerPoint desiderato, quindi fare clic sul pulsante OK.
Viene avviato il Visualizzatore diapositive, quindi il file selezionato viene visualizzato come diapositiva.

3 Eseguire le procedure descritte ai punti **4** e **5** della sezione "Utilizzo di un file memorizzato in un computer collegato alla LAN".

Modifica del modo di visualizzazione delle diapositive

La funzione Visualizzatore diapositive dispone di tre modi di visualizzazione: Slide Show (Presentazione diapositive), Slide View (Visualizza diapositiva) e Note View (Visualizza nota), ciascuno dei quali offre una diversa visualizzazione delle diapositive. Ogni modo di visualizzazione viene attivato facendo clic sul relativo comando dal menu View (Visualizza). È inoltre possibile modificare i vari modi di visualizzazione facendo clic sul relativo pulsante sulla barra degli strumenti.

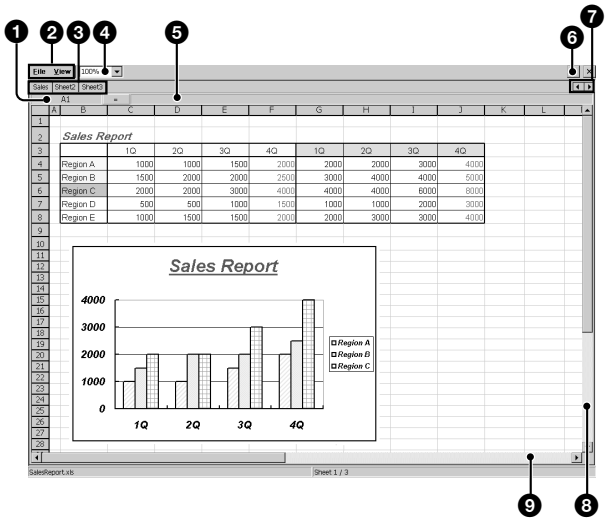
Informazioni sull'Help (Guida) della funzione Visualizzatore diapositive

Per ulteriori informazioni sulle operazioni della funzione Visualizzatore diapositive, vedere l'Help. Facendo clic sul pulsante ? sulla barra degli strumenti viene visualizzata la guida in linea.

Proiezione di un file Excel utilizzando il Visualizzatore foglio di lavoro

È possibile proiettare i file Excel memorizzati in un computer sulla stessa rete LAN. È inoltre possibile proiettare quelli memorizzati nel proiettore o nella scheda memoria senza collegare un computer.

Informazioni relative alla finestra Worksheet Viewer (Visualizzatore foglio di lavoro)



(continua)

❶ Casella nome
Identifica la cella correntemente selezionata.

❷ Barra dei menu

Menu	Comando	Funzione
File	Open (Apri)	Apre i file memorizzati nel proiettore.
	Close (Chiudi)	Chiude il file correntemente visualizzato.
	About (Informazioni su)	Indica le informazioni sulla versione del programma.
View (Visualizza)	Zoom	Apre la finestra di dialogo Zoom per ingrandire o ridurre la visualizzazione.

❸ Scheda del foglio
Visualizza i nomi del foglio. Fare clic sulla scheda del foglio per rendere attivo un foglio.

❹ Casella zoom
Fare clic su per selezionare una dimensione di visualizzazione del foglio di lavoro attivo.

❺ Barra della formula
Visualizza il risultato o il valore della costante della cella attiva.

❻ Pulsante guida
Visualizza gli argomenti della Guida del Visualizzatore foglio di lavoro.

❼ Pulsanti /
Utilizzare questi pulsanti per scorrere le schede del foglio. Fare clic sulla freccia che indica la direzione di scorrimento desiderata.

❽ Barra di scorrimento / (verso l'alto/ verso il basso)
Utilizzare la barra per scorrere la visualizzazione verso l'alto o verso il basso. Per scorrere, trascinare la casella oppure fare clic sulle frecce.

❾ Barra di scorrimento / (verso sinistra/ verso destra)
Utilizzare per scorrere la visualizzazione verso sinistra o verso destra. Per scorrere, trascinare la casella oppure fare clic sulle frecce.

Proiezione di un file Excel

Utilizzando un file memorizzato in un computer collegato alla rete LAN

1 Eseguire i procedimenti descritti ai punti **1** e **2** nella sezione relativa all'esecuzione di una presentazione utilizzando un file memorizzato in un computer collegato alla rete LAN a pagina 31 (IT).

2 Selezionare la cartella contenente il file Excel (file .xls) che si desidera proiettare sul proiettore, quindi fare doppio clic sul file.
Se per il computer selezionato è impostata una password, immetterla.
Il Visualizzatore foglio di lavoro viene avviato e sul proiettore viene visualizzato un foglio di lavoro nel file Excel selezionato.

Utilizzando un file memorizzato nel proiettore o nella scheda memoria

1 Fare doppio clic sull'icona Presentation Viewer (Visualizzatore presentazioni) nella finestra Network Projector.
Viene avviato il Visualizzatore presentazioni, quindi viene visualizzata la finestra di dialogo Open File (Apri file).

2 Selezionare il file Excel che si desidera proiettare, quindi fare clic sul pulsante OK.
Viene avviato il Visualizzatore foglio di lavoro, quindi un foglio di lavoro presente nel file selezionato viene visualizzato tramite il proiettore.

Modifica delle dimensioni o dell'area di visualizzazione del foglio di lavoro proiettato
Se si desidera ingrandire o ridurre il foglio di lavoro proiettato o modificarne l'area, vedere Guida del Visualizzatore foglio di lavoro.

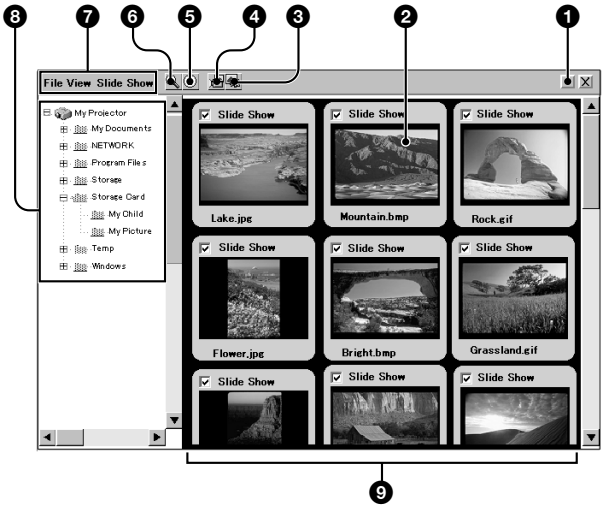
Informazioni sulla Guida del Visualizzatore foglio di lavoro

Per ulteriori informazioni sul funzionamento del Visualizzatore foglio di lavoro, consultare la Guida, ai cui argomenti è possibile accedere facendo clic sul pulsante nella barra degli strumenti.

Esecuzione di una presentazione diapositive utilizzando la funzione Visualizzatore immagine

È possibile visualizzare immagini in miniatura dei file memorizzati nel proiettore o nella scheda memoria installata nel proiettore ed eseguire una presentazione diapositive selezionando le immagini desiderate. Quando la funzione Visualizzatore immagine del proiettore viene avviata e si seleziona la cartella contenente i file desiderati, la finestra principale si apre.

Informazioni sulla finestra principale della funzione Visualizzatore immagine



❶ Pulsante ? (Guida)
Fare clic per visualizzare l'argomento della guida della funzione Visualizzatore immagine.

❷ Diapositiva
Facendo clic su una diapositiva appare una cornice verde intorno alla diapositiva. Ciò indica che la diapositiva è stata selezionata.

❸ Pulsante (Slide Show Setting) (Impostazione presentazione diapositive)
Apre la finestra di dialogo Slide Show Setting (Imposta presentazione diapositive) per eseguire zoomate, rotazioni dell'immagine, ecc.

❹ Pulsante (View Show) (Visualizza presentazione)
Facendo clic sul pulsante si apre il sottomenu per far avanzare la diapositiva.

❺ Pulsante (Information) (Informazioni)
Apre la finestra di dialogo delle informazioni della diapositiva selezionata.

❻ Pulsante (Full screen) (Schermo intero)
Visualizza la finestra a schermo intero della diapositiva selezionata.

❼ Barra dei menu

Menu	Comando	Funzione
File	Close (Chiudi)	Chiude il file attualmente visualizzato.
	About (A proposito di)	Visualizza informazioni sulla versione del programma.
View (Visualizza)	Full Screen (Schermo intero)	Visualizza una finestra a schermo intero dell'immagine selezionata.
	Information (Informazioni)	Apre la finestra di dialogo di informazioni dell'immagine selezionata.
	Sort Slides (Ordina diapositive)	Ordina le diapositive in una cartella secondo un ordine specificato.
Slide Show (Presentazione diapositive)	View Show (Visualizza presentazione)	Esegue una presentazione diapositive facendo avanzare una diapositiva selezionata nel sottomenu.
	Slide Show Setting (Impostazione presentazione diapositive)	Configura dettagliatamente la presentazione diapositive.
	Select all (Seleziona tutto)	Seleziona tutte le diapositive contenute nella finestra in miniatura.
	Clear all (Cancella tutto)	Cancella qualsiasi selezione di diapositive in immagini di anteprima.
	Load... (Carica...)	Carica i file memorizzati di impostazione della presentazione diapositive.
	Save... (Salva...)	Memorizza la corrente impostazione di presentazione diapositive come un file di impostazione (estensione ".SHO").

❽ Finestra di dialogo Folder (Cartella)
Compie una ricerca nelle cartelle memorizzate nel proiettore o nella scheda memoria installata nel proiettore.

❾ Area di visualizzazione della diapositiva
Visualizza immagini in miniatura delle diapositive contenute nella cartella selezionata.

Visualizzazione di un'immagine a schermo intero

È possibile visualizzare l'immagine a schermo intero di un'immagine in miniatura selezionata dalla finestra principale.

1 Fare doppio clic sull'icona Image Viewer (Visualizzatore immagine) nella finestra Network Projector.
La funzione Visualizzatore immagine viene avviata.

(continua)

2 Selezionare dalla finestra di dialogo relativa la cartella contenente il file di immagini che si desidera visualizzare.
È possibile scegliere la cartella memorizzata nel proiettore o una scheda memoria installata nel proiettore.
La finestra principale si apre, visualizzando immagini in miniatura delle diapositive contenute nella cartella selezionata.

3 Selezionare la diapositiva da visualizzare facendo clic su una diapositiva in miniatura.
Intorno alla diapositiva selezionata viene visualizzata una cornice verde.

4 Fare clic con il tasto destro del mouse sulla diapositiva per selezionare Full Screen (Schermo intero), fare clic su Full Screen nel menu View (Visualizza), oppure fare clic sul pulsante sulla barra degli strumenti.
La diapositiva viene visualizzata in modo da essere adattata allo schermo del proiettore.

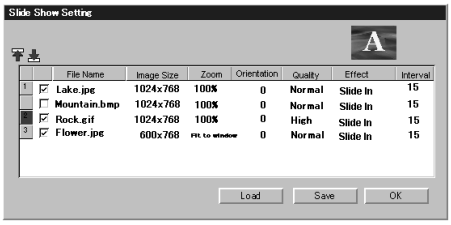
Esecuzione di una presentazione diapositive

1 Seguire i punti da **1** a **2** in "Visualizzazione di un'immagine a schermo intero".

2 Selezionare le diapositive da utilizzare per la presentazione diapositive.
- Contrassegnare la casella Slide Show (Presentazione diapositive) di ogni diapositiva che si desidera utilizzare. Contrassegnare tutte le diapositive che si stanno utilizzando.
- Per utilizzare tutte le diapositive nella cartella selezionata, fare clic su Select all (Seleziona tutto) nel menu Slide Show.
- Se sono già stati memorizzati i file di impostazione della presentazione diapositive, fare clic su Load... (Carica ...) nel menu Slide Show per visualizzare la finestra di dialogo Load Slide show setting file (Carica file di impostazioni presentazione diapositive). Selezionare il file desiderato.

Per i dettagli sui file di impostazione Presentazione diapositive, vedere "Salvataggio dell'impostazione della presentazione diapositive".

3 Quando si desidera configurare la diapositiva, ad esempio eseguire una zoomata o una rotazione dell'immagine, fare clic su Slide Show nel menu Slide Show o fare clic sul pulsante sulla barra degli strumenti.
Appare la finestra Slide Show Setting (Impostazione presentazione diapositive).



Cambiare le impostazioni e fare clic sul pulsante OK o Save.

Nota

Durante la proiezione di un file di immagini di grandi dimensioni, ad esempio un file in formato UXGA, non sarà possibile aprire o ruotare il file per insufficienza di memoria. In tal caso, ridurre l'immagine per ottenere un file di dimensioni inferiori.

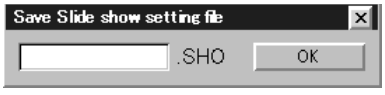
4 Fare clic su View Show (Visualizza presentazione) nel menu Slide Show, o fare clic sul pulsante sulla barra degli strumenti.
Si apre il sottomenu per la selezione del modo di avanzamento delle diapositive. Per avviare la presentazione diapositive fare clic su una delle opzioni.

Salvataggio dell'impostazione della presentazione diapositive

È possibile eseguire una presentazione diapositive ripetutamente utilizzando i file memorizzati come file di impostazione della presentazione diapositive (file.SHO). È inoltre possibile modificare la configurazione dei file di impostazione memorizzati.

Per salvare i file

1 Fare clic su Save... (Salva ...) nel menu Presentazione diapositive.
La finestra di dialogo Save Slide show setting file (Salva file di impostazione presentazione diapositive) si apre.



2 Immettere il nome del file, quindi fare clic sul pulsante OK.
I file salvati vengono visualizzati nella finestra di dialogo Load Slide show setting file (Carica file di impostazioni presentazione diapositive).

Per salvare dopo avere modificato le impostazioni

Fare clic su Slide Show Setting (Impostazione presentazione diapositive) nel menu Slide Show (Presentazione diapositive) per aprire la finestra di dialogo Impostazione presentazione diapositive e modificare le impostazioni. Fare clic su Save per aprire la finestra di dialogo Save Slide show setting file. Eseguire il punto **2**.

Per modificare le impostazioni dopo avere salvato

1 Fare clic su Slide Show Setting (Impostazione presentazione diapositive) nel menu Slide Show (Presentazione diapositive).
La finestra di dialogo Slide Show Setting si apre.

2 Fare clic su Load (Carica).
Viene visualizzata la finestra di dialogo Load Slide show setting file (Carica file di impostazioni presentazione diapositive).

3 Selezionare il file di cui si desidera modificare le impostazioni e fare clic sul pulsante OK.
La finestra di dialogo Impostazione presentazione diapositive si apre.

4 Modificare le impostazioni, quindi fare clic sul pulsante Save (Salva).

Per modificare l'impostazione nella finestra principale

1 Fare clic su Load... (Carica...) nel menu Slide show (Presentazione diapositive).
La finestra di dialogo Load Slide show setting file (Carica file di impostazioni presentazione diapositive) si apre.

2 Selezionare il file da modificare, fare clic sul pulsante OK.
La finestra principale si apre.

3 Modificare la selezione delle caselle di controllo di Slide Show relative alle diapositive.

Informazioni sull'Help (Guida) della funzione Visualizzatore immagine

Per ulteriori informazioni sulle operazioni della funzione Visualizzatore immagine, vedere l'Help. Facendo clic sul pulsante ? sulla barra degli strumenti è possibile visualizzare gli argomenti della guida.

Collegamento a Internet

1 Fare doppio clic sull'icona Internet Browser (Browser Internet) nella finestra Network Projector.
Viene visualizzata la finestra Internet Browser.

2 Fare clic sull'icona del software della tastiera sulla barra delle applicazioni per visualizzare la tastiera a schermo, quindi immettere l'indirizzo Internet desiderato.

Guida alla soluzione dei problemi

Se il proiettore non funziona correttamente, tentare di individuare e risolvere il problema utilizzando la seguente guida. Se il problema persiste, consultare il personale Sony qualificato.

Sintomo	Cause e soluzioni
Non viene stabilito il collegamento alla rete.	• La scheda PC non è inserita correttamente nello slot per PC CARD. → Controllare che la scheda sia inserita dal lato corretto, quindi spingerla a fondo. • Il cavo non è collegato correttamente al connettore ETHER.(VPL-PX15, VPL-FX50) → Inserire saldamente la spina del cavo nel connettore . • La scheda PC LAN, la scheda PC LAN senza fili e il punto di accesso alla LAN senza fili non sono del tipo specificato/consigliato. → Utilizzare quanto specificato/consigliato poiché diversamente si potrebbero verificare problemi di funzionamento. Per ulteriori informazioni sulle schede specificate/consigliate, consultare l'allegato "Scheda PC/punto di accesso alla LAN senza fili specificati/ consigliati". • L'ambiente di rete non è configurato correttamente. → Controllare le impostazioni per la configurazione della rete del proiettore (pagine 9 (IT) e 13 (IT)). → Se il proiettore viene controllato mediante il browser Web del computer, controllare inoltre le impostazioni della rete del computer. • Se viene utilizzata una scheda PC LAN senza fili, la casella di controllo Enable On-board LAN è selezionata (VPL-PX15, VPL-FX50). → Rimuovere il segno di spunta dalla casella di controllo Enable On-board LAN. • Se si sta utilizzando la scheda PC LAN senza fili, la LAN senza fili non è configurata correttamente. → Controllare che l'Access Point ID e la Encryption Key nella finestra di dialogo di Connecting Status siano impostati sugli stessi numeri del punto di accesso collegato (pagina 11 (IT)). • Durante l'utilizzo della scheda PC LAN senza fili, il modo peer to peer non è impostato correttamente. → Selezionare il modo peer to peer solo per un apparecchio collegato alla stessa LAN senza fili (pagina 11 (IT)). • Il canale del punto di accesso è impostato su 12–14. → Impostare il canale del punto di accesso su 1–11. • La scheda PC LAN, la scheda PC LAN senza fili, la scheda memoria o il punto di accesso continuano a non funzionare anche dopo il controllo. → Contattare il produttore della scheda o del punto di accesso in uso. Se si sta utilizzando la scheda PC LAN senza fili Sony specificata/consigliata, rivolgersi esclusivamente a personale Sony qualificato.
Il computer non può accedere al proiettore.	• L'impostazione di FUNZ. INGR. B (VPL-PX15) o FUNZ. INGR. C (VPL-FX50) nel menu IMPOST. INST non è corretta. → Impostare su INSER. • L'interruttore di selezione INPUT C/RS-232C/RS-422A non è impostato correttamente. (VPL-FE110M) → Impostarlo su INPUT C. • Il browser del computer è impostato su "Accesso a Internet tramite server proxy". → Immettere l'indirizzo IP del proiettore nella casella "Accesso a Internet senza server proxy" . • È stato immesso l'indirizzo IP del proiettore con uno 0 (zero) iniziale. → Non immettere 0 all'inizio del numero. Esempio: 192.168.000.001 →192.168.0.1

Sintomo	Cause e soluzioni
Lo schermo del proiettore è bloccato.	Il software Windows CE è bloccato. → Dopo avere impostato FUNZ. INGR. B (VPL-PX15) o FUNZ. INGR. C (VPL-FX50) nel menu IMPOST. INST. su DISIN, reimpostarlo su INSER. → Riavviare Windows CE premendo il tasto RESET entro 5 secondi dalla pressione del tasto FUNCTION del telecomando RM-PJ1001 in dotazione. (VPL-FE110M)
In un file PowerPoint o Excel i caratteri o gli stili cambiano.	Nel testo del file sono presenti caratteri o stili non supportati dal Visualizzatore diapositive o dal Visualizzatore foglio di lavoro. → Per la funzione Visualizzatore diapositive sono disponibili solo i seguenti caratteri. Gli altri caratteri verranno sostituiti con questi; Arial, Bookman Old Style, Comic Sans MS, Impact, Symbol, Tahoma, Times New Roman, Wingdings. Se sostituita, la fine di un paragrafo potrebbe cambiare in funzione delle impostazioni del tab o del paragrafo. Gli stili non supportati dalla funzione Visualizzatore diapositive verranno sostituiti con altri supportati.
In un file PowerPoint o Excel alcuni caratteri non vengono visualizzati.	Non è possibile visualizzare i caratteri non supportati dal Visualizzatore diapositive o dal Visualizzatore foglio di lavoro come ad esempio il cinese. → Utilizzare file creati in inglese, francese, spagnolo o tedesco o italiano supportati dalla funzione Visualizzatore diapositive.
Gli effetti di alcune funzioni di file PowerPoint o Excel non vengono visualizzati correttamente o non vengono visualizzati.	Il file impiega funzioni non supportate dalla funzione Visualizzatore diapositive o Visualizzatore foglio di lavoro del proiettore. → Tali funzioni verranno sostituite con altre supportate. Se non viene visualizzato alcunché, applicare gli effetti supportati.
Non è possibile eseguire una presentazione diapositive. Viene visualizzato il messaggio “Memoria del proiettore piena. Disporre i file memorizzati nel proiettore mediante Gestione file, quindi tentare di riavviare la presentazione diapositive.”.	La memoria del proiettore è esaurita. → Eliminare i file non necessari memorizzati nel proiettore utilizzando la funzione Gestione file in modo da aumentare lo spazio della memoria.
Non è possibile eseguire una presentazione diapositive. Viene visualizzato il messaggio “Le dimensioni del file sono troppo grandi. Diminuire le dimensioni del file, ad esempio, dividendolo in file di dimensioni inferiori, quindi tentare di riavviare la presentazione diapositive.”.	Le dimensioni del file non ne permettono la transizione al proiettore. → Controllare la capacità residua della memoria nella finestra Gestione file, quindi diminuire le dimensioni del file dividendolo in file più piccoli. → Fare clic su Opzioni, quindi su Salva dal menu Strumenti in PowerPoint, quindi deselezionare la casella di salvataggio veloce.
Non è possibile avviare il browser Internet per il proiettore.	Il proiettore non è collegato alla LAN. → Controllare le impostazioni per la configurazione della rete e dell’ambiente LAN senza fili (pagine da 9 (IT) a 13 (IT)).
Viene visualizzato il messaggio “È impostata la password per il file. Immettere la password.”.	È stata impostata una password per il proiettore o per il file. → Digitare la password. Se l’indirizzo IP non viene modificato rispetto a quello preimpostato in fabbrica, immettere “root” nella casella di testo Name (Nome) per l’area Administrator (Amministratore).
Viene visualizzato il messaggio “Potrebbe essere stata immessa una password errata. Immetterla di nuovo.”.	La password digitata non è corretta. → Digitare la password corretta.

目录

使用之前

特性 ..... **4 (CS)**
使用前须知 ..... **5 (CS)**
关于本手册 ..... **5 (CS)**

准备工作

使用网络功能的准备 ..... **6 (CS)**
系统结构 ..... 6 (CS)
使用 PC 卡 ..... 7 (CS)
设定网络功能 ..... 7 (CS)
使用遥控器或鼠标器和键盘 ..... 7 (CS)
设定投影机 ..... **8 (CS)**
从投影机设定 ..... 8 (CS)
从电脑设定 ..... 12 (CS)
基本操作流程图 ..... **14 (CS)**
从电脑操作 ..... 14 (CS)
从投影机操作 ..... 16 (CS)

操作

从电脑操作 ..... **19 (CS)**
准备工作 ..... 19 (CS)
用 Slide Viewer（幻灯片阅读器）进行演示 ..... 20 (CS)
用 Worksheet Viewer（工作表阅读器）
投影 Excel 文件 ..... 23 (CS)
使用 Image Viewer（图像阅读器）投影图像 ..... 23 (CS)
使用 File Manager（文件管理器） ..... 26 (CS)
从电脑控制投影机 ..... 27 (CS)
检查投影机上的指示灯 ..... 28 (CS)
从投影机操作 ..... **29 (CS)**
准备工作 ..... 29 (CS)
用 Slide Viewer（幻灯片阅读器）进行演示 ..... 30 (CS)
用 Worksheet Viewer（工作表阅读器）
投影 Excel 文件 ..... 31 (CS)
使用 Image Viewer（图像阅读器）进行幻灯片
演示 ..... 33 (CS)
连接至互联网 ..... 35 (CS)

其他

故障排除 ..... **36 (CS)**

- Microsoft、Windows 和 PowerPoint 是微软公司在美国和（或）其他国家的注册商标。
- Netscape Navigator 是网景通讯公司在美国和（或）其他国家的商标。
- 本手册中所提到的其他产品和公司名是其相应公司的商标或注册商标。

特性

本投影机内装 Windows CE 并具有网络兼容性。连接至局域网（LAN）后，可以用存储在连接于相同局域网上的电脑中的文件进行演示。可以从远离投影机或与投影机位于同一会议室的电脑中打开文件。也可以仅将投影机连接至互联网。

当用电脑的网络浏览器访问投影机时，可以从电脑控制演示。

连接至局域网

本投影机装备有 ETHER （以太）连接器（用于 VPL-PX15 和 VPL-FX50）和 PC 卡插槽，可以使用局域网电缆或指定／推荐的局域网 PC 卡将投影机连接到局域网。将无线局域网 PC 卡安装到 PC 卡插槽可以进行无线局域网连接。

PC 卡插槽一体化

本投影机装备有 PC 卡插槽。

将存有数据的 PC 内存卡插入此插槽，可让您无需使用电脑便可启动演示。

Presentation Viewer（演示阅读器）功能

本投影机内装名称分别为 Slide Viewer（幻灯片阅读器）和 Worksheet Viewer（工作表阅读器）的简单 Microsoft PowerPoint 和 Microsoft Excel 阅读器功能。这两种功能供您用 PowerPoint 文件进行幻灯片演示或投影 Excel 文件而无需任何变换。

Image Viewer（图像阅读器）功能

本投影机内装 Image Viewer（图像阅读器）功能，供您观看以 JPEG、BMP、GIF 或 PNG 格式中制作的图像，设定幻灯片演示、并使用图像进行幻灯片演示。

File Manager（文件管理器）功能

使用电脑的网络浏览器，可以通过操作电脑将存储在电脑中的文件添加到投影机中或删除存储在投影机中的文件。

内装网络浏览器

投影机中安装有 Internet Explorer 4.0 或类似的软件，供您连接至互联网。

存储功能

本投影机可以存储从电脑或内存卡输入的文件。

存储文件时，可以建立口令以防他人未经许可打开文件。

使用前须知

小心

使用附带的遥控器关闭或重设投影机之前，请务必退出打开着的所有应用软件。否则，系统可能会发生故障，可能无法重新启动投影机。

- 推荐的投影机系统要求如下：
  – Microsoft Windows 98, Microsoft Windows 98 SE, Microsoft Windows 2000, Microsoft Windows Me
- 请务必使用指定／推荐的局域网 PC 卡、无线局域网 PC 卡、PC 内存卡和无线局域网线路入口。也请使用指定／推荐的无线局域网 PC 卡安装至所连接的电脑。
  使用未经指定／推荐的装置可能会引起操作异常。

有关所指定／推荐的装置，请参见附带的“指定／推荐的 PC 卡／无线局域网线路入口一览表”。

- 为防止数据丢失，请经常制作数据备份。
  在任何情况下 Sony 对数据的丢失概不负责。
- 请注意，软件规格若有变更，恕不另行通知。
- 本手册中的某些插图可能与实际的应用软件不同。

关于本手册

本手册说明 VPL-PX15、VPL-FX50 和 VPL-FE110M 液晶显示屏数据投影机的网络操作。

也可以使用在线帮助文件。当您访问本投影机的网络服务器时，将光标停留在各项目上时电脑上会出现提示句。

在本投影机的 Windows CE 视窗上，可以从 Start（开始）菜单点击 Help（帮助）来打开帮助文件。本投影机的 Windows CE 不能支持某些功能。点击各应用视窗中工具栏上的 ? 键时，Slide Viewer（幻灯片阅读器）、Worksheet Viewer（工作表阅读器）或 Image Viewer（图像阅读器）的帮助文件打开。

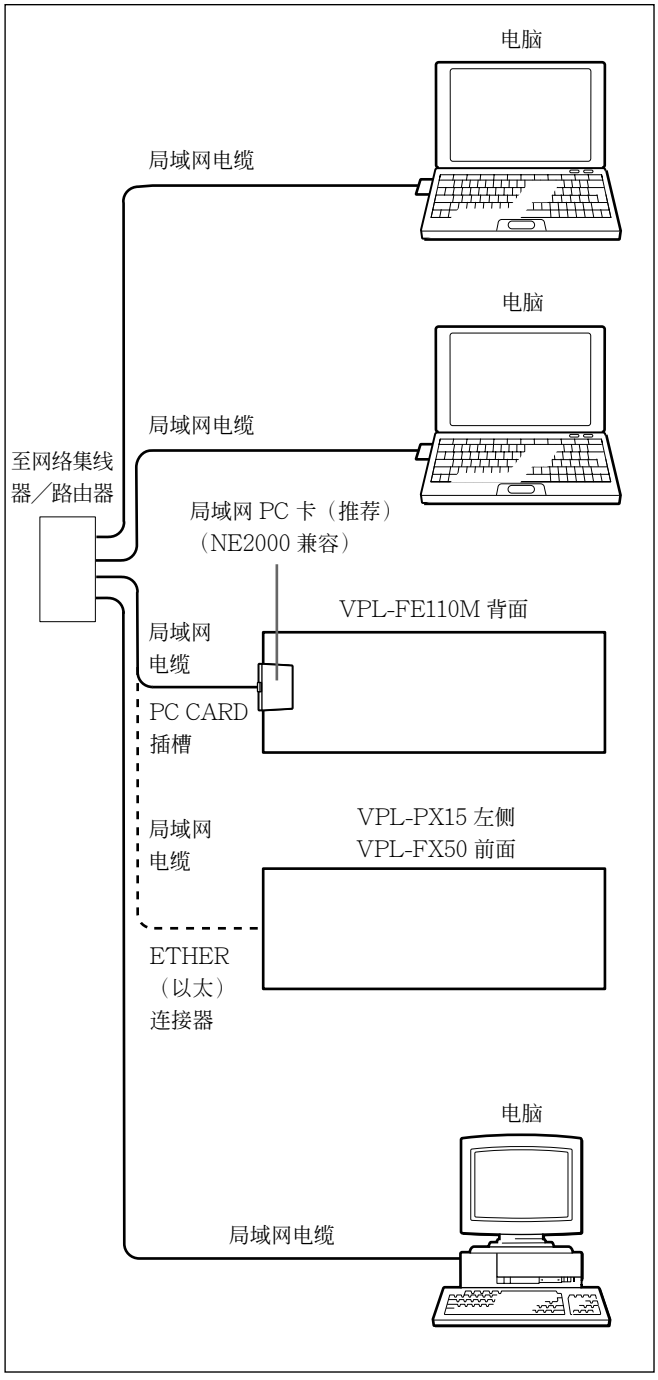
有关网络以外的操作，请参阅本机的操作手册。

本节说明使用投影机网络功能所需要执行的任务。

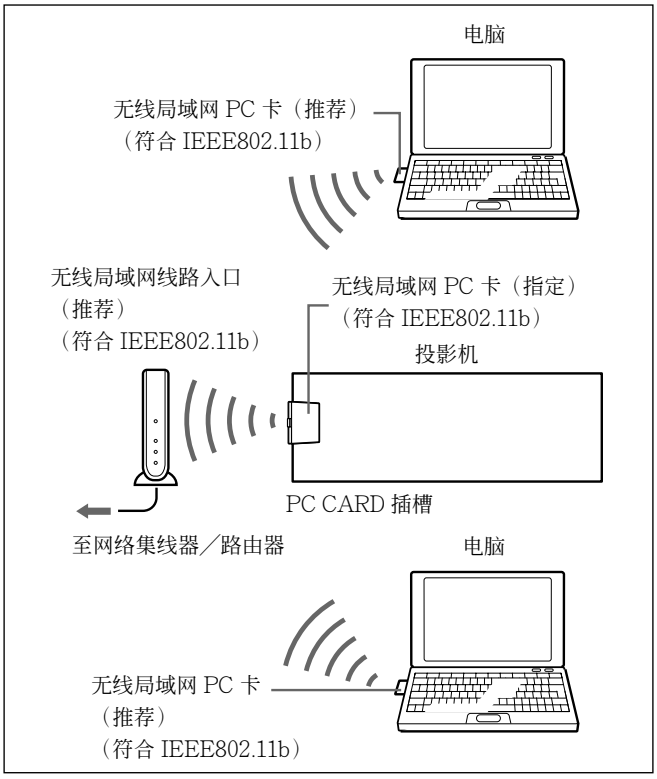
系统结构

有关连接的详细说明，请参阅投影机的操作手册。

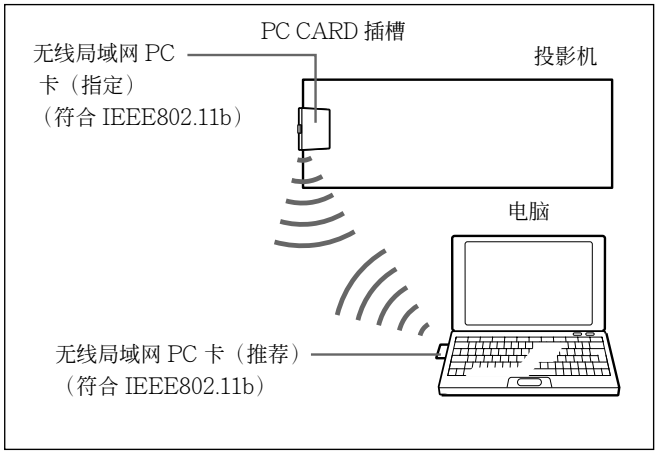
使用局域网电缆或局域网 PC 卡连接至局域网



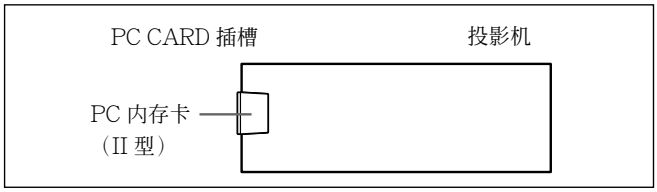
用无线局域网线路入口连接至无线局域网



不用无线局域网线路入口连接至无线局域网（同位体至同位体模式）



使用内存卡



使用 PC 卡

投影机上的 INPUT B（VPL-PX15）或 INPUT C（VPL-FX50 和 VPL-FE110M）的 PC CARD 插槽接受一片 PCMCIA II 型 PC 卡。要连接至局域网时，需要将指定／推荐的局域网 PC 卡（仅限于 VPL-FE110M）或无线局域网 PC 卡插入此插槽。

也可以将推荐的 PC 内存卡插入此插槽。将用 Microsoft PowerPoint 或 Excel 建立的文件或图像文件存储在内存卡上可以投影文件或进行演示而无需连接电脑。

注

- 请勿在 PC 卡写或读时关闭投影机的电源或重新启动投影机的 Windows CE。
- 务必使用指定／推荐的局域网 PC 卡、无线局域网 PC 卡或 PC 内存卡。有关指定／推荐的卡，请参阅附带的“指定／推荐的 PC 卡／无线局域网线路入口一览表”。
- 指定／推荐 PC 卡的驱动软件在出厂时已安装在投影机上。不需要也不能再安装其他驱动软件。

有关插入和取出 PC 卡，请参阅投影机的操作手册。

设定网络功能

要启动投影机的网络功能，请进行下列设定。

■ 用于 VPL-PX15

将安装设定项目单中的输入 B 功能设定为开。

有关详细内容，请参阅投影机的操作手册。

■ 用于 VPL-FX50

在安装设定项目单中将输入 C 功能设定为开。

有关详细内容，请参阅投影机的操作手册。

■ 用于 VPL-FE110M

将后面板上的 INPUT C/RS-232C/RS-422A 选择开关设定为 INPUT C 位置。

使用遥控器或鼠标器和键盘

■ 用于 VPL-PX15 和 VPL-FX50

操作投影机进行投影机的设定和进行幻灯片的演示等时，请使用附带的遥控器。操作之前，请将遥控器上的 PJ/NETWORK 选择开关设定为 NETWORK。

您不能将鼠标器和键盘连接到投影机。

■ 用于 VPL-FE110M

操作投影机进行投影机的设定和进行演示等时，需要使用 RM-PJM610 遥控器（未随机附带）或市售的 PS/2 鼠标器和键盘。

注

将投影机的电源线连接至交流电源插座之前，将鼠标器和键盘连接至投影机。

有关鼠标器和键盘的连接，请参阅投影机的操作手册。

有关 RM-PJM610 遥控器（未随机附带）的操作，请参阅遥控器的操作手册。

设定投影机

投影机的网络操作需要 IP 地址和无线局域网设定等基本设定。可以从投影机或连接在同一局域网上的电脑进行设定。

设定之前

■ 用于 VPL-PX15 和 VPL-FX50

- 用附带的遥控器或投影机控制面板上的 I/⏻ 键接通投影机电源。
- 确认安装设定项目单上的输入 B 功能（VPL-PX15）或输入 C 功能（VPL-FX50）设定为开。
- 按附带的遥控器或投影机控制面板上的 INPUT 键选择 INPUT-B（VPL-PX15）或 INPUT C（VPL-FX50）。Network Projector（网络投影机）视窗打开。
- 将遥控器上的 PJ/NETWORK 选择开关设定为 NETWORK。
- 从投影机设定时，请在投影机上显示屏幕键盘并用附带的遥控器操作。

  有关屏幕键盘的内容，请参阅第 29（CS）页。
- 接通要用来设定投影机的电脑电源。

■ 用于 VPL-FE110M

- 确认 INPUT C/RS-232C/RS-422A 选择开关设定于 INPUT C 位置。
- 用 RM-PJM610 遥控器、附带的遥控器或投影机控制面板上的 ON 键接通投影机的电源。
- 按 RM-PJM610 上的 INPUT 键或附带的遥控器或投影机控制面板上的 INPUT SELECT 键选择 INPUT C。Network Projector（网络投影机）视窗打开。
- 从投影机设定时，请在投影机上显示屏幕键盘并用所连接的鼠标器和键盘或 RM-PJM610 遥控器操作。

  有关屏幕键盘的内容，请参阅第 29（CS）页。
- 接通要用来设定投影机的电脑的电源。

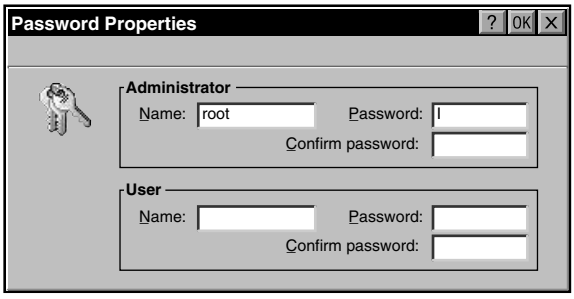
从投影机设定

设定口令

可以为投影机设定口令以防被遥控网络用户访问。

1 从 Network Projector（网络投影机）视窗的 Start（开始）菜单点击 Control Panel（控制面板）。

2 双击 Password（口令）图标。
出现 Password Properties（口令属性）对话框。



3 指定 Administrator（管理者）用的 Password（口令），然后在 Confirm password（确认口令）文字框中重新输入相同的 Administrator（管理者）口令。
出厂时 Administrator（管理者）的 Name（姓名）被预设为“root”，这无法改变。

4 指定 User（用户）用的 Name（姓名）和 Password（口令），然后在 Confirm password（确认口令）文字框中重新输入相同的 User（用户）口令。

当您从电脑操作投影机时需要输入 Administrator（管理者）或 User（用户）的口令时，请输入在步骤 **3** 和 **4** 中设定的 Name（姓名）和 Password（口令）。

设定网络结构

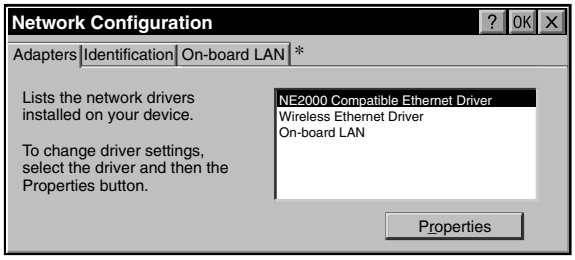
建立局域网连接时需要设定网络结构，如 IP 地址设定等。本投影机的 IP 地址显示在投影机 Network Projector（网络投影机）视窗的任务栏上。

如果连接环境改变，需要重新设定网络结构。

有关详细说明，请与网络管理者联系。

1 从 Network Projector（网络投影机）视窗的 Start（开始）菜单点击 Control Panel（控制面板）。

2 双击 Network（网络）图标。
出现 Network Configuration（网络结构）对话框。



* On-board LAN（板上局域网）标签显示于 VPL-PX15 和 VPL-FX50。

3 根据网络连接类型选择驱动器名。
可以选择下列驱动器名之一。

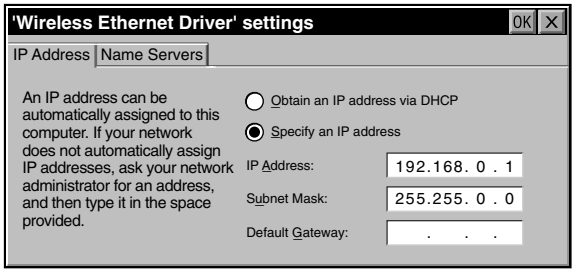
NE2000 Compatible Ethernet Driver：使用推荐的 NE2000 兼容 PC 局域网卡时。

Wireless Ethernet Driver：使用指定的无线局域网 PC 卡时。

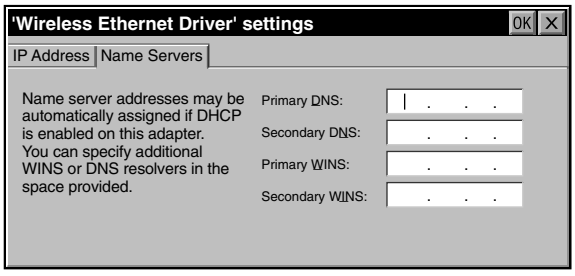
On-board LAN：使用 ETHER（以太）连接器连接到局域网时（显示于 VPL-PX15 和 VPL-FX50）

出现所选驱动器的设定对话框。

4 确认选择“Specify an IP address（指定 IP 地址）”单选键，并设定需要的项目。
出厂时 IP Address（IP 地址）被预设为“192.168.0.1”，Subnet Mask（子网屏蔽）被设定为“255.255.0.0”。

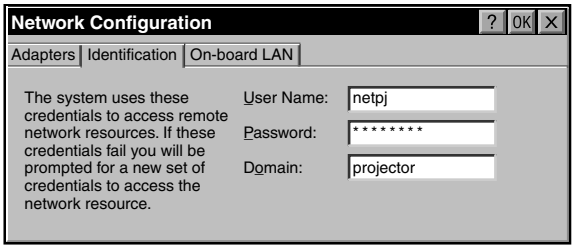


5 点击 Name Servers（命名服务器）标签显示 Name Servers（命名服务器）对话框，然后设定需要的项目。



6 点击 OK 键。
重新出现 Network Configuration（网络结构）对话框。

7 根据需要，点击 Identification（识别）标签并设定需要的项目。



8 点击 OK 键。

当 VPL-PX15 或 VPL-FX50 使用无线局域网 PC 卡时

如果在步骤 **3** 中选择 Wireless Ethernet Driver（无线以太网驱动器），请执行步骤 **6** 之后进行下列步骤。

1 点击 On-board LAN（板上局域网）标签。

2 从“Enable On-board LAN（允许板上局域网）”复选框中取消选择。

3 点击 OK 键。
重新出现步骤 **2** 中的视窗。

注

一旦解除 On-board LAN（板上局域网），它不会在 Network Configuration（网络结构）对话框的驱动器名称中出现。如果您想选择 On-board LAN（板上局域网），请选择 Enable On-board LAN（允许板上局域网）复选框，然后重复从“设定网络结构”步骤 **2** 开始的步骤。

设定无线局域网环境

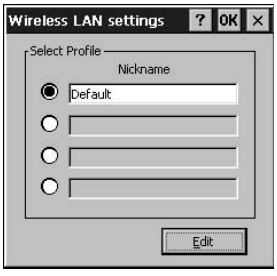
使用无线局域网 PC 卡时，也需要按以下步骤设定投影机。

使用无线局域网线路入口

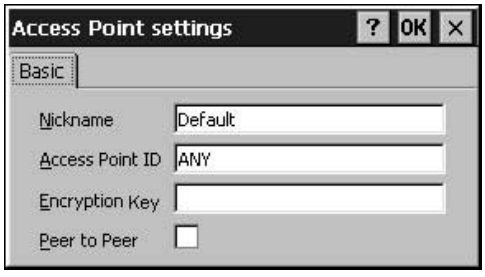
按以下步骤设定所要连接的线路入口。

1 从 Network Projector（网络投影机）视窗的 Start（开始）菜单点击 Control Panel（控制面板）。

2 双击 Wireless LAN（无线局域网）图标。
出现 Wireless LAN settings（无线局域网设定）对话框。



3 点击 Edit（编辑）键。
出现 Access Point settings（线路入口设定）对话框。



4 输入 Nickname（名称）。
Nickname（名称）识别线路入口。用字符和符号（ASCII 字符）在 Nickname（名称）中输入最多 32 个字符。如果存在多个线路入口，请务必对各线路入口编制不同的名称。

5 输入 Access Point ID（线路入口 ID）。
输入为您要连接的线路入口所指定的 ID。

6 输入 Encryption Key（密码）。
如果线路入口设定了密码并被启动，请输入密码。

7 点击 OK 键。
重新出现 Wireless LAN settings（无线局域网设定）对话框。

8 点击您要使用的 Nickname（名称）单选键，并点击 OK 键。
所选线路入口已连接。

要连接到已经设定的线路入口时

如果有多个线路入口，可为其指派 4 个 Nickname（名称）。若想要连接到已经设定的线路入口时，请选择相关 Nickname （名称）旁的单选键，然后点击无线局域网设定视窗中的 OK 键。

所选线路入口已连接。

注

当插入到本投影机的无线局域网卡的制造商与无线局域网线路入口的制造商不同时，输入密码的方式可能不同。如果密码以 16 进制数出现，请在 Encryption Key（密码）中输入 16 进制数。

线路入口与投影机之间不进行通讯时

如果用于线路入口的频道被设定为 12 至 14，则将其设定为 1 至 11 之间的任意频道。

注

- 如果在使用指定／推荐的 Sony 无线局域网 PC 卡时出现问题，请与有资格的 Sony 专业人员联系。
- 如果无线局域网卡的厂家和无线局域网线路入口的厂家不同，则启动密码进行通讯无法正确进行。

同位体至同位体（Ad-hoc）模式

要在投影机与电脑之间连接无线局域网而不使用无线局域网线路入口时，仅在投影机上按以下步骤操作。

1 进行“使用无线局域网线路入口”中的步骤 **1** 至 **4**。在 Access Point setting（线路入口设定）对话框中，设定此模式的 Nickname（名称）。

2 点击 Peer to Peer（同位体至同位体）旁边的复选框。

3 输入选购的 Access Point ID（线路入口 ID）。
可以在 ID 中最多输入 32 个字符。

4 输入所要启用的 Encryption Key（密码）。

5 点击 OK 键。
Wireless LAN settings（无线局域网设定）对话框重新出现。

6 点击您在步骤 **1** 中输入的 Nickname（名称）单选键。
同位体至同位体模式成为有效。

对于所连接的电脑，需要输入与上述步骤中输入的相同 Access Point ID（线路入口 ID）和 Encryption Key（密码）及可选的 Nickname（名称）。有关详细内容，请参阅插入电脑的无线局域网 PC 卡的操作手册。

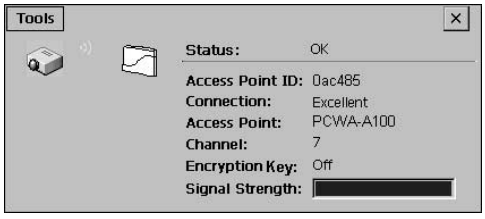
注

- 请使用投影机与电脑同一厂家的无线局域网 PC 卡。
- 如果在所连接的一台电脑上配置同位体至同位体（Ad-hoc），请进行上述步骤 **1** 後再进行步骤 **3** 至 **6**，以在投影机上输入与电脑上相同的 Access Point ID（线路入口 ID）和 Encryption Key（密码）及可选的 Nickname（名称）。
- 仅对同一局域网上的一台投影机和电脑选择同位体至同位体（Ad-hoc）。
- 使用同位体至同位体（Ad-hoc）模式时，需要设定专用的 IP 地址和用于投影机与电脑上的此模式的 Subnet Mask（副网屏蔽）。

检查与线路入口的连接

可检查投影机是否正确连接到线路入口。

1 双击 Network Projector（网络投影机）视窗任务栏上的 （接收电平指示）图标。
出现表示投影机和线路入口之间连接状态的视窗。



2 检查以下事项。
- Status（状态）：若投影机正确识别无线局域网 PC 卡，则显示 OK。
- Access Point ID（线路入口 ID）
- Connection（连接）：与线路入口的连接状态
- Access Point（线路入口）：有关所连接的线路入口的信息
- Channel（频道）：分配的频道
- Encryption Key（密码）：对所连接的线路入口启用或不用密码
- Signal Strength（信号强度）：投影机与线路入口之间的通讯信号电平

Access Point ID（线路入口 ID）显示“searching（查找中）”时

验证您输入的 Nickname（名称）、Access Point ID（线路入口 ID）和 Encryption Key（密码）是否正确显示在视窗上。

从 Tools（工具）菜单选择 Edit wireless Profiles ...（编辑无线简介）打开 Wireless LAN setting（无线局域网设定）视窗。如果有项目不正确，按第 10（CS）页上的步骤 **3** 至 **8** 进行修改。

设定日期和时钟

时钟显示在Network Projector（网络投影机）视窗的任务栏上。若要设定日期和时间，请按以下步骤操作。

1 从 Network Projector 视窗的 Start（开始）菜单点击 Control Panel（控制面板）。

2 双击 Date/Time（日期／时间）图标。

3 设定日期和时间。

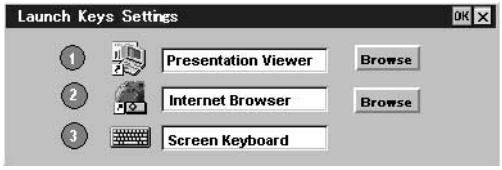
将应用软件赋值到遥控器上的 FUNCTION 键（用于 VPL-PX15 和 VPL-FX50）

如果将应用软件赋值到附带的遥控器上的 FUNCTION 1 或 2 键，触键即可启动应用软件。屏幕键盘在出厂时被赋值到 FUNCTION 3 键，您不能重新赋值或取消此赋值。

有关屏幕键盘的详细内容，请参阅第 29（CS）页。

1 从 Network Projector 视窗的 Start（开始）菜单点击 Control Panel（控制面板）。

2 双击 Launch Keys（启动键）图标。
Launch Keys Settings（启动键设定）对话框出现。



3 点击 Browse（浏览器）以将应用软件赋值到该键（1 或 2），然后从应用软件一览表中点击所要的应用软件。

4 如果要将应用软件赋值到其他键，请重复步骤 **3**。

5 点击 OK 键。

从电脑设定

注

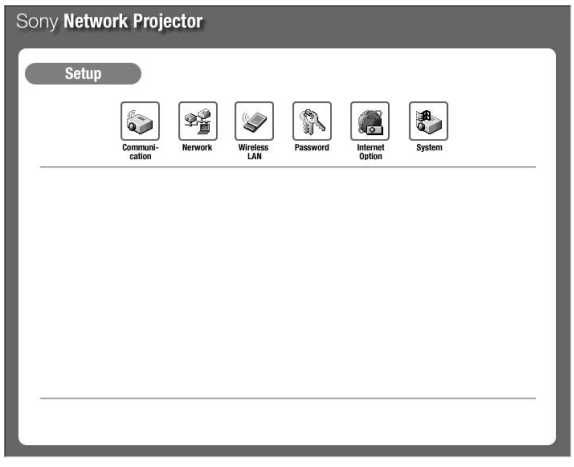
- 如果出厂预设的投影机 IP 地址未改变，在投影机上连接一台电脑用于设定。
- 如果电脑浏览器设定为“Access the Internet using a proxy server（使用代理服务器访问互联网）”，在从电脑访问投影机时，请在“Access the Internet without using a proxy server（不使用代理服务器访问互联网）”框中输入投影机的 IP 地址。
- 根据浏览器的版本，电脑可能会不接受投影机的口令。遇到这样的情况，请重新启动浏览器。

打开设定视窗

1 启动电脑的浏览器软件（Internet Explorer 4.0 版或更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 版或 4.7x 版）。

2 输入“http://xxx.xxx.xxx.xxx（投影机的 IP 地址）/setup”。
如果出厂预设的 IP 地址未改变，则输入“http://192.168.0.1/setup”（使用局域网 PC 卡时）或“http://192.168.0.2/setup”（使用 ETHER 连接器时）。如果 IP 地址号码从 0（零）开始，输入号码时不需要输入 0。
例：192.168.000.001 ➔ 192.168.0.1
出现 Password（口令）对话框。

3 输入 Administrator（管理者）用的 Name（姓名）和 Password（口令）。如果 Password setting（口令设定）没有从工厂预设改变，请在 Name（姓名）文字框中输入“root”。
出现 Setup（设定）视窗。



设定口令

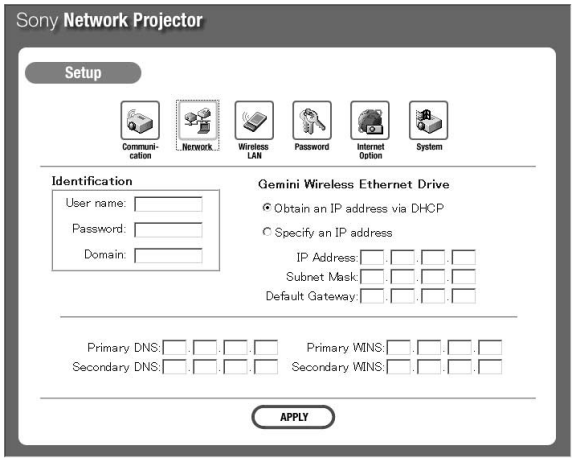
1 点击 Setup（设定）视窗中的 Password（口令）图标。
出现口令设定对话框。
设定步骤与在投影机上的操作相同。

有关详细说明，请参见第 8（CS）页上的“设定口令”。

2 点击 APPLY（申请）键。

设定网络结构

1 点击 Setup（设定）视窗中的 Network（网络）图标。
出现网络结构视窗。



可以在此视窗中设定第 9（CS）页“设定网络结构”中的步骤 **4** 至 **7** 所述的项目。

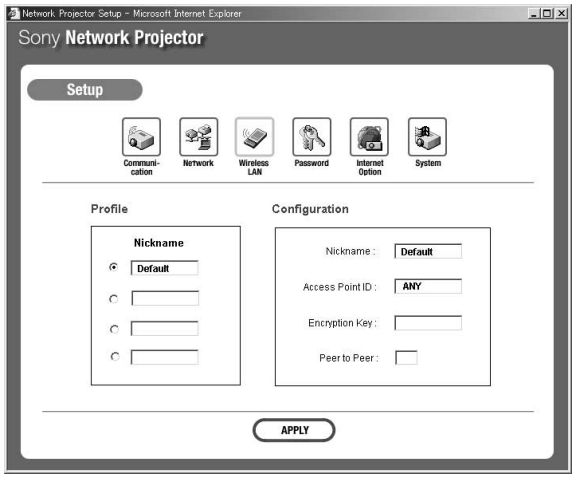
有关详细说明，请参见第 9（CS）页上的“设定网络结构”。

2 点击 APPLY（申请）键。
出现重新启动视窗。

3 点击 RESTART（重新启动）键。
如果接通投影机电源，Network Projector 视窗开启，投影机屏幕关闭约 10 秒钟，然后投影机重新启动。
网络设定不起作用直至您重新启动投影机。

设定无线局域网环境

1 点击 Setup（设定）视窗中的 Wireless LAN（无线局域网）图标。出现设定 Nickname（名称）、Access Point ID（线路入口 ID）、Encryption Key（密码）和 Peer to Peer （同位体至同位体）对话框。
设定步骤与在投影机上的操作相同。



有关详细内容，请参阅第 10（CS）和 11（CS）页上的“设定无线局域网环境－使用无线局域网线路入口／同位体至同位体（Ad-hoc）模式”。

2 点击 APPLY（申请）键。

基本操作流程图

本节说明通过网络使用投影机或使用投影机内置网络功能的操作流程图。有用于从电脑操作和用于从投影机操作的两种类型流程图。有关详细说明，请参见括号中的页码。

需要的条件

- 投影机和电脑连接在同一局域网上。
- 投影机和电脑的电源接通。
- 在安装设定项目单中将输入 B 功能（VPL-PX15）或输入 C 功能（VPL-FX50）设定为开。
- INPUT C/RS-232C/RS-422A 选择开关设定至 INPUT C 位置。（VPL-FE110M）
- 投影机的输入被设定为 INPUT B (VPL-PX15) 或 INPUT C (VPL-FX50 和 VPL-FE110M)。

从电脑操作

用 PowerPoint 建立的文件进行演示

可以从电脑用 PowerPoint 建立的文件控制演示。

启动电脑的网络浏览器访问投影机 （第 19 页）

启动 Internet Explorer 4.0 或更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版，然后输入投影机的 IP 地址。

↓

选择 PRESENTATION VIEWER（演示阅读器） （第 20 页）

在 Application Select（应用选择）视窗选择 PRESENTATION VIEWER（演示阅读器）图标。

↓

查找要用于演示的文件 （第 20 页）

选择文件是存储于电脑还是投影机，然后选择所要的 PowerPoint 文件。Slider Viewer（幻灯片阅读器）启动。

↓

设定幻灯片演示 （第 21 页）

设定所使用的幻灯片和在幻灯片演示中的进片方式。

↓

进行幻灯片演示

在投影机上投影 Excel 文件

可以从电脑操作在投影机上投影 Excel 文件。

启动电脑的网络浏览器访问投影机 （第 19 页）

启动 Internet Explorer 4.0 和更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版，然后输入投影机的 IP 地址。

↓

选择 PRESENTATION VIEWER（演示阅读器） （第 23 页）

在 Application Select（应用选择）视窗中选择 PRESENTATION VIEWER（演示阅读器）图标。

↓

查找要在投影机上投影的文件 （第 23 页）

选择文件是存储于电脑还是投影机，然后选择所要的 Excel 文件。Worksheet Viewer（工作表阅读器）启动。

↓

投影 Excel 文件

用存储在电脑中的文件在投影机上投影图像

可以从电脑操作将图像投影至投影机。

启动电脑的网络浏览器访问投影机
（第 19 页）

启动 Internet Explorer 4.0 或更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版，然后输入投影机的 IP 地址。

选择投影机的 Image Viewer（图像阅读器）
（第 23 页）

在 Application Select（应用选择）视窗选择 IMAGE VIEWER（图像阅读器）图标。

选择文件存储的位置
（第 23 页）

在 Look In（访问）视窗中选择 COMPUTER（电脑）。Image Viewer（图像阅读器）启动。

查找要投影在投影机上的文件
（第 24 页）

点击 Browse（浏览）键选择所要的图像文件。

投影图像

用存储在投影机中的文件在投影机上投影图像或进行幻灯片演示

可以使用存储在投影机或 PC 内存卡上的图像文件，通过操作电脑在投影机上投影。也可以用投影机上预设的幻灯片设定文件进行幻灯片演示。

启动电脑的网络浏览器访问投影机
（第 19 页）

启动 Internet Explorer 4.0 或更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版，然后输入投影机的 IP 地址。

选择投影机的 Image Viewer（图像阅读器）
（第 25 页）

在 Application Select（应用选择）视窗选择 IMAGE VIEWER（图像阅读器）图标。

选择文件存储的位置
（第 25 页）

在 Look In（访问）视窗中选择 PROJECTOR（投影机）。Image Viewer（图像阅读器）启动。

选择要投影的文件夹
（第 25 页）

在 Folder/.SHO File Select 视窗选择您要的文件夹。

投影图像

选择进行幻灯片演示的设定文件
（第 25 页）

在 Folder/.SHO File Select 视窗选择您要的 .SHO 文件。

设定幻灯片
（第 25 页）

设定在幻灯片演示中的进片方式。

进行幻灯片演示

用 File Manager（文件管理器）管理文件

可以将存储于电脑的文件添加到投影机的存储器或删除存储于投影机的文件。

启动电脑的网络浏览器访问投影机 （第 19 页）

启动 Internet Explorer 4.0 或更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版，然后输入投影机的 IP 地址。

↓

启动 File Manager（文件管理器） （第 26 页）

在 Application Select 视窗选择 FILE MANAGER 图标。

↓

添加文件 （第 26 页）

在电脑中选择要添加到投影机存储器的文件。

↓

进行添加

删除文件 （第 26 页）

在投影机中选择所要删除的文件。

↓

进行删除

控制投影机

可以从电脑进行各种投影机的调整和设定。

启动电脑的网络浏览器访问投影机 （第 19 页）

启动 Internet Explorer 4.0 或更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版，然后输入投影机的 IP 地址。

↓

显示控制视窗 （第 27 页）

点击 MORE...（更多）键。

↓

调整或设定投影机

从投影机操作

用存储在电脑中的文件进行演示

调出存储在电脑中用 PowerPoint 建立的文件后，可以立即操作投影机开始演示。

启动 My Projector（我的投影机） （第 31 页）

双击 My Projector（我的投影机）图标。

↓

选择要用于演示的文件 （第 31 页）

输入存有要使用文件的电脑名称，并选择 PowerPoint 文件。Slide Viewer（幻灯片阅读器）启动，所选的文件出现在幻灯片视图上。

↓

设定幻灯片演示 （第 31 页）

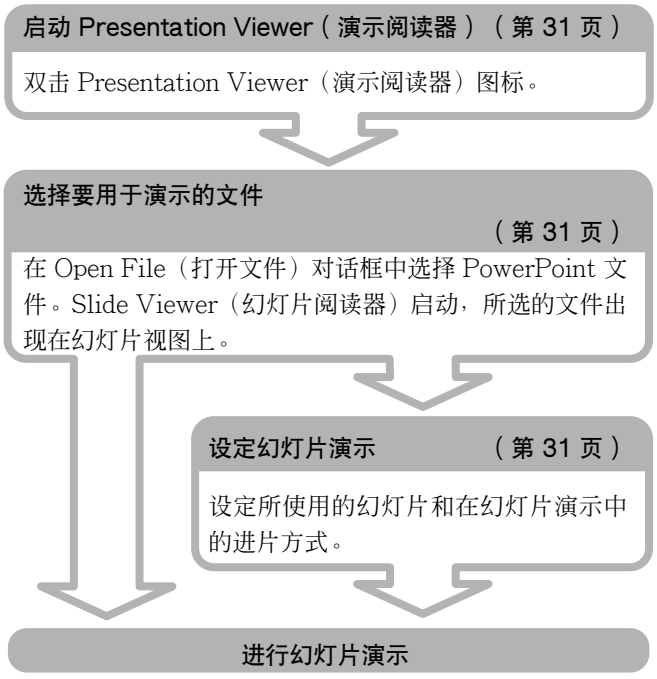
设定所使用的幻灯片和在幻灯片演示中的进片方式。

↓

进行幻灯片演示

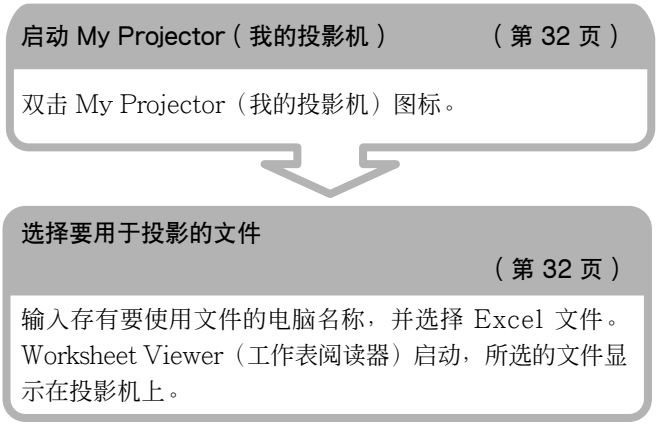
用存储在投影机或内存卡中的文件进行演示

使用存储在投影机中或 PC 内存卡上的文件，可以仅操作投影机进行演示。



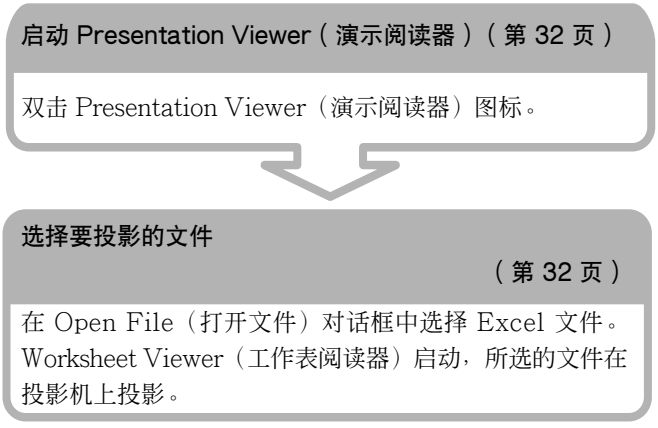
投影存储在电脑中的 Excel 文件

可以通过操作投影机，投影存储在相同局域网上的电脑中的 Excel 文件。



投影存储在投影机或内存卡中的 Excel 文件

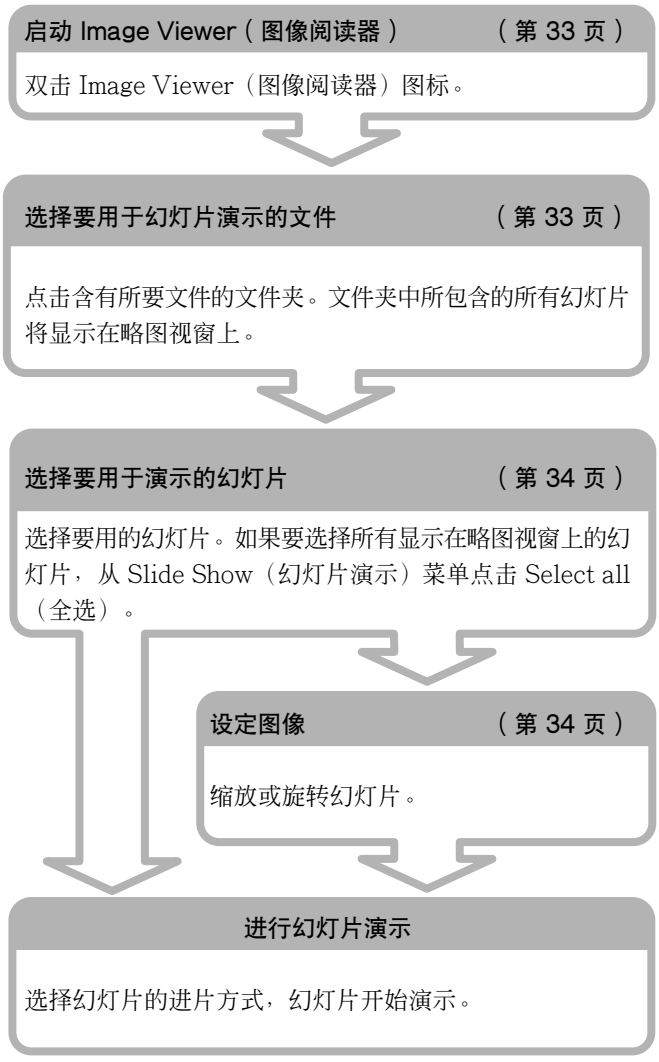
可以在投影机上显示存储在投影机或内存卡中的 Excel 文件。



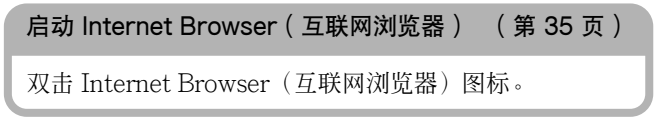
基本操作流程图

用存储在投影机或内存卡中的图像文件进行幻灯片演示

使用存储在投影机或内存卡中的图像文件，可以仅操作投影机进行幻灯片演示。



连接至互联网



准备工作

开始之前

■ 用于 VPL-PX15

确认在安装设定项目单中将输入 B 功能设定为开。

■ 用于 VPL-FX50

确认在安装设定项目单中将输入 C 功能设定为开。

■ 用于 VPL-FE110M

确认 INPUT C/RS-232C/RS-422A 选择开关设定于 INPUT C 位置。

启动浏览器访问投影机

为了从电脑控制投影机，需要启动电脑的浏览器访问投影机。合适的浏览器为 Internet Explorer 4.0 或更新版，和 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版。

1 接通投影机电源。

2 将投影机的输入设定为 INPUT B（VPL-PX15）或 INPUT C（VPL-FX50 和 VPL-FE110M）。

3 打开电脑。

4 启动电脑的浏览器。

5 输入投影机的 IP 地址。
输入 “http://xxx.xxx.xxx.xxx（投影机的 IP 地址）”。
当 IP 地址显示在 Network Projector（网络投影机）视窗的任务栏上时，可以进行检查。
出现 Application Select（应用选择）视窗。

当设定用于投影机的口令时，出现口令设定对话框。请输入 User（用户）的 Name（姓名）和 Password（口令）。

有关 Application Select（应用选择）视窗的信息，请参见 “Application Select（应用选择）视窗的名称和功能”。

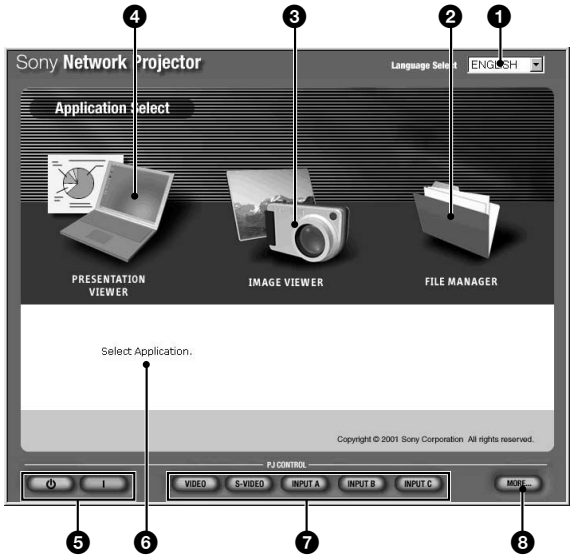
上述步骤以后的操作表示于第 20（CS）至 28（CS）页。

注

- 请勿同时从两台以上的电脑访问本投影机。
- 如果电脑浏览器设定为 “Access the Internet using a proxy server（使用代理服务器访问互联网）”，在从电脑访问投影机时，请在 “Access the Internet without using a proxy server（不使用代理服务器访问互联网）” 框中输入投影机的 IP 地址。
- 根据浏览器的版本，电脑可能会不接受投影机的口令。遇到这样的情况，请重新启动浏览器。
- 如果电脑的浏览器在未关闭应用软件的情况下退出并持续约 30 秒钟未按任何键，则投影机返回到初始 Network Projector 自动视窗。这时，请重新启动浏览器。

Application Select（应用选择）视窗的名称和功能

访问投影机并打开 Application Select（应用选择）视窗。下面显示出视窗中图标和按键的名称和功能。



❶ Language select（语言选择）键

点击 ▼ 打开语言选择下拉一览表。各视窗的下部有提示句。可以用英语、法语、德语、西班牙语、意大利语或日语显示。

❷ FILE MANAGER（文件管理器）图标

启动 File Manager（文件管理器）管理存储在投影机中的文件。

❸ IMAGE VIEWER（图像阅读器）图标

打开用于投影图像文件的设定视窗。

（接下页）

❹ PRESENTATION VIEWER（演示阅读器）图标

打开用于启动 PowerPoint 阅读器（Slide Viewer）或 Excel 阅读器（Worksheet Viewer）的选择视窗。

❺ I/⏻（开／待机）键

接通投影机的电源或将其设定为待机模式。

❻ 帮助

将光标停留在各项目上显示该项目的说明。这使您在各视窗上的操作更加简单。

❼ 输入选择键

选择投影机的输入。

VPL-PX15 视窗中没有 INPUT C 键。

❽ MORE...（更多）键

打开投影机的控制视窗。

用 Slide Viewer（幻灯片阅读器）进行演示

要在会议室用 PowerPoint 进行演示时，可以通过操作位于同一房间中或远离投影机的电脑来控制演示。

可以用 Slide Viewer（幻灯片阅读器）进行以下操作

可以

- 用在 PowerPoint 上建立的文件进行幻灯片演示。
- 若建立了定制幻灯片则进行演示。
- 显示扬声器的注释或将其隐藏起来。
- 显示幻灯片或将其隐藏起来。
- 设定幻灯片演示中进片的时标。可以选择自动或手动进行幻灯片演示。

注

- 根据网络结构，显示文件可能需要时间。
- Slide Viewer（幻灯片阅读器）仅是一个基本的 Power Point 阅读器功能，它不支持 PowerPoint 的某些特性。开始演示之前，最好将演示中所使用的文件投影到投影机上。
- Presentation Viewer 可以使用以下字体：Arial、Bookman Old Style、Comic Sans MS、Impact、Symbol、Tahoma、Times New Roman和 Wingdings。

进行演示

1 在 Application Select（应用选择）视窗点击 PRESENTATION VIEWER（演示阅读器）图标。

出现 Look In（访问）视窗。

2 点击选择从何处查找要用于演示的文件。

COMPUTER（电脑）：选择存储在电脑中的文件

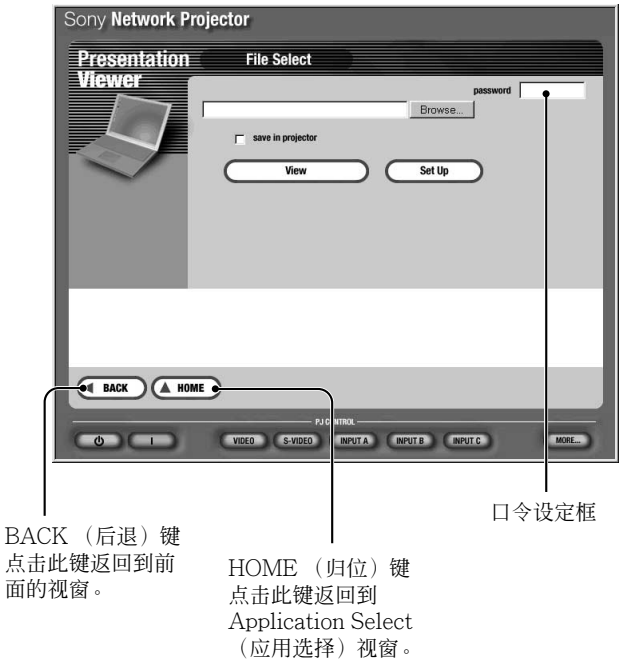
PROJECTOR（投影机）：选择存储在投影机中的文件

出现 File Select（文件选择）视窗。

3 选择要用于演示的文件。

在步骤 2 选择 COMPUTER（电脑）时

点击 Browse（浏览）打开电脑上的文件选择视窗。点击所要的 PowerPoint 文件（.ppt 或 .pps 文件）。也可以通过在 Browse 文字框中输入文件名来选择文件。所选的文件名显示在 Browse（浏览）文字框中。



口令设定框

BACK（后退）键
点击此键返回到前面的视窗。

HOME（归位）键
点击此键返回到 Application Select（应用选择）视窗。

要将所选的文件存储在投影机中

点击选择“save in projector（存储在投影机中）”复选框。若有必要，可以对该文件设定口令。请在“password（口令）”文字框中指定口令。这样只有输入口令才能打开文件。

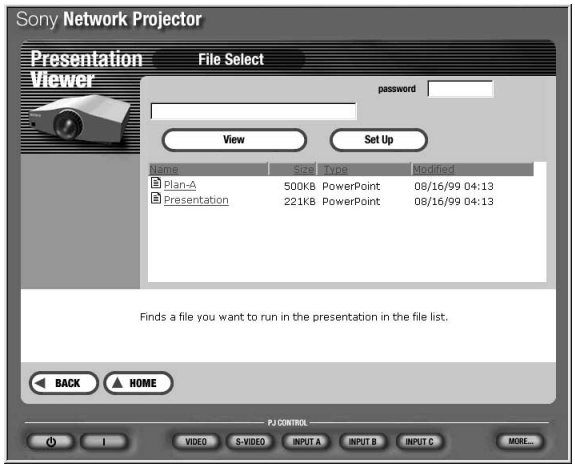
点击 Set Up（设定）或 View（视图）键时，文件将被存储。

注

用 File Manager（文件管理器）删除文件时，即使对该文件设定了口令，也不需要输入口令。

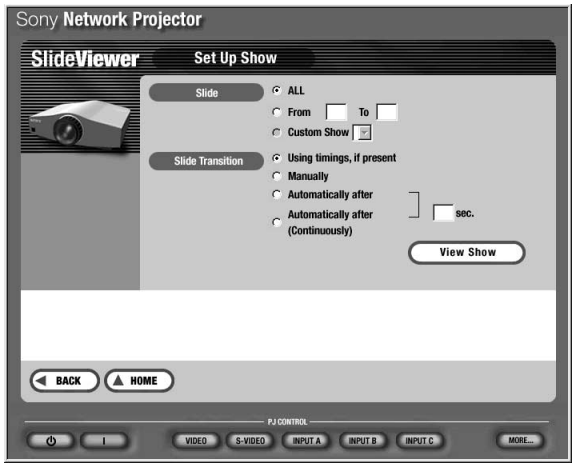
在步骤 2 选择 PROJECTOR（投影机）时

出现文件一览表表示存储在投影机或内存卡中的文件（VPL-PX15 和 VPL-FX50）。点击所要的 PowerPoint 文件。所选的文件名显示在文字框中。



4 若有需要，设定幻灯片演示。点击 File Select（文件选择）视窗中的 Set Up 键。

出现 Set Up Show（设定演示）视窗。可以指定要用于幻灯片演示的幻灯片和设定幻灯片演示中的进片方式。将鼠标器光标停留在各项目上以在视窗的下部显示其说明。



注

如果使用存储在电脑中的文件进行演示，点击 Set Up（设定）键时，文件被转送到投影机。在电脑上显示 Set Up Show（设定演示）视窗之前要花一点时间。所花时间的长度取决于文件的大小。在此期间将出现信息。

5 点击 File Select（文件选择）视窗中的 View（视图）键或点击 Set Up Show（设定演示）视窗中的 View Show 键。

幻灯片演示开始。

注

如果使用存储在电脑中的文件进行演示，点击 View（视图）键时，文件被转送到投影机。在投影机屏幕上显示出幻灯片演示之前要花一点时间。所花时间的长度取决于文件的大小。在此期间将出现信息。

要结束幻灯片演示

点击 End Show（结束演示）键。（参见第 22（CS）页。）

返回到 File Select（文件选择）视窗。

（接下页）

注

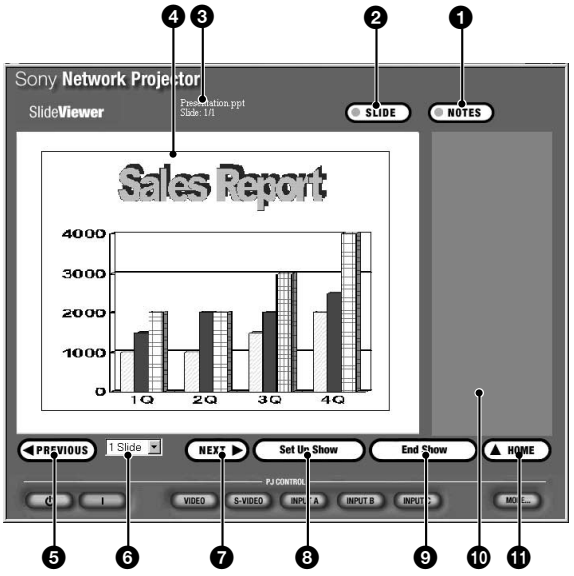
如果点击 View（视图）或 Set Up（设定）键时出现 “Projector’s memory is full（投影机的存储器已满）” 信息，请用 File Manager（文件管理器）删除存储在投影机中的不需要的文件（第 26（CS）页），然后再重新进行幻灯片演示。如果出现 “File size is too large（文件尺寸太大）” 信息，请减小文件尺寸，然后再重新进行幻灯片演示。

提示：

可以点击 Option（选项）使文件更小，然后从 Tools（工具）菜单 Save（保存），并在 PowerPoint 应用软件中不选择 Save Fast（快速保存）。

关于进行演示过程中的视窗显示

在进行演示过程中显示以下视窗。



❶ NOTES（注释）键

选择显示／取消扬声器的注释。

❷ SLIDE（幻灯片）键

选择在电脑的显示屏上显示／取消幻灯片演示。

❸ 文件名／幻灯片号码

表示文件名和所显示的幻灯片。

❹ 幻灯片

表示在幻灯片演示中当前所显示的幻灯片。投影机屏幕上仅显示此幻灯片。

❺ PREVIOUS（上一幅）键

在幻灯片演示中返回到前面的幻灯片或动画设定。

❻ 幻灯片文字框

点击 ▼ 打开幻灯片名下拉一览表。从该一览表中选择指定的幻灯片时，它显示出来。

❼ NEXT（下一幅）键

立即进到下一幅幻灯片或动画设定。

❽ Set Up Show（设定演示）键

返回到 Set Up Show（设定演示）视窗。

❾ End Show（结束演示）键

结束或暂停幻灯片演示并返回到 File Select（文件选择）视窗。

❿ 注释

显示扬声器的注释。它不显示在投影机屏幕上。

⓫ HOME（归位）键

返回到 Application Select（应用选择）视窗。

用 Worksheet Viewer（工作表阅读器）投影 Excel 文件

可以操作电脑在投影机上投影 Excel 文件。

可以用 Worksheet Viewer（工作表阅读器）进行以下工作

可以

- 在投影机的全屏幕上显示 Excel 工作表。
- 改变在投影机屏幕上观看工作表的区域。
- 缩放投影的工作表。

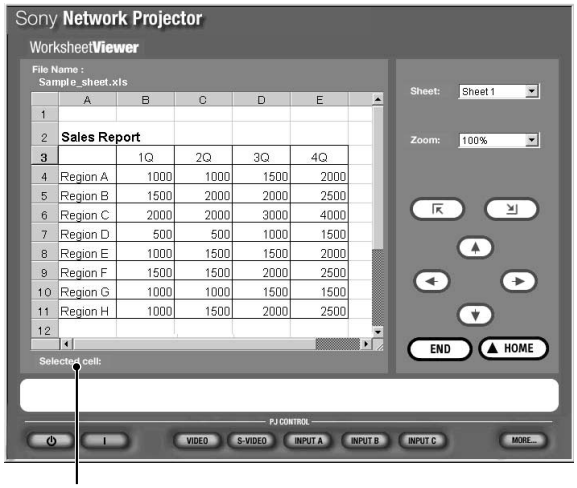
注

Worksheet Viewer（工作表阅读器）是一种简单的 Excel 阅读器功能，它不支持分割功能等某些 Excel 功能。

投影 Excel 文件

1 按照第 20（CS）页“用 Slide Viewer（幻灯片阅读器）进行演示－进行演示”中的步骤 1 至 3 操作。务必在步骤 3 中选择 Excel 文件（.xls 文件）。

2 点击 View（视图）键。
Worksheet Viewer（工作表阅读器）启动。
所选文件的工作表显示在投影机上。



当前所选的单元格

可以用右侧视窗中的按键缩放投影在屏幕上的工作表和改变在投影机上观看工作表的区域。将鼠标指向各按键或项目时，其说明出现在视窗底部。

注

- 工作表在电脑上的显示区域范围和在投影机上的投影区域不同。
- 在电脑上点击单元格时，如果所选的单元格位于投影机上的显示区域内，则该单元格激活。如果所选的单元格位于显示区域以外，则以所选单元格为中心的区域显示在投影机上。

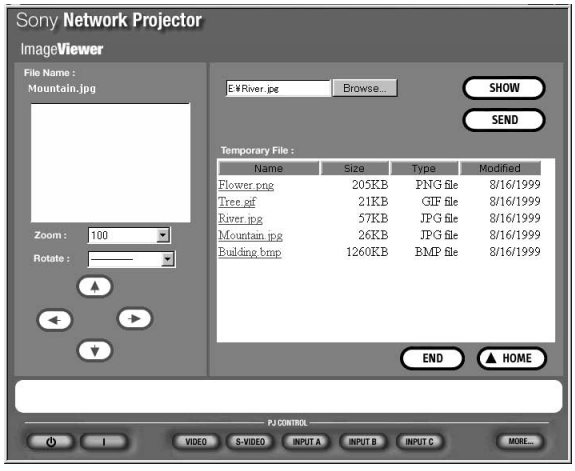
使用 Image Viewer（图像阅读器）投影图像

可以投影存储在相同局域网中的任何电脑或存储在投影机的存储器或安装于投影机的内存卡中的图像文件。也可用在投影机中预设的幻灯片设定文件（.SHO 文件）进行幻灯片演示。

在投影机上投影存储在电脑中的图像

1 在 Application Select（应用选择）视窗中点击 IMAGE VIEWER（图像阅读器）图标。
出现 Look In（访问）视窗。

2 点击 COMPUTER（电脑）。
投影机的 Image Viewer（图像阅读器）启动，并打开 Image Viewer（图像阅读器）视窗。



将光标停留在各项目上以在视窗的下部显示其说明。

（接下页）

3 选择要显示的图像文件。
点击 Browse（浏览）以打开电脑上的文件选择视窗。双击所要的文件。
所选择的文件名称显示在 Browse（浏览）文字框中。

4 点击 SHOW（演示）键。
所选择文件的全屏幕图像显示在投影机上。

注

投影大尺寸图像文件，如 UXGA 格式时，因为内存不够无法打开。遇到这样的情况，请缩小图像以获得更小的文件尺寸。

要节省转送数据的时间

点击 SHOW（演示）键时，文件转送至投影机。在投影机屏幕上显示一幅图像要花一些时间。若要立即显示，请在开始演示之前将要使用的所有文件转送至投影机。

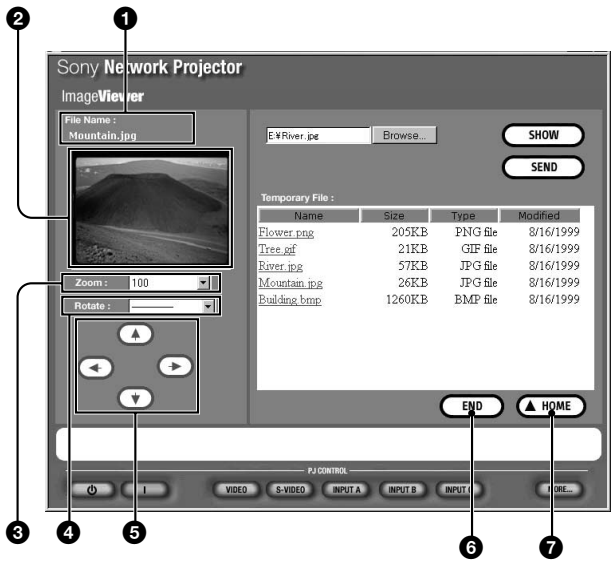
1 从“在投影机上投影存储在电脑中的图像”的步骤 **3** 之后点击 SEND （发送）键。
所选择文件名称出现在 Temporary File（临时文件）一览表并被转送至投影机。
重复此步骤直至所要的所有文件显示在 Temporary File（临时文件）对话框。

2 双击列在 Temporary File（临时文件）对话框中的文件名称。
所选择文件的全屏幕图像显示在投影机上。

注

如果 Temporary File（临时文件）一览表的内存全满，较早转送的数据将会被清除。

关于运行 Image Viewer（图像阅读器）过程中的视窗显示



❶ File name（文件名称）
表示当前显示图像的文件名称。

❷ Slide（幻灯片）
表示在投影机屏幕上当前所显示的图像。

❸ Zoom（缩放）文字框
点击 ▼ 打开下拉一览表以选择放大或缩小图像的比率。

❹ Rotate（旋转）文字框
点击 ▼ 打开下拉一览表以选择图像的旋转角度。

注

投影大尺寸图像文件，如 UXGA 格式时，因为内存不够无法旋转。遇到这样的情况，请缩小图像以获得更小的文件尺寸。

❺ 滚动键
如果所放大的图像与屏幕不适合，请点击滚动箭头改变屏幕上所显示图像的区域。

❻ END（结束）键
结束或暂停全屏幕显示并返回到 File Select（文件选择）视窗。

❼ HOME（归位）键
返回到 Application Select（应用选择）视窗。

注

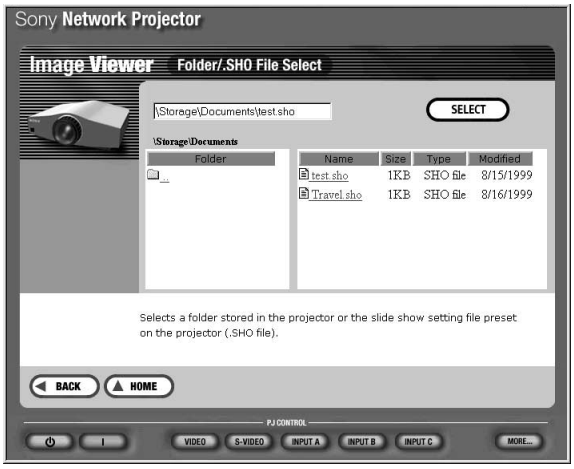
点击 END 或 HOME 键退出 Image Viewer（图像阅读器）视窗时，列在 Temporary File（临时文件）中的文件将被自动清除。要保存文件时，请使用 File Manager（文件管理器）功能将文件添加到投影机上。

有关详细内容，请参阅第 26（CS）页上的“使用 File Manager（文件管理器）”。

用存储在投影机中的图像文件进行演示

1 点击 Application Select（应用选择）视窗中的 IMAGE VIEWER（图像阅读器）图标。
Look In（访问）视窗出现。

2 点击 PROJECTOR（投影机）。
投影机的 Image Viewer（图像阅读器）启动，并打开 Folder/.SHO File Select 视窗。



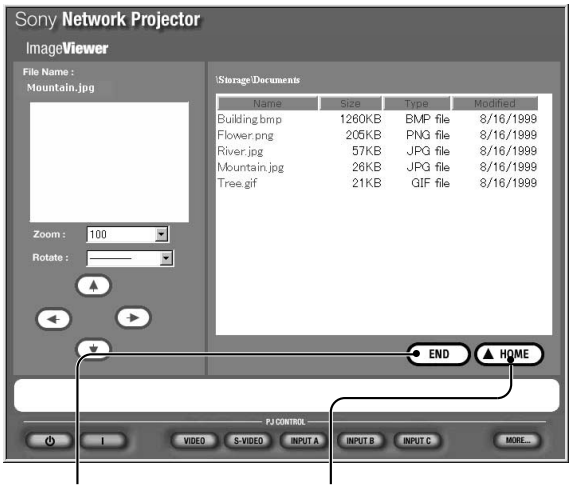
3 点击视窗左侧文件夹一览表中所要的文件夹或含有幻灯片演示设定文件（.SHO 文件）的文件夹。
所选文件夹的内容列在右侧。

有关 .SHO 文件的细节，请参看第 34（CS）页中的“保存幻灯片设定”。

4 选择要用的文件夹或 .SHO 文件，然后点击 SELECT（选择）键。
Image Viewer 视窗出现。

5 选择要在投影机上投影的图像文件。

在步骤 4 中选择文件夹时
所选文件夹中所包含的图像文件列在右侧。

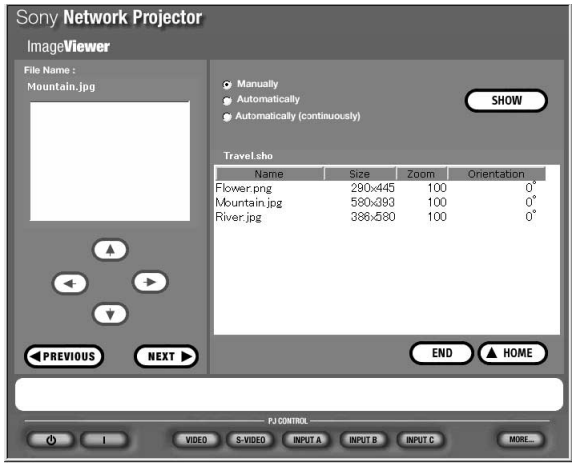


END（结束）键
点击此键结束或中断显示并返回到 File Select（文件选择）视窗。

HOME（归位）键
点击此键返回到 Application Select（应用选择）视窗。

点击所要的文件。
所选文件的全屏幕图像投影在投影机上。将鼠标器光标指向视窗左侧的各项目时，其说明出现在下部。

在步骤 4 中选择 .SHO 文件时
所选的 .SHO 文件出现在右侧。



选择幻灯片的进片方式并点击 SHOW（演示）键。幻灯片演示开始。
将鼠标器光标指向视窗中的各项目时，其说明出现在下部。

关于运行 Image Viewer（图像阅读器）过程中的视窗显示

出现与第 24（CS）页“关于运行 Image Viewer（图像阅读器）过程中的视窗显示”中相同的视窗。

.SHO 文件选择视窗中的 NEXT（后一幅）键用于在幻灯片演示中立即进到下一幅幻灯图像，PREVIOUS（前一幅）键用于回到前一幅幻灯图像。

使用 File Manager（文件管理器）

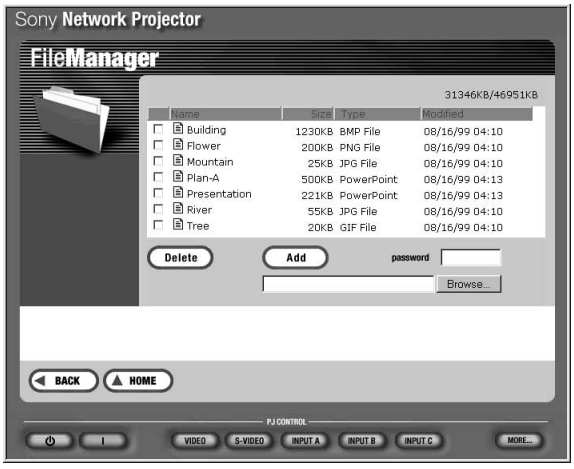
可以从电脑通过简单的操作管理存储在投影机中的文件。File Manager（文件管理器）功能供您删除存储在投影机中不需要的文件或将存储在电脑中的文件添加到投影机的存储器中。

用 File Manager（文件管理器）检查显示在 File Manager（文件管理器）视窗上的投影机当前所使用的内存和最大剩余内存。

用 File Manager（文件管理器）将文件添加到投影机

1 点击 Application Select（应用选择）视窗中的 FILE MANAGER（文件管理器）图标。
出现 File Manager（文件管理器）视窗。

2 查找存储在电脑中并要添加到投影机的文件。
点击 Add File（添加文件）处的 Browse...（浏览）键打开电脑的文件选择视窗。选择所要的文件。也可以通过在 Browse...（浏览）文字框中输入文件名来选择文件。
可以在此步骤中对所选的文件设定口令。请在“password（口令）”文字框中指定口令。设定口令后只有输入口令才能打开该文件。



3 点击 Add（添加）键。
所选的文件被存入投影机。

用 File Manager（文件管理器）从投影机删除文件

1 在 Application Select（应用选择）视窗中点击 FILE MANAGER（文件管理器）图标。
File Manager（文件管理器）视窗出现，而且存储在投影机中的文件一览表弹出。

2 选择所要删除的文件。
可以检查全部要删除的文件。

3 点击 Delete（删除）键。
所确认的全部文件从文件一览表上消除。

注

即使文件设定了口令，也能将其删除。

从电脑控制投影机

可以在电脑显示屏上进行各种投影机的调整和设定。有三种控制视窗：GENERAL（一般）、PICTURE CTRL（图像控制）和 SETTINGS（设定）视窗，各视窗具有不同的功能。

视窗中的按键与投影机附带的遥控器上的按键功能相同。

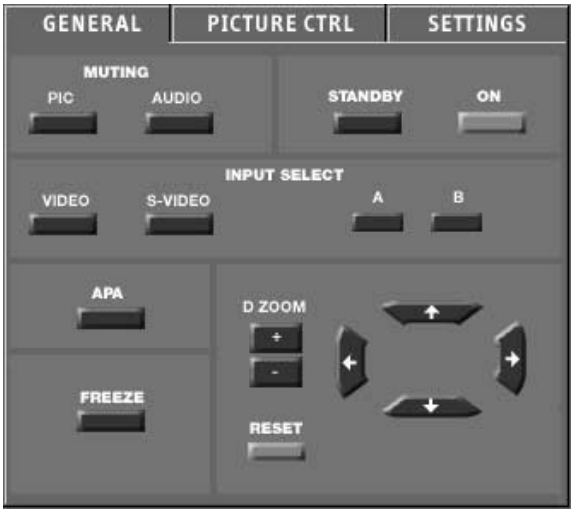
有关按键的详细说明，请参阅投影机的操作手册。

下列步骤中的插图用于 VPL-PX15。

1 点击 PJ CONTROL（投影机控制）处的 MORE...（更多）键。
出现 GENERAL（一般）视窗。

2 点击功能标签选择所要的视窗。

GENERAL（一般）视窗

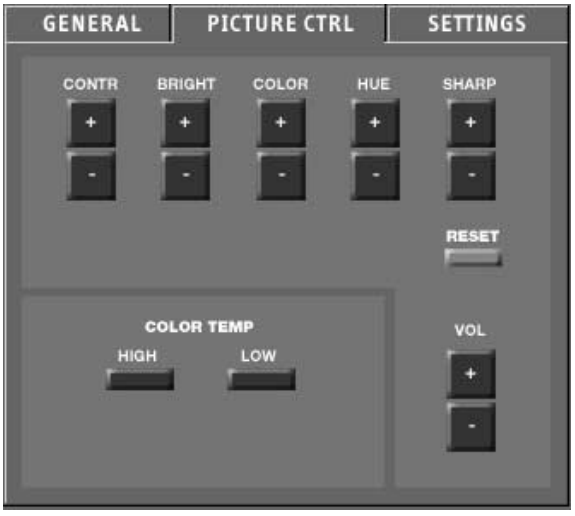


（VPL-PX15）

■ 用于 VPL-FE110M

用 SWITCHER（转换器）键指定转换器号码。用 GROUP（组）键指定组索引号码，并用 INDEX（索引）键指定装置索引号码。点击 ▼ 打开下拉一览表，然后选择号码。

PICTURE CTRL（图像控制）视窗



（VPL-PX15）

■ 用于 VPL-PX15

COLOR TEMP（色温）（HIGH（高位），LOW（低位））键功能与菜单中的设定相同。

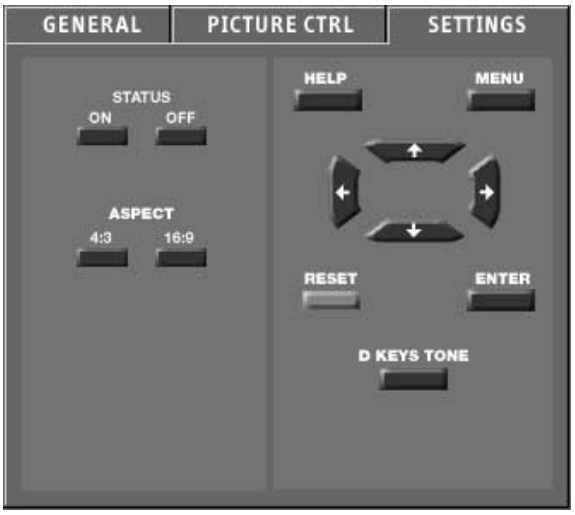
■ 用于 VPL-FX50

DDE（动态数据交换）（OFF（关）、PROGRESSIVE（逐行）、FILM（电影））和 RGB ENHANCER（增强）+/− 键功能与菜单中的设定相同。

有关详细内容，请参阅投影机的操作手册。

（接下页）

SETTINGS（设定）视窗



（VPL-PX15）

■ 用于 VPL-PX15

ASPECT（宽高比）（4:3，16:9）和 STATUS（状态）（ON（开），OFF（关））键功能与菜单中的设定相同。

■ 用于 VPL-FX50

ASPECT（宽高比）（4:3,16:9）和 LAMP MODE（投影灯模式）（STANDARD（标准），LOW（低位））键功能与菜单中的设定相同。

有关详细内容，请参阅投影机的操作手册。

3 点击按键进行调整或设定。

检查投影机上的指示灯

可以在电脑显示屏上检查投影机控制面板上的指示灯当前的状态。

1 在电脑上启动 Internet Explorer 4.0 或更新版，或 Netscape Navigator 4.5x 或 4.7x 版。

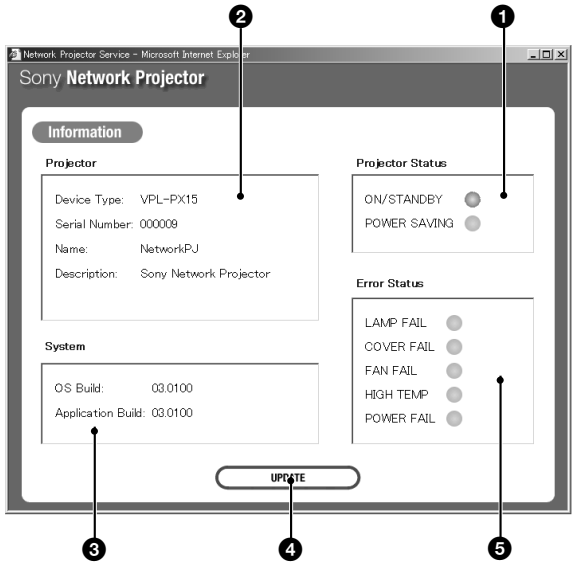
2 在 URL 处输入 “http://xxx.xxx.xxx.xxx（投影机的 IP 地址）/info”。

如果未改变出厂预设的 IP 地址，则输入 “http://192.168.0.1/info”（使用局域网 PC 卡时）或 “http://192.168.0.2/setup”（使用 ETHER 连接器时）。

如果设定了口令，则出现口令设定对话框。

3 输入 Administrator（管理者）的姓名和口令。出现 Information（信息）视窗。

以下插图用于 VPL-PX15。



❶ Projector Status（投影机状态）

表示投影机的当前状态。

❷ Projector（投影机）

表示投影机的信息。

❸ System（系统）

表示 Windows CE 和现在所使用的应用软件的版本。

❹ UPDATE（更新）键

点击此键更新最新信息。

❺ 错误状态

表示投影机控制面板上的指示灯的当前状态。

有关指示灯的信息，请参阅操作手册。

准备工作

开始之前

■ 用于 VPL-PX15 和 VPL-FX50

- 确认将安装设定项目单中的输入 B 功能（VPL-PX15）或输入 C 功能（VPL-FX50）设定为开。
- 将 PJ/NETWORK 选择开关转换为 NETWORK（网络）。

■ 用于 VPL-FE110M

- 确认投影机后面板上的 INPUT C/RS-232C/RS-422A 选择开关设定于 INPUT C 位置。
- 请使用 RM-PJM610 遥控器或鼠标器和键盘（未随机附带）操作投影机。在将投影机的交流电源线连接至交流电源插座之前，先将鼠标器和键盘连接至投影机。

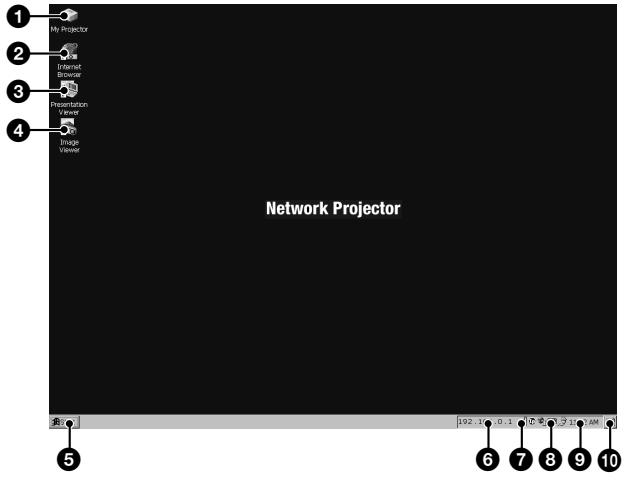
打开 Network Projector（网络投影机）视窗

若要进行网络操作而不连接电脑，请在投影机上显示 Network Projector 视窗。

1 接通投影机电源。

2 将投影机输入设定为 INPUT B（VPL-PX15）或 INPUT C（VPL-FX50 和 VPL-FE110M）。
出现 Network Projector 视窗。

Network Projector 视窗中的名称和功能



❶ My Projector（我的投影机）图标
浏览投影机中的文件夹。
双击此图标显示 Memory card（内存卡）图标等。

❷ Internet Browser（互联网浏览器）图标
双击此图标连接至互联网。

❸ Presentation Viewer（幻灯片阅读器）图标
当您要用 PowerPoint 建立的文件进行演示或要在投影机上投影 Excel 文件时选择。

❹ Image Viewer（图像阅读器）图标
双击此图标启动 Image Viewer（图像阅读器）以使用存储在投影机或内存卡中的图像文件进行幻灯片演示。

❺ Start（开始）菜单

❻ IP 地址
显示投影机的 IP 地址。当从电脑访问投影机时，可以进行检查。

❼ 接收电平指示图标
当投影机正确识别插入到 PC CARD 插槽中的无线局域网 PC 卡时，此图标出现在任务栏上。双击此图标打开表示投影机和线路入口之间连接状态的视窗。

❽ 屏幕键盘图标
点击此图标在投影机屏幕上显示屏幕键盘。可以用所附带的遥控器（用于 VPL-PX15 和 VPL-FX50）或 RM-PJM610 遥控器（未附带，用于 VPL-FE110M）操作投影机以设定或输入 URL。屏幕键盘有两页，点击 Shift（移位）键换页。

（接下页）

■ 用于 VPL-PX15 和 VPL-FX50

- 附带遥控器上的 PJ/NETWORK 选择开关设定为 NETWORK（网络）时，遥控器上的 TAB（标签）、ESCAPE（取消）、ENTER（输入）和箭头键功能与其键盘上的相同。
- 在屏幕键盘图标中按附带遥控器上的 R CLICK（右击）键打开副菜单。点击 Remote（遥控器），然后点击 On（启动）可以让您与在屏幕键盘上一样使用遥控器上的箭头键并选择按键。

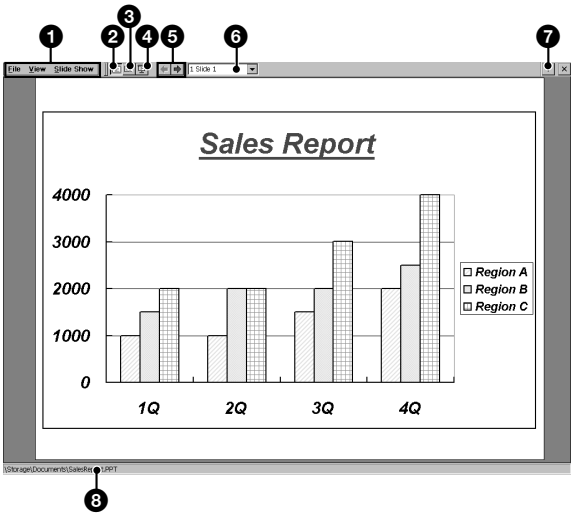
❾ 时钟

❿ 桌面图标

用 Slide Viewer（幻灯片阅读器）进行演示

可以用存储于与投影机位于同一会议室或远离投影机的电脑中的 PowerPoint 文件进行演示。即使电脑未与投影机相连接时，也可以用存储于投影机存储器或插在 PC CARD 插槽中的内存卡的文件开始演示。

关于 Slide Viewer（幻灯片演示）视窗



❶ 菜单栏

菜单	命令	功能
File（文件）	Open（打开）	打开存储在投影机中的文件。
	Recent Files（最新文件）	打开显示在副菜单上最近用过的文件。
	Close（关闭）	关闭当前显示的文件。
	Version（版本）	指出程序的版本信息。
View（视图）	Slide View（幻灯片视图）	在幻灯片视图模式中显示幻灯片。
	Note View（注释视图）	在注释视图模式中显示幻灯片。
	Slide Show（幻灯片演示）	进行幻灯片演示。
View Show（观看演示）	Run（运行）	进行幻灯片演示。
	Set Up Show（设定演示）	设定幻灯片演示。

❷ Slide View（幻灯片视图）键
显示幻灯片。

❸ Note View（注释视图）键
显示幻灯片和扬声器的注释。

❹ Slide Show（幻灯片演示）键
进行幻灯片演示。

❺ 幻灯片换片键
按 ⇦ 键显示上一幅幻灯片。
按 ⇨ 键显示下一幅幻灯片。

❻ 幻灯片一览表框
按 ▼ 打开下拉一览表并选择所要显示的幻灯片号码。

❼ ?（Help（帮助））键
点击此键显示 Slide Viewer（幻灯片阅读器）的 Help（帮助）标题。

❽ 文件名
显示文件的名称。

进行演示

使用存储在连接于局域网的电脑中的文件

1 双击 Network Projector（网络投影机）视窗中的 My Projector（我的投影机）图标。

2 在地址栏输入“\\xxxx（所要访问的电脑名称）”，然后点击 Enter（执行）键。
显示电脑的共享文件夹。

注

您必须设定 Network Configuration（网络结构）对话框中 Identification（识别）的项目（第 9（CS）页），还必须设定与所要访问的电脑共享文件。

3 选择包含您想要进行演示的 PowerPoint（.ppt 或者.pps 文件）文件的文件夹后，双击该文件。
如果对所选的电脑设定了口令，请输入口令。
Slide Viewer（幻灯片阅读器）启动。

4 要设定幻灯片演示时，从 View Show（观看演示）菜单点击 Set Up Show（设定演示）。
打开 Set Up Show 对话框。
有关详细说明，请参见 Slide Viewer（幻灯片阅读器）的 Help（帮助）。

5 从 View Show 菜单点击 Run（运行）进行幻灯片演示。

使用存储在投影机或内存卡上的文件

1 双击 Network Projector（网络投影机）视窗中的 Presentation Viewer（演示阅读器）图标。
Presentation Viewer 启动，并出现 Open File（打开文件）对话框。

2 选择所要的 PowerPoint 文件，并点击 OK 键。
Slide Viewer（幻灯片阅读器）启动，所选的文件出现在幻灯片视图上。

3 进行“使用存储在连接于局域网的电脑中的文件”中步骤 **4** 和 **5** 的操作。

切换幻灯片视图模式

Slide Viewer（幻灯片阅读器）有三种视图模式：Slide Show（幻灯片演示）、Slide View（幻灯片视图）和 Note View（注释视图），各模式给出显示幻灯片的不同方式。从 View（视图）菜单点击相应的命令显示视图。点击工具栏上的此键也可以切换视图。

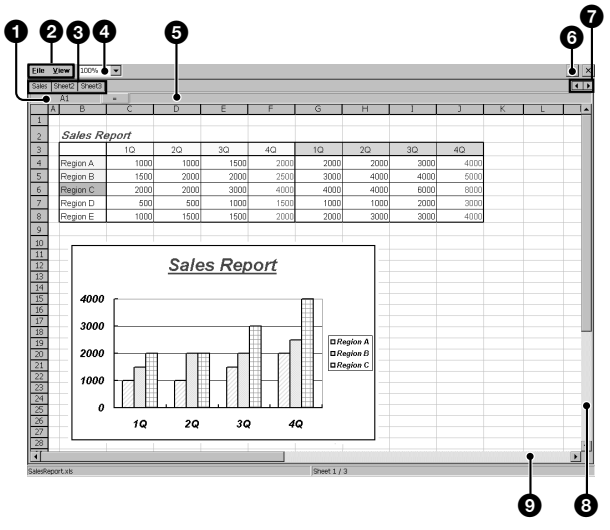
关于 Slide Viewer（幻灯片阅读器）的 Help（帮助）

有关用 Slide Viewer 操作的详细说明，请参见 Help（帮助）。点击工具栏上的 ? 键打开 Help（帮助）标题。

用 Worksheet Viewer（工作表阅读器）投影 Excel 文件

可以投影存储在相同局域网上的电脑中的 Excel 文件。也可以投影存储在投影机或内存卡上的文件，而无需连接电脑。

关于 Worksheet Viewer（工作表阅读器）视窗



（接下页）

❶ Name（名称）框

识别当前所选的单元格。

❷ 菜单栏

菜单	命令	功能
File（文件）	Open（打开）	打开存储在投影机中的文件。
	Close（关闭）	关闭当前显示的文件。
	About（关于）	显示程序的版本信息。
View（视图）	Zoom（缩放）	打开 Zoom（缩放）对话框以放大或缩小显示。

❸ 工作表标签

显示工作表的名称。点击工作表标签使工作表有效。

❹ 缩放框

按 ▼ 键选择缩放倍率以缩小或放大有效工作表的显示。

❺ 单元格目录条

显示有效单元格的结果或常数值。

❻ ?（帮助）键

显示 Worksheet Viewer（工作表阅读器）的 Help（帮助）标题。

❼ ◀/▶ 键

用于在工作表标签之间滚动。点击您要滚动的方向箭头。

❽ ▲/▼（上／下）滚动条

用于向上或向下滚动显示。要滚动时，拖拉外框或点击箭头。

❾ ◀/▶（左／右）滚动条

用于向右或向左滚动显示。要滚动时，拖拉外框或点击箭头。

投影 Excel 文件

使用存储在连接于局域网的电脑中的文件

1 按第 31（CS）页“进行演示－使用存储在连接于局域网的电脑中的文件”中步骤 1 和 2 的操作。

2 选择包含您要在投影机上投影的 Excel 文件的文件夹，然后双击该文件。
如果所选的电脑设定了口令，请输入口令。
Worksheet Viewer（工作表阅读器）启动，所选的 Excel 文件中的工作表出现在投影机上。

使用存储在投影机或内存卡上的文件

1 双击 Network Projector（网络投影机）视窗中的 Presentation Viewer（演示阅读器）图标。
Presentation Viewer（演示阅读器）启动，并出现 Open File（打开文件）对话框。

2 选择所有投影的 Excel 文件，并点击 OK 键。
Worksheet Viewer 启动，所选文件中的工作表出现在投影机上。

改变投影工作表的尺寸或显示区域

当您要放大或缩小投影工作表或改变视图上的工作表区域时，请参见 Worksheet Viewer 的 Help（帮助）。

关于 Worksheet Viewer（工作表阅读器）的 Help（帮助）

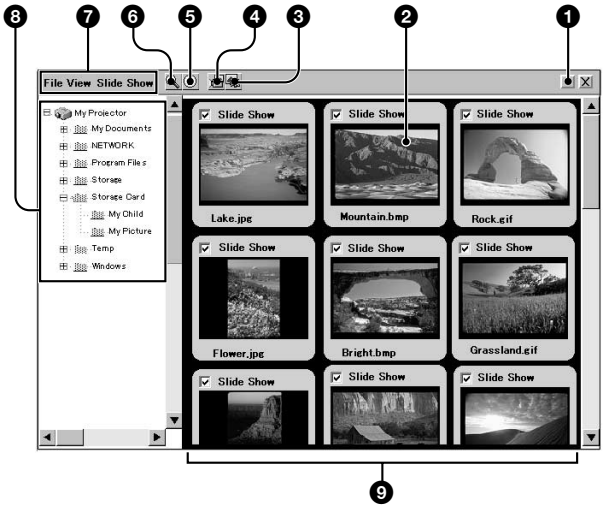
有关 Worksheet Viewer 操作的详细说明，请参见 Help。点击工具栏上的 ? 键打开 Help 标题。

使用 Image Viewer（图像阅读器）进行幻灯片演示

可以显示存储在投影机或内存卡（安装在投影机上）中的文件略图，然后选择所要的图像进行幻灯片演示。

启动投影机的 Image Viewer（图像阅读器）并选择含有所要文件的文件夹时，主视窗打开。

关于 Image Viewer（图像阅读器）的主视窗



❶ （Help（帮助））键

点击此键显示 Image Viewer（图像阅读器）的 Help（帮助）标题。

❷ Slide（幻灯片）

点击幻灯片在该幻灯片周围显示绿色框，表示所选择的幻灯片。

❸ （Slide Show Setting（幻灯片演示设定））键

打开用于缩放、旋转等的设定幻灯片演示对话框。

❹ （View Show（观看演示））键

点击此键打开幻灯片进片的副菜单。

❺ （Information（信息））键

打开所选择幻灯片的信息对话框。

❻ （Full screen（全屏幕））键

显示所选择幻灯片的全屏幕视窗。

❼ 菜单栏

菜单	命令	功能
File（文件）	Close（关闭）	关闭当前所显示的文件。
	About（关于）	表示程序上的版本信息。
View（视图）	Full Screen（全屏幕）	显示所选择图像的全屏幕视窗。
	Information（信息）	打开所选择图像的信息对话框。
	Sort Slides（幻灯片分类）	按指定的顺序将文件夹中的幻灯片分类。
Slide Show（幻灯片演示）	View Show（观看演示）	以在副菜单中所选择的幻灯片进片来进行幻灯片演示。
	Slide Show Setting（幻灯片演示设定）	详细设定幻灯片演示。
	Select all（全选）	选择所有包括在略图视窗中的幻灯片。
	Clear all（全清）	取消略图中的任何幻灯片选择。
	Load...（装入）	装入所存储的幻灯片演示设定文件。
	Save...（保存）	作为设定文件保存当前的幻灯片演示设定。（扩展名是“.SHO”）

❽ 文件夹对话框

浏览储存在投影机或安装在投影机上内存卡中的文件夹。

❾ 幻灯片显示区域

显示包括在所选择文件夹中的幻灯片略图。

显示全屏幕图像

可以从主视窗显示所选择略图的全屏幕图像。

1 在 Network Projector（网络投影机）视窗中双击 Image Viewer（图像阅读器）。
Image Viewer 启动。

2 从文件夹对话框选择包含所要显示图像文件的文件夹。可以在存储在投影机或安装在投影机内存卡中的文件夹中选择。
主视窗打开，显示所选择文件夹中所包含的幻灯片略图。

（接下页）

3 点击幻灯片略图选择所要显示的幻灯片。
绿色框出现在所选择的幻灯片上。

4 右点击幻灯片以选择 Full Screen（全屏幕）、从 View（视图）菜单点击 Full Screen（全屏幕）或在工具栏中点击 键。
按照投影机屏幕显示幻灯片。

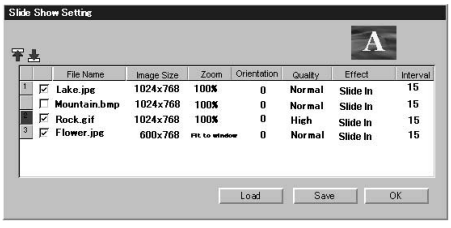
进行幻灯片演示

1 进行“显示全屏幕图像”的步骤 **1** 和 **2**。

2 选择要用于幻灯片演示的幻灯片。
- 在所要使用的各幻灯片中选择 Slide Show（幻灯片演示）复选框。选择所要使用的所有幻灯片。
- 要使用所选择文件夹中的所有幻灯片，请从 Slide Show（幻灯片演示）菜单中点击 Select all（全选）。
- 如果已经存储幻灯片演示设定文件，请从 Slide Show（幻灯片演示）菜单中点击 Load...（装入）以显示 Load Slide show setting file（装入幻灯片演示设定文件）对话框。选择所要的文件。

有关幻灯片演示设定文件的详细内容，请参阅“保存幻灯片演示设定”。

3 要设定幻灯片时，比如，图像的缩放或旋转等，请从 Slide Show（幻灯片演示）菜单点击 Slide Show Setting（幻灯片演示设定）或在工具栏中点击 键。
出现 Slide Show Setting（幻灯片演示设定）对话框。



改变设定并点击 OK 或 Save（保存）键。

注

投影如 UXGA 格式中的大尺寸图像文件时，因为内存不够无法打开或旋转。遇到这样的情况，请缩小图像以获得更小的文件尺寸。

4 从 Slide Show（幻灯片演示）菜单中点击 View Show（观看演示），或在工具栏中点击 键。
用于选择幻灯片进片的副菜单打开。点击一个选项开始幻灯片演示。

保存幻灯片演示设定

可以使用作为幻灯片演示设定文件所存储的文件反复进行幻灯片演示（.SHO 文件）。也可以改变所存储设定文件的设定。

要保存文件

1 从 Slide Show（幻灯片演示）菜单中点击 Save...（保存）。
Save Slide show setting file（保存幻灯片演示设定文件）对话框打开。

2 输入文件名称，然后点击 OK 键。
所保存文件显示在 Load Slide show setting file（装入幻灯片演示设定文件）对话框。

改变设定后要保存

从 Slide Show（幻灯片演示） 菜单中点击 Slide Show Setting（幻灯片演示设定）以打开 Slide Show Setting 对话框，并改变设定。点击 Save（保存）键以打开 Save Slide show setting file（保存幻灯片演示设定文件）对话框。请进行步骤 **2**。

保存后要改变设定

1 从 Slide Show（幻灯片演示）菜单中点击 Slide Show Setting（幻灯片演示设定）。
Slide Show Setting（幻灯片演示设定）对话框打开。

2 点击 Load（装入）。
Load Slide show setting file（装入幻灯片演示设定文件）对话框打开。

3 选择所要改变设定的文件并点击 OK 键。
Slide Show Setting 对话框打开。

4 改变设定，然后点击 Save（保存）键。

要在主视窗改变设定

1 从 Slide Show （幻灯片演示）菜单中点击 Load...（装入）。
Load Slide show setting file（装入幻灯片演示设定文件）对话框打开。

2 选择所要改变的文件，并点击 OK 键。
主视窗打开。

3 改变幻灯片 Slide Show（幻灯片演示）复选框的选择。

关于 Image Viewer（图像阅读器）的 Help（帮助）

有关用 Image Viewer 操作的详细说明，请参见 Help。点击工具栏上的 ? 键打开 Help 标题。

连接至互联网

1 双击 Network Projector（网络投影机）视窗中的 Internet Browser（互联网浏览器）图标。
出现 Internet Browser 视窗。

2 点击任务栏上的软件键盘图标以显示屏幕键盘，然后输入所要网页的地址。

故障排除

如果投影机工作失常，请用下列指南试作诊断并解决问题。如果问题仍不能解决，请向有资格的 Sony 专业人员咨询。

症状	原因和对策
未建立至网络的连接。	• PC 卡未正确插入 PC CARD 插槽。 → 请检查卡的朝向是否正确，然后将卡推入插槽直至到位。 • 电缆未正确连接至 ETHER 连接器。（VPL-PX15,VPL-FX50） → 将电缆的插头牢固插入连接器。 • 您所使用的局域网 PC 卡、无线局域网 PC 卡和无线局域网线路入口并非指定／推荐产品。 → 请使用指定／推荐的装置。使用非指定／推荐产品可能引起操作异常。有关指定／推荐卡等的信息，请参见附带的“指定／推荐的 PC 卡／无线局域网线路入口一览表”。 • 网络环境未正确设定。 → 检查投影机的网络结构设定。（第 9（CS）和 13（CS）页） → 用电脑的网络浏览器控制投影机时，请同时检查电脑的网络设定。 • 使用无线局域网 PC 卡时，无法选择 Enable On-board LAN（允许板上局域网）。（VPL-PX15,VPL-FX50） → 从 Enable On-board LAN 复选框中删除复选标记。 • 使用无线局域网 PC 卡时，无线局域网未正确设定。 → 检查 Connecting Status（连接状态）对话框中的 Access Point ID（线路入口的 ID）和 Encryption key（密码）是否与所连接的线路入口设定为相同的号码（第 11（CS）页）。 • 使用无线局域网 PC 卡时，同位体至同位体模式设定不正确。 → 仅在连接于同一无线局域网上的一台装置上选择同位体至同位体模式（第 11（CS）页）。 • 线路入口的频道被设定为 12 至 14。 → 将线路入口的频道设定为 1 至 11。 • 经上述检查后局域网 PC 卡、无线局域网 PC 卡、内存卡或线路入口仍操作异常。 → 请与所使用的卡或线路入口的制造商联系。使用指定的 Sony 无线局域网 PC 卡时，请与有资格的 Sony 专业人员联系。
电脑不能访问投影机。	• 安装设定项目单中的输入 B 功能（VPL-PX15）或输入 C 功能（VPL-FX50）设定不正确。 → 将其设定为开。 • INPUT C/RS-232C/RS-422A 选择开关未正确设定。（VPL-FE110M） → 将其设定为 INPUT C。 • 电脑的浏览器被设定为“Access the Internet using a proxy server（使用代理服务器访问互联网）”。 → 请在“Access the Internet without using a proxy server（不使用代理服务器访问互联网）”框中输入投影机的 IP 地址。 • 用 0（零）开始输入了投影机的 IP 地址。 → 请勿在号码开头输入 0。 例：192.168.000.001 ➔ 192.168.0.1
投影机屏幕被固定。	Windows CE 软件冻结。 → 将安装设定项目单中的输入 B 功能（VPL-PX15）或输入 C 功能（VPL-FX50）设定为关，然后将其重新设定为开。 → 在按附带的 RM-PJ1001 遥控器上的 FUNCTION 键後 5 秒钟以内按 RESET 键重新启动 Windows CE（VPL-FE100M）。

症状	原因和对策
在 PowerPoint 或 Excel 文件中字体或字形改变。	在文件的文本中，使用了 Slide Viewer（幻灯片阅读器）或 Worksheet Viewer（工作表阅读器）不支持的字体或字形。 → Slide Viewer（幻灯片阅读器）只能使用以下字体。其他字体将被这些字体代替：Arial、Bookman Old Style、Comic Sans MS、Impact、Symbol、Tahoma、Times New Roman 和 Wingdings。如果代替，根据标记或段落设定，段落的结束可能会改变。 Slide Viewer（幻灯片阅读器）不支持的字形将被所支持的字形代替。
在 PowerPoint 或 Excel 文件中有些字符不显示。	不能显示 Slide Viewer（幻灯片阅读器）或 Worksheet Viewer（工作表阅读器）不支持的字符，例如中文。 → 请使用 Slide Viewer（幻灯片阅读器）所支持的以英语、法语、西班牙语、德语或意大利语建立的文件。
PowerPoint 或 Excel 文件中的一些特性不正确显示或不完全显示其效果。	投影机的 Slide Viewer（幻灯片阅读器）或 Worksheet Viewer（工作表阅读器）不支持该文件所使用的特性。 → 该特性将被支持的特性代替。如果无显示，请使用支持的效果。
无法进行幻灯片演示。出现 “Projector’s memory is full. Arrange the files stored in the projector with File Manager, then try to restart the slide show.”（投影机的存储器已满。请用 File Manager 整理存储在投影机中的文件，然后再重新启动幻灯片演示。）信息。	投影机的存储器满了。 → 用 File Manager（文件管理器）删除存储在投影机中不需要的文件以增加存储器容量。
无法进行幻灯片演示。出现 “File size is too large. Decrease file size in any way; for example, by dividing it into smaller files, then try to restart the slide show.”（文件太大了。请想办法减小文件的大小，例如，将文件分成数个较小的文件，然后再重新启动幻灯片演示。）信息。	文件大小超过了能够转换至投影机的容量。 → 在 File Manager（文件管理器）视窗上检查存储器的剩余容量，然后将文件分成数个小的文件以减小文件的容量。 → 从 PowerPoint 的 Tool（工具）菜单点击 Option（选项）后再点击 Save（保存），然后取消选择 Save Fast（快速保存）。
无法启动投影机的 Internet Browser（互联网刘览器）。	投影机未连接至局域网。 → 检查网络结构和无线电局域网环境的设定（第 9（CS）至 13（CS）页）。
出现 “Password is set for the file. Enter password.”（该文件设定了口令。请输入口令。）信息。	投影机或文件设定了口令。 → 输入口令。IP 地址的出厂预设值未改变时，在 Administrator（管理者）的 Name（姓名）文字框中输入 “root”。
出现 “You might have entered the wrong password. Enter it again.”（可能输入了错误的口令。请重新输入。）信息。	输入了错误的口令。 → 请输入正确的口令。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
ソニーマーケティング株式会社 情報システム営業本部 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

http://www.world.sony.com/